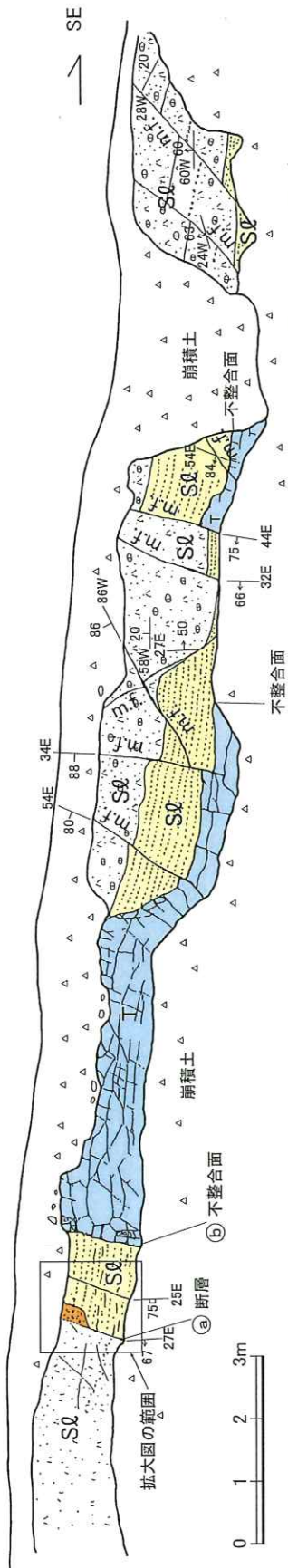
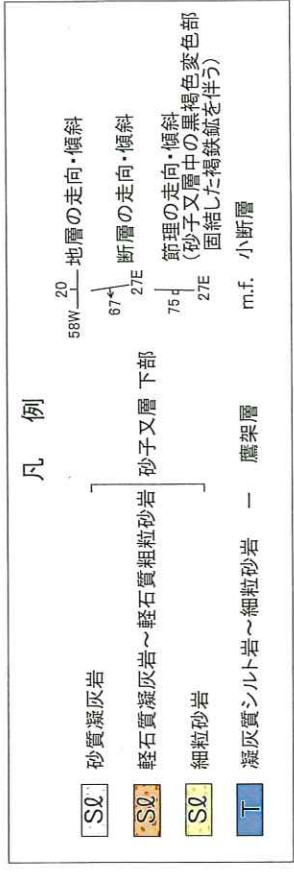
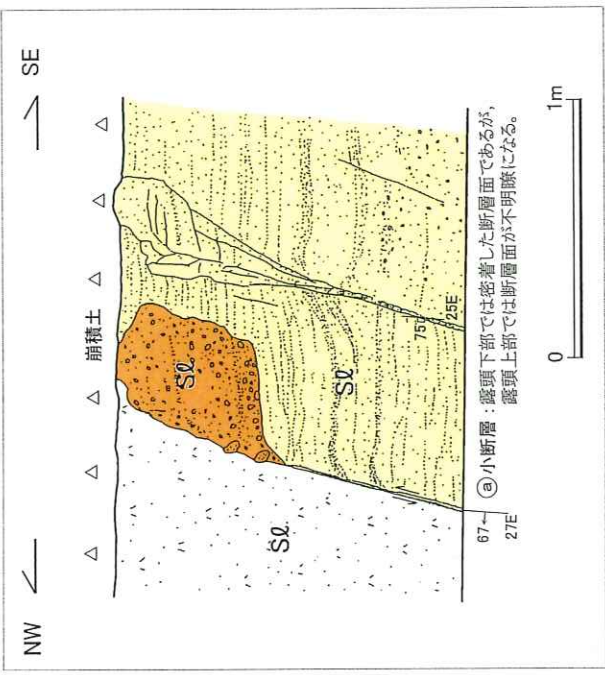


NW ←



拡大図



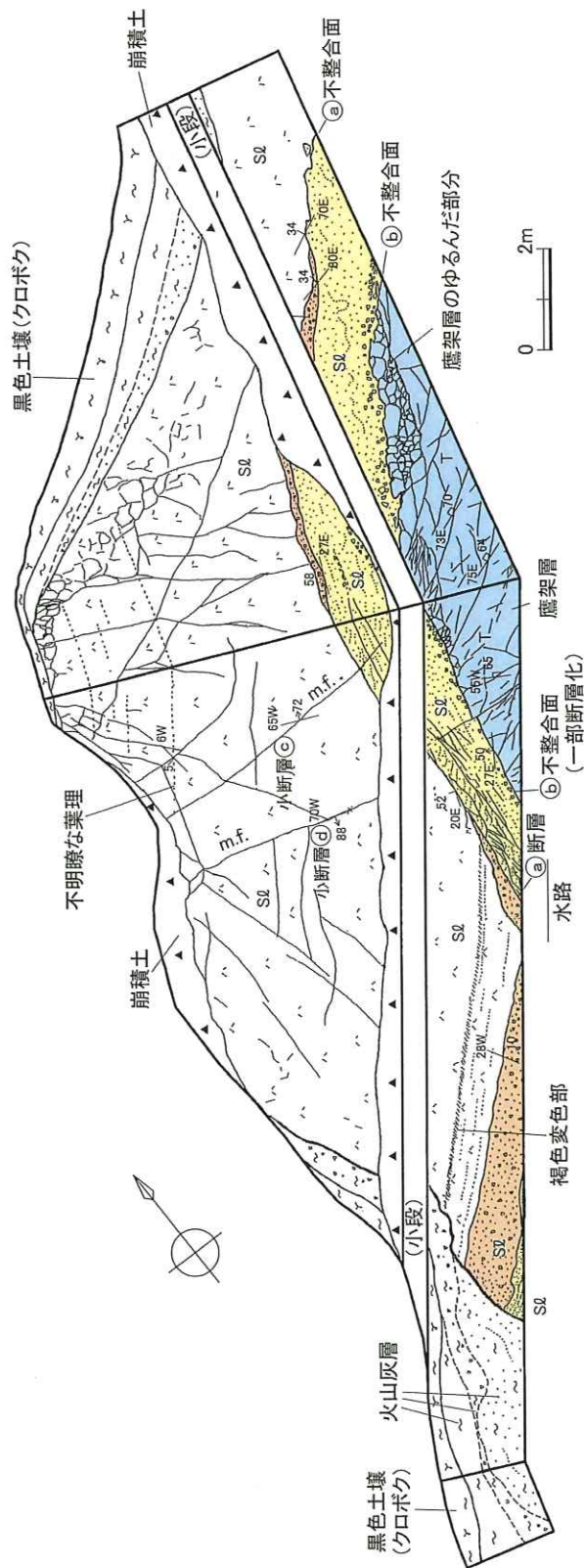
① 露頭下部では断層面は明瞭で幅1cmの固結した褐鉄鉱が付着しているのに対し、露頭上部では、断層面は密着して不明瞭となっており、断層面に鏡肌及び糸線が認められない。
 ② 上盤は、砂子又層下部の砂質凝灰岩であり、下盤は同、細粒砂岩である。
 ③ 鷹架層と砂子又層下部を境する不整合面。
 ※ ①のほかにも露頭には9条の断層が認められるが、いずれも幅4cm以下の小断層であり、固結した褐鉄鉱を伴う。鏡肌及び糸線が認められない。



図-2 榑北町、後川流域の露頭のスケッチ(③地点)
 柱点部：鷹架層の砂岩、印：凝灰岩・凝灰質・凝結印；赤線目化
 石、T：鷹架層、N：野辺地層

藤田ほか(1980)による露頭スケッチ



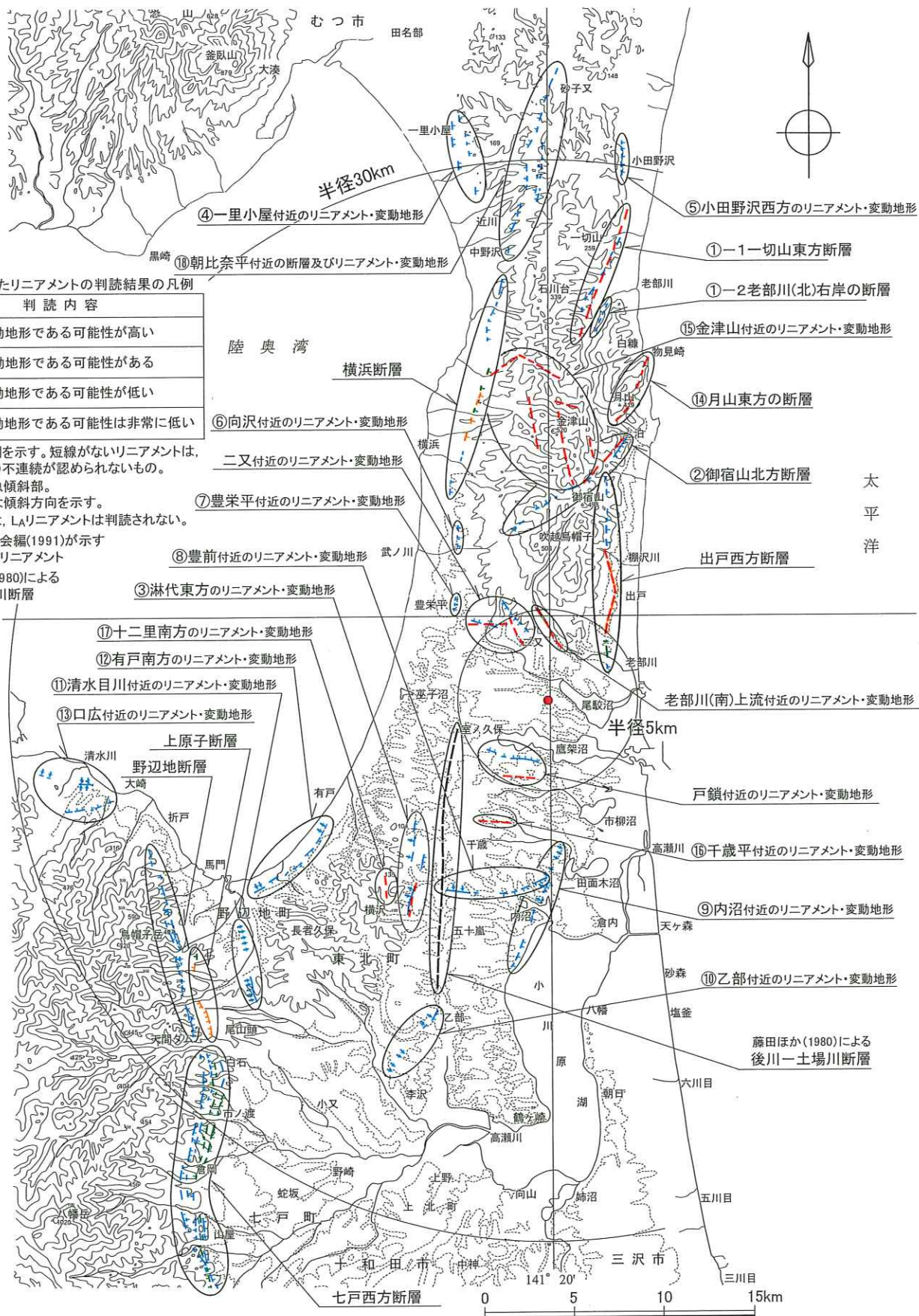


- ① 露頭の南部では、砂子又層下部の細粒砂岩と砂質凝灰岩を境する断層。鏡肌・条線は認められない。
断層面が明瞭であるのに対し、露頭の北部では、軽微な不整合境界となり、断層面は認められない。
- ② 鷹架層と砂子又層下部の不整合面。
砂子又層下部の細粒砂岩には、堆積時又は堆積直後の重力すべりによると考えられるせん断面が確認される。



凡例

| | | | | | |
|--|--------------|--|-------------|--|----------|
| | 粗粒砂質凝灰岩 | | 砂子又層 下部 | | 断層の走向・傾斜 |
| | 礫混り粗粒砂岩 | | 細粒砂岩 | | 節理の走向・傾斜 |
| | 凝灰質シルト岩～細粒砂岩 | | 鷹架層 | | 小断層 |
| | 崩積土 | | 黒色土壌 (クロボク) | | 水路 |



変動地形に基づいたリニアメントの判読結果の凡例

| 凡例 | 記号 | 判読内容 |
|----|-----|------------------|
| | LA* | 変動地形である可能性が高い |
| | LB | 変動地形である可能性がある |
| | LC | 変動地形である可能性が低い |
| | LD | 変動地形である可能性は非常に低い |

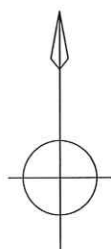
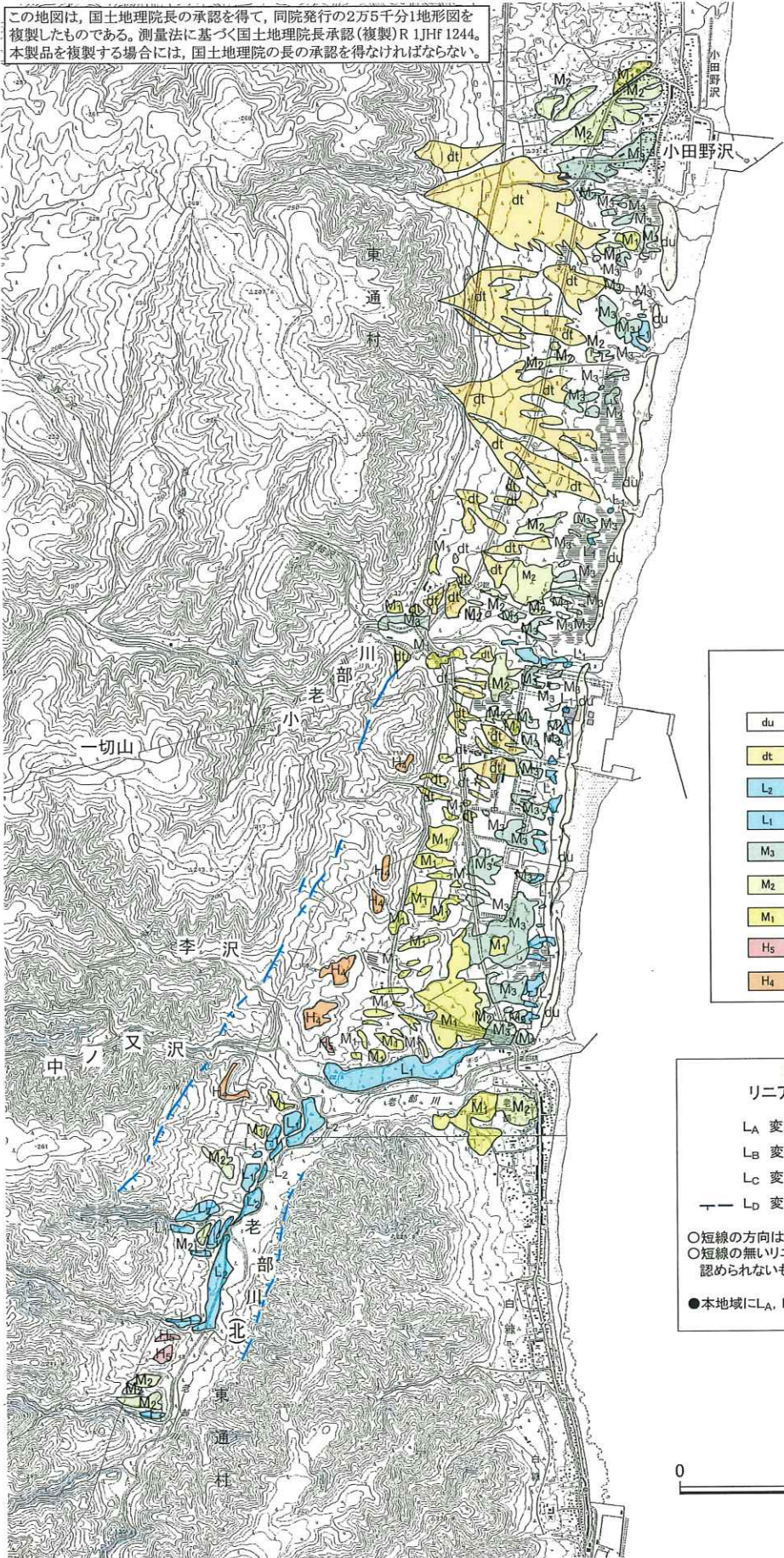
短線は低い側を示す。短線がないリニアメントは、両側で高度の不連続が認められないもの。
 段丘面上の急傾斜部。
 矢印の方向は傾斜方向を示す。
 ※本地域には、LAリニアメントは判読されない。

活断層研究会編(1991)が示す
 確実度Ⅲのリニアメント
 藤田ほか(1980)による
 後川-土場川断層

・等高線(100m間隔)は、国土地理院発行の20万分の1の地形図による。
 ①~⑩は、4.2.2.4(2)に記載している断層及びリニアメント・変動地形。

第4.2-55図 敷地周辺陸域の活断層及びリニアメント・変動地形の分布図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHf1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



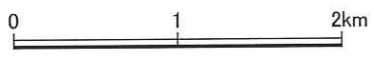
地形面区分凡例

| | |
|----------------|------|
| du | 砂丘 |
| dt | 扇状地面 |
| L ₂ | 低位面 |
| L ₁ | |
| M ₃ | 中位面 |
| M ₂ | |
| M ₁ | |
| H ₅ | 高位面 |
| H ₄ | |

**変動地形に基づいた
リアメントの判読結果の凡例**

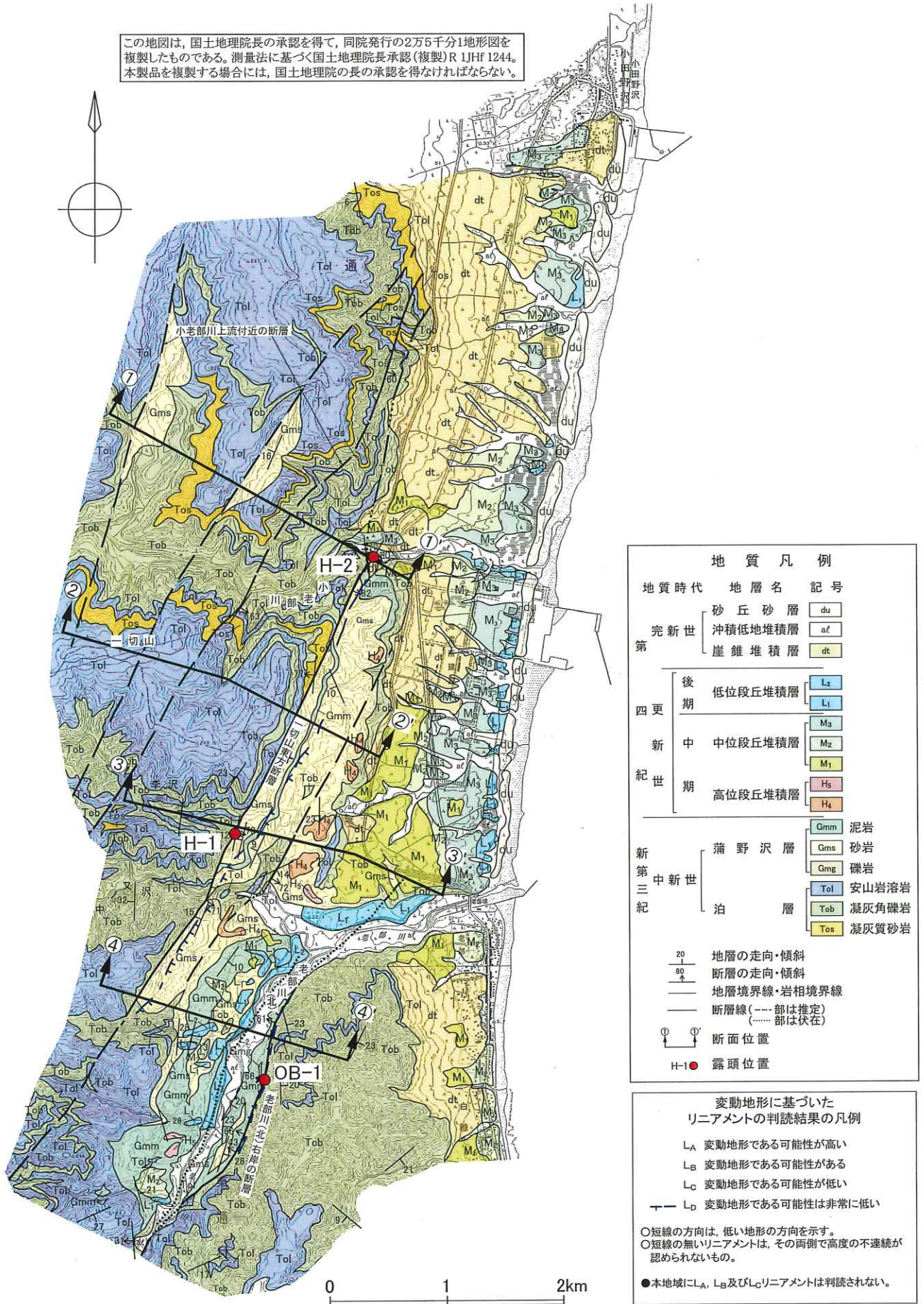
L_A 変動地形である可能性が高い
L_B 変動地形である可能性がある
L_C 変動地形である可能性が低い
— L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。
○短線の無いリアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。
●本地域にL_A, L_B及びL_Cリアメントは判読されない。



第4.2-56図 一切山東方断層周辺の空中写真判読図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



| 地質凡例 | | | |
|------|------------|--|----------------------------------|
| 地質時代 | 地層名 | 記号 | |
| 完新世 | 砂丘砂層 | du | |
| | 沖積低地堆積層 | af | |
| | 崖錐堆積層 | dt | |
| 四更紀世 | 後期 低位段丘堆積層 | L ₂ L ₁ | |
| | 中期 中位段丘堆積層 | M ₃ M ₂ M ₁ | |
| | | 高位段丘堆積層 | H ₃ H ₄ |
| | | 新第三紀 | 泥岩 |
| | 砂岩 | | Gms |
| 礫岩 | Gmg | | |
| 新第三紀 | 安山岩溶岩 | Tol | |
| | 凝灰角礫岩 | Tob | |
| | 凝灰質砂岩 | Tos | |

| | |
|-------|--------------|
| 20 | 地層の走向・傾斜 |
| 80 | 断層の走向・傾斜 |
| — | 地層境界線・岩相境界線 |
| --- | 断層線(---部は推定) |
| | (.....部は伏在) |
| ○ | 断面位置 |
| H-1 ● | 露頭位置 |

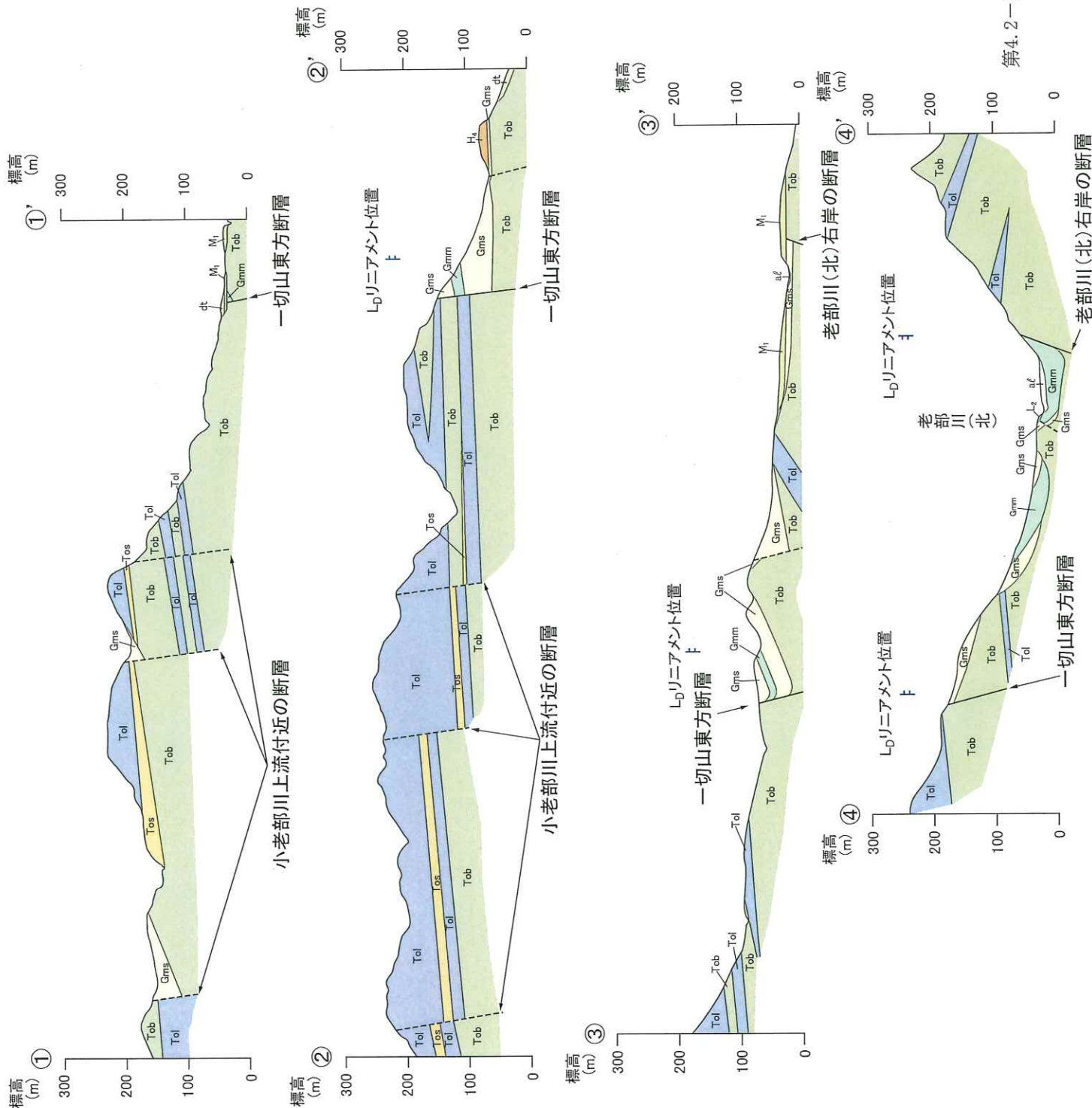
変動地形に基づいた
リニアメントの判読結果の凡例

L_A 変動地形である可能性が高い
L_B 変動地形である可能性がある
L_C 変動地形である可能性が低い
L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○短線の方向は、低い地形の方向を示す。
○短線の無いリニアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。

●本地域にL_A、L_B及びL_Cリニアメントは判読されない。

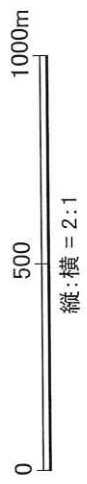
第4.2-57図 一切山東方断層及び小老部川上流付近の断層周辺の地質平面図



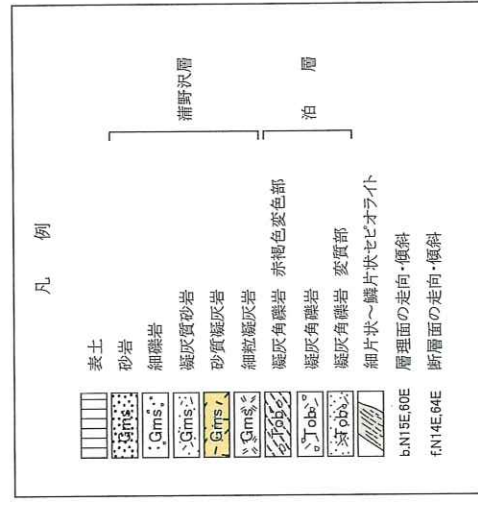
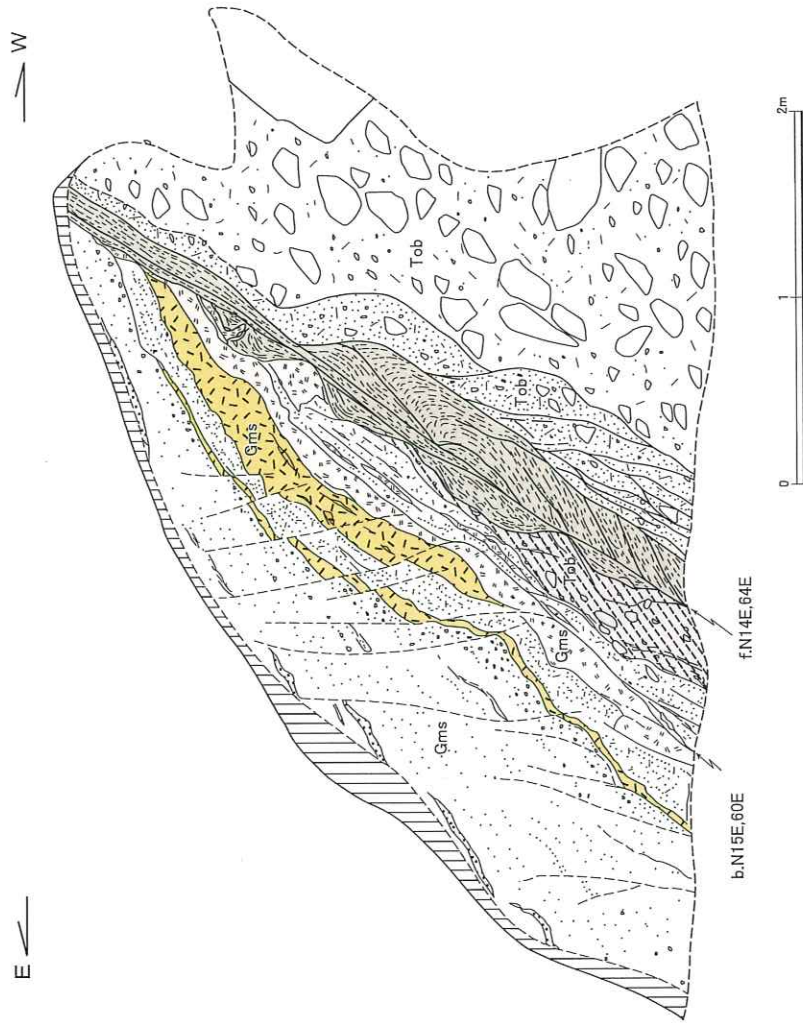
地質凡例

| 地質時代 | 地層名 | 記号 |
|------|---------|-----|
| 完新世 | 沖積低地堆積層 | aL |
| | 崖錐堆積層 | dt |
| | 低位段丘堆積層 | L2 |
| 後期新世 | 中位段丘堆積層 | M1 |
| | 高位段丘堆積層 | H4 |
| 新第三紀 | 蒲野沢層 | Gmm |
| | 泥岩 | Gms |
| | 砂岩 | Gms |
| 中新世 | 安山岩溶岩層 | Tol |
| | 凝灰角礫岩層 | Tob |
| | 凝灰質砂岩層 | Tos |

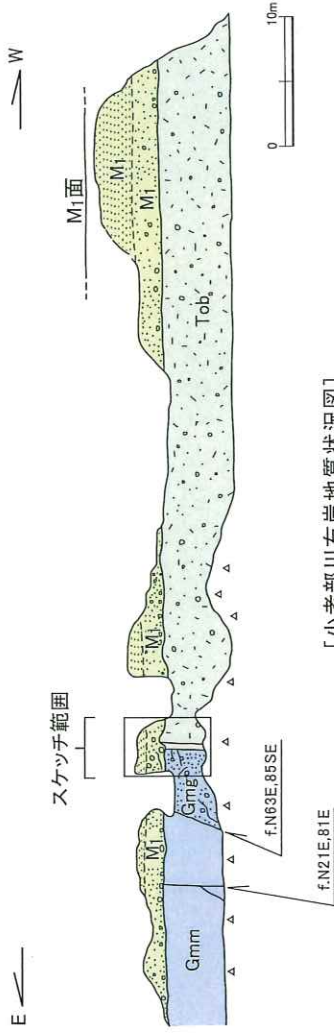
——— 地層境界線・岩相境界線
 - - - 断層線(一部は推定)
 T T T L_Dリニアメント



第4.2-58図 一切山東方断層及び小老部川上流付近の断層周辺の地質断面図

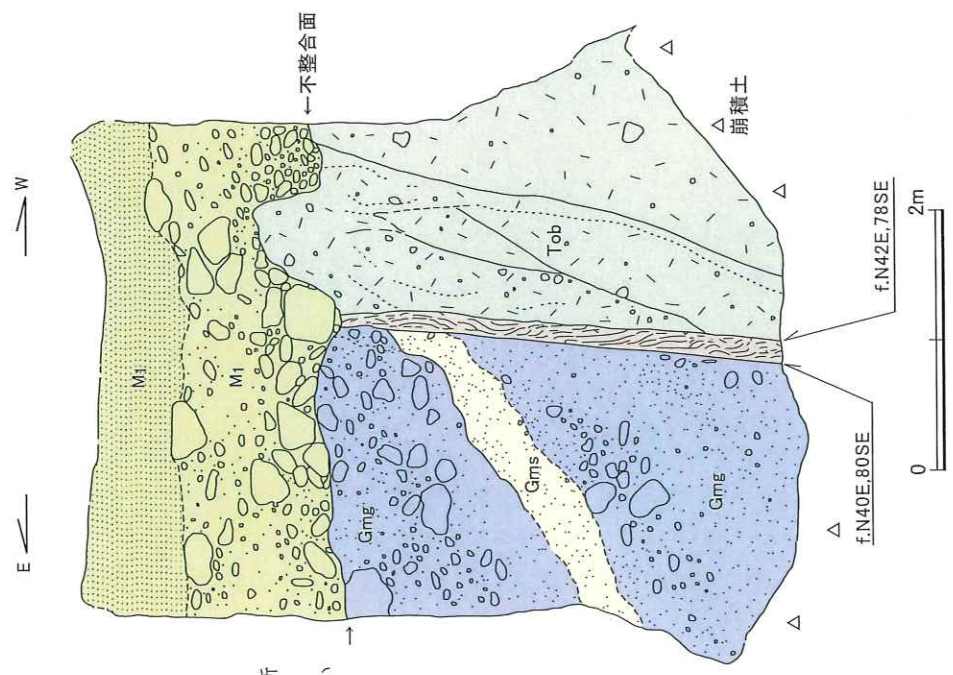
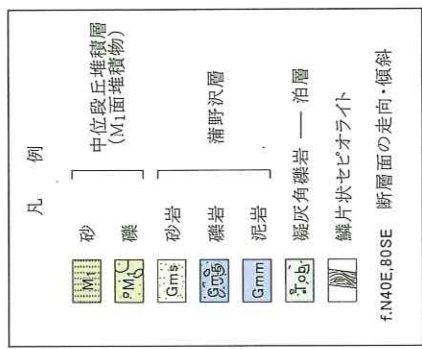


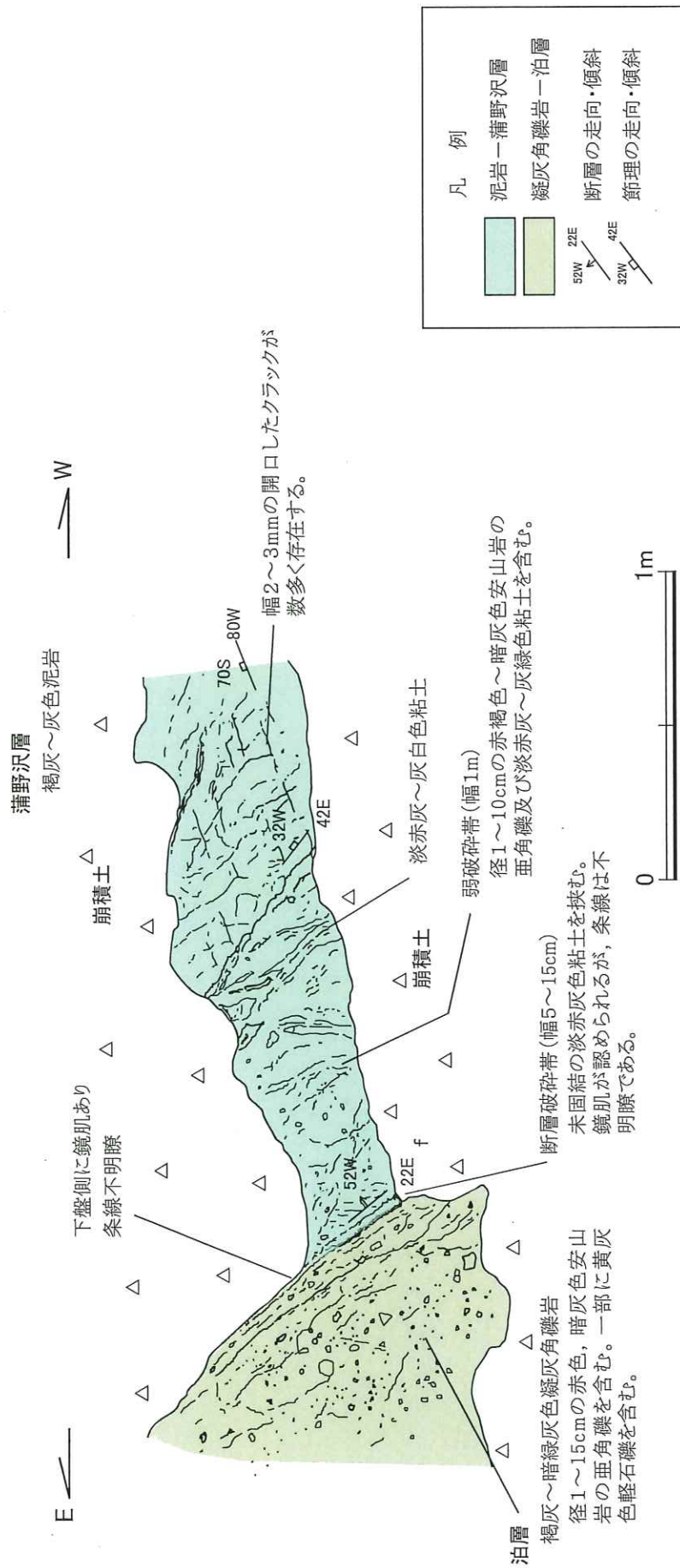
第4.2-59図 東通村李沢右岸の断層露頭スケッチ図 (H-1 露頭) 4-4-305



[小老部川右岸地質状況図]

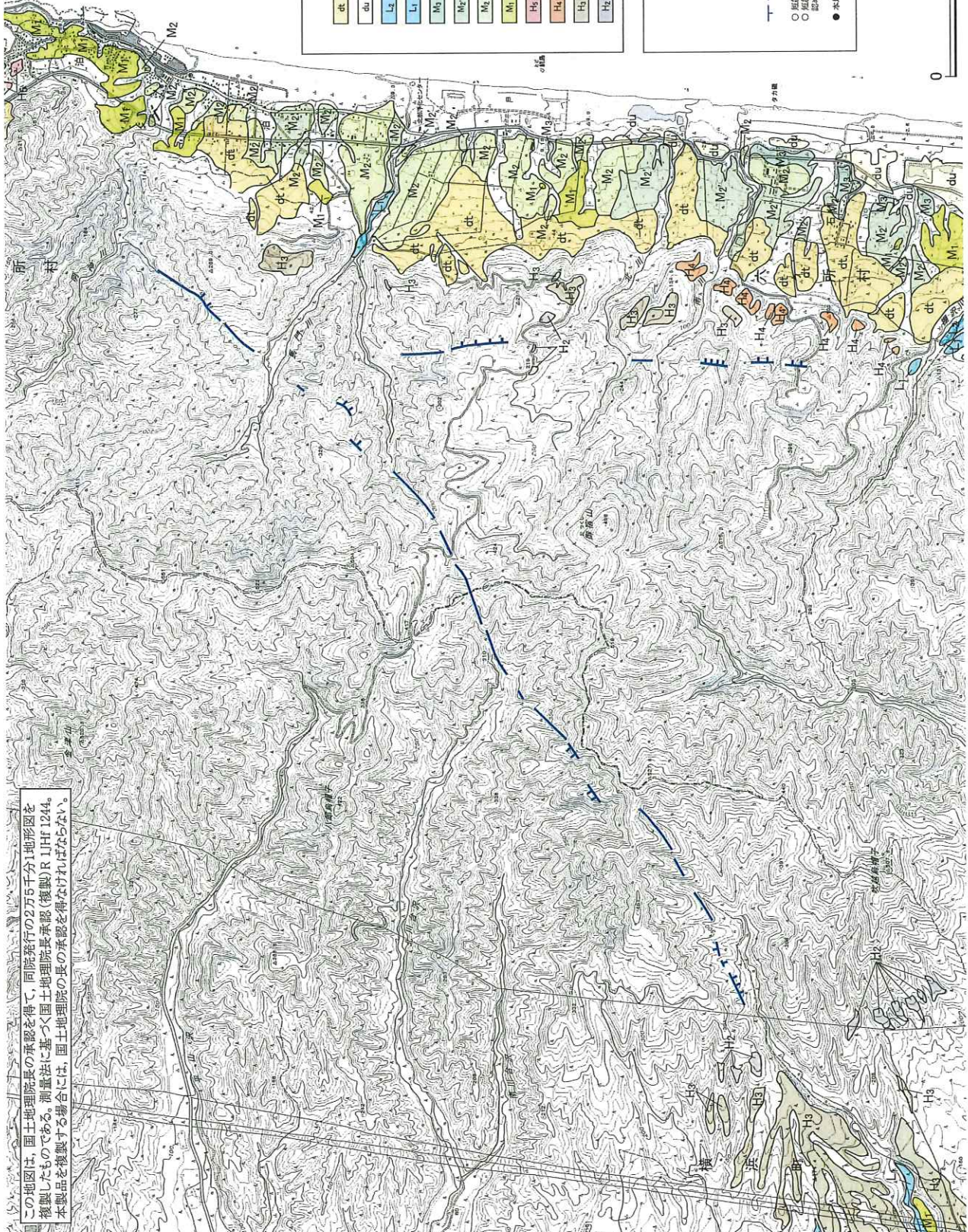
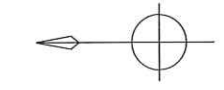
蒲野沢層の礫岩及び砂岩と泊層の凝灰角礫岩を境する断層露頭。
断層は中位段丘堆積層(M₁面堆積物)に変位を与えていない。





4-4-307

第4.2-61図 東通村老部川(北)右岸の断層露頭スケッチ図(OB-1露頭)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 1JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

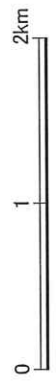
地形区分凡例

| | |
|----------------|-----|
| dt | 扇状地 |
| du | 砂丘 |
| L ₂ | 低位面 |
| L ₁ | |
| M ₃ | 中位面 |
| M ₂ | |
| M ₂ | |
| M ₁ | |
| H ₅ | 高位面 |
| H ₄ | |
| H ₃ | |
| H ₂ | |

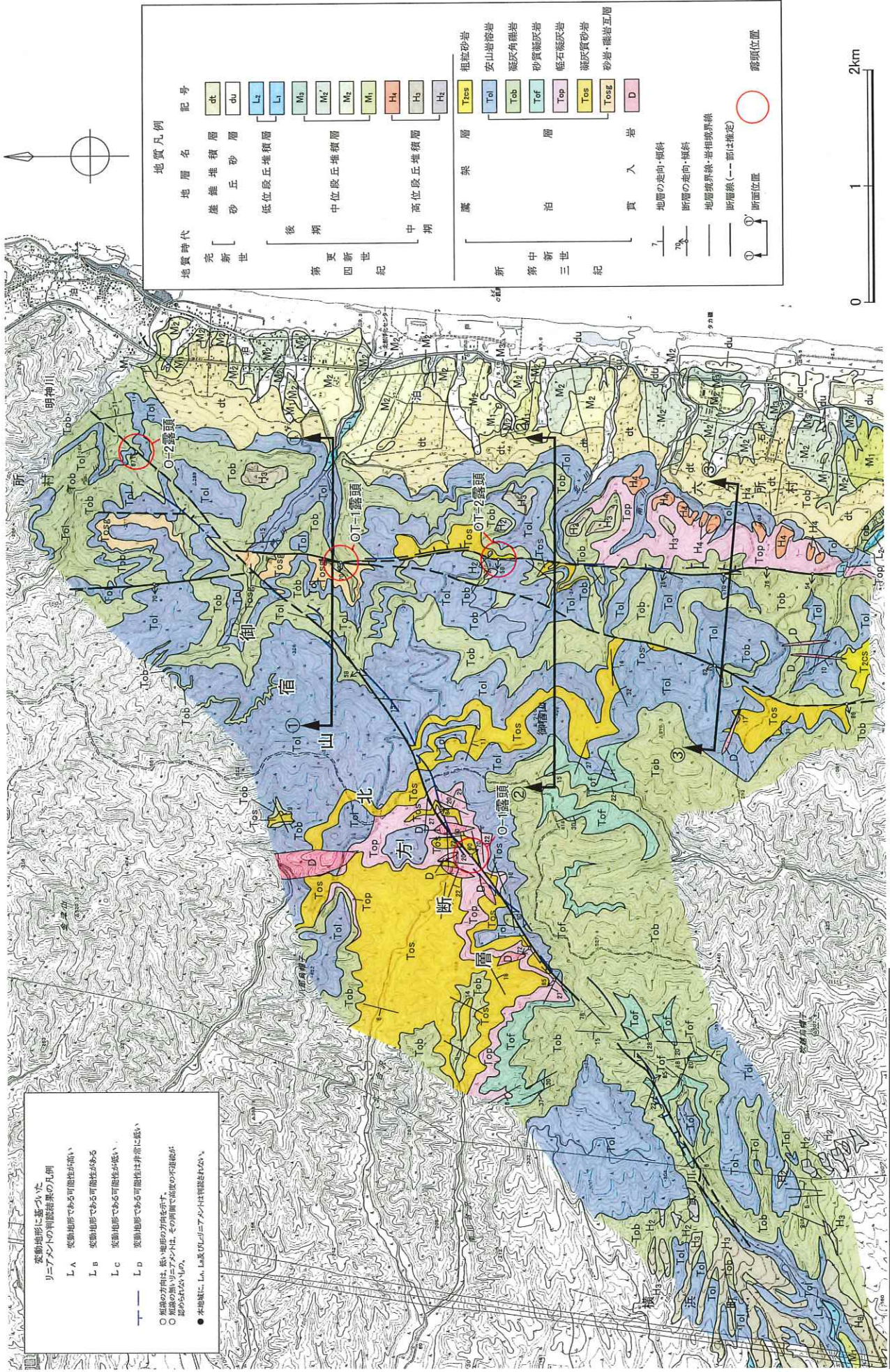
変動地形に基づいた
リアメントの判読結果の凡例

- L_A 変動地形である可能性が高い
- L_B 変動地形である可能性がある
- L_C 変動地形である可能性が低い
- L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○ 経緯の方向は、低い地形の方向を示す
○ リアメントは、その判読で図の不連続性が認められないもの。
● 本地図に、L_A、L_B、L_C、L_Dは判読されない。



第4.2-62図 御宿山周辺の空中写真判読図
4-4-308



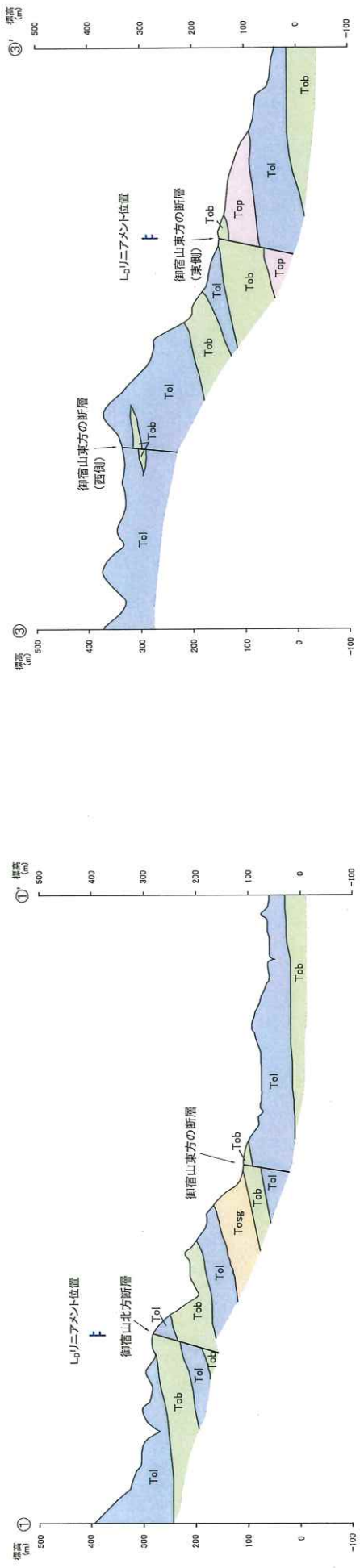
| 地質時代 | 地層名 | 記号 | 地質凡例 |
|---------|----------------|-----------------|---------|
| 完新世 | 沖積堆積層 | dt | 沖積堆積層 |
| | 砂丘砂層 | du | 砂丘砂層 |
| 第四紀 | 低位段丘陵積層 | L ₁ | 低位段丘陵積層 |
| | | L ₂ | 低位段丘陵積層 |
| | 中段丘陵積層 | M ₁ | 中段丘陵積層 |
| | | M ₂ | 中段丘陵積層 |
| 高位段丘陵積層 | H ₁ | 高位段丘陵積層 | |
| | H ₂ | 高位段丘陵積層 | |
| 新第三紀 | 鷹架層 | T _{es} | 粗粒砂岩 |
| | | T _{ol} | 安山岩凝岩 |
| | | T _{ob} | 凝灰角礫岩 |
| | 泊層 | T _{of} | 砂質凝灰岩 |
| | | T _{op} | 凝灰凝灰岩 |
| | | T _{os} | 凝灰質砂岩 |
| | | T _{og} | 砂岩・凝岩互層 |
| | 貫入岩 | D | 貫入岩 |
| | | | |
| | | | |



第4.2-63図 御宿山周辺の地質平面図 4-4-309

変動地形に基づいた
 リニアメントの判読結果の凡例
 L A 変動地形である可能性が高い
 L B 変動地形である可能性がある
 L C 変動地形である可能性が低い
 L D 変動地形である可能性は非常に低い
 — 断層の走向は、低い地形の方向を示す。
 ○ 断層の無いリニアメントは、その両側で流線の不連続性が認められないもの。
 ● 本図に、L A, L B及びリニアメントは判読されず。

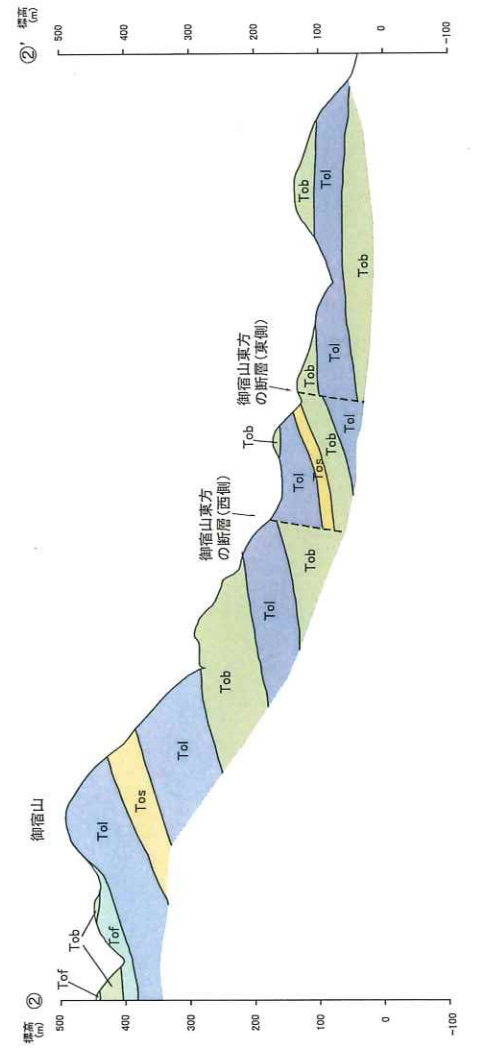
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 11HF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



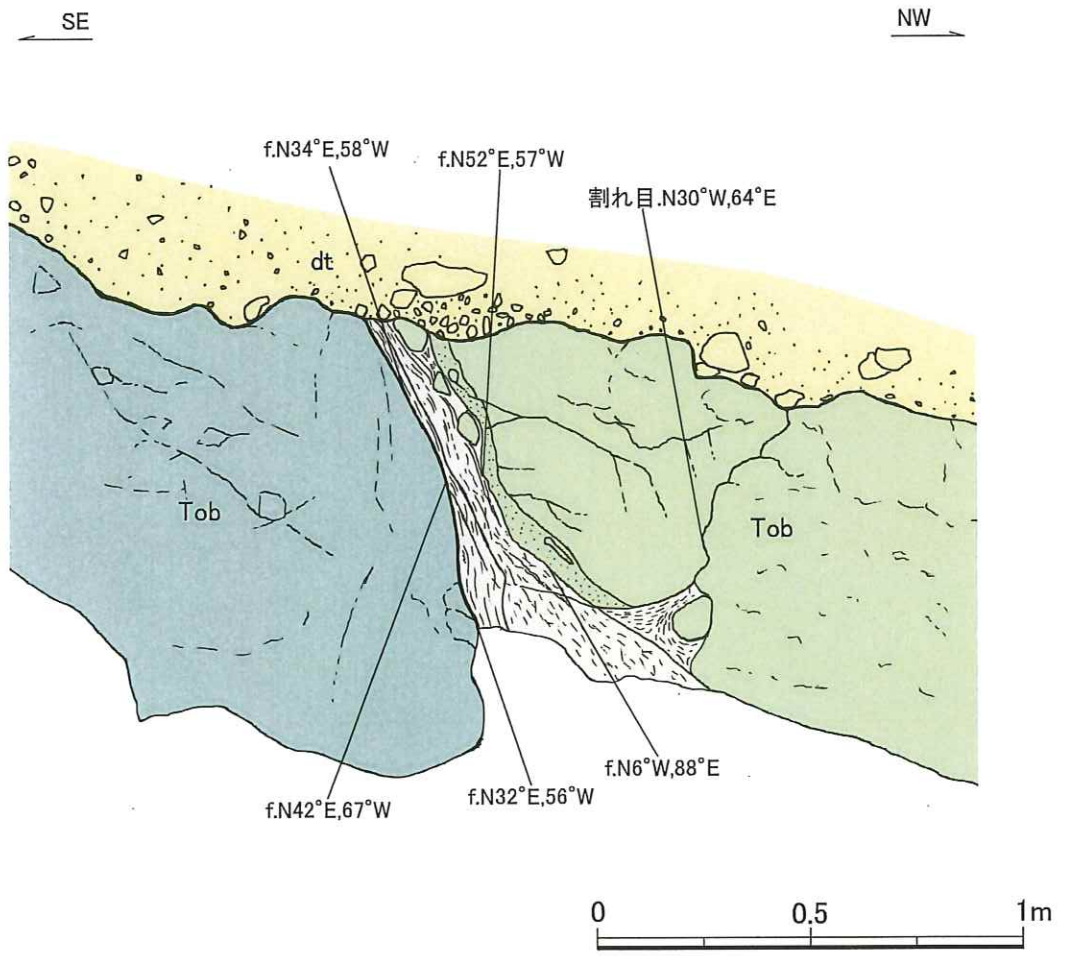
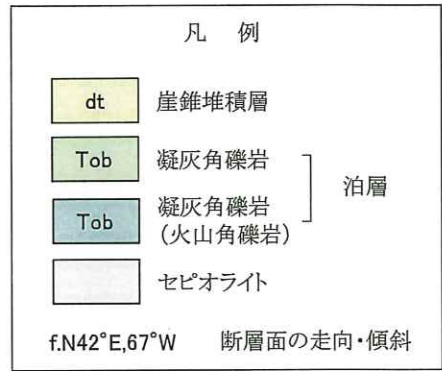
| 地質時代 | 地層名 | 記号 |
|------------------|-----|------|
| 新 第 三 紀 | 油 | Tol |
| | | Tob |
| 紀 | | Tof |
| | | Top |
| | | Tos |
| | | Tosg |

| 地質凡例 | 地層名 | 記号 |
|------|---------|------|
| | 安山岩溶岩 | Tol |
| | 凝灰角礫岩 | Tob |
| | 砂質凝灰岩 | Tof |
| | 礫石凝灰岩 | Top |
| | 凝灰質砂岩 | Tos |
| | 砂岩・凝岩互層 | Tosg |

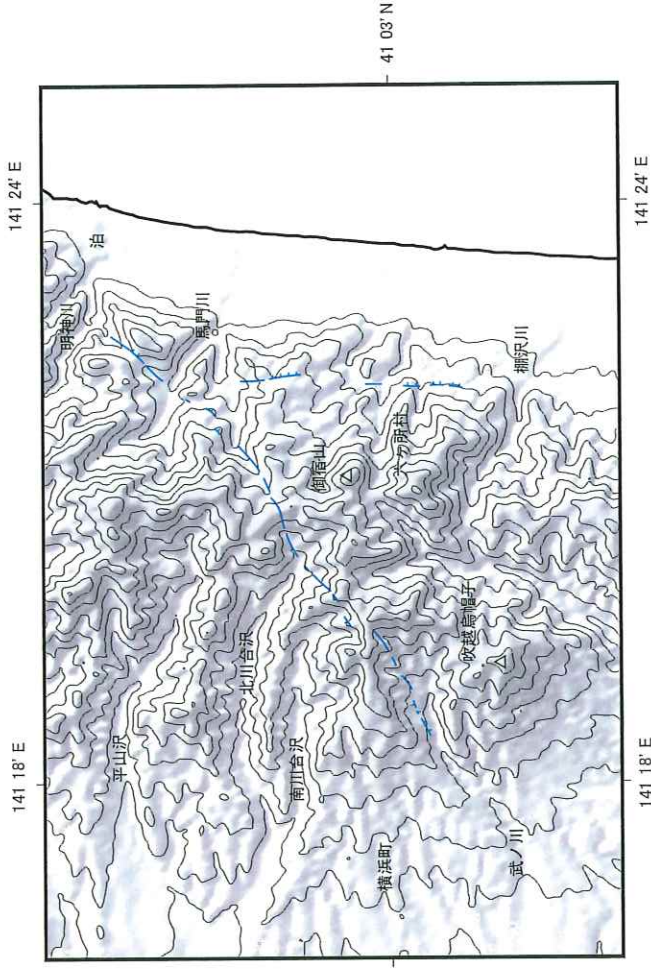
| 地質凡例 | 記号 |
|--------------|-----|
| 断層線 (一部は推定) | --- |
| 岩相境界線 | --- |
| Loro Niament | --- |



第4.2-64図 御宿山周辺の地質断面図
4-4-310

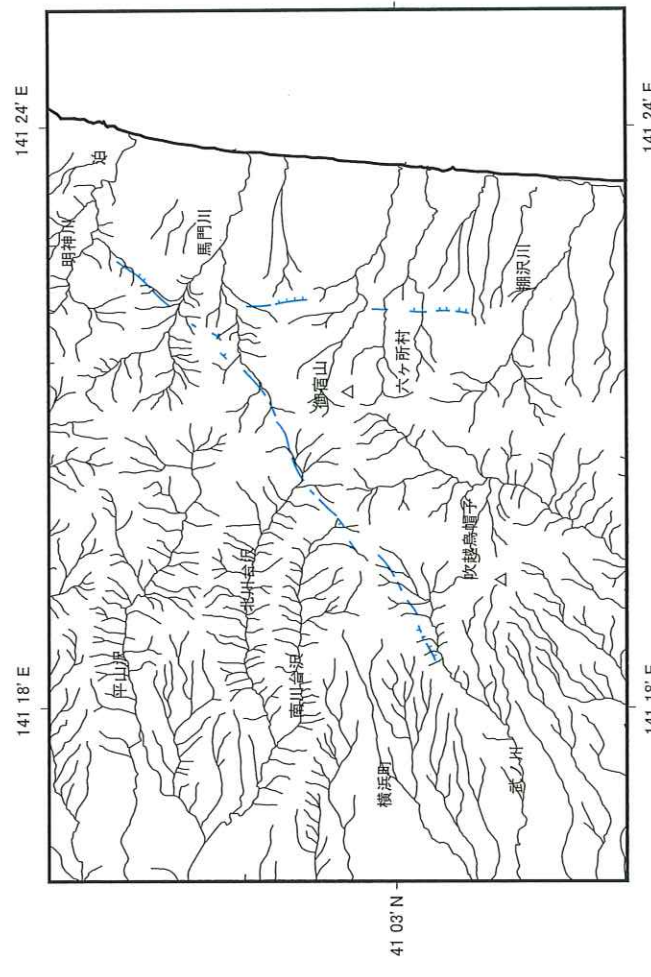


第4.2-65図(2) 御宿山北方の断層露頭スケッチ図 (O-2露頭)



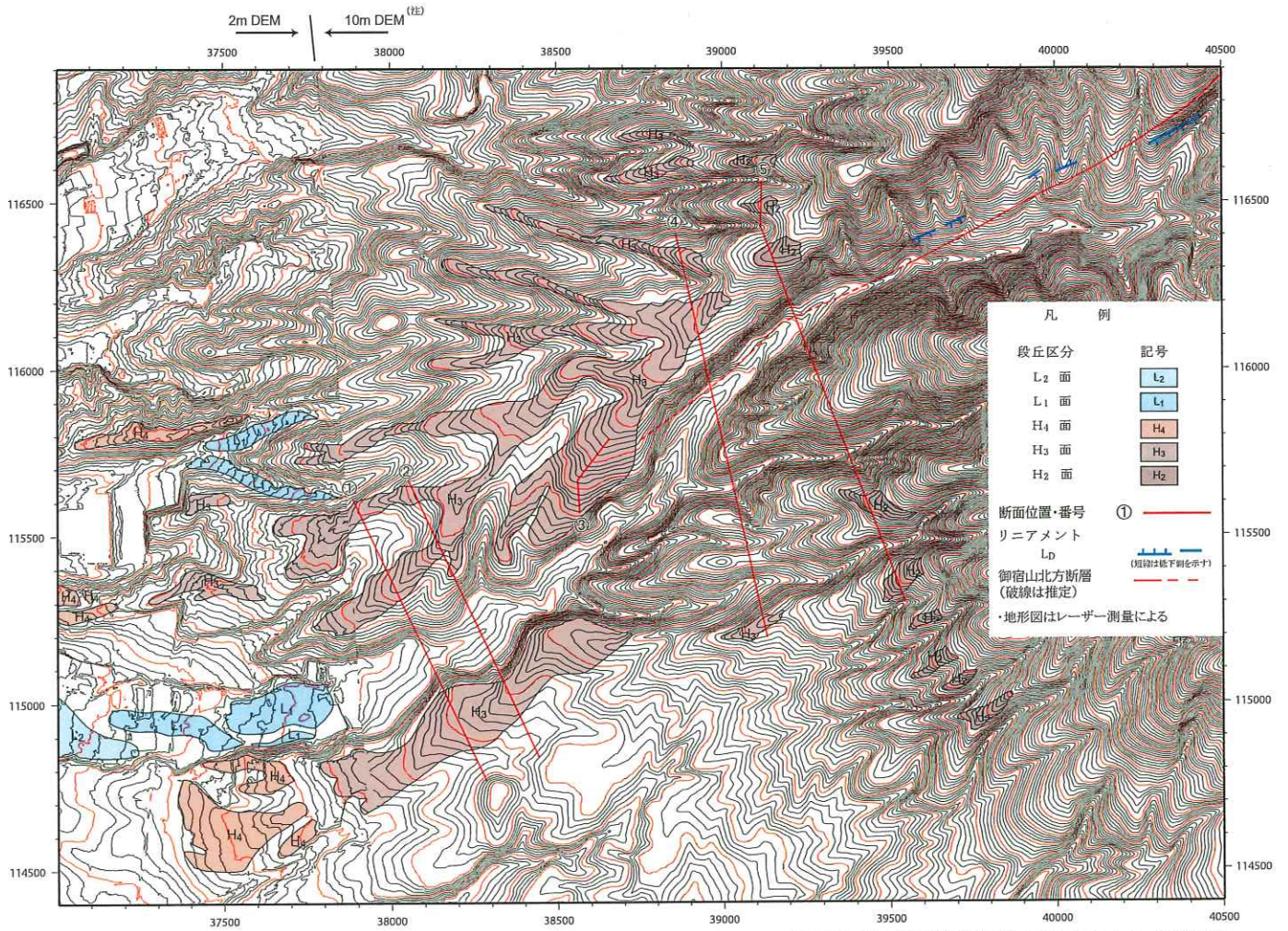
接峰面図

※本陰影図は国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を用いて作成した。

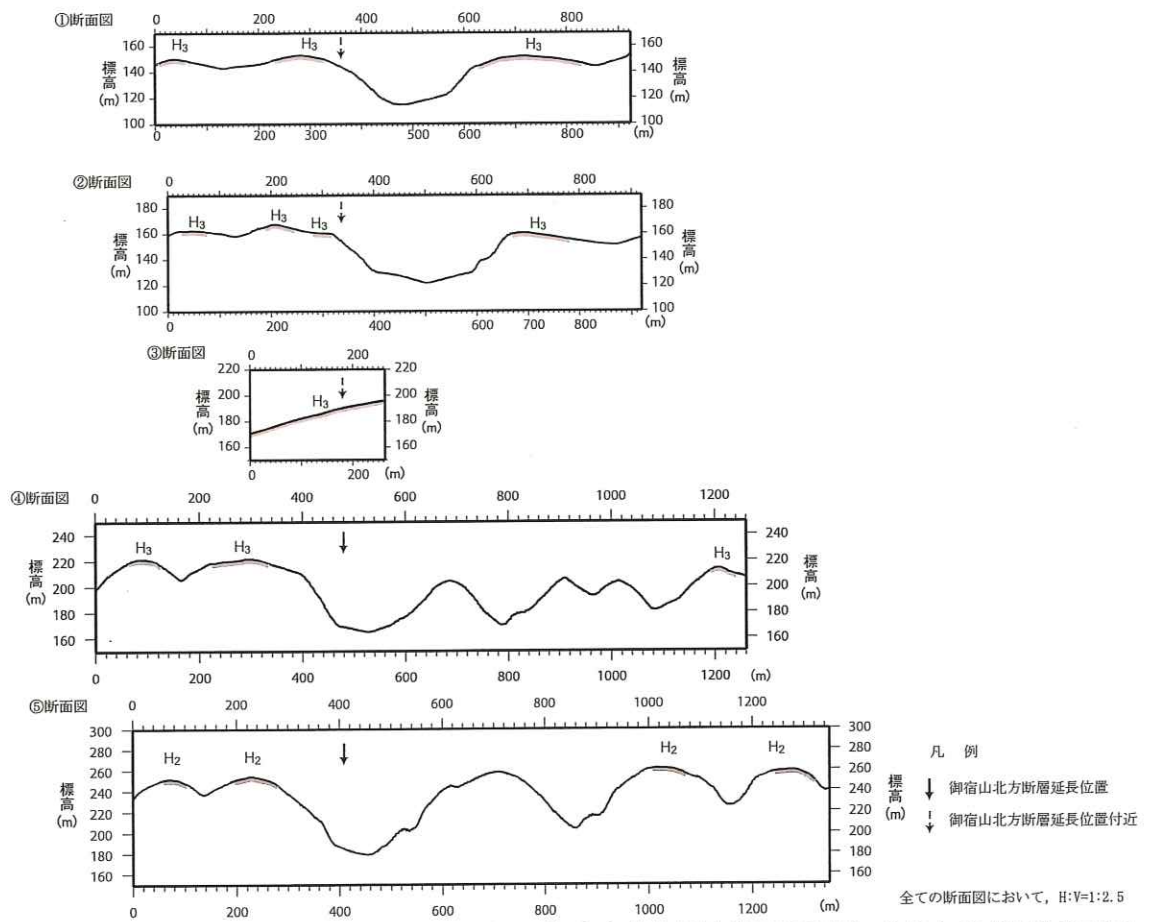


水系図

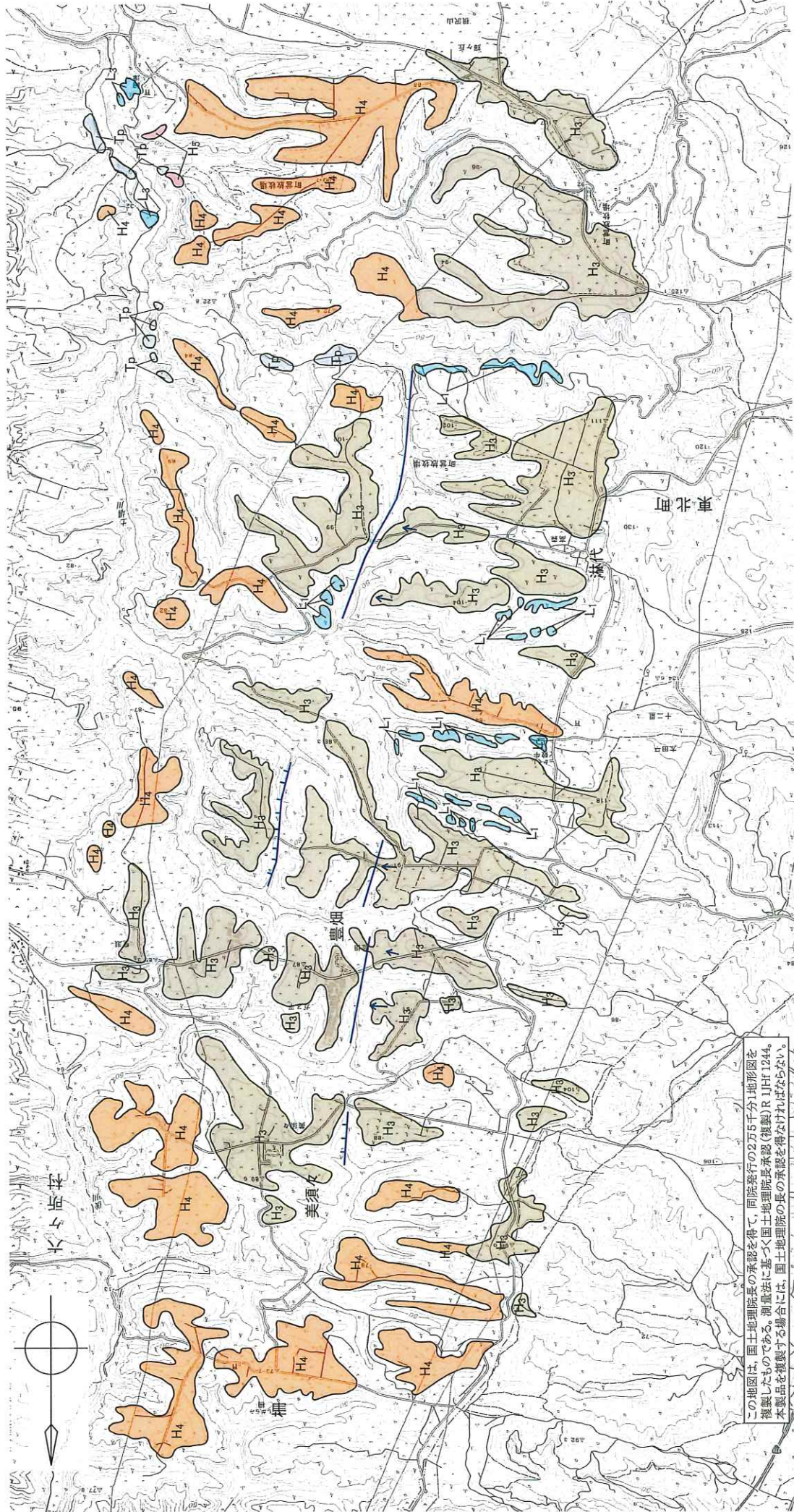
— — — — — Ldリアメント



(注) 国土地理院 基礎地図情報(数値標高モデル)の10mメッシュ(標高)を使用



第4.2-67図 御宿山北方断層南西延長部に分布する高位段丘面図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R11H11244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

地形面区分凡例

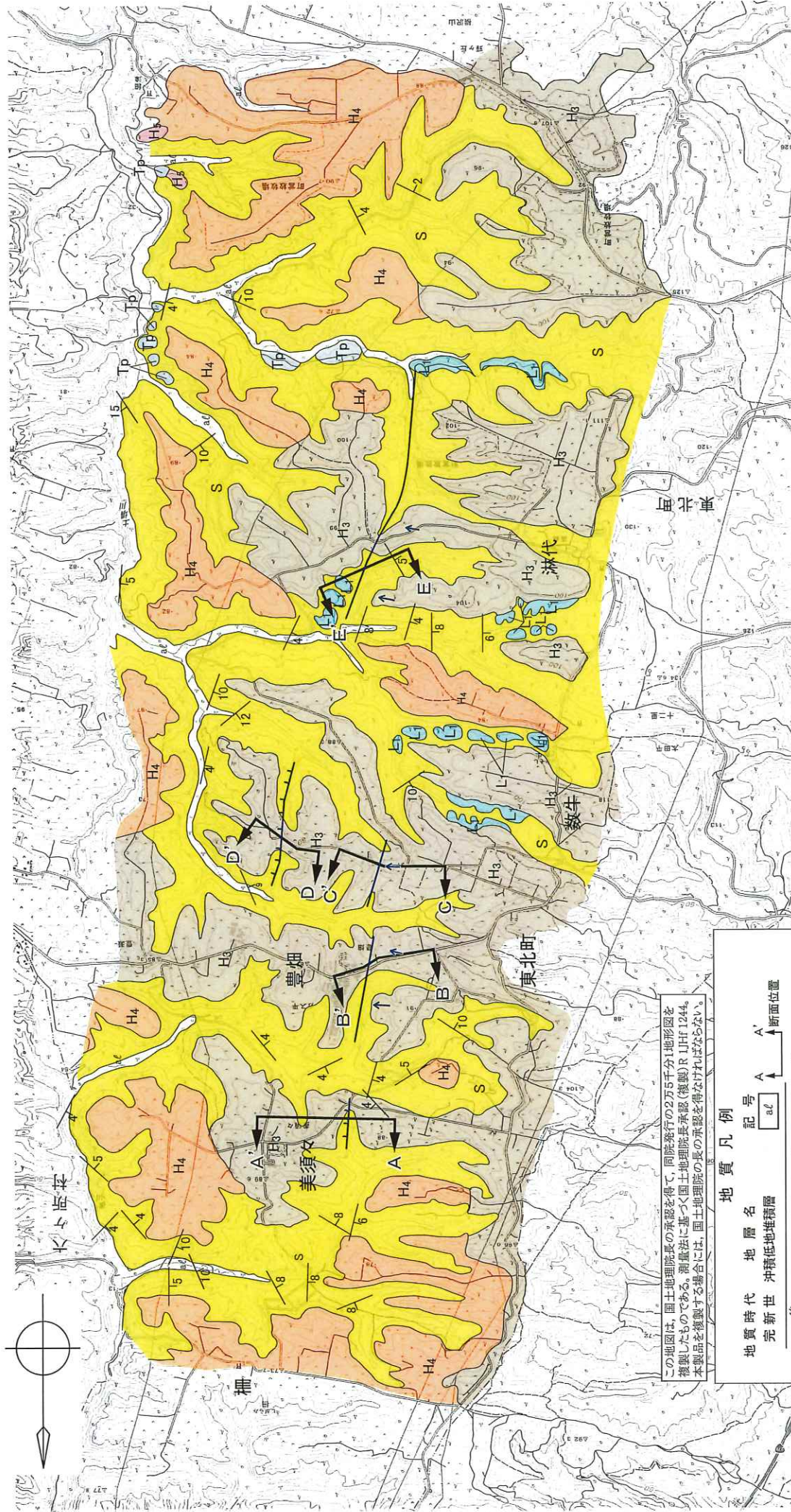
| | |
|----|-----------------|
| Tp | 十和田火山軽石流堆積物の堆積面 |
| L3 | 低位面 |
| L1 | |
| H5 | 高位面 |
| H4 | |
| H3 | |

変動地形に基づいた リニアメントの判読結果の凡例

L_A 変動地形である可能性が高い
 L_B 変動地形である可能性がある
 L_C 変動地形である可能性が低い
 L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○ 傾斜の方向は、低い地形の方向を示す。
 ○ 傾斜の無いリニアメントは、その傾斜で高さの不連続が認められないもの。
 ↓ ↓ 段丘面上の急傾斜部、矢印の方向は傾斜方向を示す。
 ● 本地域に L_A、L_B 及び L_D リニアメントは判読されない。

第4.2-68図 東北町林代東方周辺の空中写真判読図
4-4-315



変動地形に基づいた
リアメントの判読結果の凡例

- L_A 変動地形である可能性が高い
- L_B 変動地形である可能性がある
- L_C 変動地形である可能性が低い
- L_D 変動地形である可能性は非常に低い

— 短線の方向は、低い地形の方向を示す。
○ 短線の無いリアメントは、その両側で高度の不連続が認められないもの。
↓ 段丘面上の急傾斜部。矢印の方向は傾斜方向を示す。
● 本地域に L_A, L_B 及び L_C リアメントは判読されない。

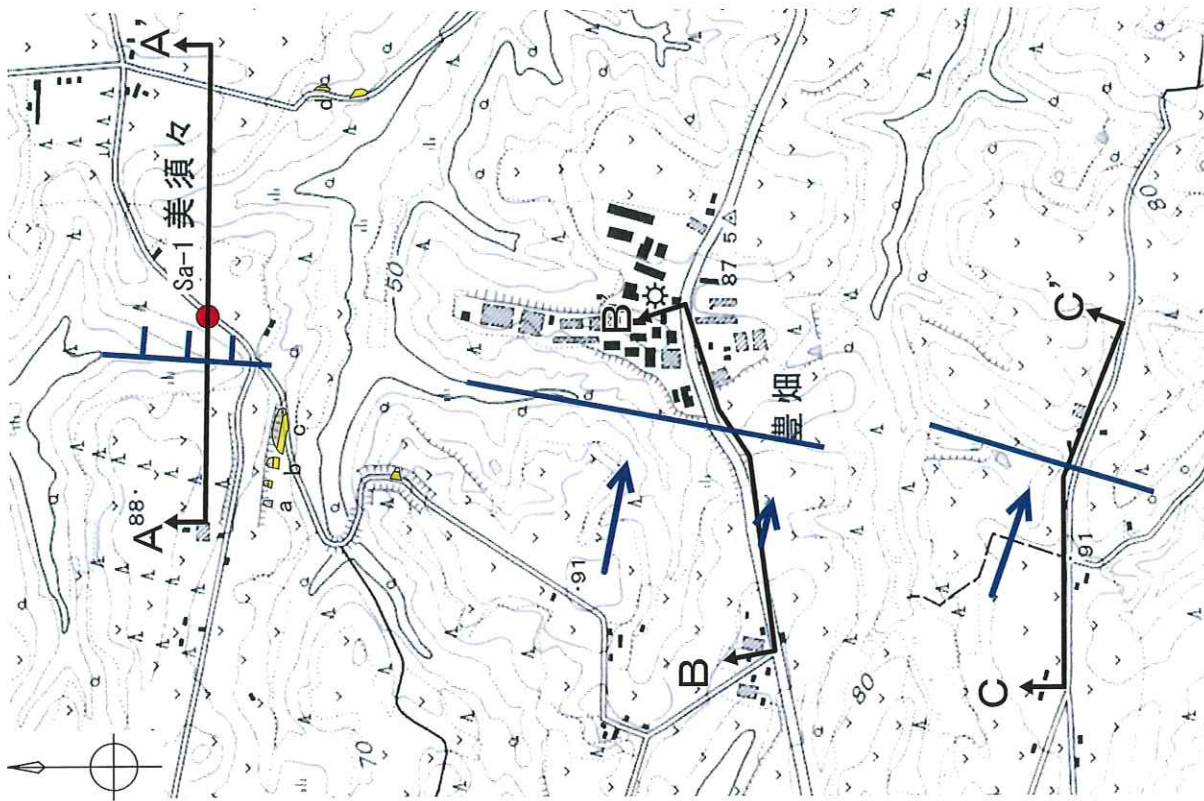
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 11H1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

| 地質時代 | 地層名 | 記号 | A | A' | 断面位置 |
|------|-------------|----------------|---|----|------|
| 更新世 | 沖積低地堆積層 | al | | | |
| | 十和田火山軽石流堆積物 | Tp | | | |
| 第四紀 | 低位段丘堆積層 | L ₁ | | | |
| | 高位段丘堆積層 | H ₅ | | | |
| | | H ₄ | | | |
| 鮮新世 | 砂子又層 | H ₃ | | | |
| | | S | | | |

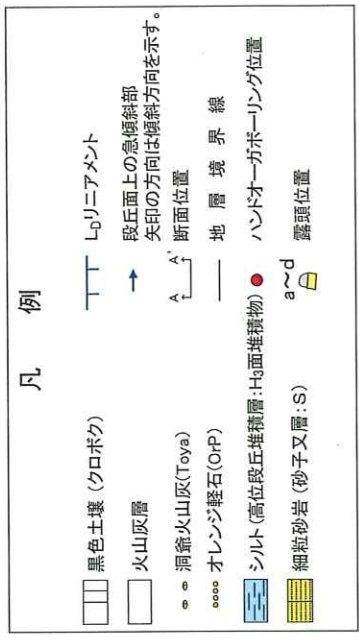
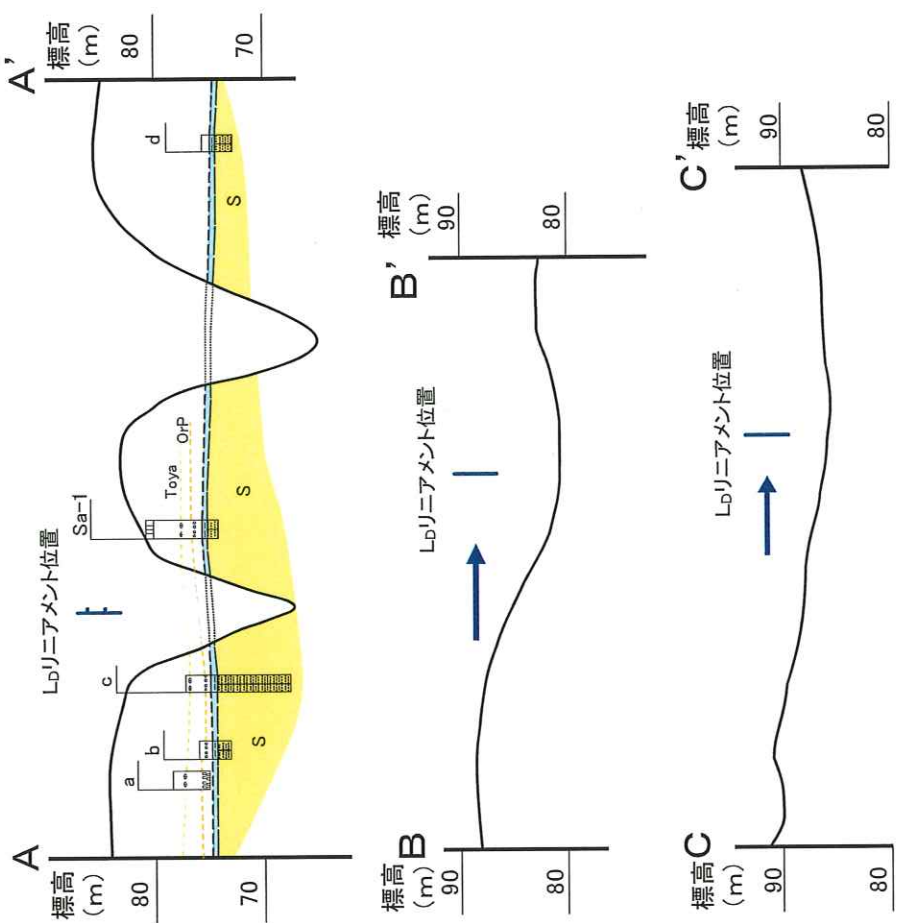
地質凡例

- 10 — 地層の走向・傾斜
- 地層境界線

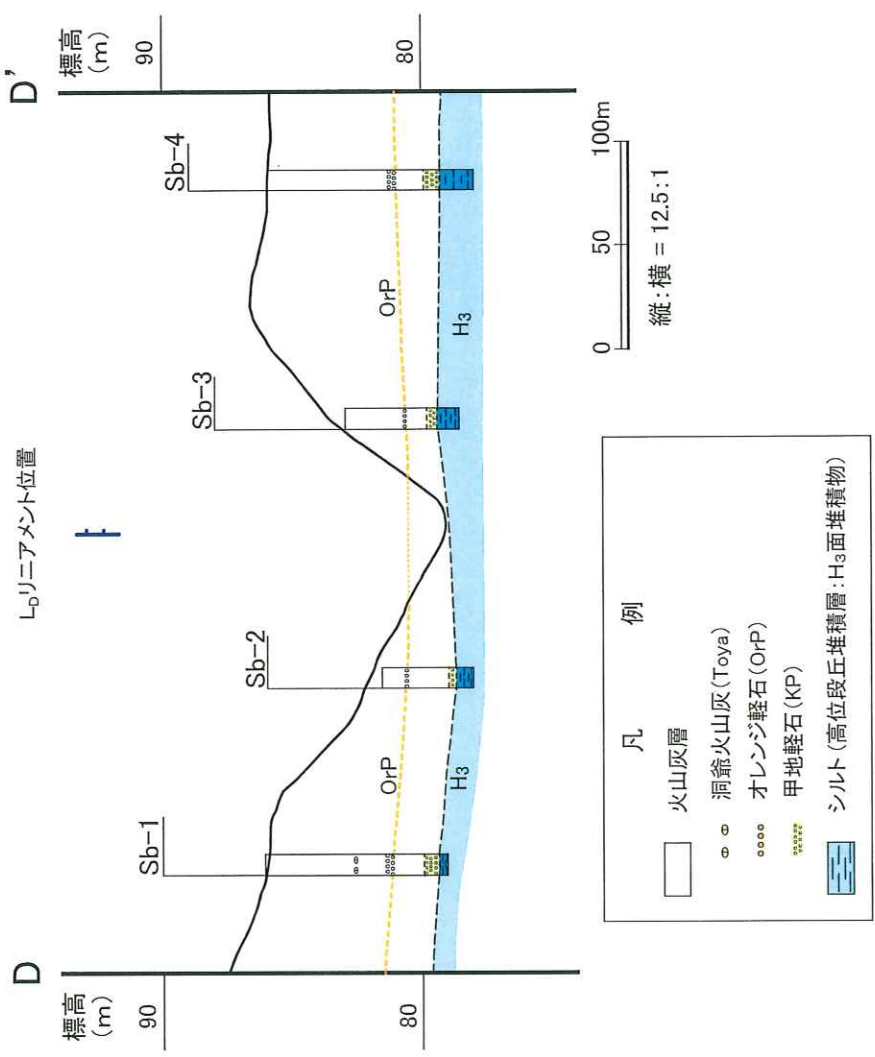
第4.2-69図 東北町北林代東方周辺の地質平面図
4-4-316



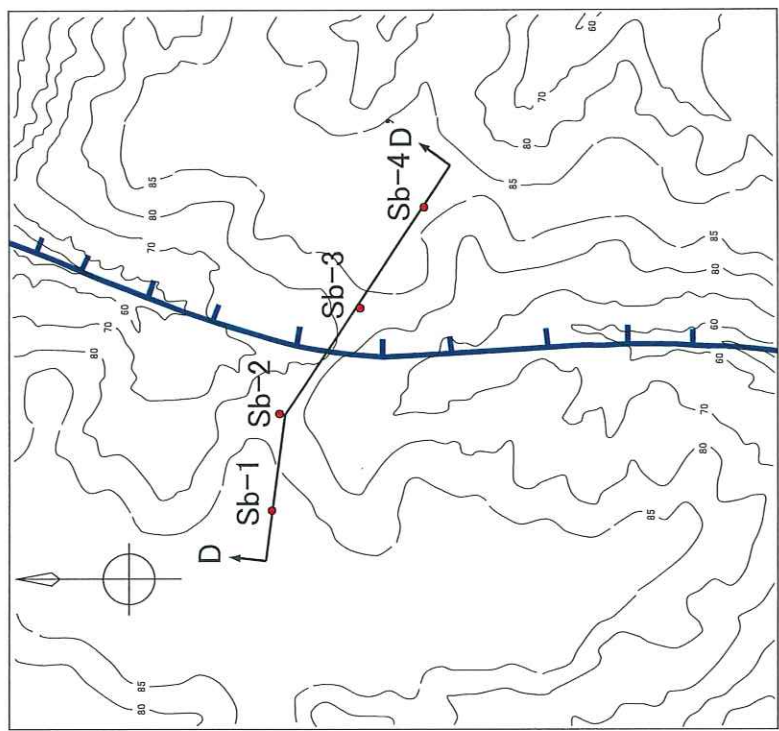
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測画法に基づく国土地理院長承認(複製)R 11Hf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



第4.2-70図 東北町美須々周辺の柱状対比図 4-4-317

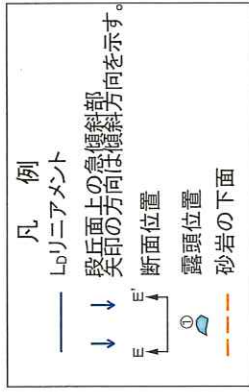
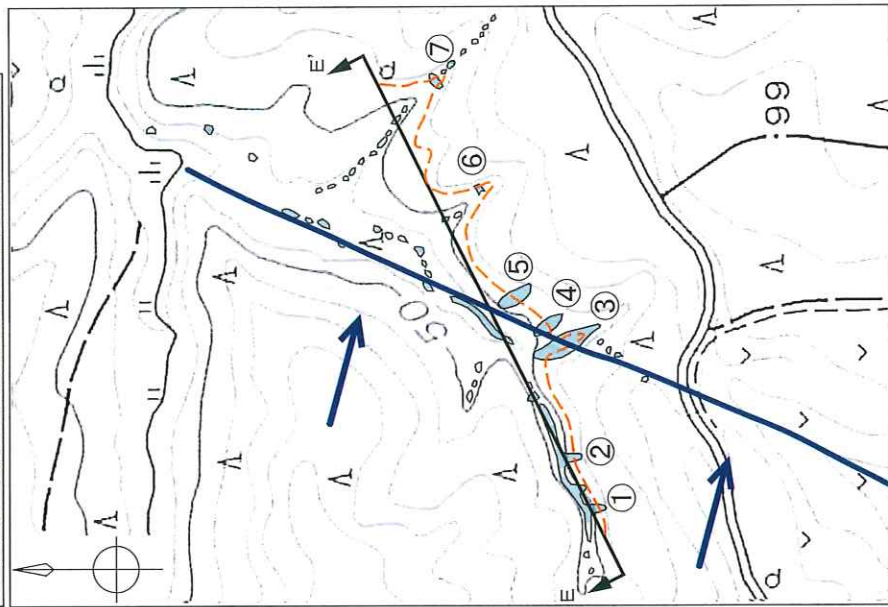


- 凡 例
- 火山灰層
 - 洞爺火山灰 (Toya)
 - オレンジ軽石 (OrP)
 - 甲地軽石 (KP)
 - シルト (高位段丘堆積層・H3面堆積物)

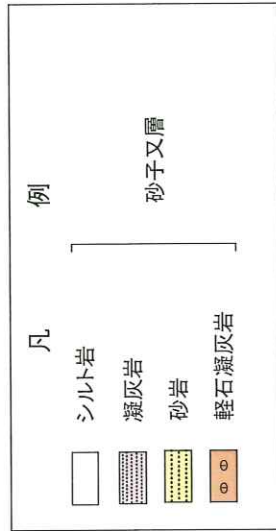
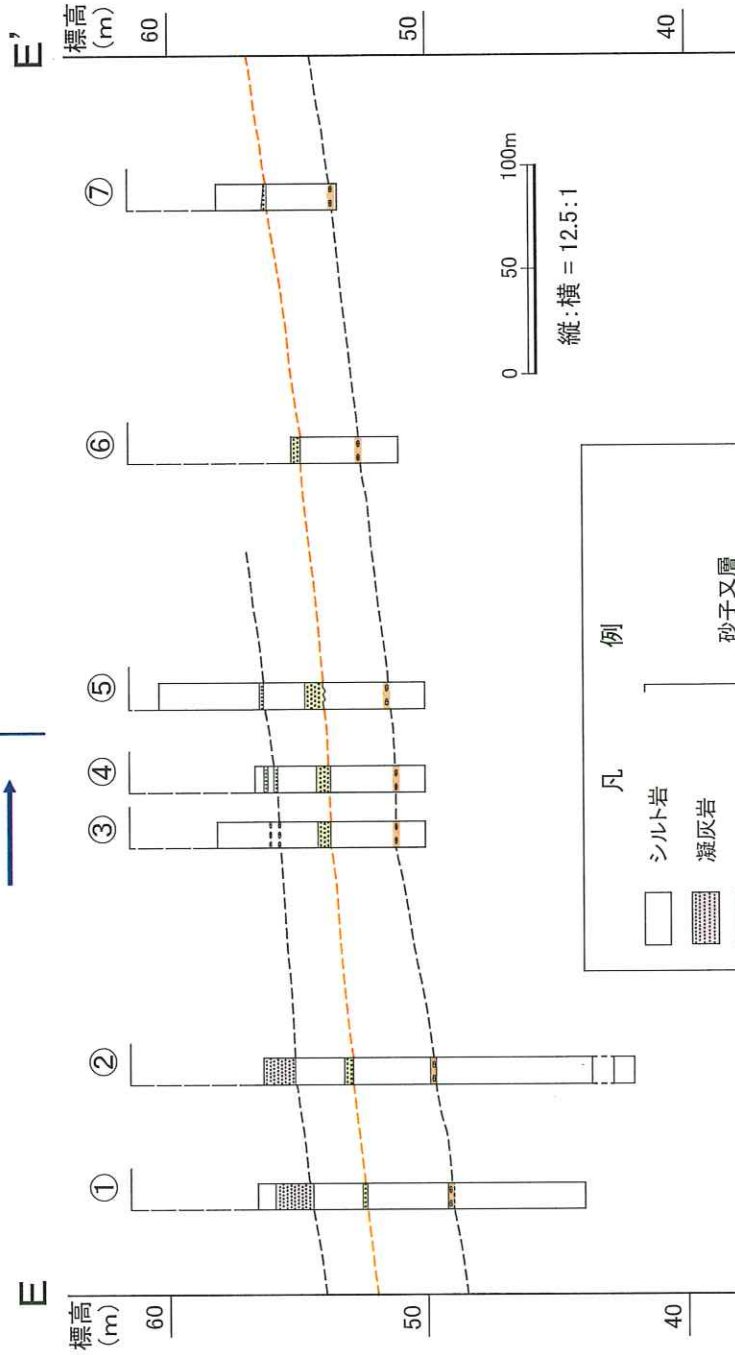


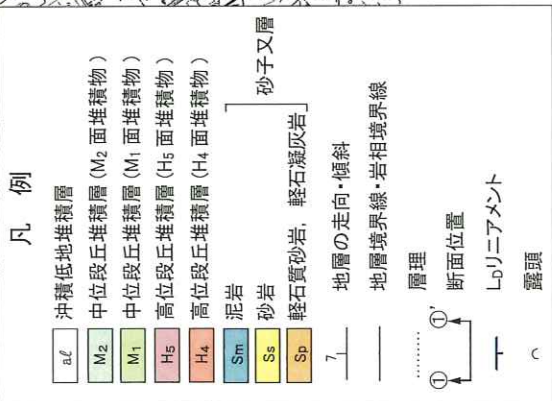
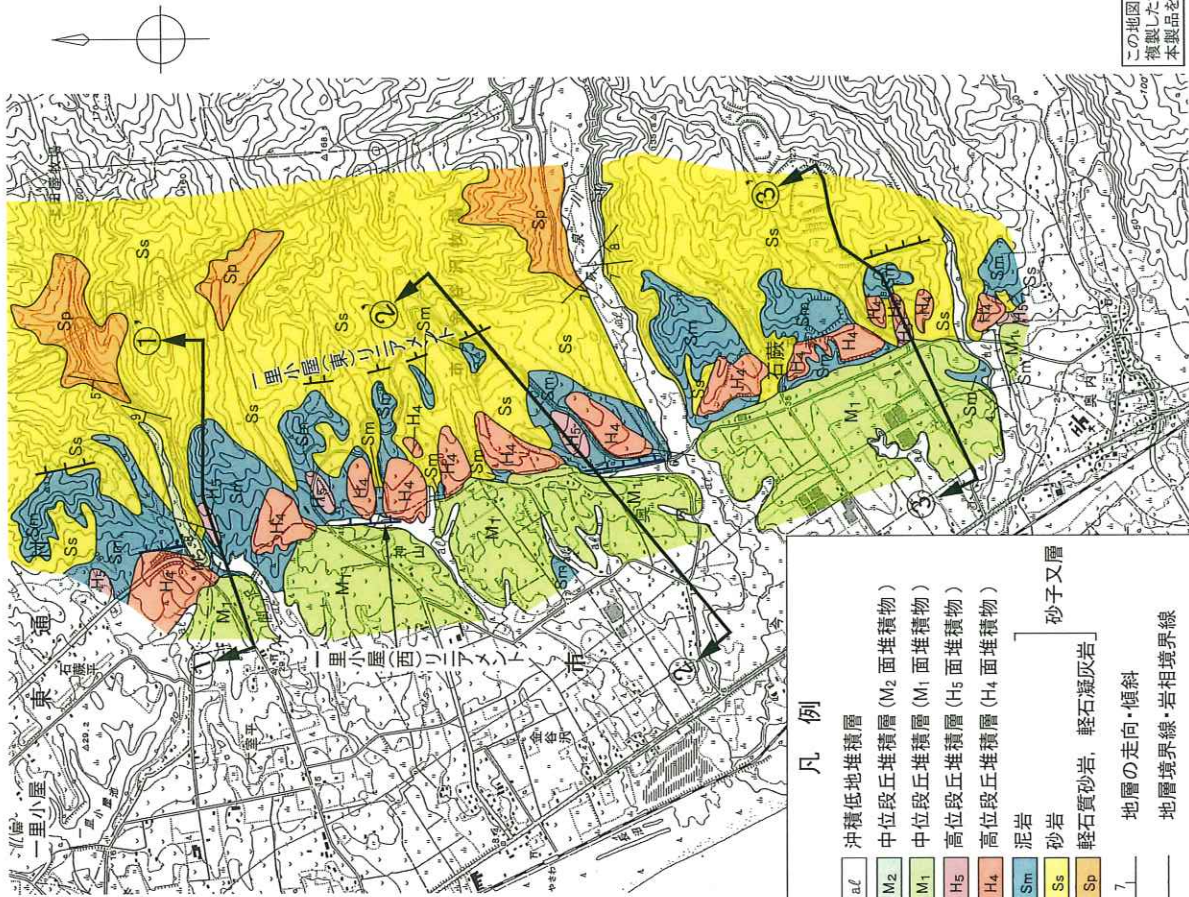
- 凡 例
- L₀リニアメント
 - 断面位置
 - ハンドオーガーボーリング位置

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHF 124。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

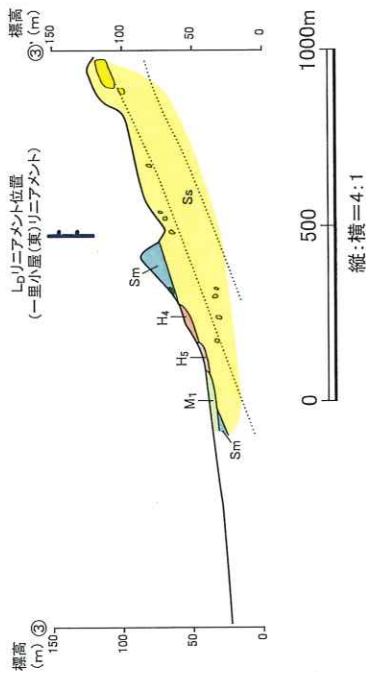
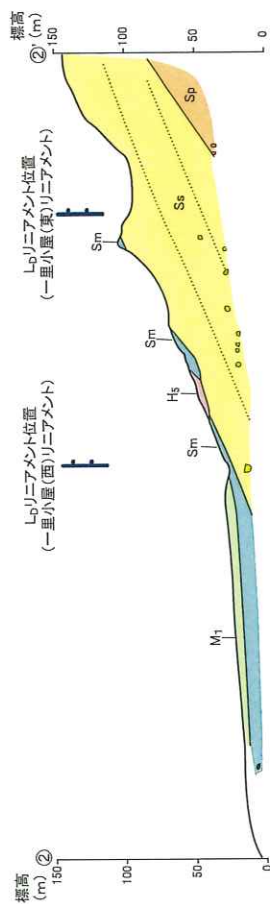
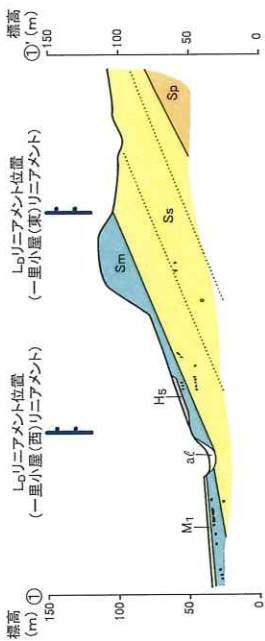


Lpリニアメント位置

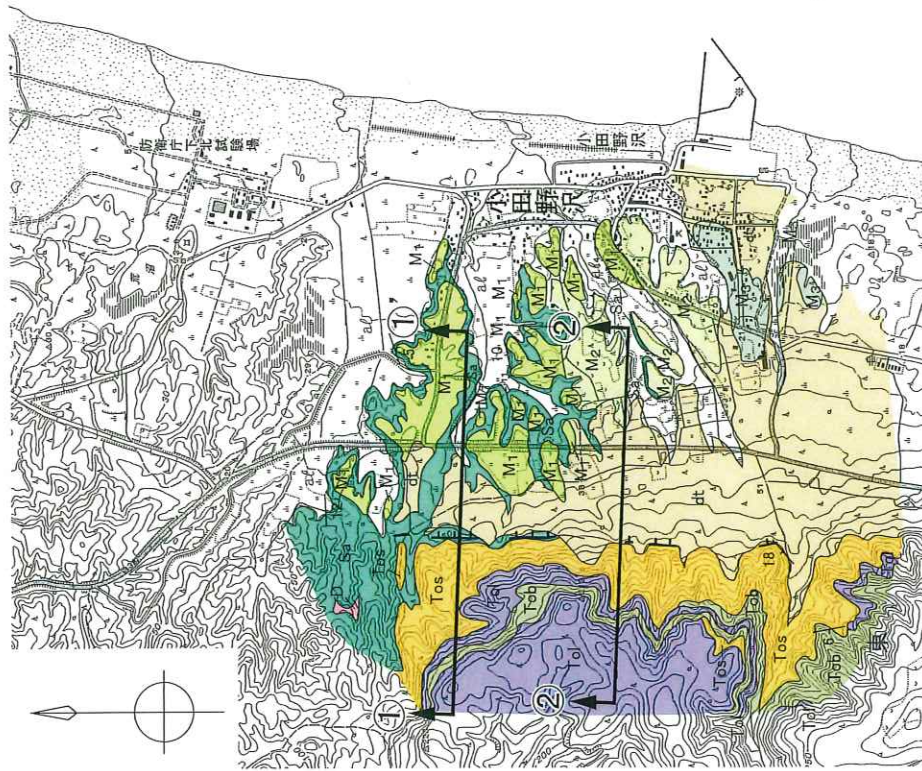




この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の2万5千分1地形図を複製したものである。測画法に基づく国土地理院長承認(複製)R 11Hif 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。



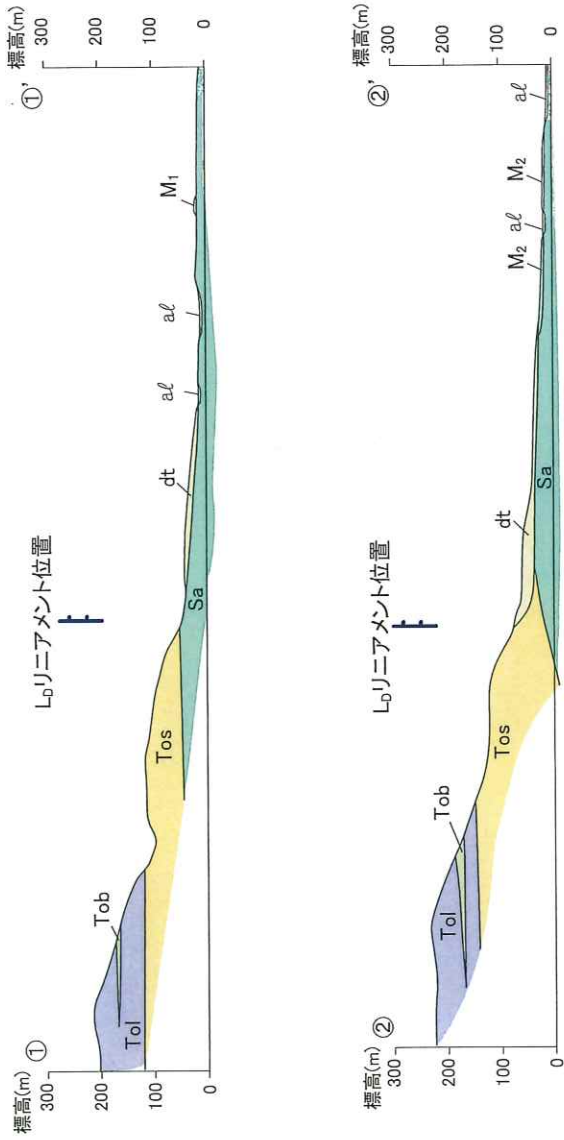
第4.2-73図 東通村一里小屋周辺の地質平面図及び地質断面図 4-4-320



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R.1JHF.1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

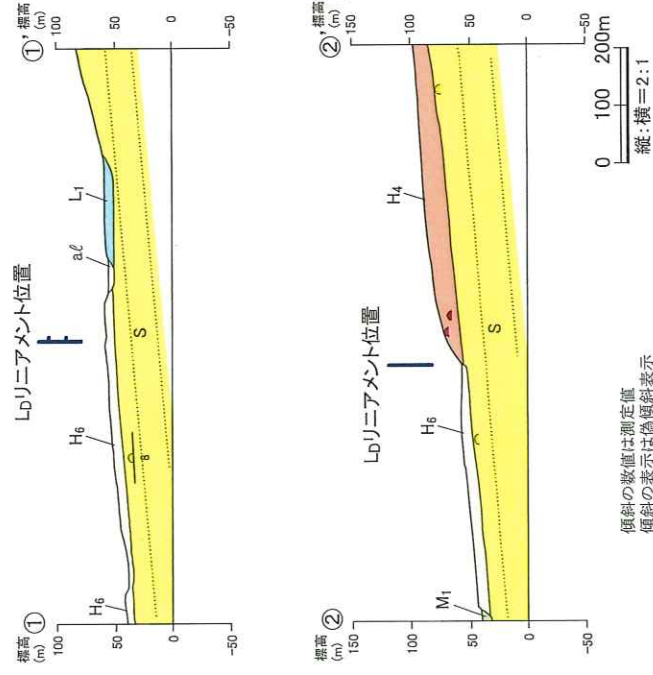
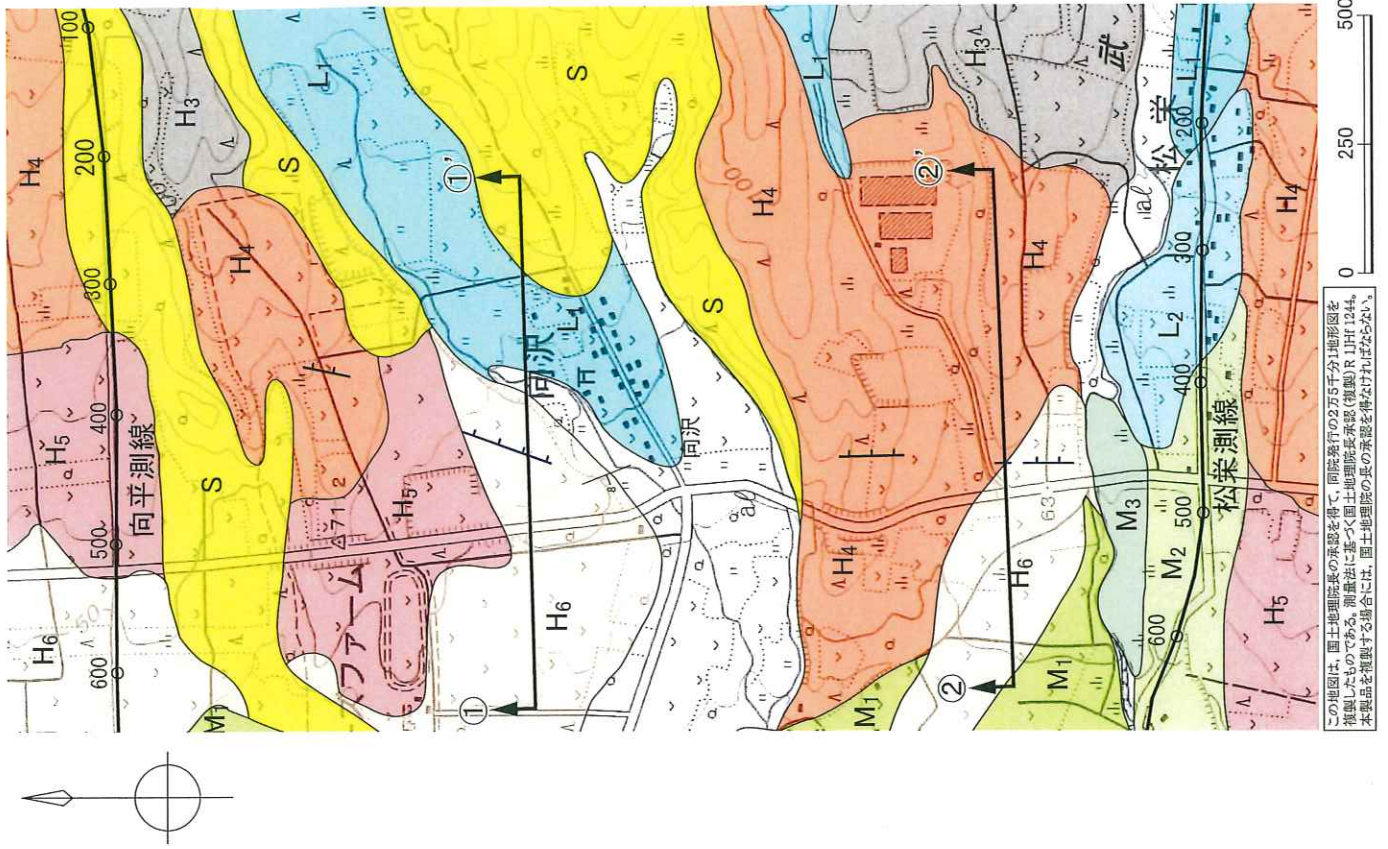


| 凡例 | |
|----|----------------|
| | 沖積低地堆積層 |
| | 崖堆積層 |
| | 中段丘堆積層(M3面堆積物) |
| | 中段丘堆積層(M2面堆積物) |
| | 中段丘堆積層(M1面堆積物) |
| | 安山岩溶岩(自破砕部を含む) |
| | 凝灰角礫岩 |
| | 凝灰質砂岩 |
| | 泥岩・砂岩 |
| | 貫入岩 |
| | 地層の走向・傾斜 |
| | 地層境界線・岩相境界線 |
| | 断面位置 |
| | L0リアメント |
| | 泊層 |
| | 猿ヶ森層 |



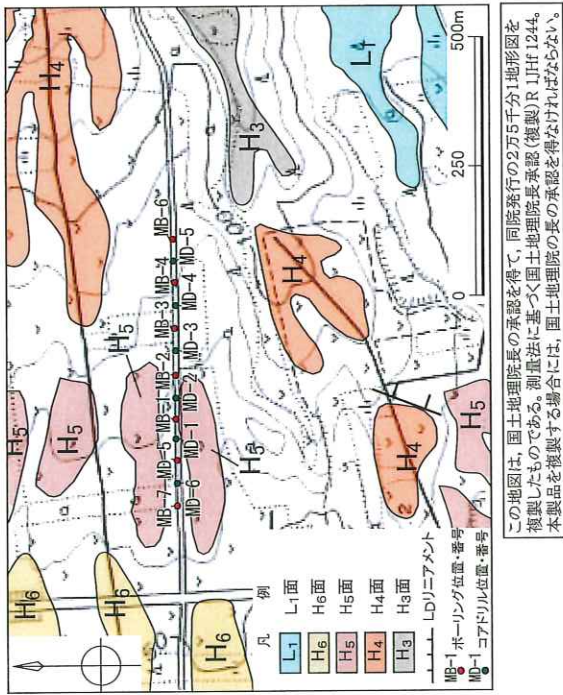
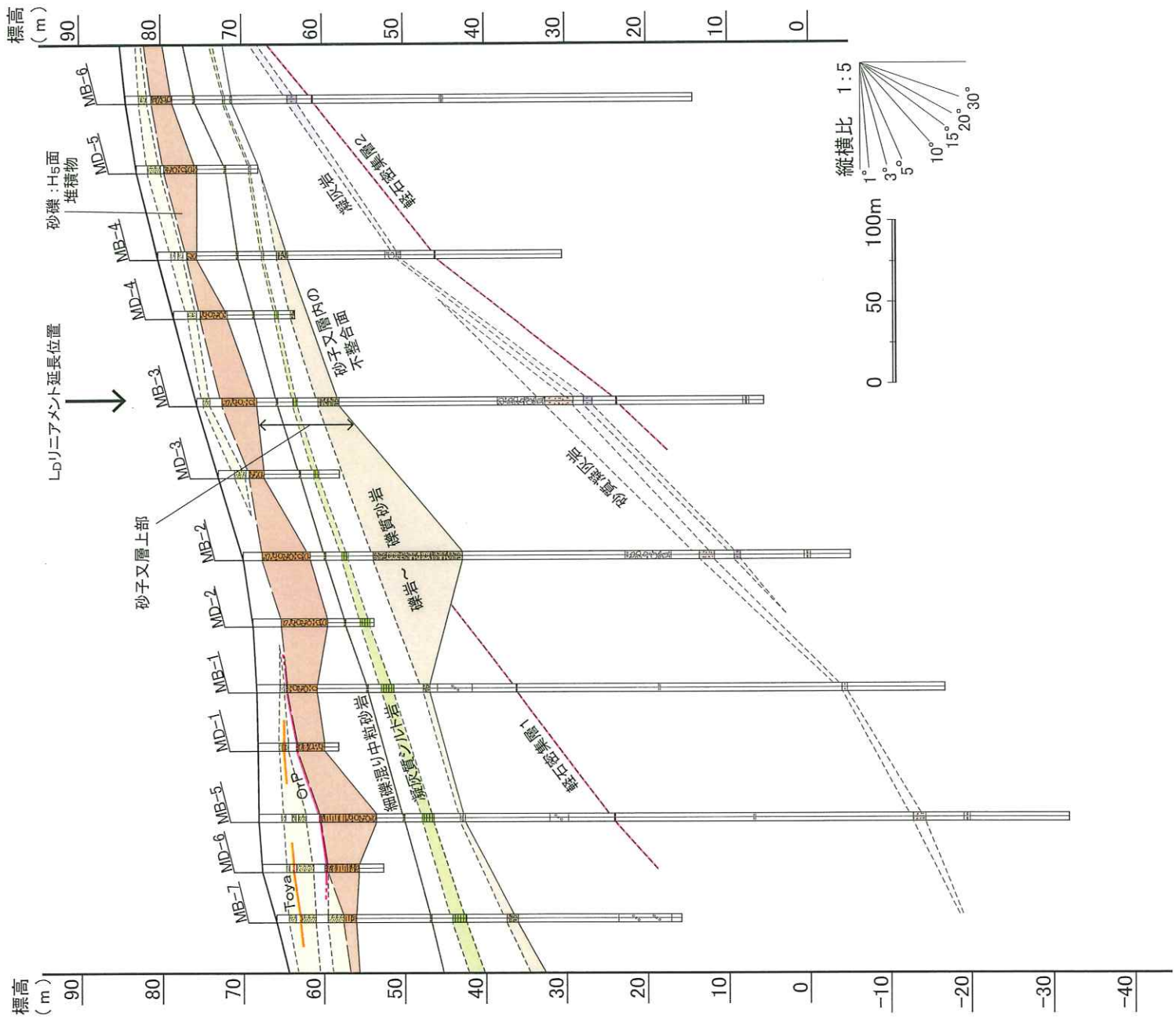
縦:横=1:1

第4.2-74図 東通村小田野沢西方周辺の地質平面図及び地質断面図
4-4-321

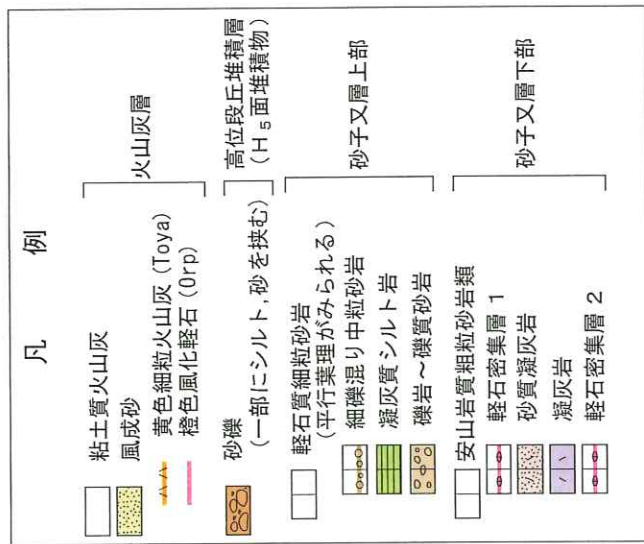


傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示

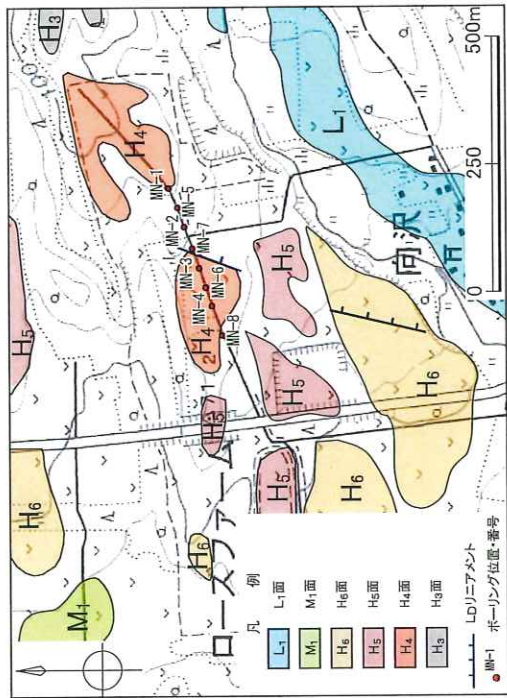
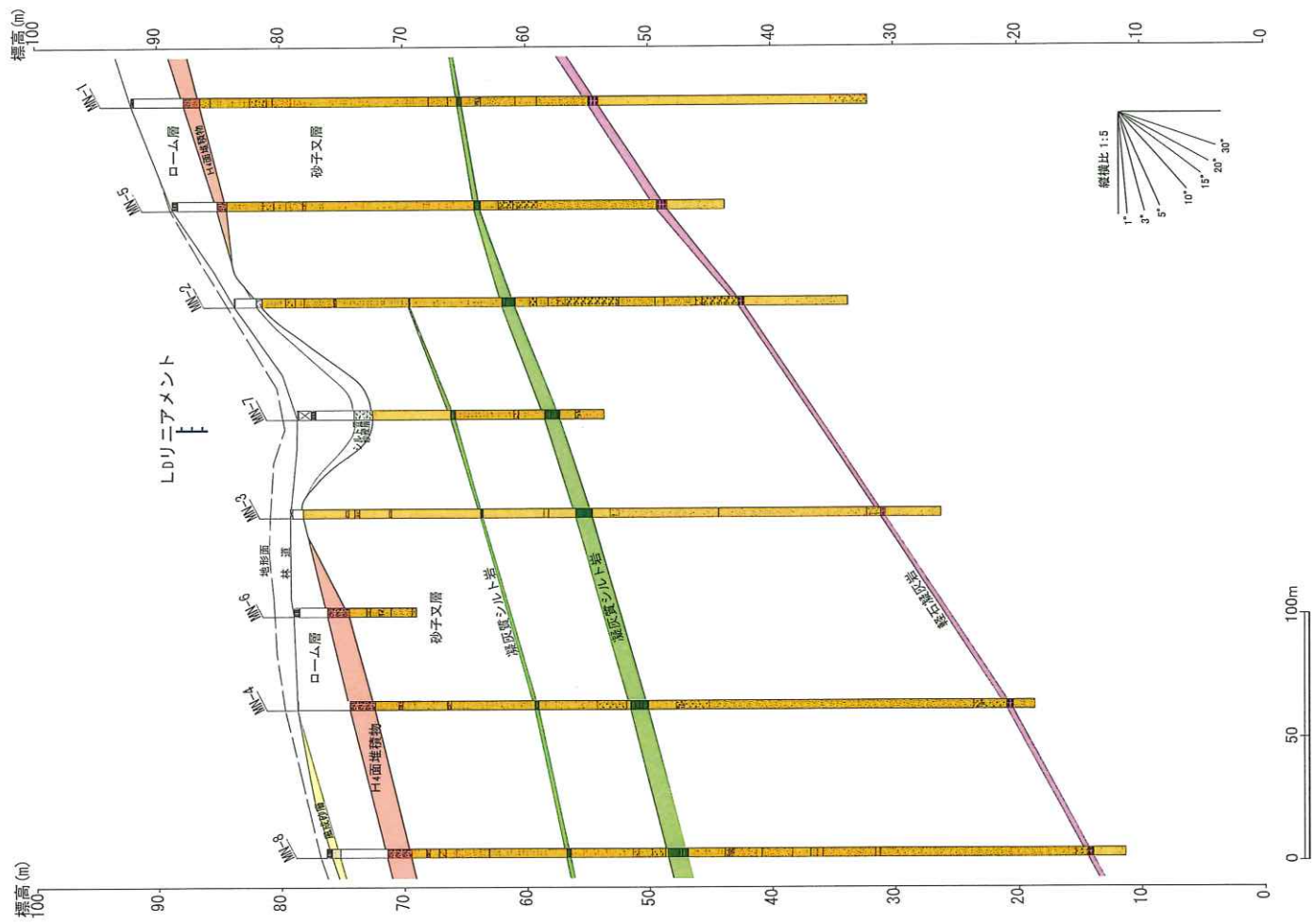
| 凡 例 | |
|-------|--------------------------|
| aL | 沖積低地堆積層 |
| L2 | 低位段丘堆積層 (L2面堆積物) |
| L1 | 低位段丘堆積層 (L1面堆積物) |
| M3 | 中位段丘堆積層 (M3面堆積物) |
| M2 | 中位段丘堆積層 (M2面堆積物) |
| M1 | 中位段丘堆積層 (M1面堆積物) |
| H6 | 高位段丘堆積層 (H6面堆積物) |
| H5 | 高位段丘堆積層 (H5面堆積物) |
| H4 | 高位段丘堆積層 (H4面堆積物) |
| H3 | 高位段丘堆積層 (H3面堆積物) |
| S | 砂子文層 |
| — | 地層の走向・傾斜 |
| — | 地層境界線 |
| | 層理 |
| ① | 断面位置 |
| ┆ | L0リニアメント |
| ∩ | 露頭 |
| 500 | 反射法地震調査測線 (数字はCMP NO) |



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測重法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JH1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



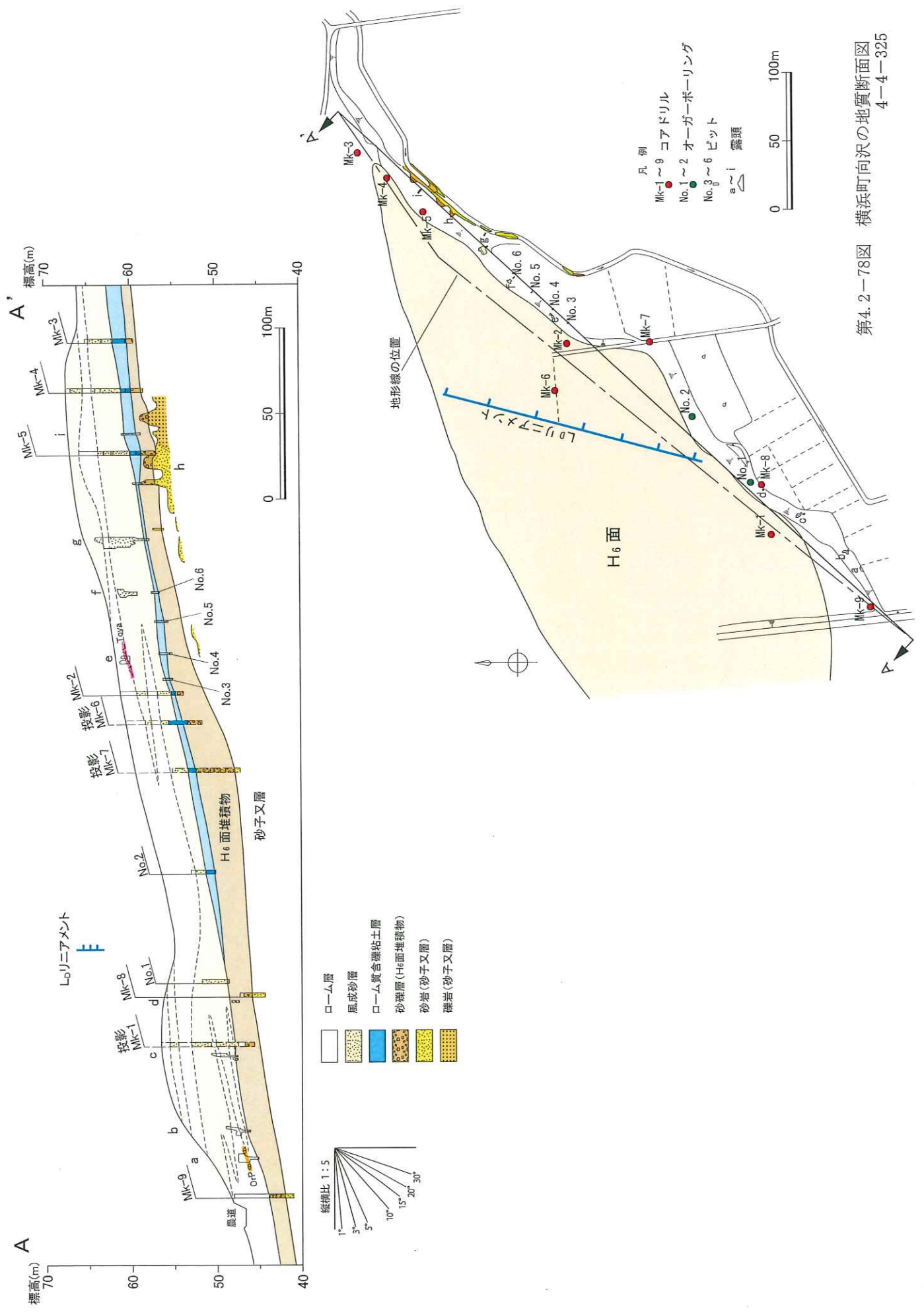
第4.2-76図 横浜町向平のボーリング調査結果 4-4-323



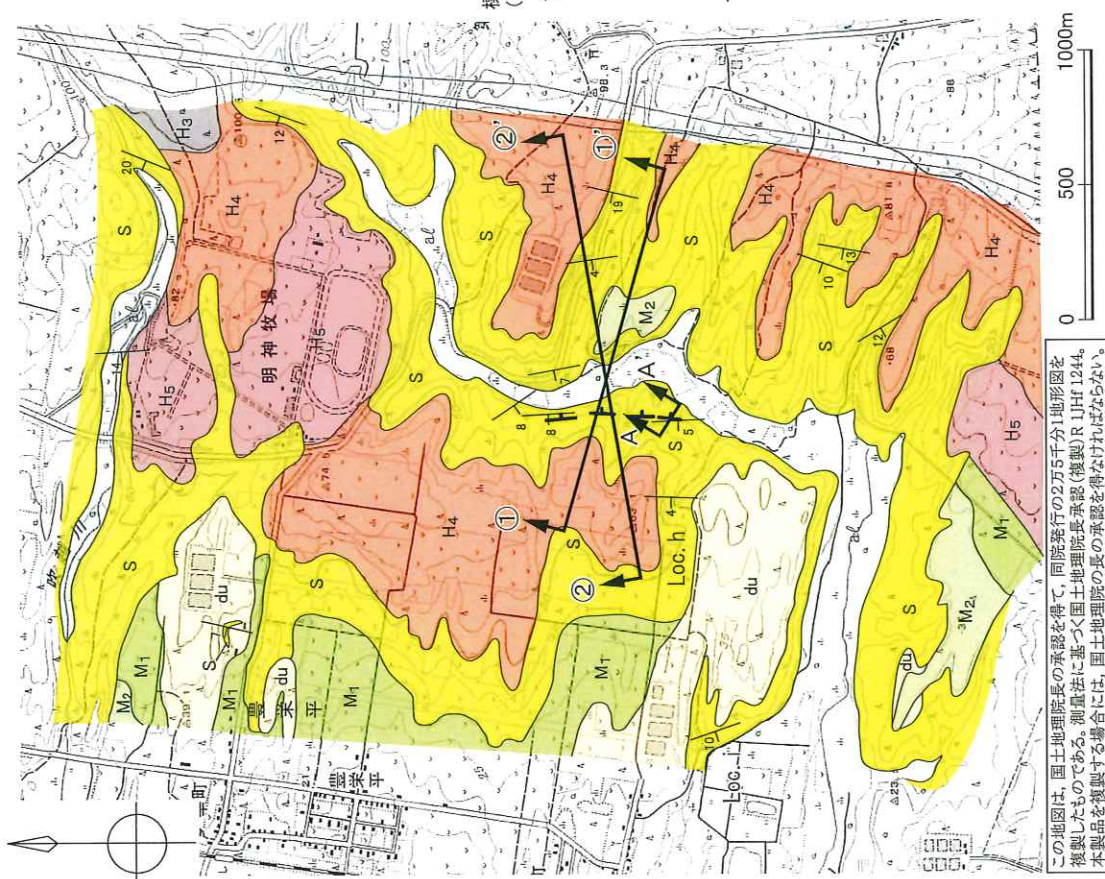
この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。複製法に準じて国土地理院長官印(複製印)を付し、1944年製図年を記載する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならない。

- 柱状図凡例
- 黒色土壌
 - 細粒砂層
 - ローム層、ローム質シルト層
 - シルト質砂礫層
 - 礫層 (H4面堆積物)
 - 細粒砂岩 (砂子又層)
 - 粗粒～中粒砂岩 (砂子又層)
 - 含礫砂岩 (砂子又層)
 - 礫岩 (砂子又層)
 - 凝灰質シルト岩 (砂子又層)
 - 軽石凝灰岩 (砂子又層)

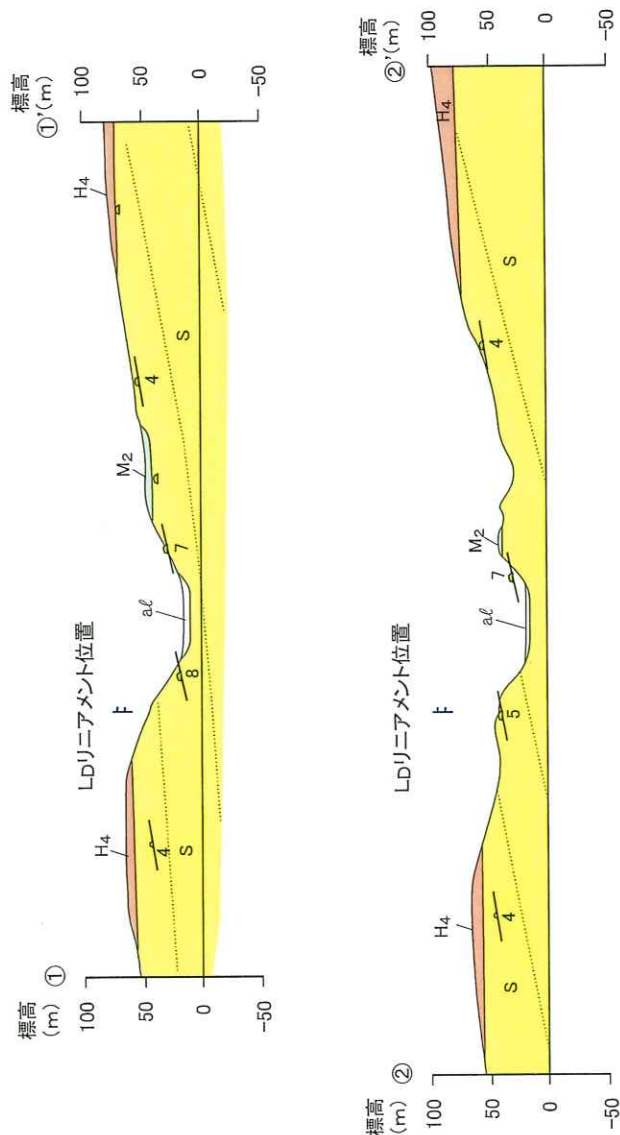
第4.2-77図 横浜町向沢北方のボーリング調査結果 4-4-324



第4.2-78図 横浜町向沢の地質断面図 4-4-325



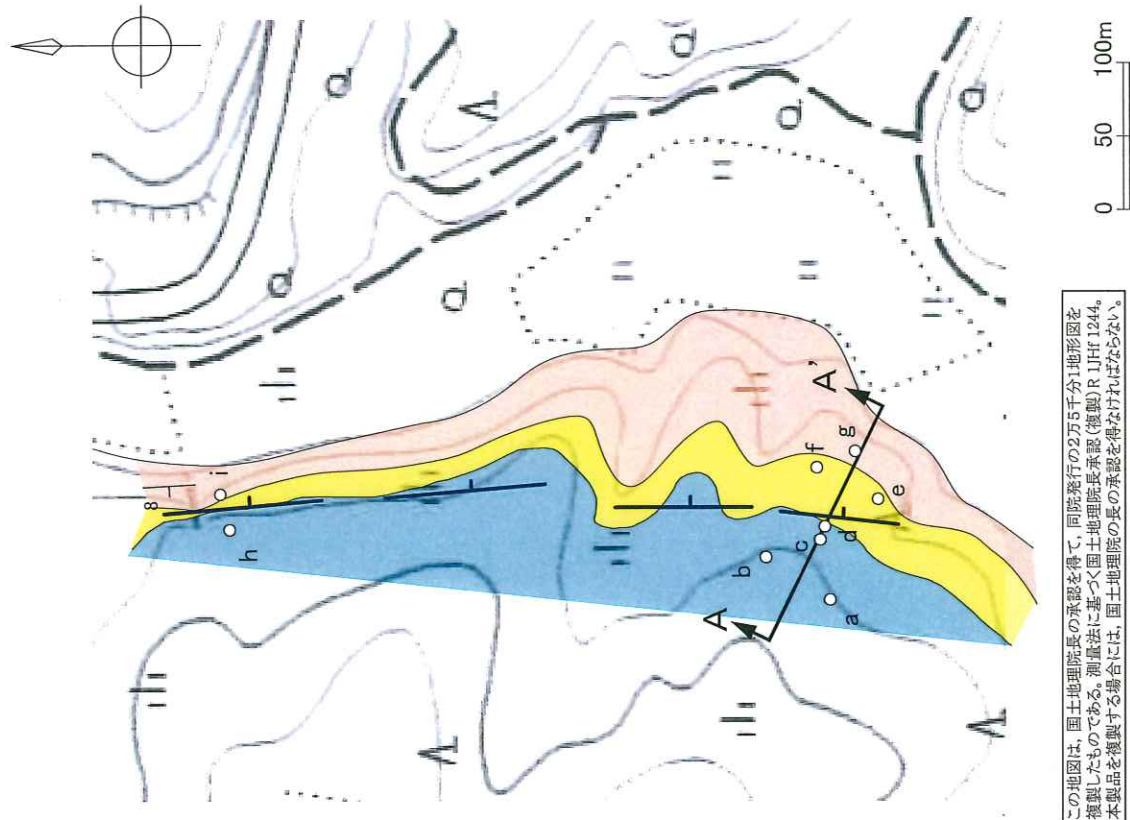
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 11HF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



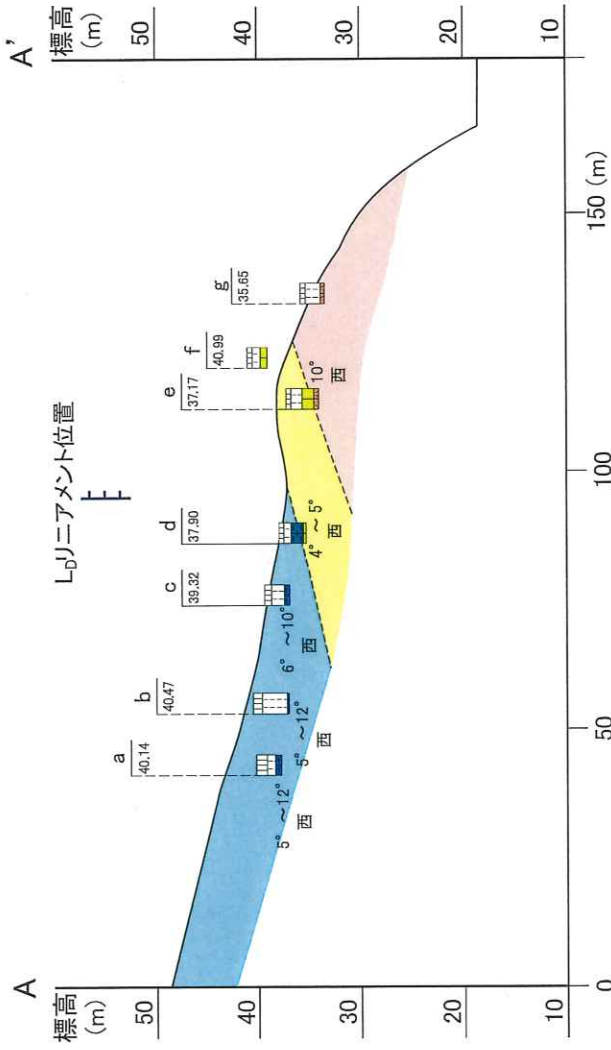
傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示

| 凡 | 例 |
|----------------|-------------------------------|
| al | 沖積低地堆積層 |
| du | 砂丘砂層 |
| M ₂ | 中段段丘堆積層 (M ₂ 面堆積物) |
| M ₁ | 中段段丘堆積層 (M ₁ 面堆積物) |
| H ₅ | 高位段丘堆積層 (H ₅ 面堆積物) |
| H ₄ | 高位段丘堆積層 (H ₄ 面堆積物) |
| H ₃ | 高位段丘堆積層 (H ₃ 面堆積物) |
| S | 砂子又層 |
| — | 地層の走向・傾斜 |
| — | 地層境界線 |
| | 層理 |
| ① | 断面位置 |
| — | LDリニアメント |
| ■ | 露頭 |

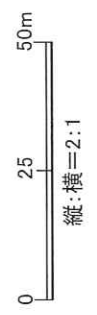
第4.2-80図 横浜町豊栄平周辺の地質平面図及び地質断面図
4-4-327



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



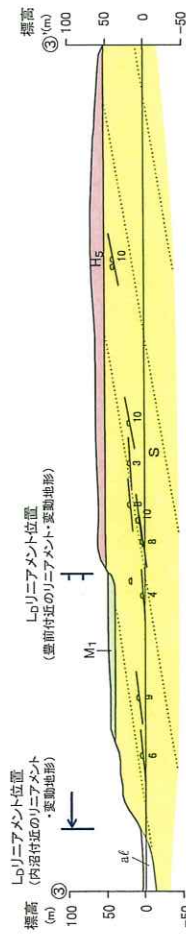
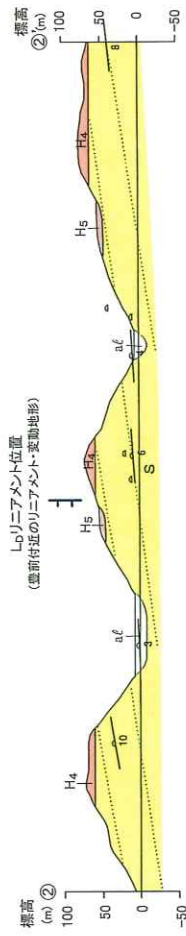
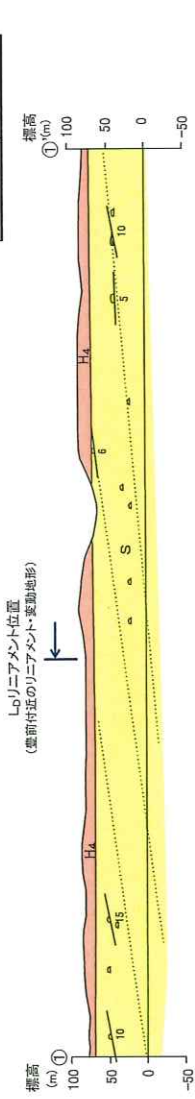
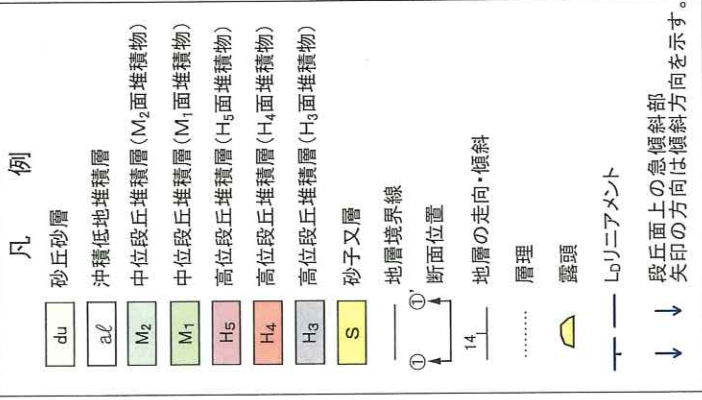
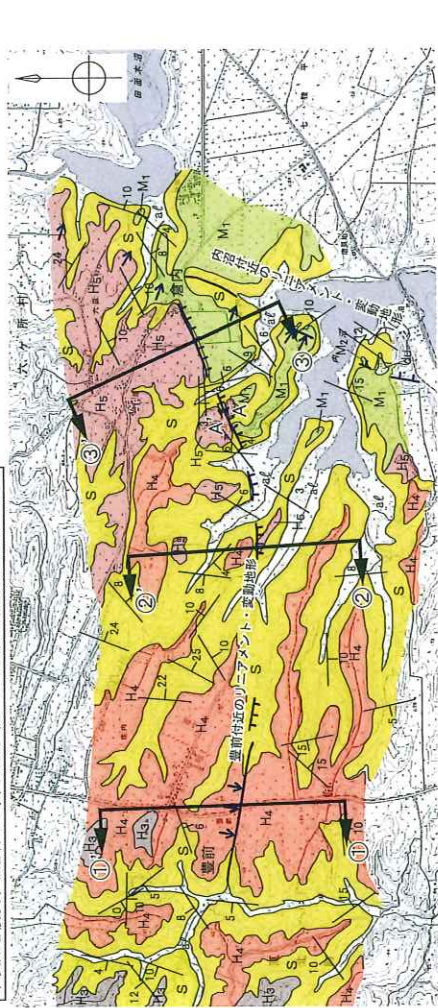
※表土は図示していない。

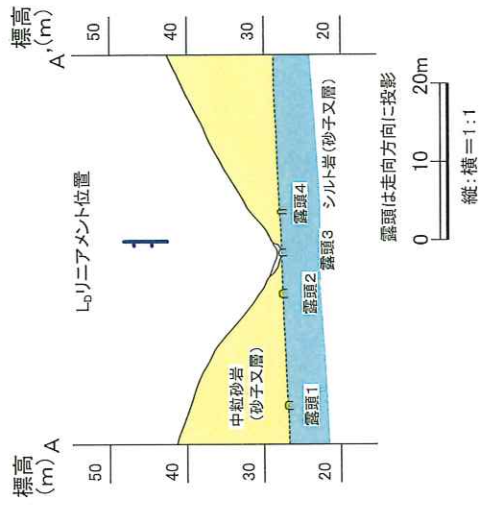
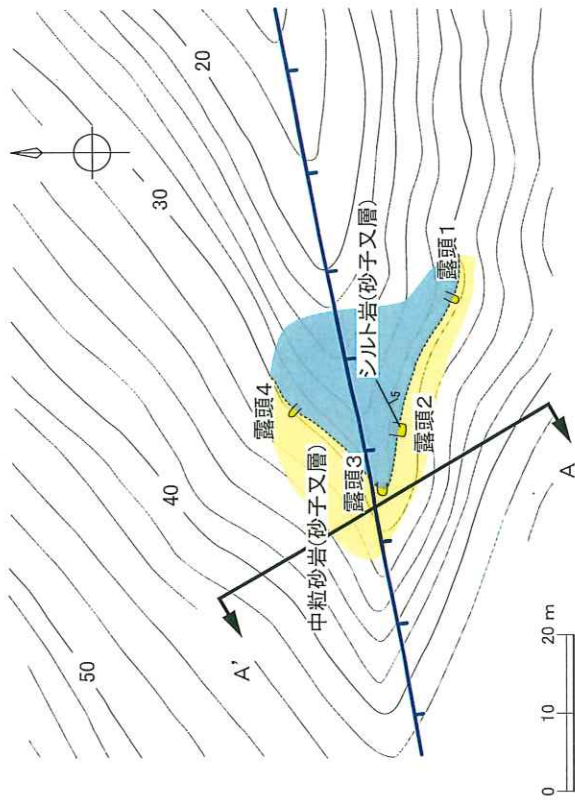


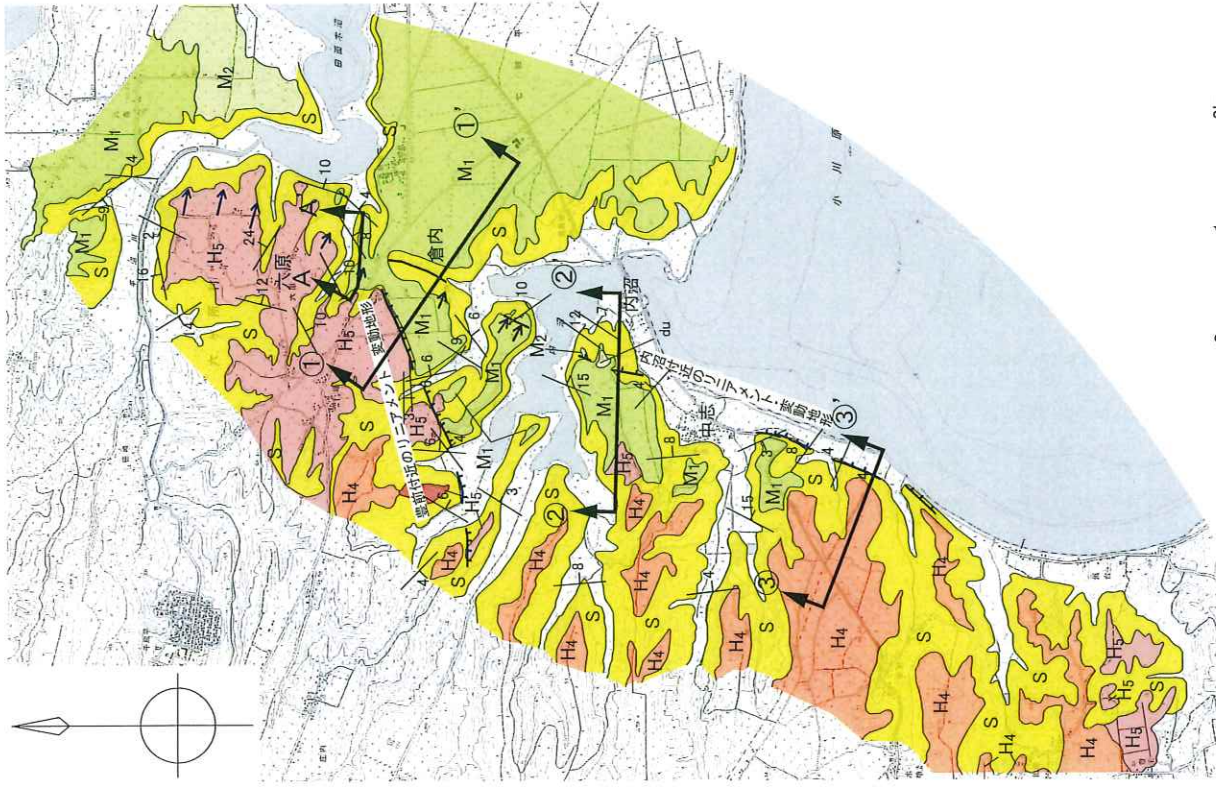
凡 例

| | | | |
|--|------------------------|--|---------------------------|
| | 黑色土壤 (表土) | | ピット調査による柱状図 |
| | 褐色土壤 (砂子又層風化帯) | | ピット調査による柱状図 ← 破線は投影 |
| | シルト岩 | | 方位及び数字は砂子又層の傾斜方向及び傾斜角を示す。 |
| | 砂岩 | | 5°~12° 西 |
| | 凝灰質砂岩 | | 10° 西 |
| | 砂子又層 | | 4°~5° 西 |
| | A—A' | | 断面位置 |
| | — L ₀ リアメント | | ピット調査地点 |

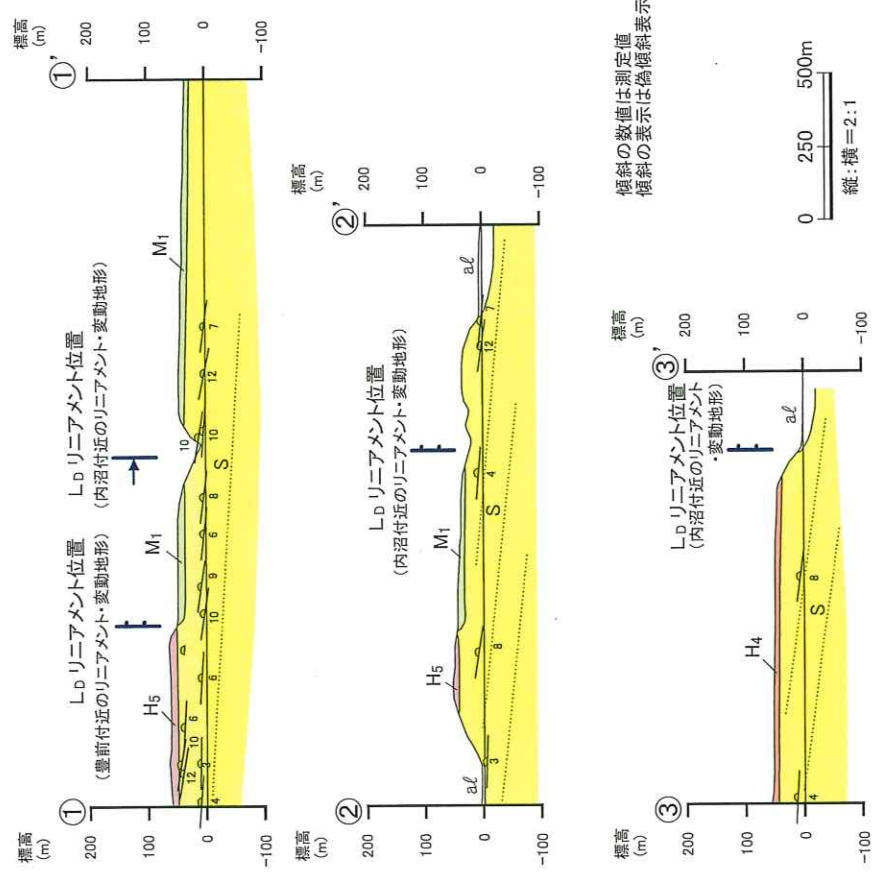
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R-11HF 1244。複製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。



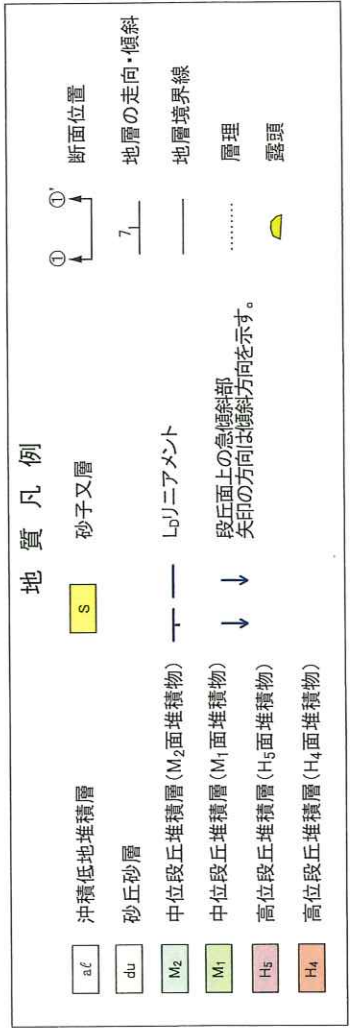




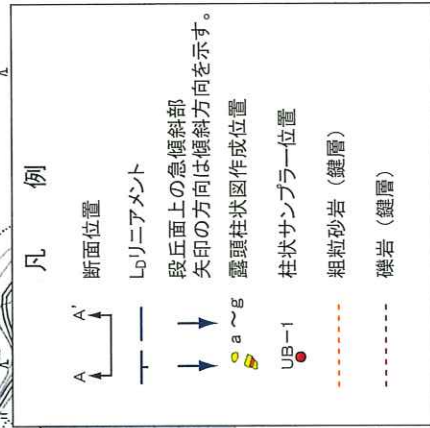
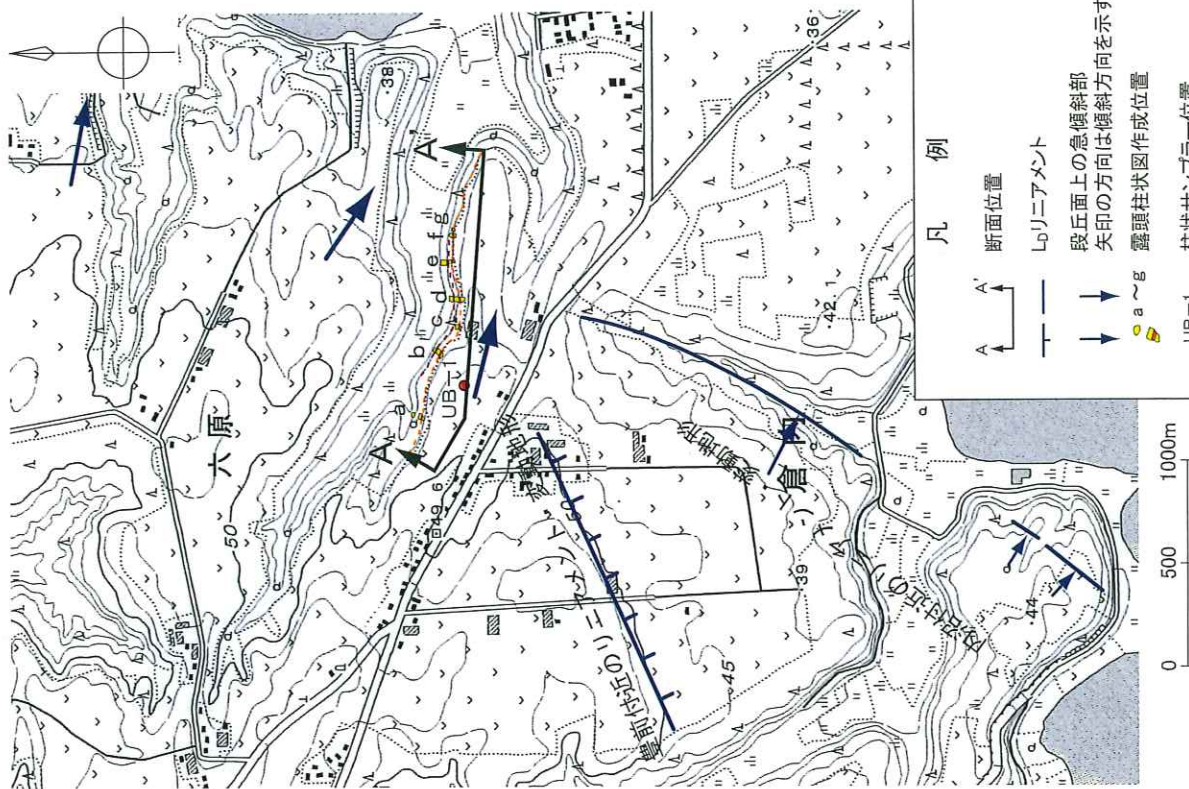
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R-1JHT1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



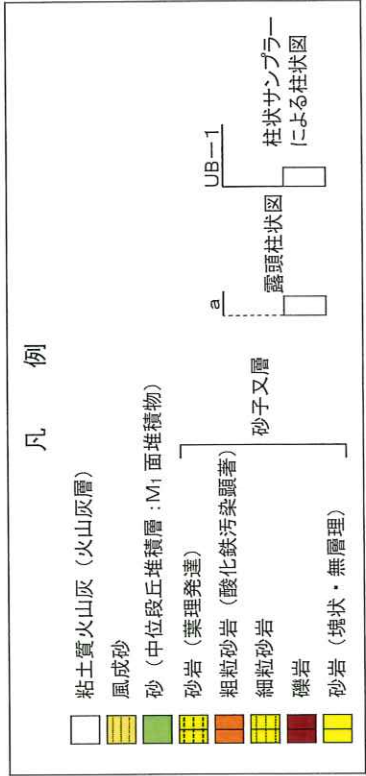
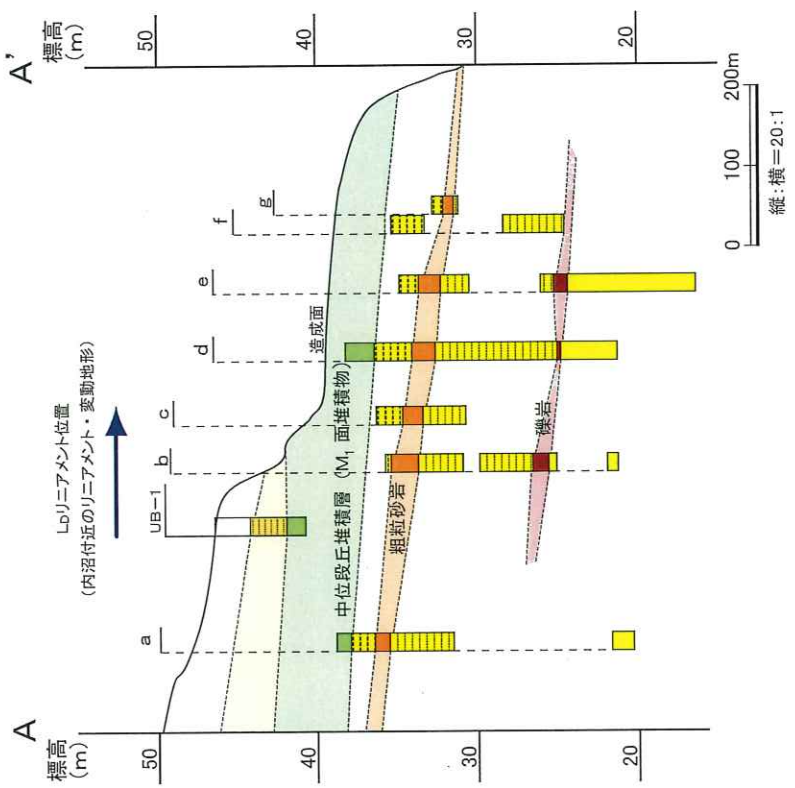
傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示



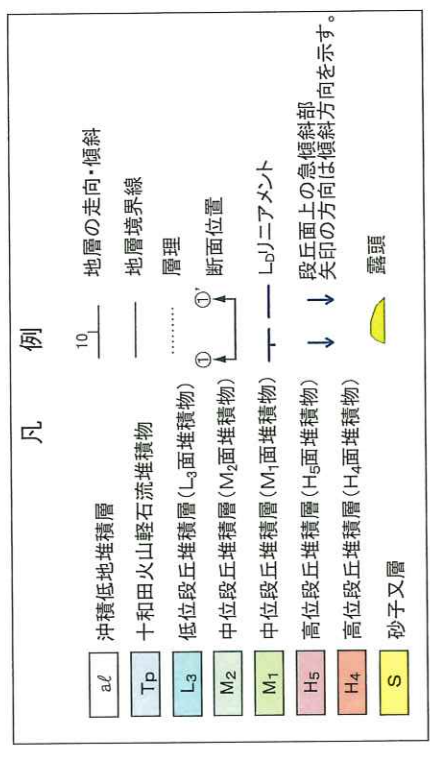
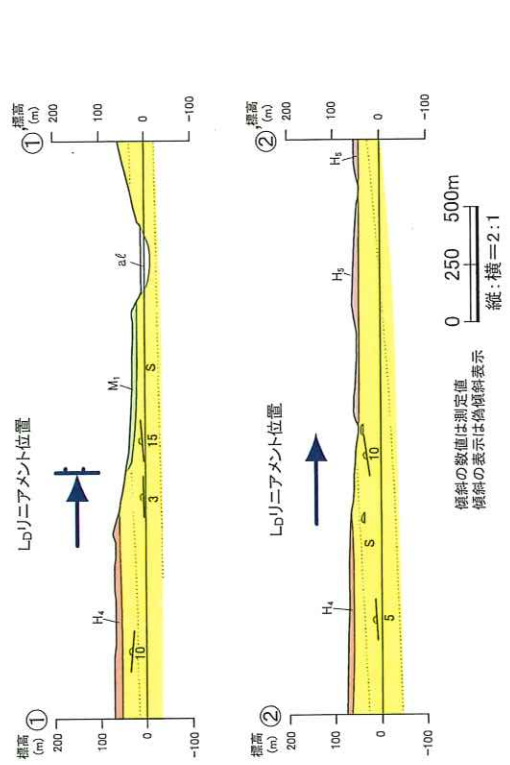
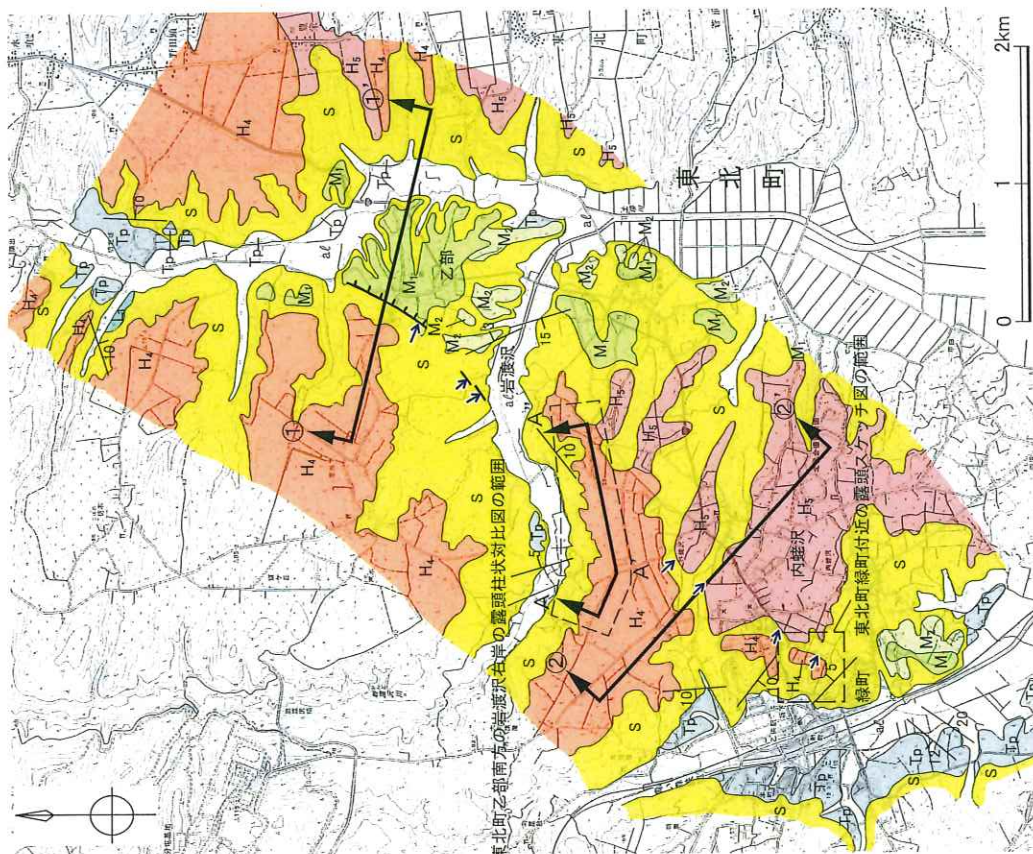
第4.2-84図 六ヶ所村内沼周辺の地質平面図及び地質断面図 4-4-331



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院承認(複製)R 11H 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



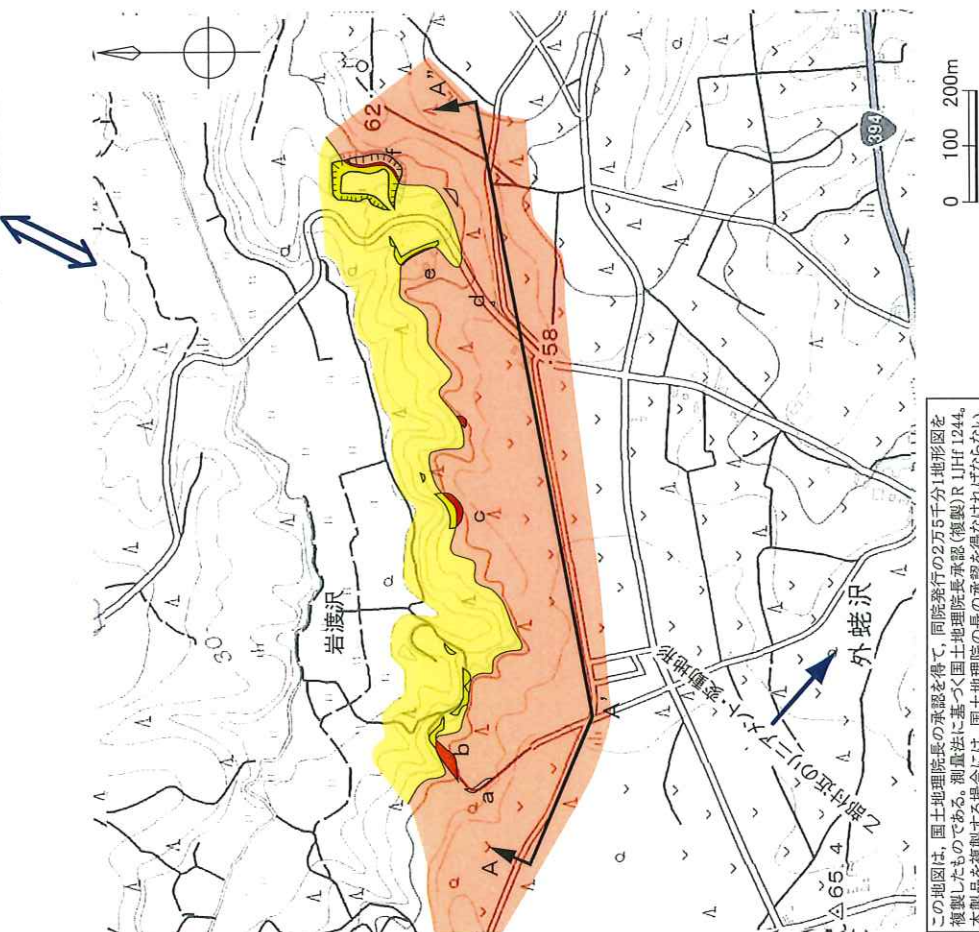
第4.2-85図 六ヶ所村六原南方の露頭柱状対比図
4-4-332



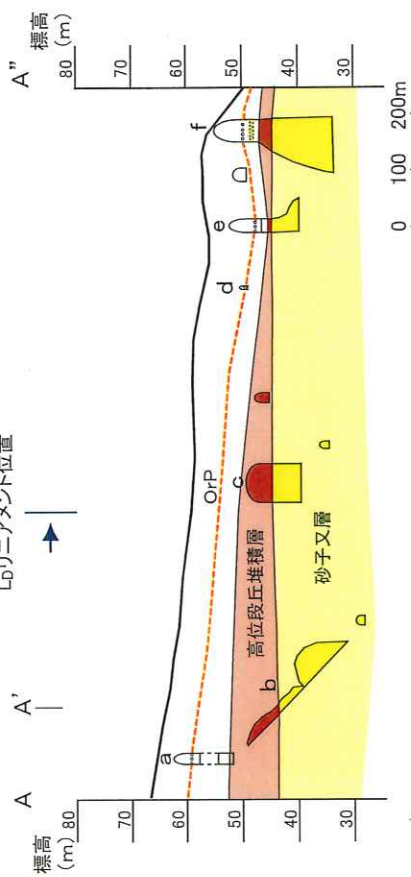
第4.2-86図 東北町乙部周辺の地質平面図及び地質断面図
4-4-333

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

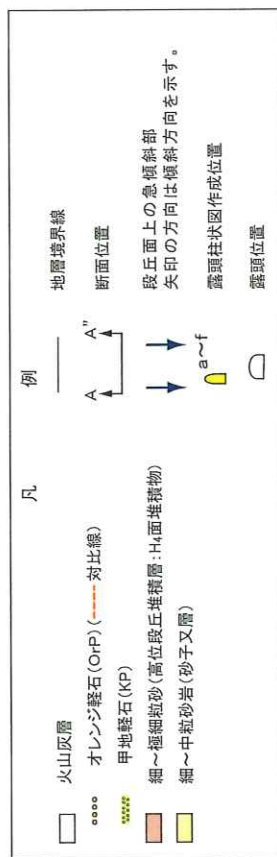
リニアメント・変動地形方向



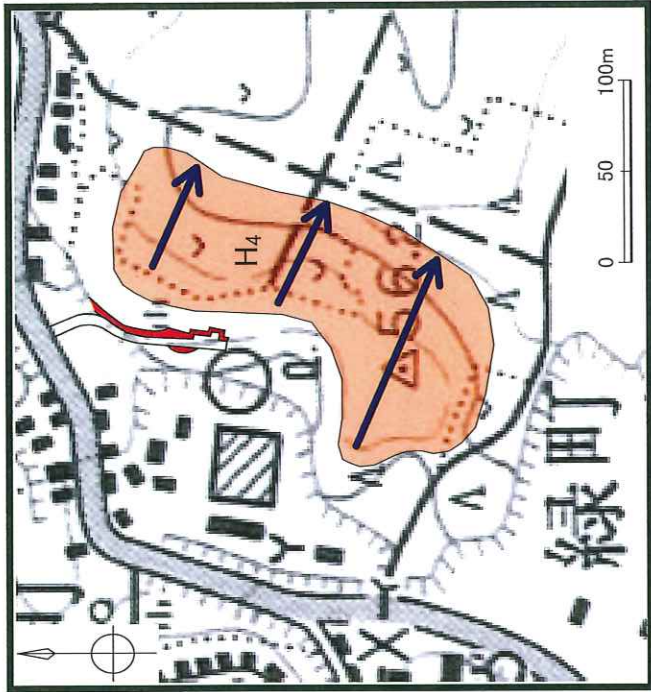
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1J1F 1244。複製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。



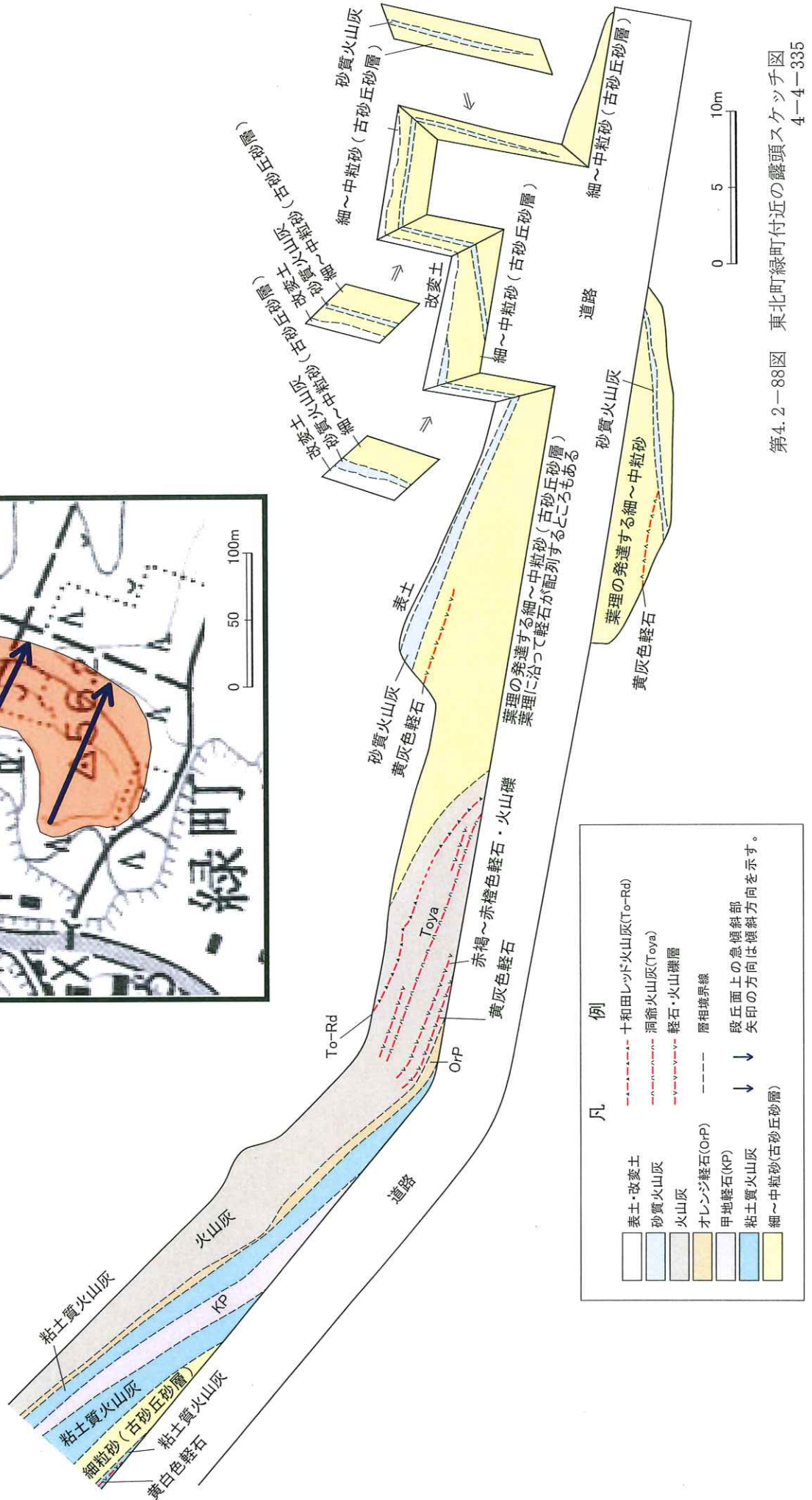
※ 露頭位置は、A-A' - A'' 測線方向へ垂直に投影して図示



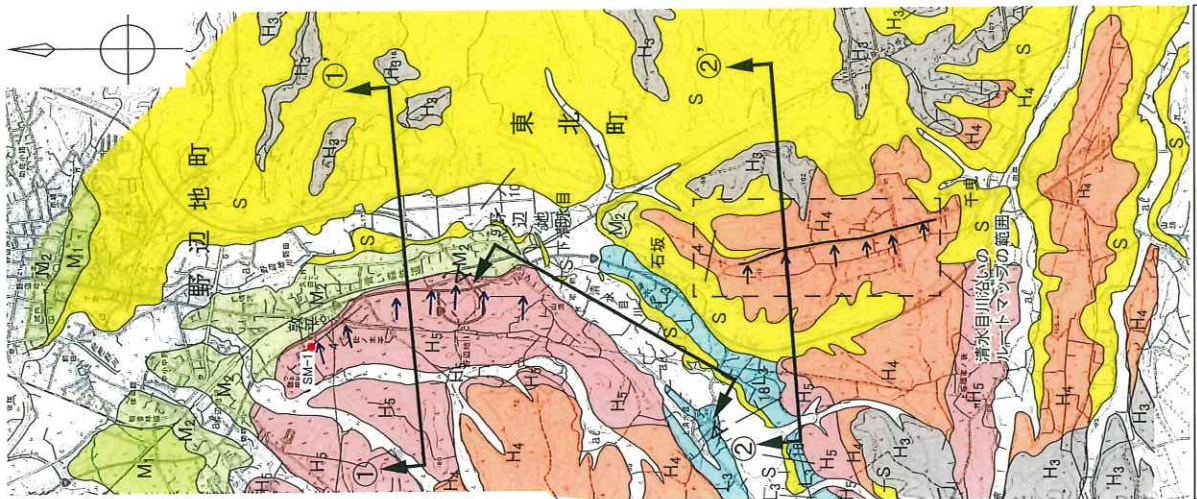
露頭位置図



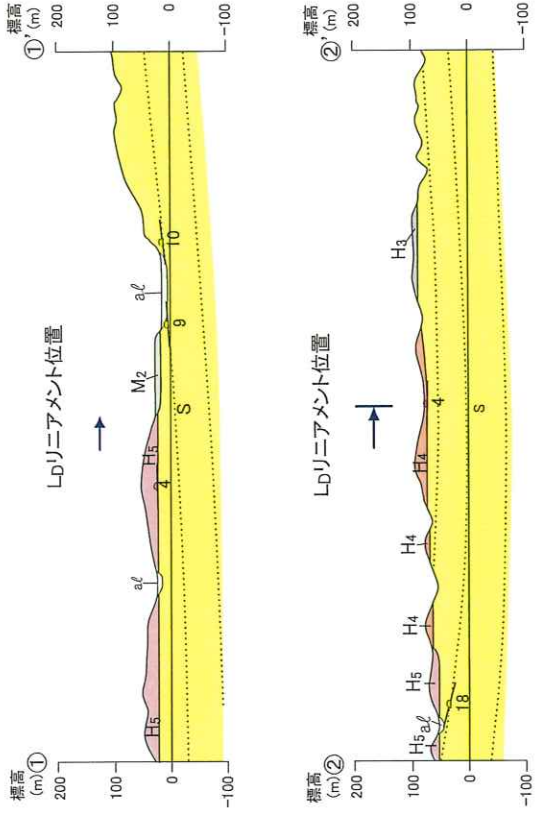
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R.1.Hf.1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。



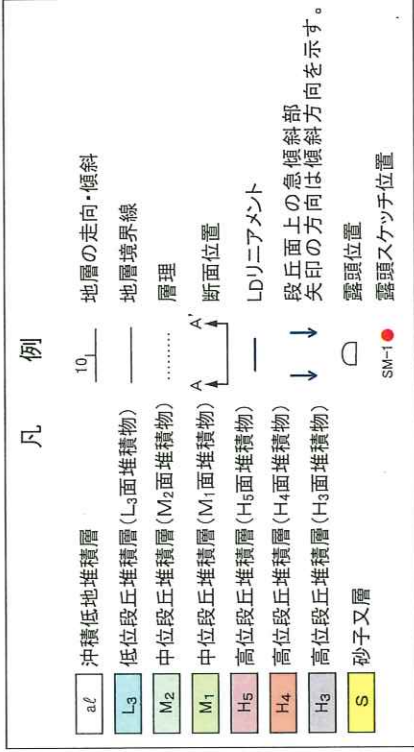
| 凡 | | 例 | |
|---|--------------|-----------|------------------|
| □ | 表土・改変土 | - - - - - | 十和田レッド火山灰(To-Rd) |
| □ | 砂質火山灰 | - - - - - | 洞爺火山灰(Toya) |
| □ | 火山灰 | - - - - - | 軽石・火山礫層 |
| □ | オレンジ軽石(OP) | - - - - - | 層相境界線 |
| □ | 甲地軽石(KP) | ↓ | 段丘面上の急傾斜部 |
| □ | 粘土質火山灰 | ↘ | 矢印の方向は傾斜方向を示す。 |
| □ | 細～中粒砂(古砂丘砂層) | | |



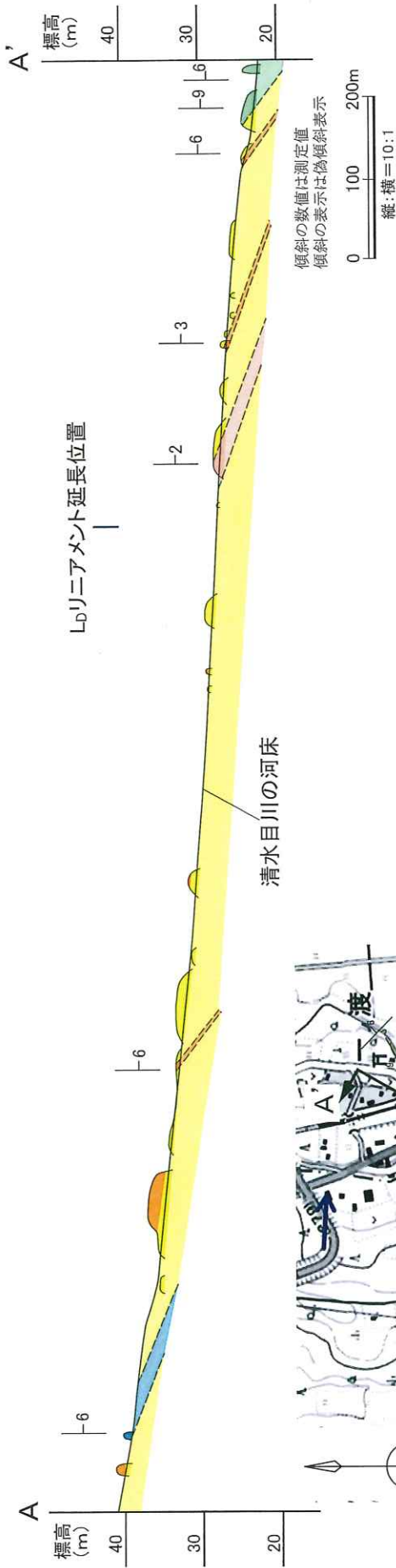
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づき国土地理院長承認(複製)R1JH1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示
縦:横=2:1

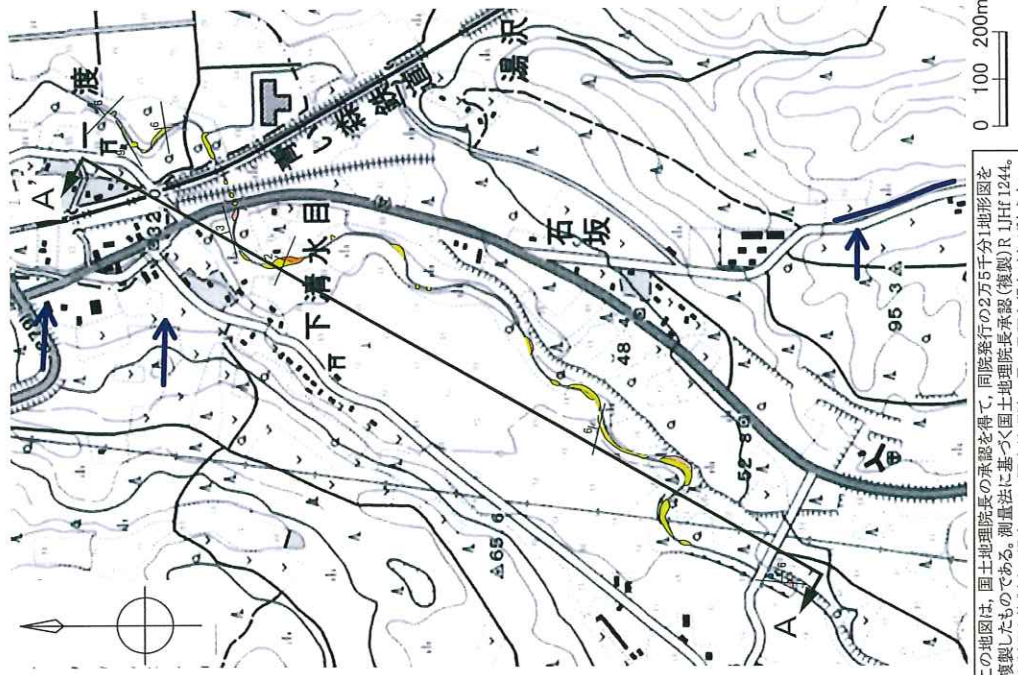


第4.2-89図 東北町清水目川周辺の地質平面図及び地質断面図
4-4-336

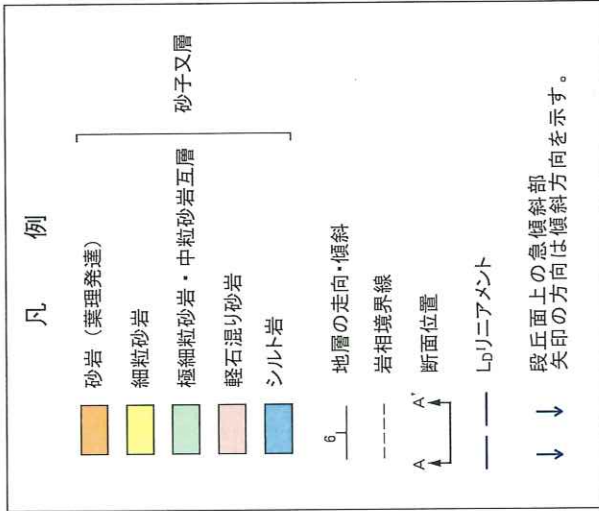


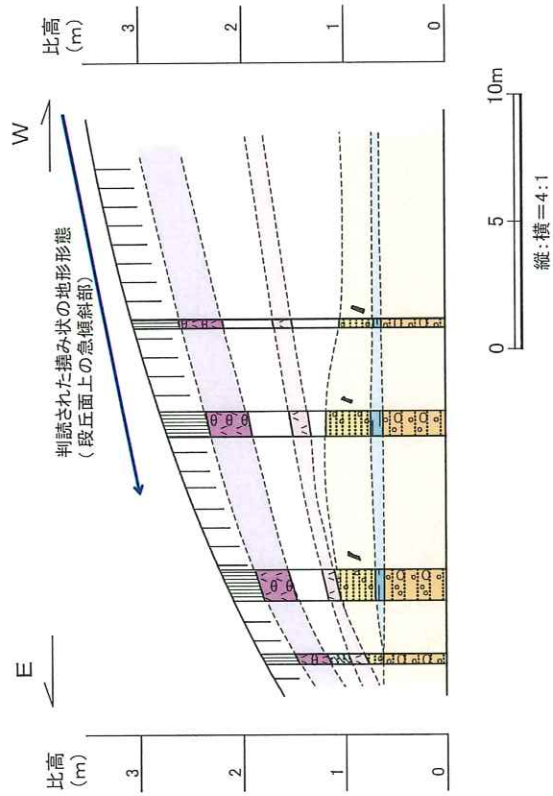
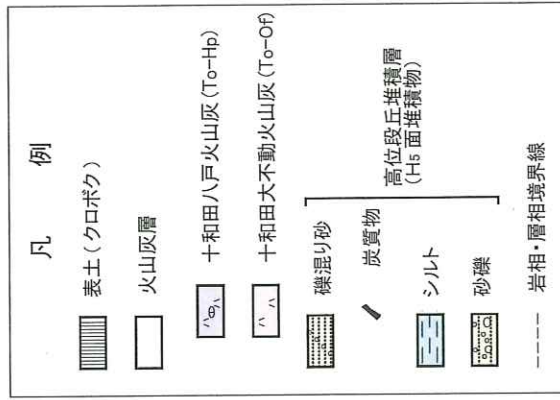
Lp1リアメント延長位置

清水目川の河床

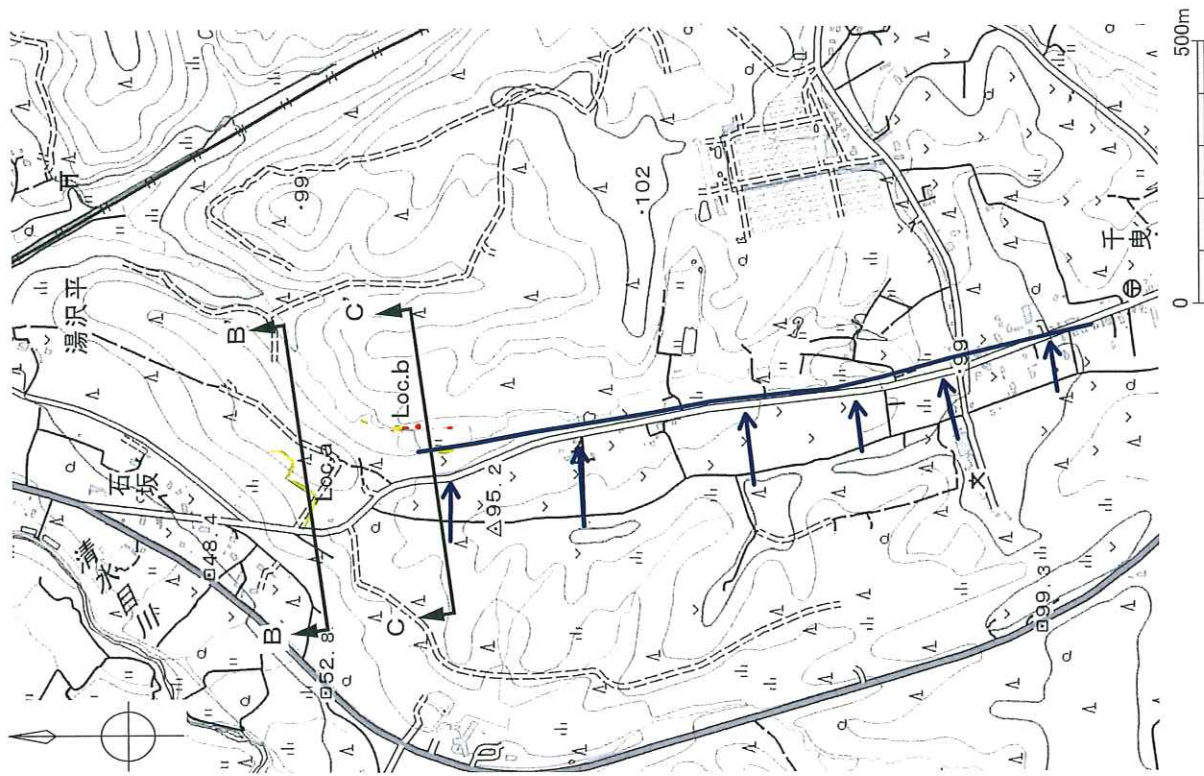


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(簿記)R 1JHf 1244。複製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

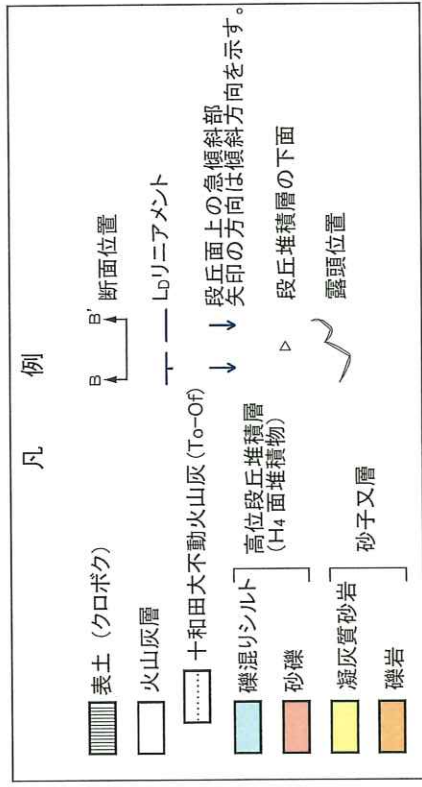
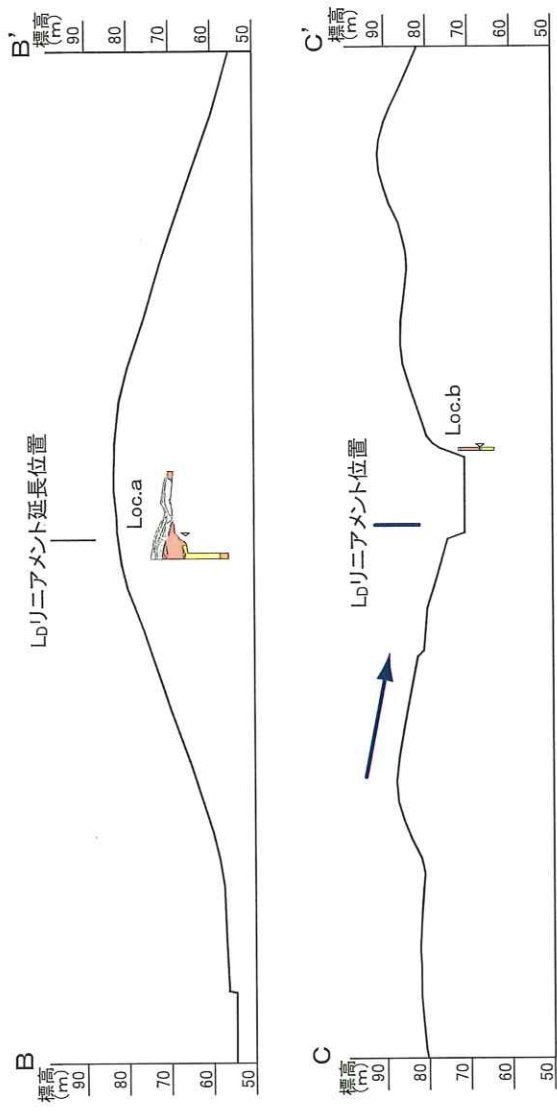




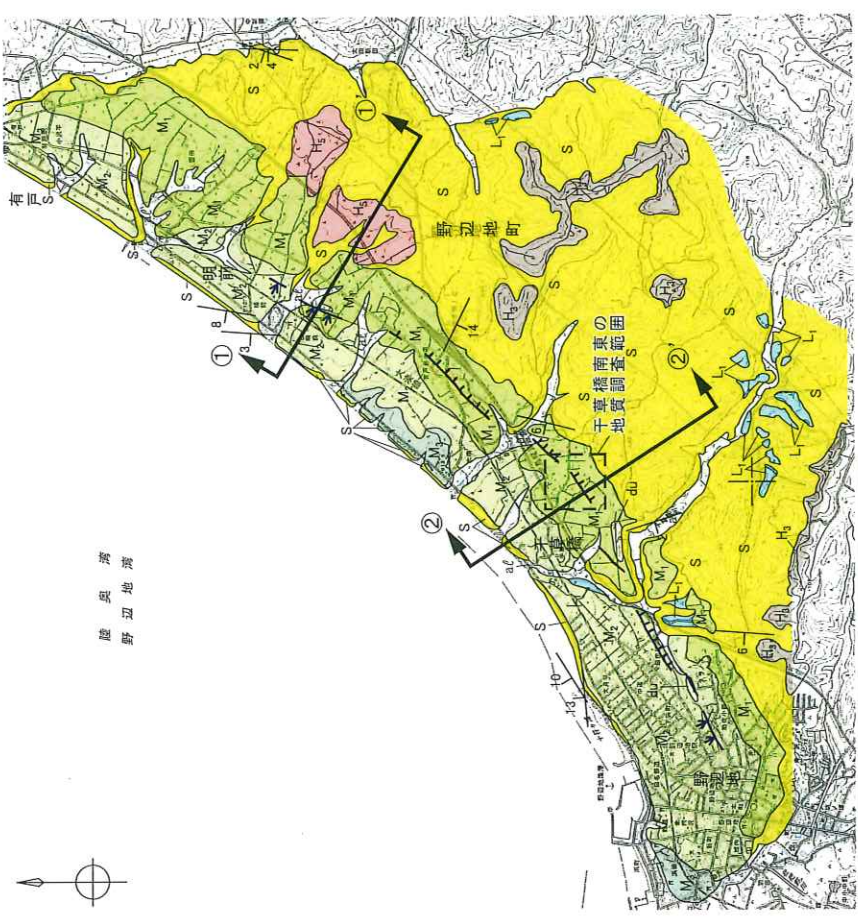
第4.2-91図 野辺地町敦平付近の露頭スケッチ図 (SM-I 露頭) 4-4-338



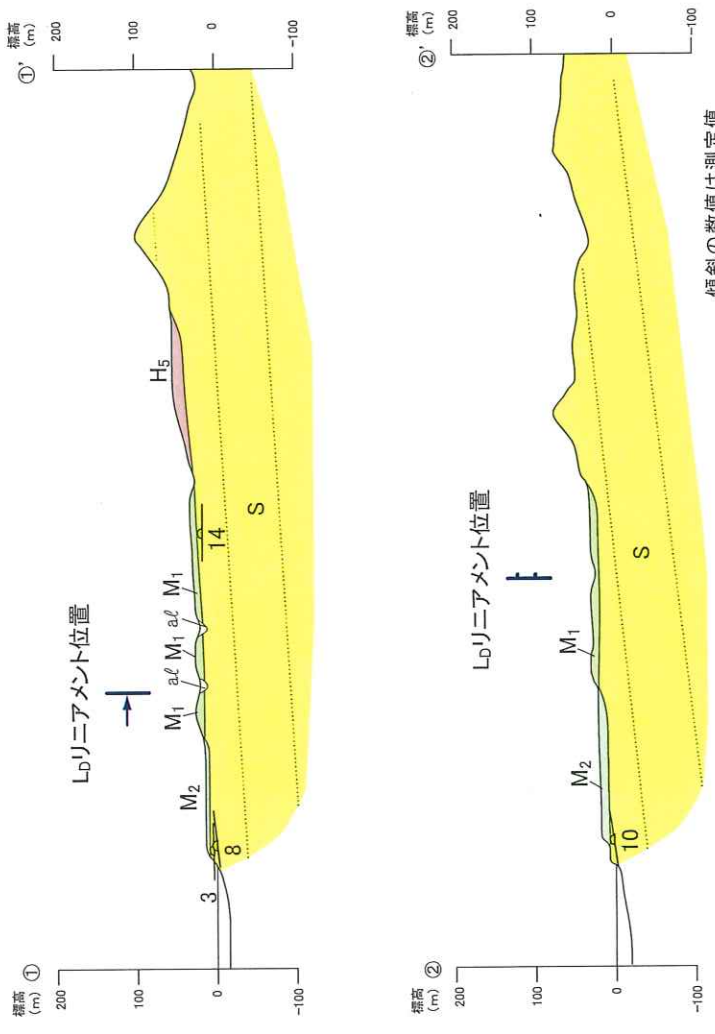
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づき国土地理院承認(複製)R.J.H.F.1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



第4.2-92図 東北町石坂付近の露頭対比図
4-4-339



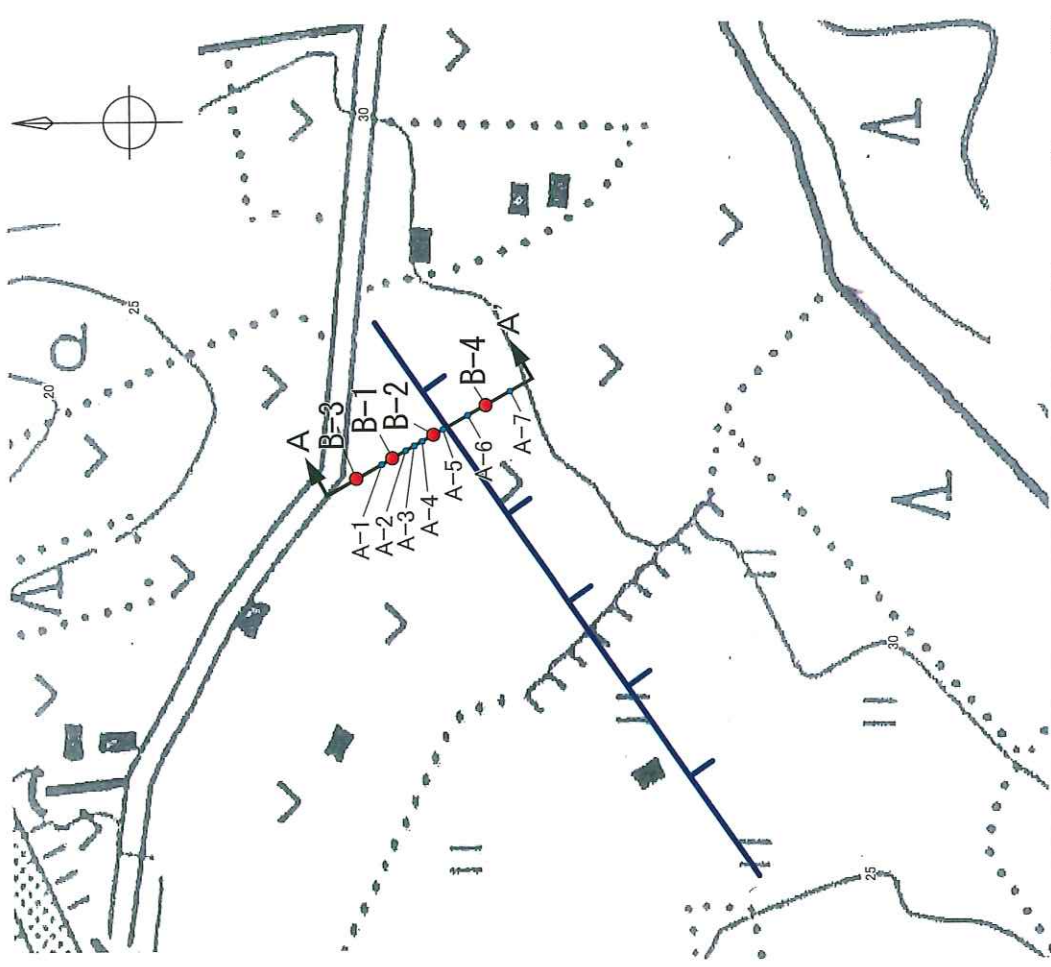
この地図は、国土地理院式の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(簿載)R LH1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



傾斜の数値は測定値
傾斜の表示は偽傾斜表示

| 凡 例 | |
|-------|-----------------------------|
| al | 沖積低地堆積層 |
| du | 砂丘砂層 |
| L1 | 低位段丘堆積層(L1面堆積物) |
| M3 | 中位段丘堆積層(Ma面堆積物) |
| M2 | 中位段丘堆積層(M2面堆積物) |
| M1 | 中位段丘堆積層(M1面堆積物) |
| H5 | 高位段丘堆積層(H5面堆積物) |
| H3 | 高位段丘堆積層(H3面堆積物) |
| S | 砂子又層 |
| 10 | 地層の走向・傾斜 |
| — | 地層境界線 |
| | 層理 |
| ① | 断面位置 |
| ① | L0リアメント |
| ↓ | 段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は傾斜方向を示す。 |
| ▲ | 露頭 |

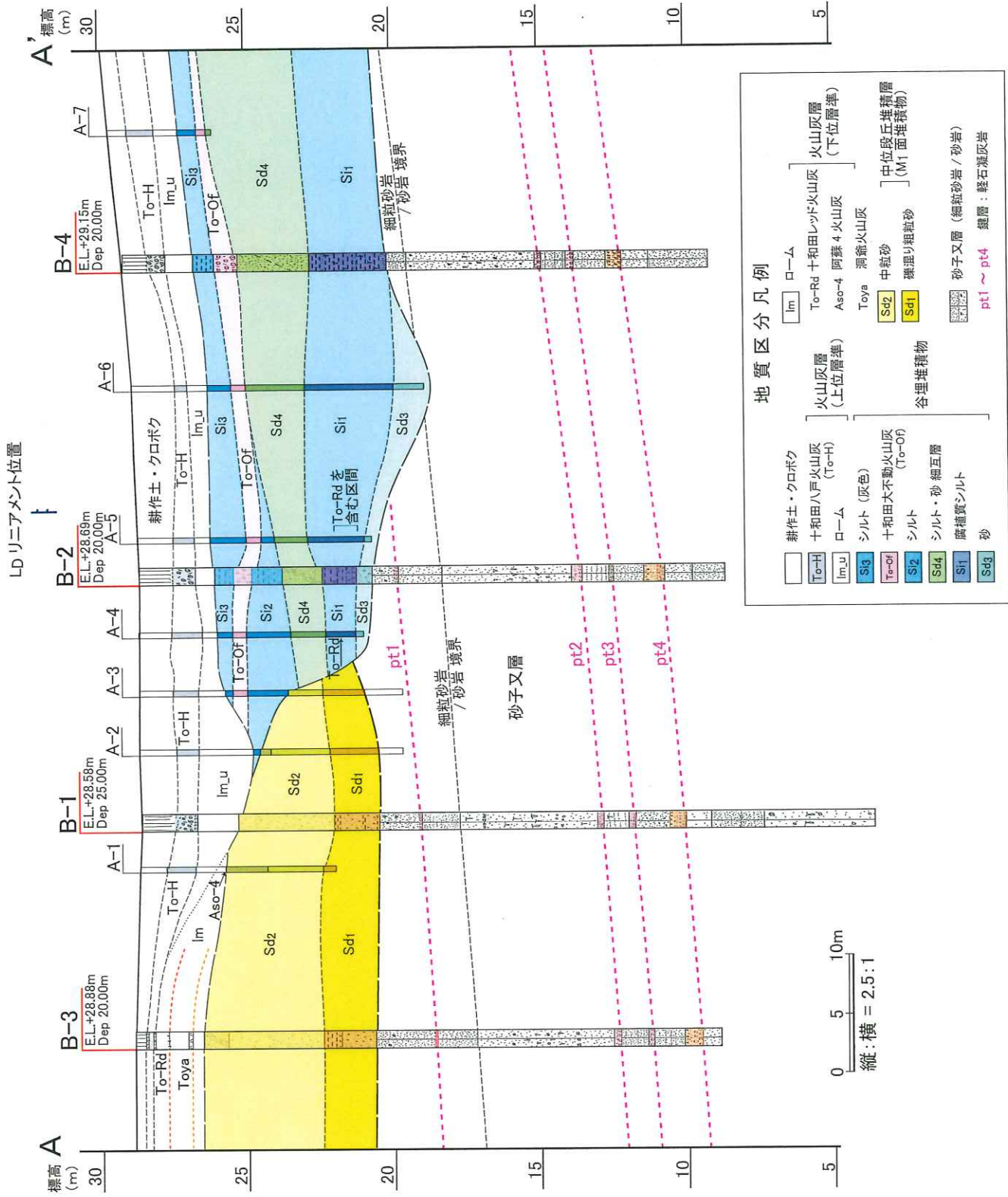
第4.2-93図 野辺地町有戸南方周辺の地質平面図及び地質断面図
4-4-340



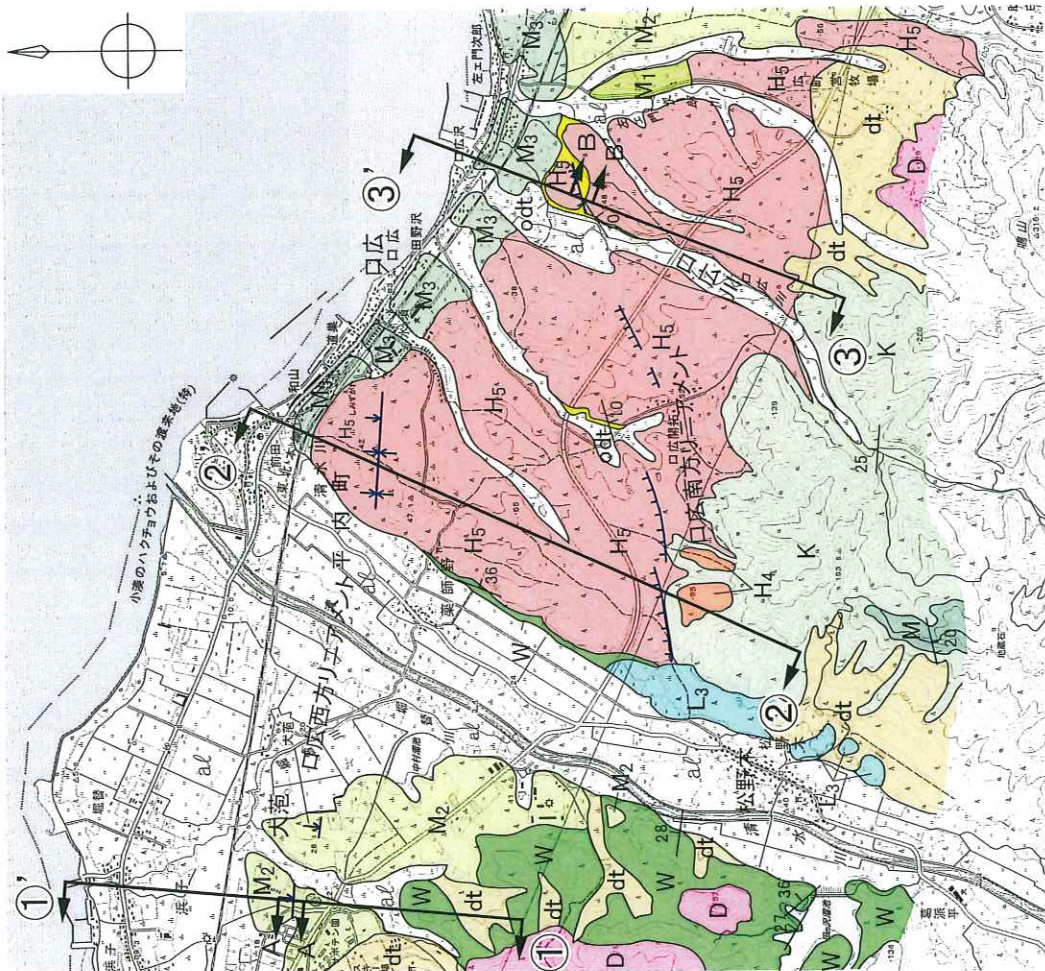
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

| 凡 例 | |
|-----|-----------|
| | ポリアメント |
| | 断面位置 |
| | ボーリング位置位置 |
| | 柱状サンプル位置 |

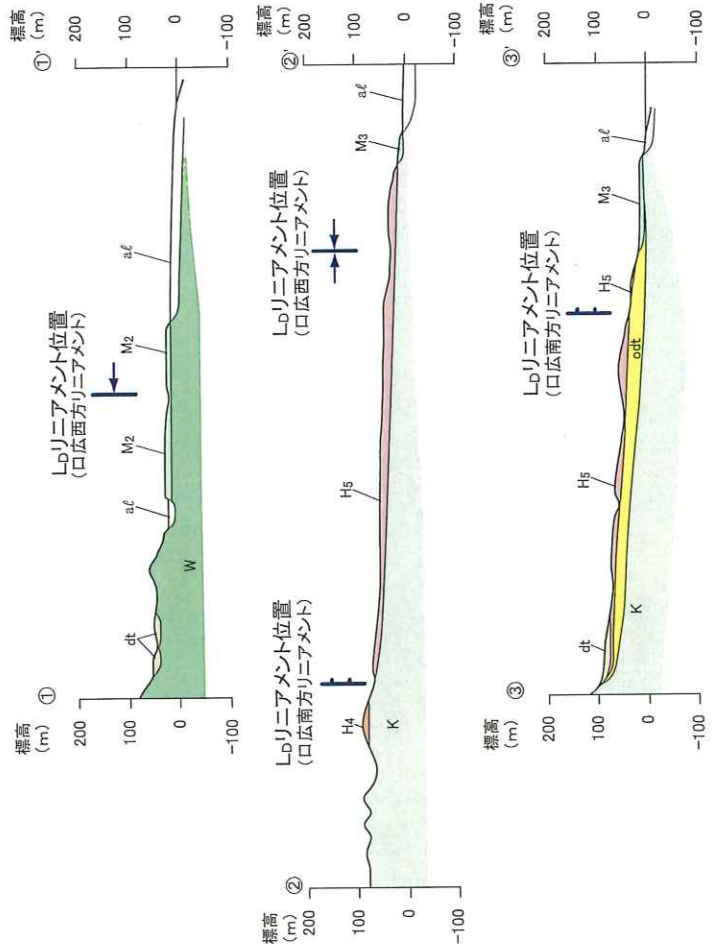
第4.2-94図 野辺地町干草橋南東の地質調査位置図
4-4-341



第4.2-95図 野辺地町干草橋南東の地質調査結果図 4-4-342



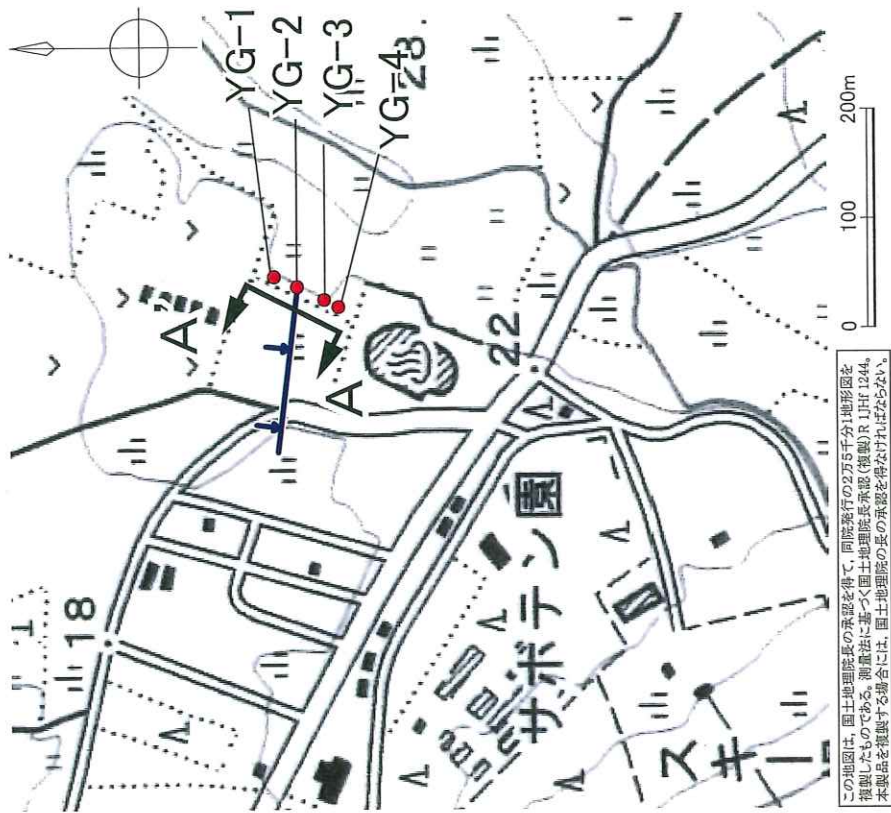
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R LH1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



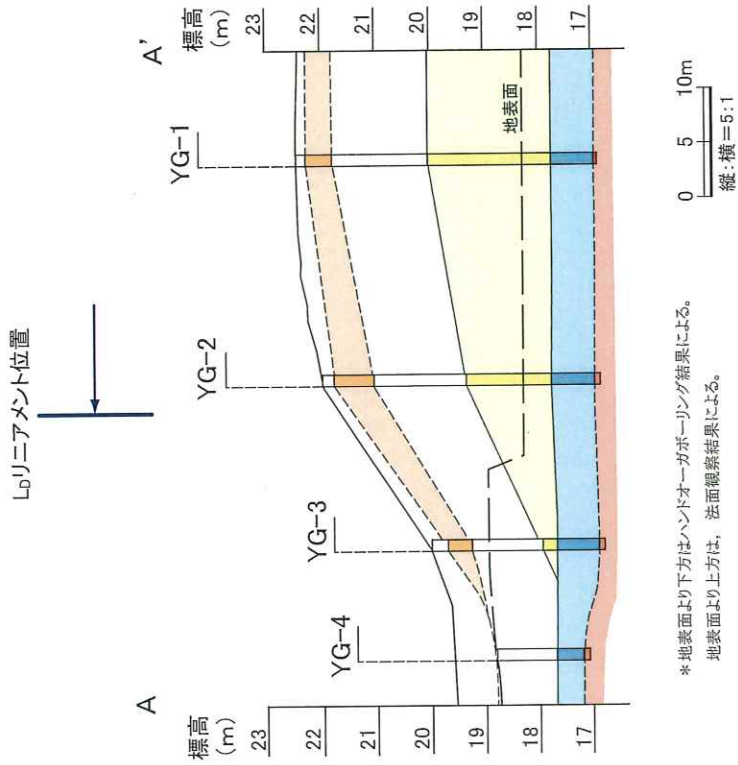
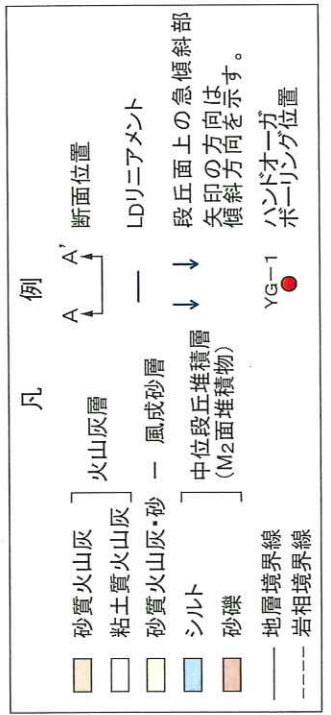
凡 例

| | | | | | |
|---|------------------|---|-----------------------|--|---------------------------------|
| al | 沖積低地堆積層 | odt | 古期扇状地堆積層 (古期低地堆積層) | 10 | 地層の走向・傾斜 |
| dt | 産錐堆積層 | M | 松倉山層 | — | 地層境界線 |
| L-3 | 低位段丘堆積層 (L3面堆積物) | K | 小平川層 | ① | 断面位置 |
| M3 | 中位段丘堆積層 (M3面堆積物) | W | 和田川層 | — | Lpリアメント |
| M2 | 中位段丘堆積層 (M2面堆積物) | D | 貫入岩 | ↓ | 段丘面上の急傾斜部 矢印の方向は 傾斜方向を示す。 |
| M1 | 中位段丘堆積層 (M1面堆積物) | | | | |
| H5 | 高位段丘堆積層 (H5面堆積物) | | | | |
| H4 | 高位段丘堆積層 (H4面堆積物) | | | | |

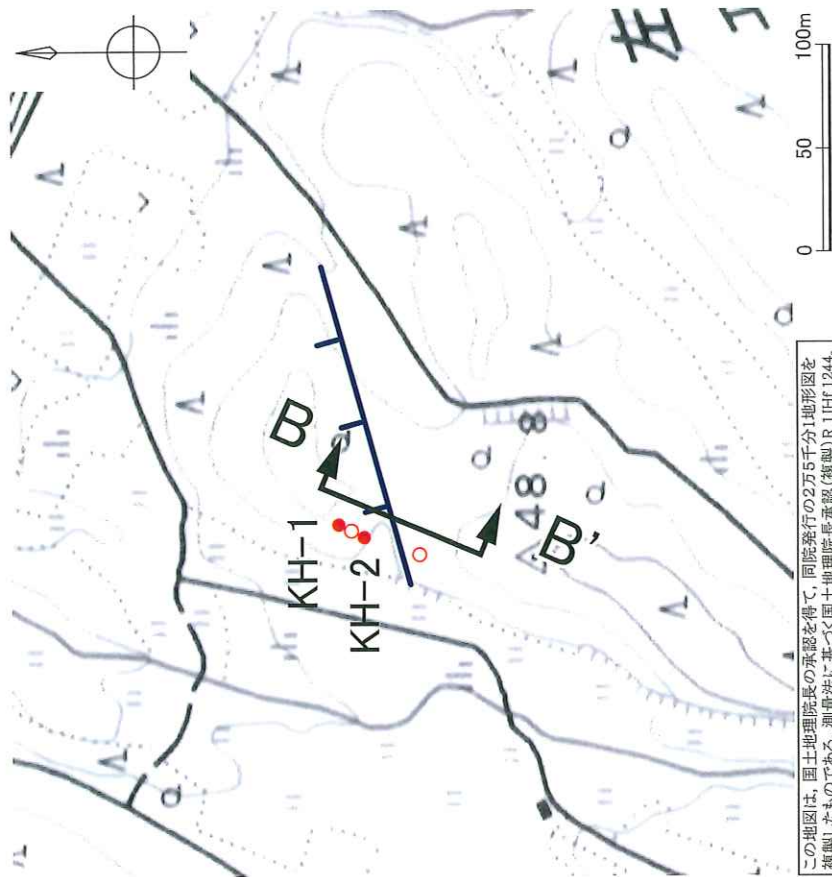
第4.2-96図 平内町口広周辺の地質平面図及び地質断面図
4-4-343



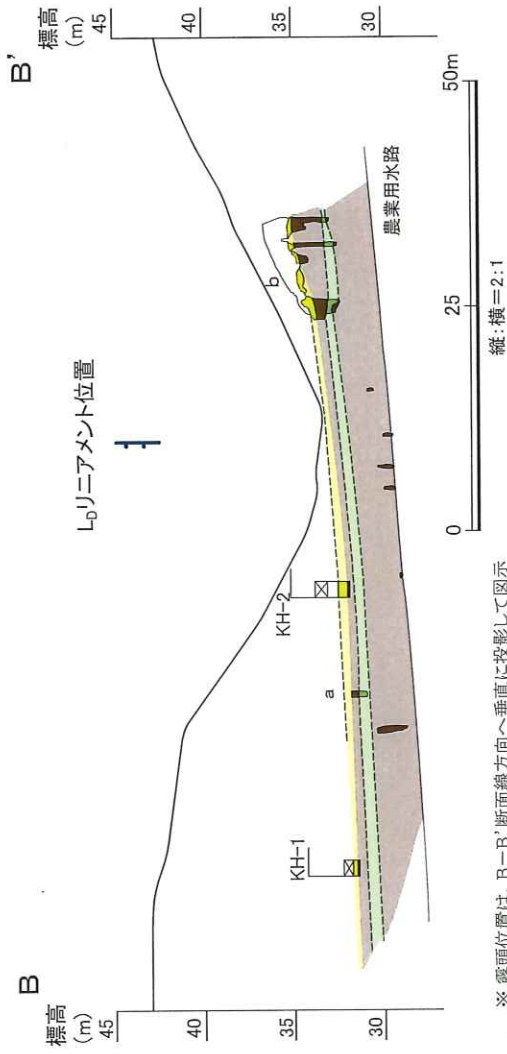
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R.11H.1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



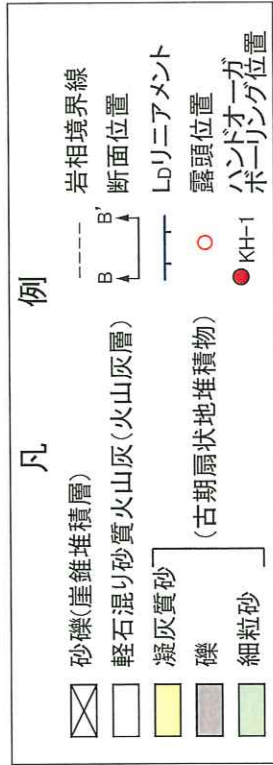
* 地表面より下方はハンドオーガボーリング結果による。
地表面より上方は、法面観察結果による。

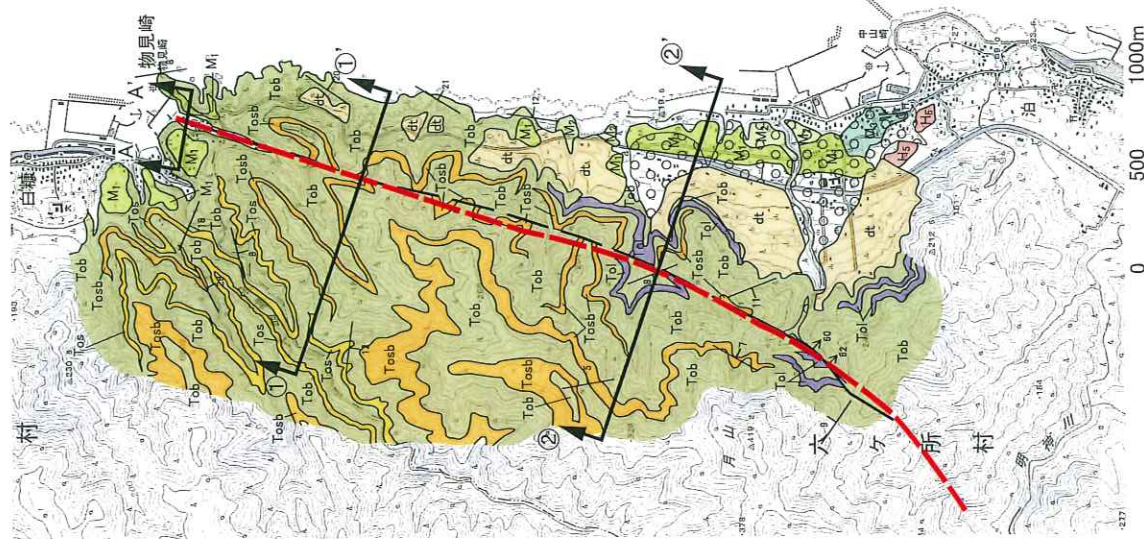
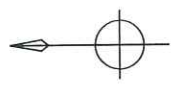


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 1JHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。



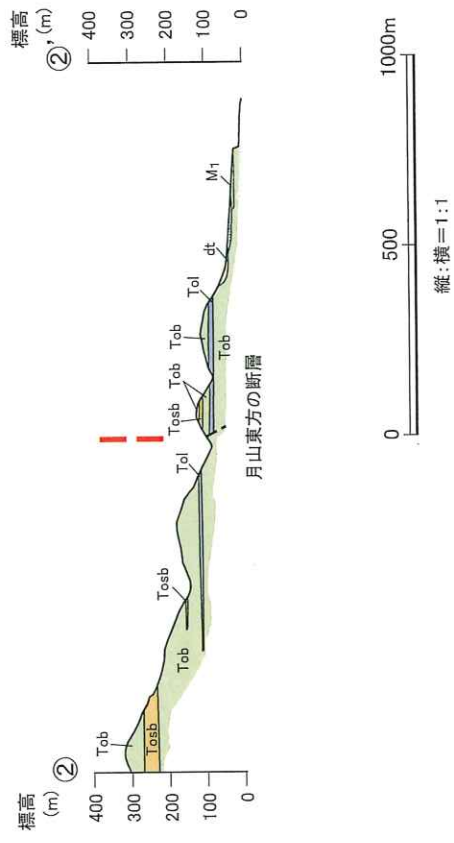
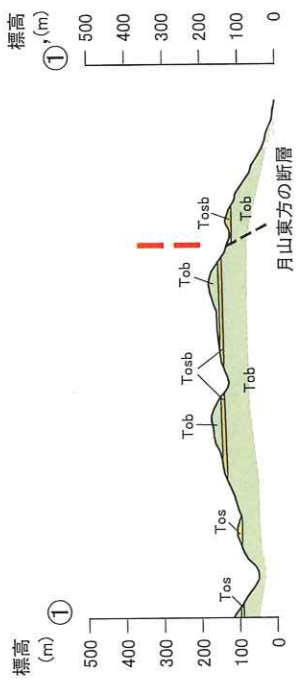
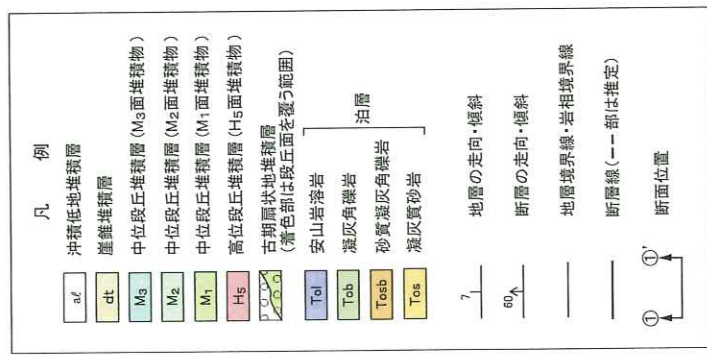
※ 露頭位置は、B-B'断面線方向へ垂直に投影して図示

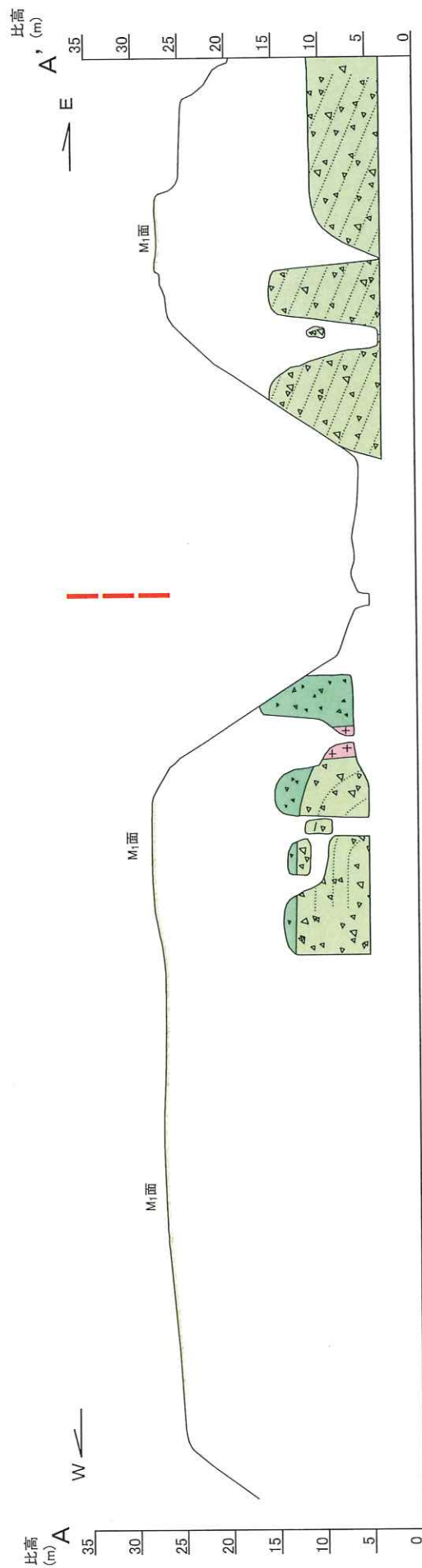




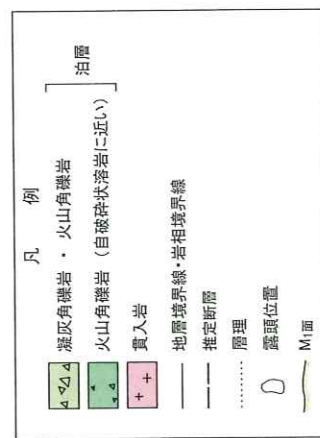
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づき国土地理院長承認(領地)R.1.HF.1244。本図面を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

— 活断層(1991年調査による)の位置

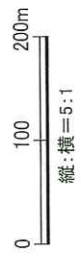
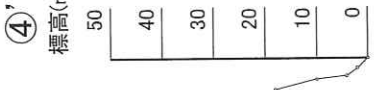
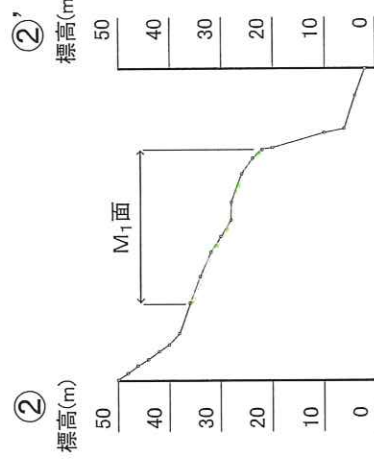
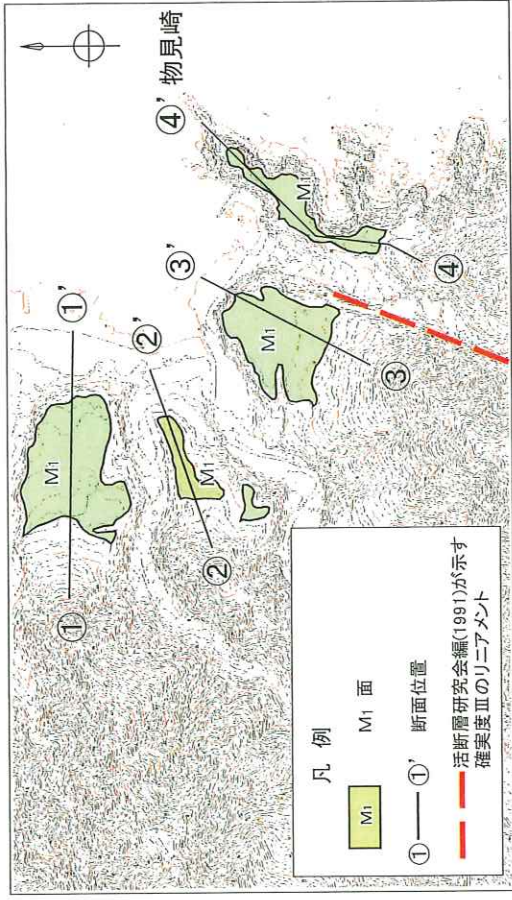
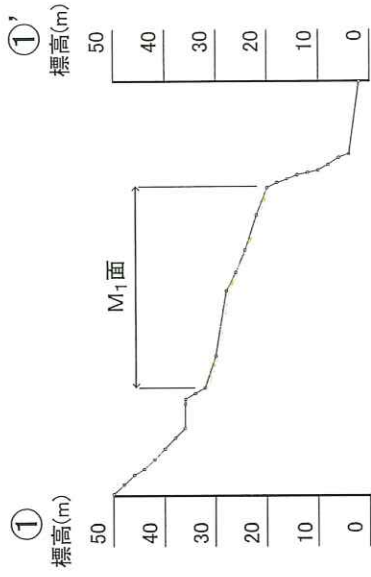




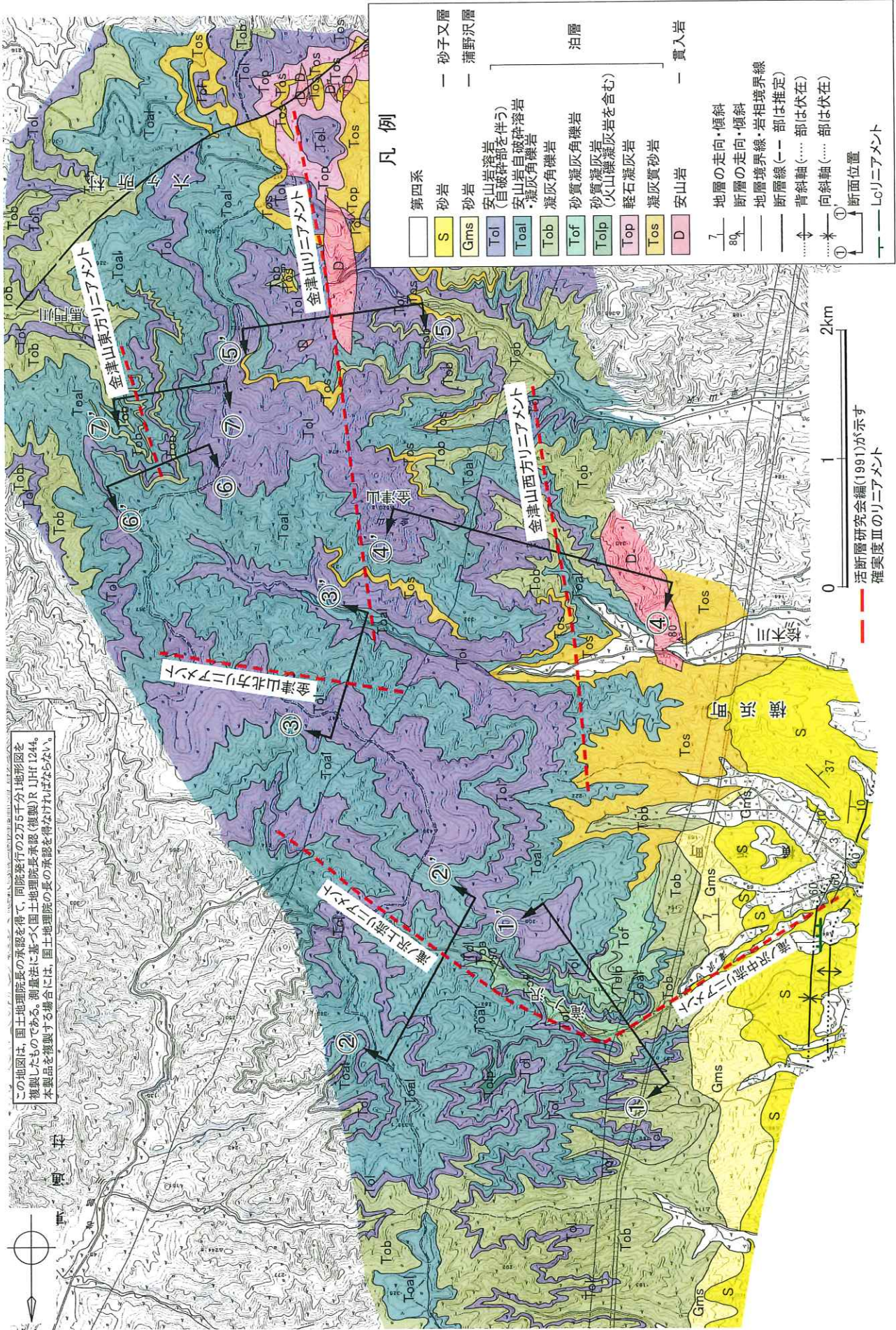
月山東方の断面はこの谷部に推定される



活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



第4.2-101図 東通村白糖南方の物見崎付近の地形断面図 4-4-348



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の2万5千分の地形図を複製したものである。複製法に基づく国土地理院長承認（複製）R 11Hf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

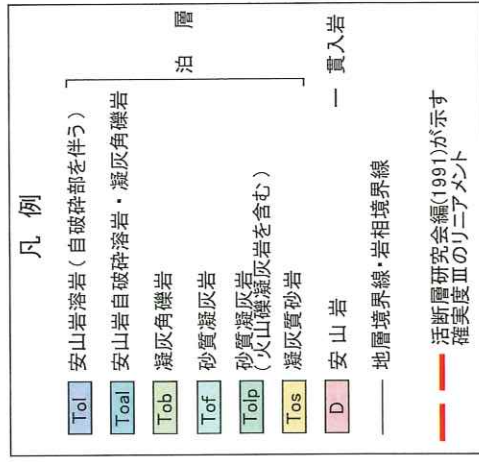
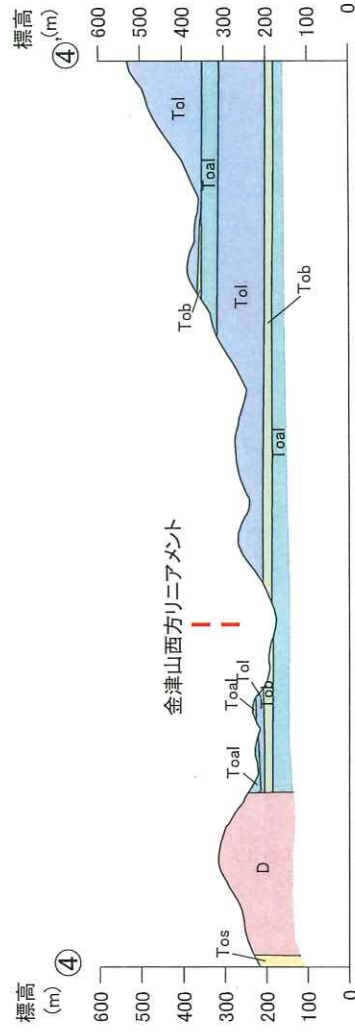
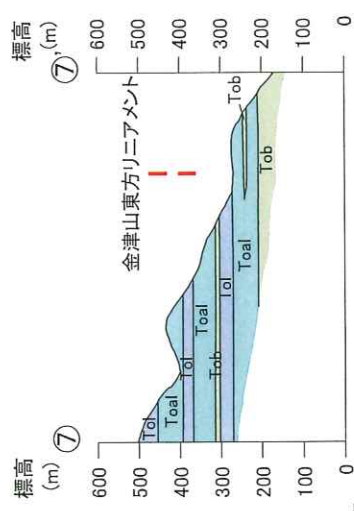
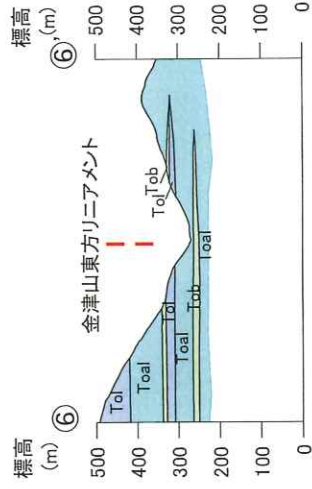
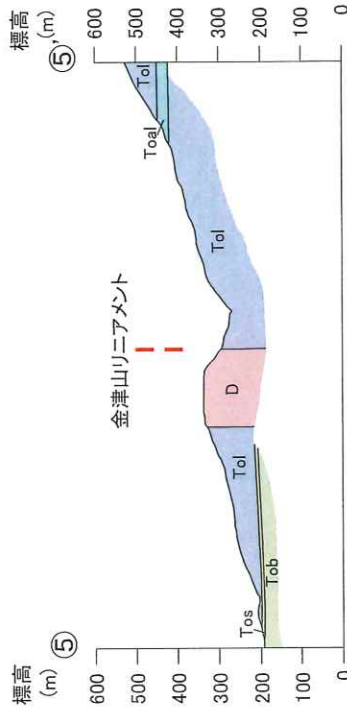
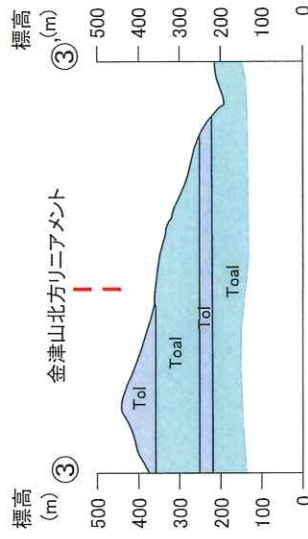
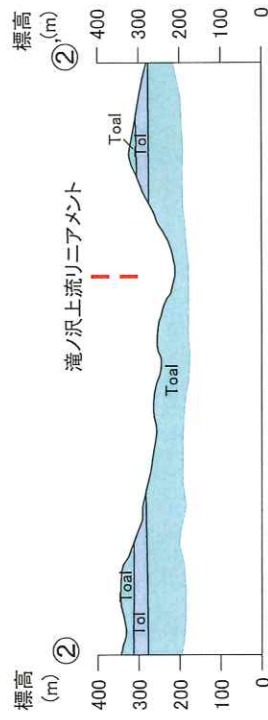
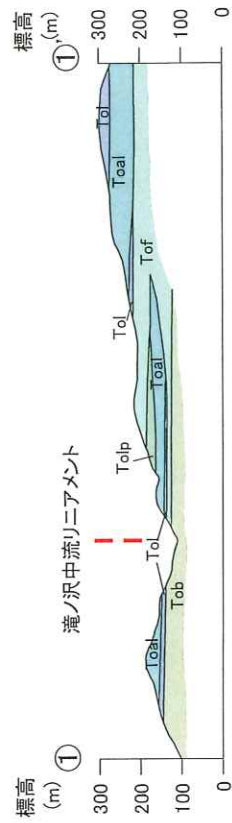
凡例

- 第四系
- 砂子又層
- 礫野沢層
- S 砂岩
- Gms 砂岩
- Tol 安山岩溶岩 (自融砕部を伴う)
- Toal 安山岩自融砕溶岩・凝灰角礫岩
- Tob 凝灰角礫岩
- Tof 砂質凝灰角礫岩
- Tolp 砂質凝灰岩 (火山凝灰岩を含む)
- Top 軽石凝灰岩
- Tos 凝灰質砂岩
- D 安山岩
- 貫入岩
- 7 地層の走向・傾斜
- 80 断層の走向・傾斜
- 地層境界線・岩相境界線
- 断層線 (--- 部は推定)
- ↕ 背斜軸 (..... 部は伏在)
- ↖ 向斜軸 (..... 部は伏在)
- ① 断面位置
- Lcリアメント

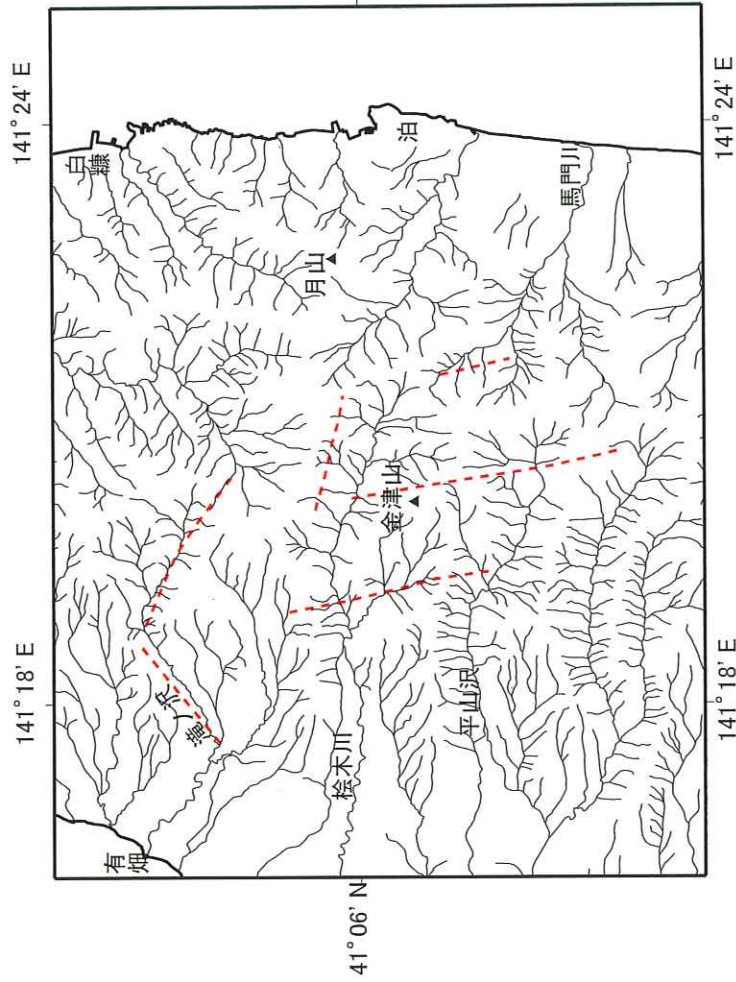
活断層研究会編(1991)が示す
確実度のリアメント



第4.2-102図 金津山周辺の地質平面図 4-4-349

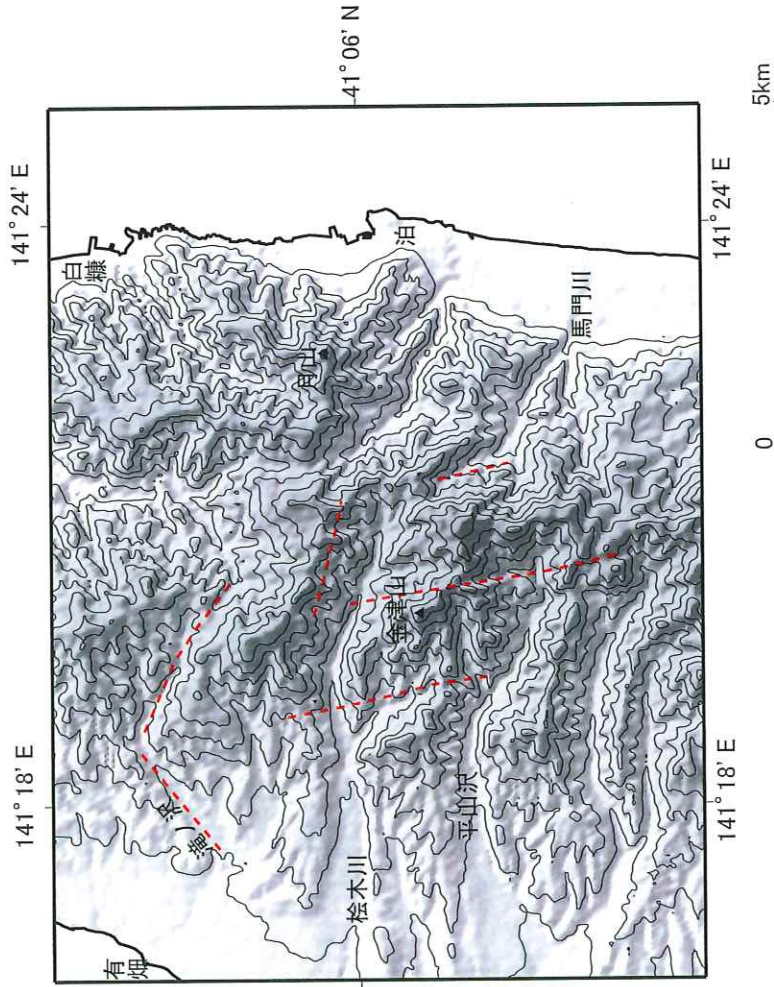


縦：横＝1：1



水系図

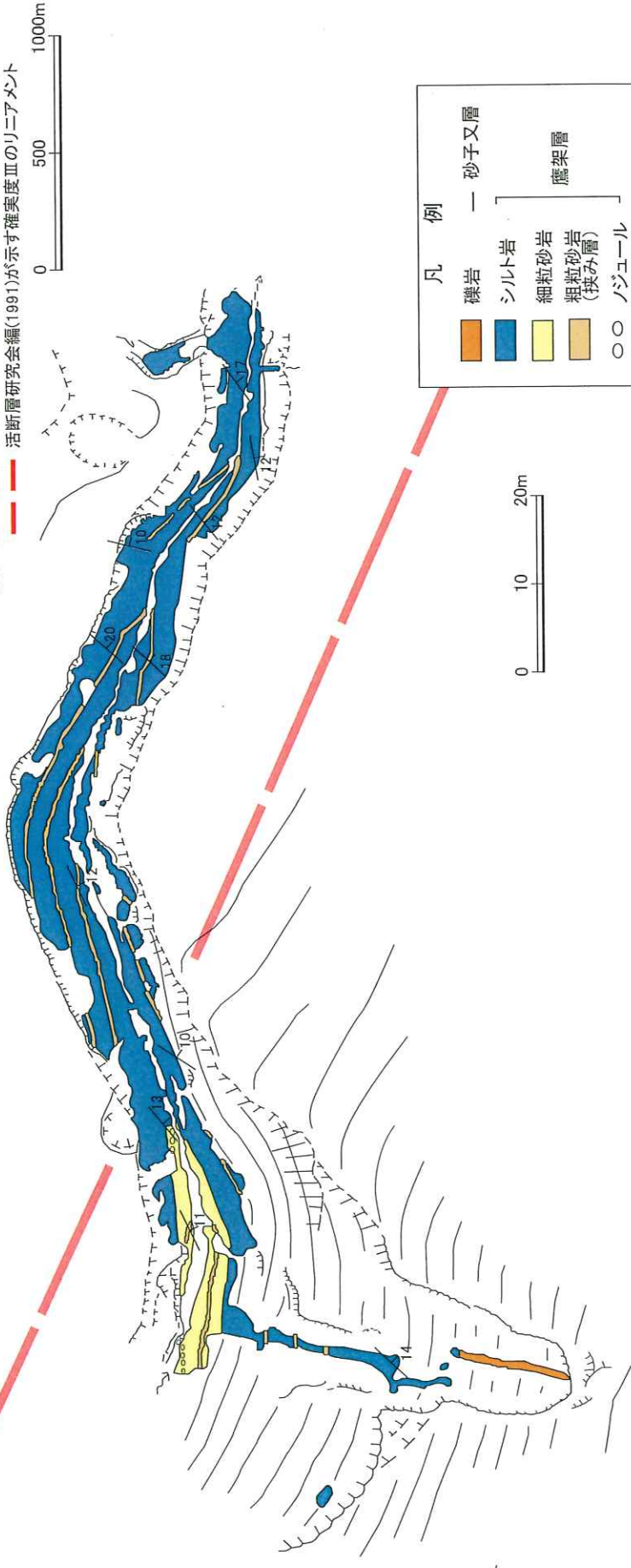
--- 活断層研究会編(1991)が示す確実度Ⅲのリニアメント



接峰面図

※本陰影図は国土地理院発行の数値地図50メッシュ(標高)を用いて作成した。

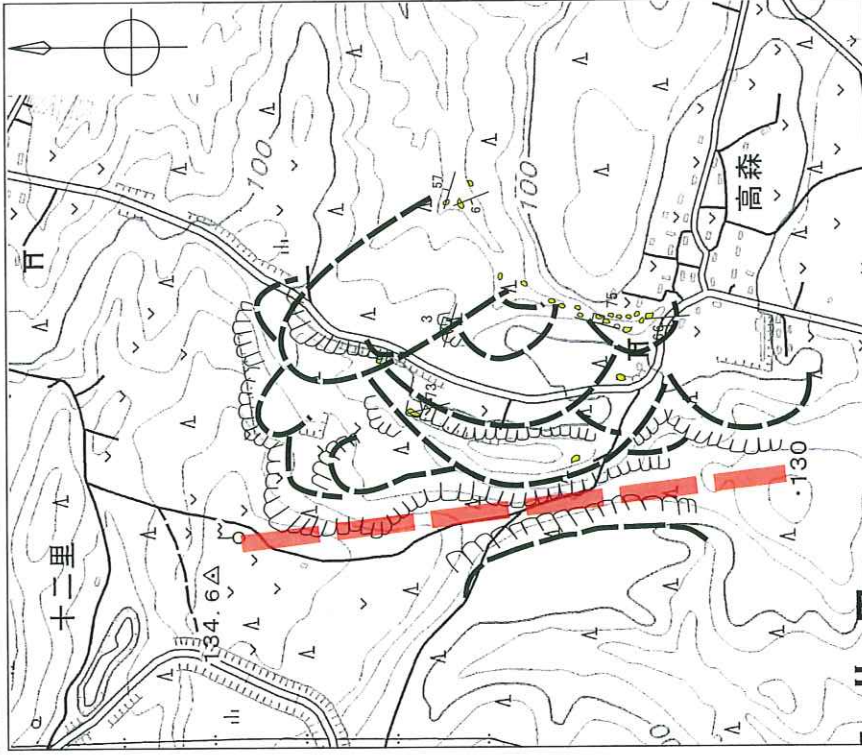
露頭位置図



凡 例

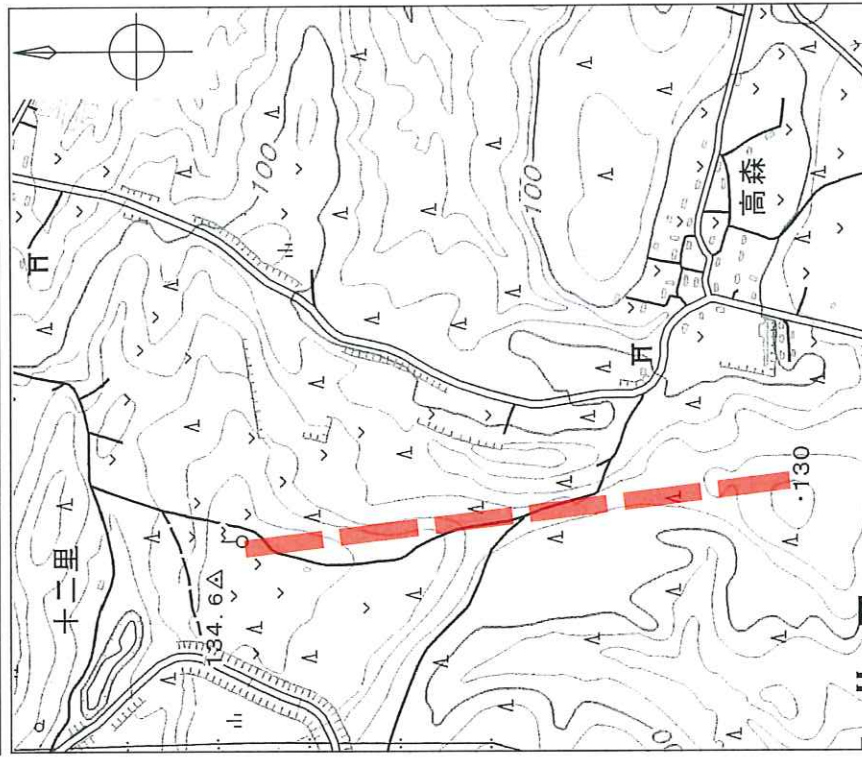
| | | |
|---------------|---|-------------|
| 礫岩 | — | 砂子又層 |
| シルト岩 | | 礫架層 |
| 細粒砂岩 | | |
| 粗粒砂岩 (狭み層) | | |
| ○○ | | ノジュール |
| 10 | | 地層の走向・傾斜 |
| — | | 地層境界線・岩相境界線 |

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R LHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。








地表踏査による地すべり地形分布図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R LHf 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

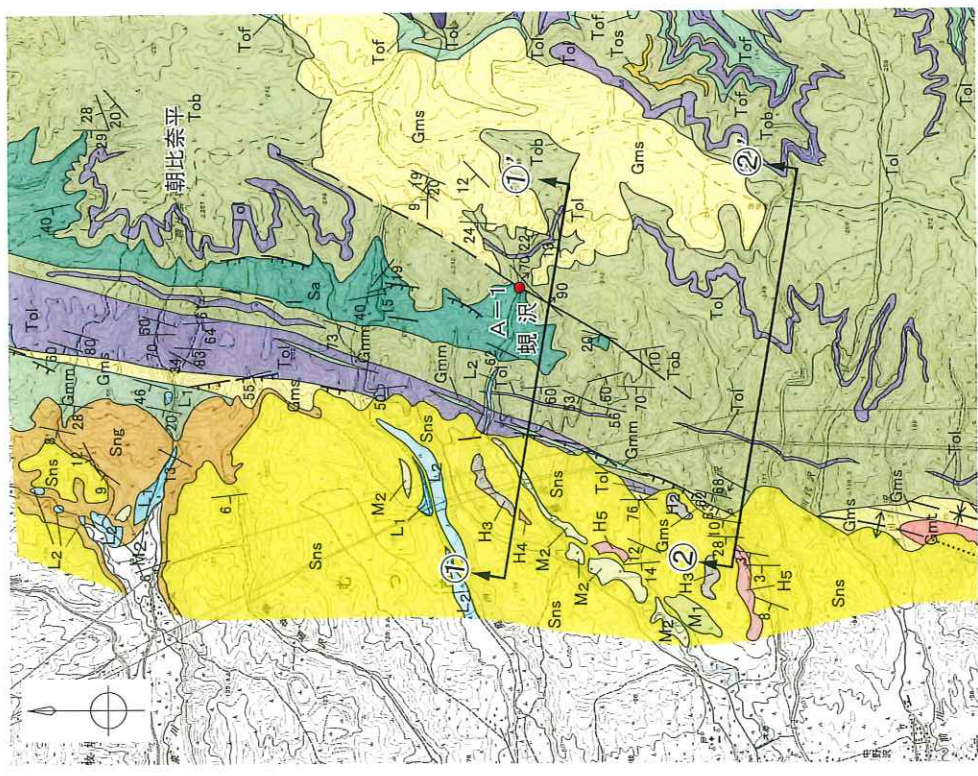


0 250 500m

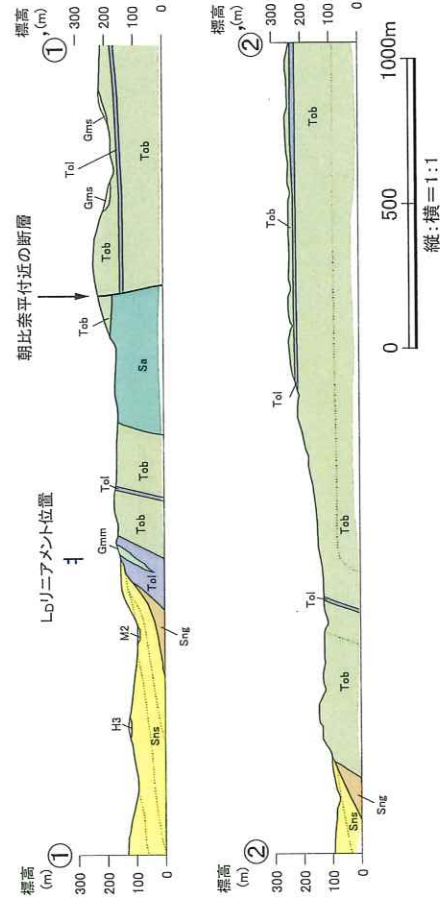
凡例

-  露頭位置(砂子又層の砂岩)
-  地層の走向・傾斜
-  滑落崖の走向・傾斜
-  滑落崖
-  地すべりブロック

活断層研究会編(1991)が示す
確実度のⅢのリアメント



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。複製法に基づき国土地理院長承認(複製)R-11111244。本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならぬ。



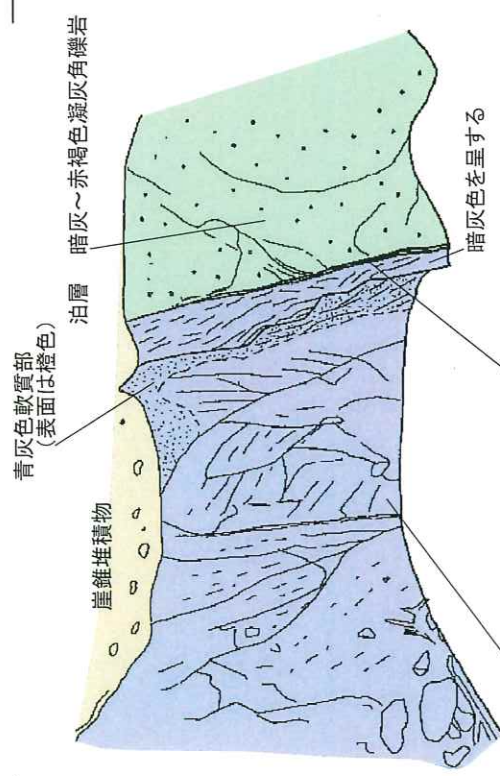
凡例

| 地質時代 | 地層名 | 記号 |
|------------|---------|----------------|
| 完新世 | 砂丘砂層 | du |
| | 沖積低地堆積層 | al |
| 後期 第四紀 | 低位段丘堆積層 | L ₂ |
| | 中位段丘堆積層 | M ₂ |
| | 高位段丘堆積層 | H ₃ |
| 中期 第四紀 | 砂岩 | Sns |
| | 礫岩 | Sng |
| | 泥岩 | Gmm |
| 前期 鮮新世 | 砂岩 | Gms |
| | 礫岩 | Gml |
| | 泥岩 | Gmg |
| 中期 新第三紀 | 安山岩溶岩 | Toi |
| | 凝灰角礫岩 | Tof |
| | 凝灰質砂岩 | Tos |
| 前期 新第三紀 | 凝灰質砂岩 | Tob |
| | 泥岩・砂岩 | Sa |

| 記号 | 説明 |
|-------|------------------|
| 8 | 地層の走向・傾斜 |
| 68 | 断層の走向・傾斜 |
| —— | 地層境界線・岩相境界線 |
| —— | 断層線 (--- 部は推定) |
| —— | 断層線 (..... 部は伏在) |
| ↕ | 背斜軸 (..... 部は伏在) |
| ↔ | 背斜軸 (推定) |
| ↔ | 向斜軸 (..... 部は伏在) |
| ↔ | 向斜軸 (推定) |
| | LDRリアメント |
| | 層理 |
| ① | 断面位置 |
| ● | 露頭位置 |

第4.2-107図 朝比奈平周辺の地質平面図及び地質断面図
4-4-354

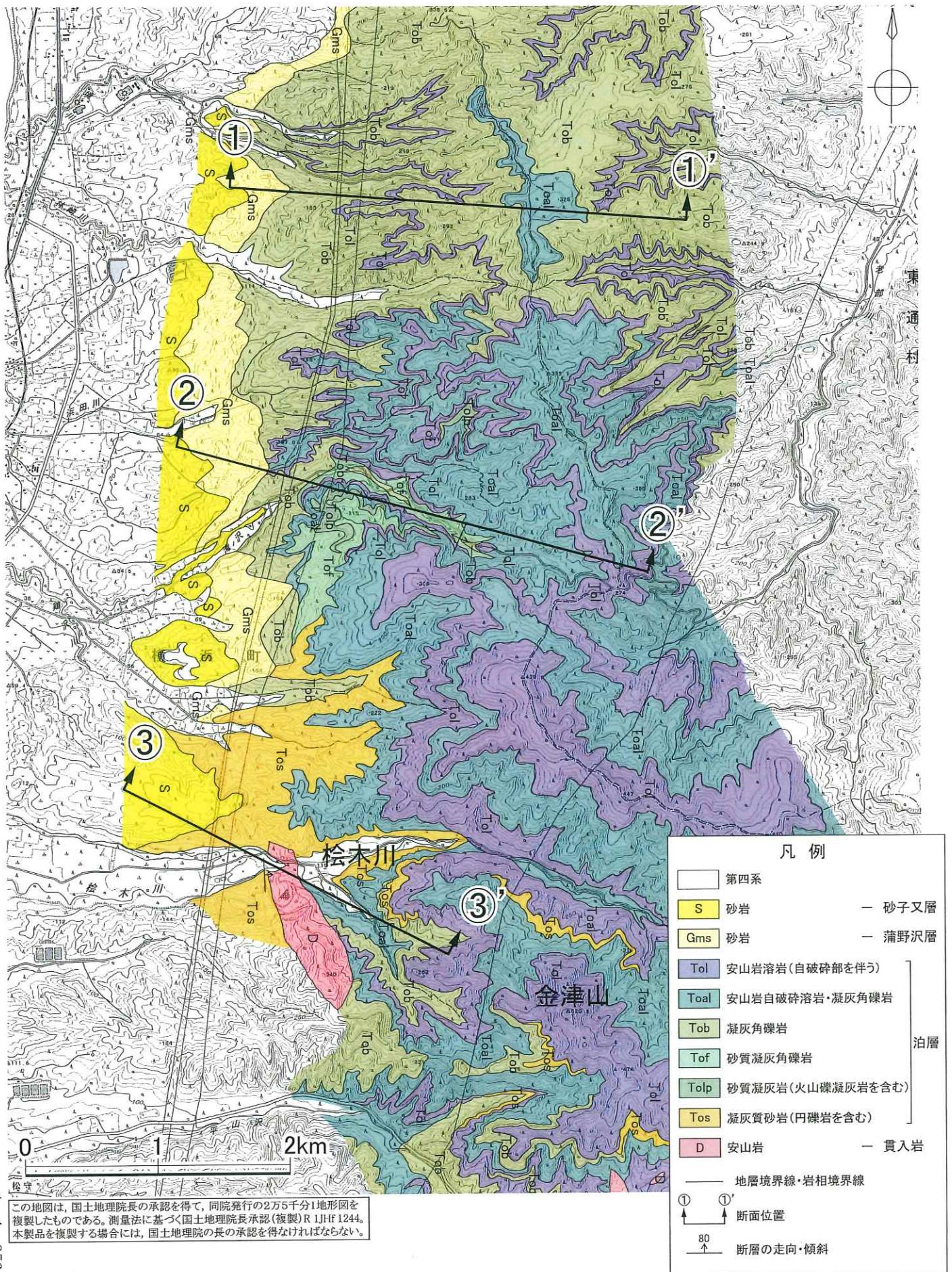
W ← → E



猿ヶ森層 灰色～青灰色シルト岩
クラックが発達する

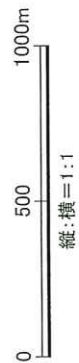
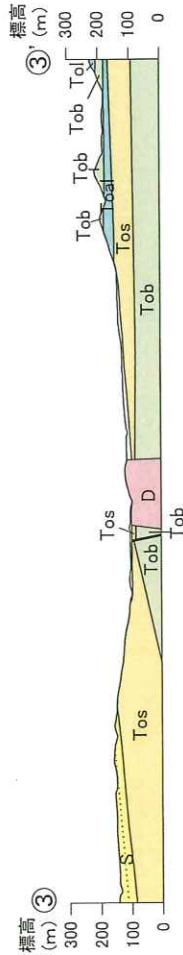
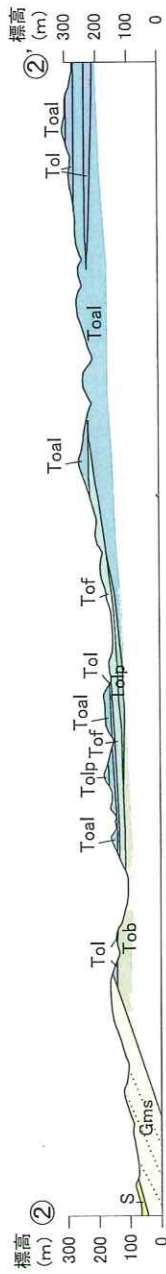
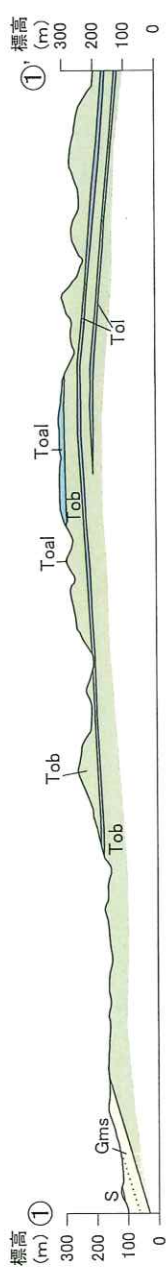
f.N57E,70S
黄褐～灰色の粘土を挟む幅5～15cmの破砕帯を持つ鱗肌は認められるが明瞭な条線は認められない。

| |
|----------------------|
| 凡例 |
| 崖錐堆積物 |
| 凝灰角礫岩(泊層) |
| シルト岩(猿ヶ森層) |
| f.N57E,70S 断層面の走向・傾斜 |

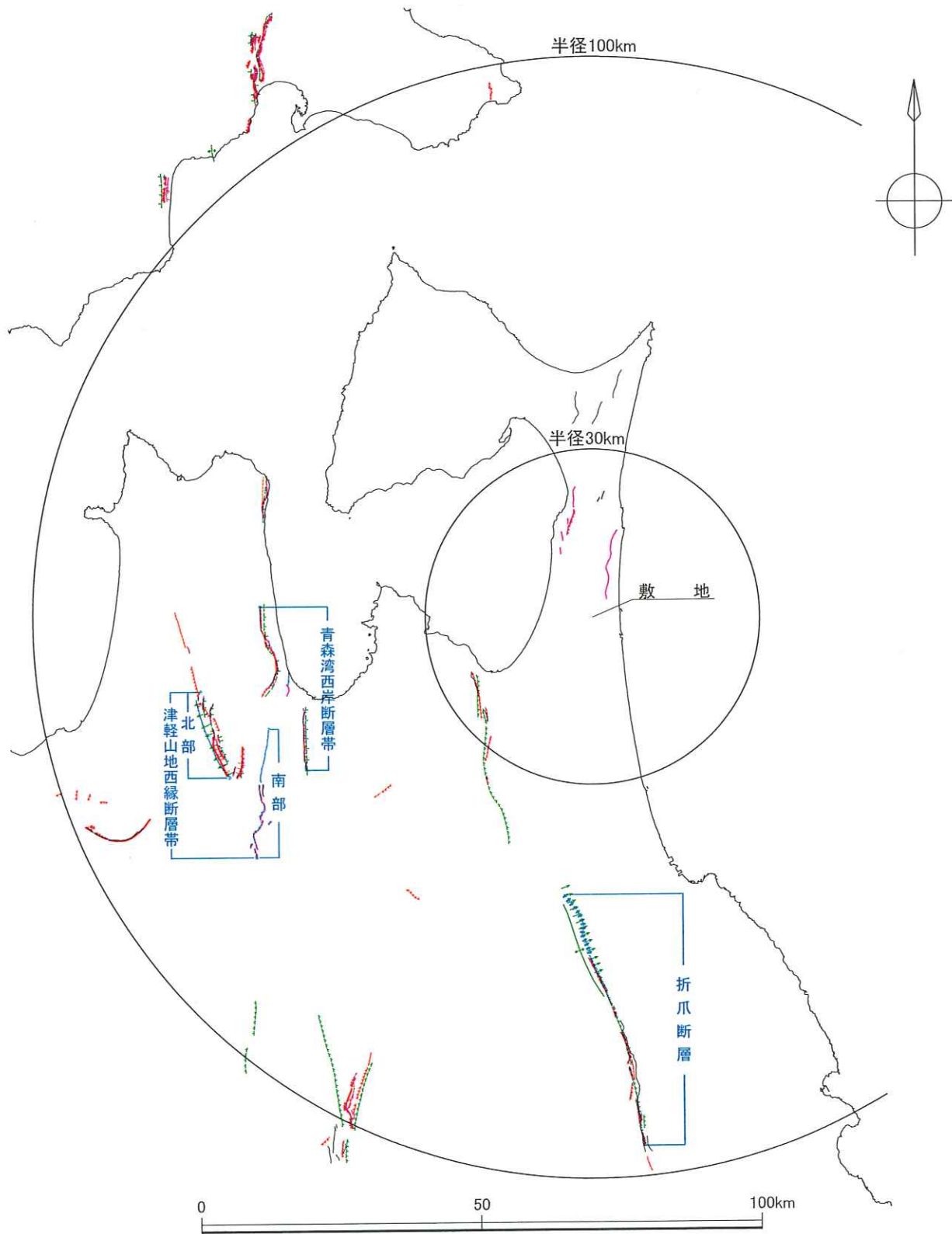


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHF1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

第4.2-109図 松本川周辺の地質平面図

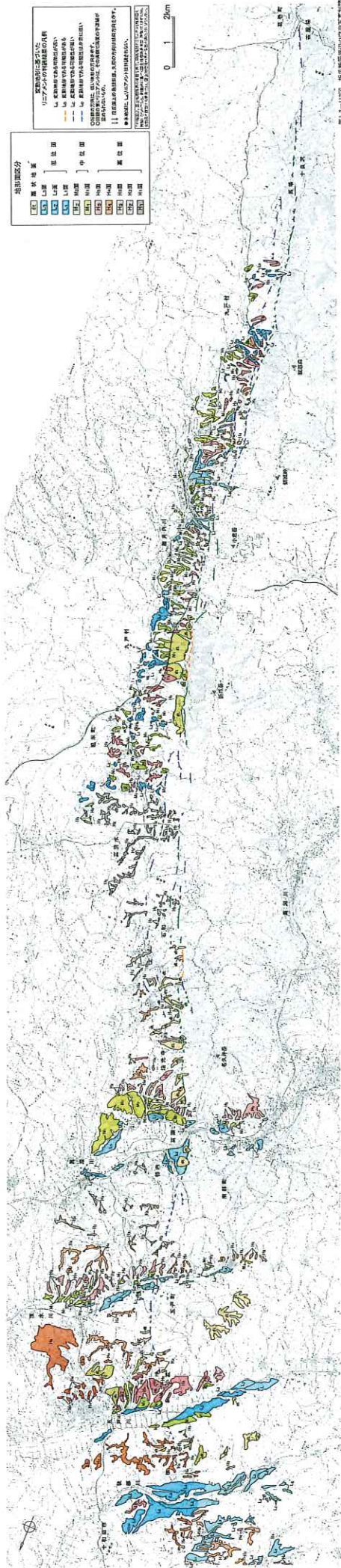


| 凡例 | |
|--------|-------------------|
| □ | 第四系 |
| ■ S | 砂子又層 |
| □ Gms | 蒲野沢層 |
| ■ Tol | 安山岩溶岩 (自破砕部を伴う) |
| ■ Toal | 安山岩自破砕溶岩・凝灰角礫岩 |
| ■ Tob | 凝灰角礫岩 |
| ■ Tof | 砂質凝灰角礫岩 |
| ■ ToIp | 凝灰質砂岩 (火山礫凝灰岩を含む) |
| ■ Tos | 凝灰質砂岩 (円礫岩を含む) |
| ■ D | 安山岩 |
| — | 地層境界線・岩相境界線 |
| — | 断層線 |
| | 層理 |



| 凡 例 | |
|--|--|
| <p>活断層研究会編(1991)</p> <p>—+— 活断層であることが確実なもの(確実度Ⅰ)</p> <p>—+— 活断層であると推定されるもの(確実度Ⅱ)</p> <p>○ 短線は縦ずれの低下側を示す。</p> | <p>山崎ほか(1986)</p> <p>— 活断層(主として第四紀後期に活動したもの)</p> <p>— 推定断層(同上)</p> <p>→ 上記の断層における変位の向き(矢印は走向ずれの方向、ケバは落下側を示す)</p> <p>↖ 第四紀後期層の背斜軸</p> <p>↗ 第四紀後期層の撓曲</p> <p>↘ 第四紀後期層の傾動方向</p> |
| <p>今泉ほか編(2018)</p> <p>— 活断層</p> <p>- - - 活断層(位置やや不明確)</p> <p>⋯ 活断層(伏在部)</p> <p>— 推定活断層</p> | <p>青字は地震調査委員会(2004)の評価</p> |

第4.2-111図 敷地を中心とする半径100 km範囲の陸域の活断層分布図



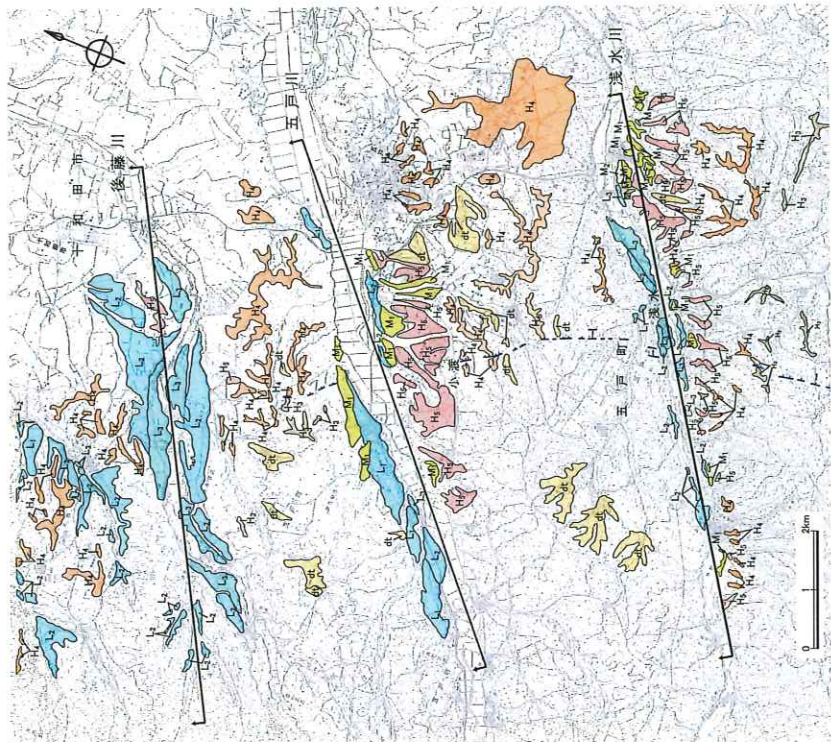
地層区分

| | | | |
|------|-------|------|-------|
| Q1 | 現代堆積層 | Q1 | 現代堆積層 |
| Q2 | 沖積層 | Q2 | 沖積層 |
| Q3 | 沖積層 | Q3 | 沖積層 |
| Q4 | 沖積層 | Q4 | 沖積層 |
| Q5 | 沖積層 | Q5 | 沖積層 |
| Q6 | 沖積層 | Q6 | 沖積層 |
| Q7 | 沖積層 | Q7 | 沖積層 |
| Q8 | 沖積層 | Q8 | 沖積層 |
| Q9 | 沖積層 | Q9 | 沖積層 |
| Q10 | 沖積層 | Q10 | 沖積層 |
| Q11 | 沖積層 | Q11 | 沖積層 |
| Q12 | 沖積層 | Q12 | 沖積層 |
| Q13 | 沖積層 | Q13 | 沖積層 |
| Q14 | 沖積層 | Q14 | 沖積層 |
| Q15 | 沖積層 | Q15 | 沖積層 |
| Q16 | 沖積層 | Q16 | 沖積層 |
| Q17 | 沖積層 | Q17 | 沖積層 |
| Q18 | 沖積層 | Q18 | 沖積層 |
| Q19 | 沖積層 | Q19 | 沖積層 |
| Q20 | 沖積層 | Q20 | 沖積層 |
| Q21 | 沖積層 | Q21 | 沖積層 |
| Q22 | 沖積層 | Q22 | 沖積層 |
| Q23 | 沖積層 | Q23 | 沖積層 |
| Q24 | 沖積層 | Q24 | 沖積層 |
| Q25 | 沖積層 | Q25 | 沖積層 |
| Q26 | 沖積層 | Q26 | 沖積層 |
| Q27 | 沖積層 | Q27 | 沖積層 |
| Q28 | 沖積層 | Q28 | 沖積層 |
| Q29 | 沖積層 | Q29 | 沖積層 |
| Q30 | 沖積層 | Q30 | 沖積層 |
| Q31 | 沖積層 | Q31 | 沖積層 |
| Q32 | 沖積層 | Q32 | 沖積層 |
| Q33 | 沖積層 | Q33 | 沖積層 |
| Q34 | 沖積層 | Q34 | 沖積層 |
| Q35 | 沖積層 | Q35 | 沖積層 |
| Q36 | 沖積層 | Q36 | 沖積層 |
| Q37 | 沖積層 | Q37 | 沖積層 |
| Q38 | 沖積層 | Q38 | 沖積層 |
| Q39 | 沖積層 | Q39 | 沖積層 |
| Q40 | 沖積層 | Q40 | 沖積層 |
| Q41 | 沖積層 | Q41 | 沖積層 |
| Q42 | 沖積層 | Q42 | 沖積層 |
| Q43 | 沖積層 | Q43 | 沖積層 |
| Q44 | 沖積層 | Q44 | 沖積層 |
| Q45 | 沖積層 | Q45 | 沖積層 |
| Q46 | 沖積層 | Q46 | 沖積層 |
| Q47 | 沖積層 | Q47 | 沖積層 |
| Q48 | 沖積層 | Q48 | 沖積層 |
| Q49 | 沖積層 | Q49 | 沖積層 |
| Q50 | 沖積層 | Q50 | 沖積層 |
| Q51 | 沖積層 | Q51 | 沖積層 |
| Q52 | 沖積層 | Q52 | 沖積層 |
| Q53 | 沖積層 | Q53 | 沖積層 |
| Q54 | 沖積層 | Q54 | 沖積層 |
| Q55 | 沖積層 | Q55 | 沖積層 |
| Q56 | 沖積層 | Q56 | 沖積層 |
| Q57 | 沖積層 | Q57 | 沖積層 |
| Q58 | 沖積層 | Q58 | 沖積層 |
| Q59 | 沖積層 | Q59 | 沖積層 |
| Q60 | 沖積層 | Q60 | 沖積層 |
| Q61 | 沖積層 | Q61 | 沖積層 |
| Q62 | 沖積層 | Q62 | 沖積層 |
| Q63 | 沖積層 | Q63 | 沖積層 |
| Q64 | 沖積層 | Q64 | 沖積層 |
| Q65 | 沖積層 | Q65 | 沖積層 |
| Q66 | 沖積層 | Q66 | 沖積層 |
| Q67 | 沖積層 | Q67 | 沖積層 |
| Q68 | 沖積層 | Q68 | 沖積層 |
| Q69 | 沖積層 | Q69 | 沖積層 |
| Q70 | 沖積層 | Q70 | 沖積層 |
| Q71 | 沖積層 | Q71 | 沖積層 |
| Q72 | 沖積層 | Q72 | 沖積層 |
| Q73 | 沖積層 | Q73 | 沖積層 |
| Q74 | 沖積層 | Q74 | 沖積層 |
| Q75 | 沖積層 | Q75 | 沖積層 |
| Q76 | 沖積層 | Q76 | 沖積層 |
| Q77 | 沖積層 | Q77 | 沖積層 |
| Q78 | 沖積層 | Q78 | 沖積層 |
| Q79 | 沖積層 | Q79 | 沖積層 |
| Q80 | 沖積層 | Q80 | 沖積層 |
| Q81 | 沖積層 | Q81 | 沖積層 |
| Q82 | 沖積層 | Q82 | 沖積層 |
| Q83 | 沖積層 | Q83 | 沖積層 |
| Q84 | 沖積層 | Q84 | 沖積層 |
| Q85 | 沖積層 | Q85 | 沖積層 |
| Q86 | 沖積層 | Q86 | 沖積層 |
| Q87 | 沖積層 | Q87 | 沖積層 |
| Q88 | 沖積層 | Q88 | 沖積層 |
| Q89 | 沖積層 | Q89 | 沖積層 |
| Q90 | 沖積層 | Q90 | 沖積層 |
| Q91 | 沖積層 | Q91 | 沖積層 |
| Q92 | 沖積層 | Q92 | 沖積層 |
| Q93 | 沖積層 | Q93 | 沖積層 |
| Q94 | 沖積層 | Q94 | 沖積層 |
| Q95 | 沖積層 | Q95 | 沖積層 |
| Q96 | 沖積層 | Q96 | 沖積層 |
| Q97 | 沖積層 | Q97 | 沖積層 |
| Q98 | 沖積層 | Q98 | 沖積層 |
| Q99 | 沖積層 | Q99 | 沖積層 |
| Q100 | 沖積層 | Q100 | 沖積層 |

1. 地層区分
 2. 地層区分
 3. 地層区分
 4. 地層区分
 5. 地層区分
 6. 地層区分
 7. 地層区分
 8. 地層区分
 9. 地層区分
 10. 地層区分
 11. 地層区分
 12. 地層区分
 13. 地層区分
 14. 地層区分
 15. 地層区分
 16. 地層区分
 17. 地層区分
 18. 地層区分
 19. 地層区分
 20. 地層区分
 21. 地層区分
 22. 地層区分
 23. 地層区分
 24. 地層区分
 25. 地層区分
 26. 地層区分
 27. 地層区分
 28. 地層区分
 29. 地層区分
 30. 地層区分
 31. 地層区分
 32. 地層区分
 33. 地層区分
 34. 地層区分
 35. 地層区分
 36. 地層区分
 37. 地層区分
 38. 地層区分
 39. 地層区分
 40. 地層区分
 41. 地層区分
 42. 地層区分
 43. 地層区分
 44. 地層区分
 45. 地層区分
 46. 地層区分
 47. 地層区分
 48. 地層区分
 49. 地層区分
 50. 地層区分
 51. 地層区分
 52. 地層区分
 53. 地層区分
 54. 地層区分
 55. 地層区分
 56. 地層区分
 57. 地層区分
 58. 地層区分
 59. 地層区分
 60. 地層区分
 61. 地層区分
 62. 地層区分
 63. 地層区分
 64. 地層区分
 65. 地層区分
 66. 地層区分
 67. 地層区分
 68. 地層区分
 69. 地層区分
 70. 地層区分
 71. 地層区分
 72. 地層区分
 73. 地層区分
 74. 地層区分
 75. 地層区分
 76. 地層区分
 77. 地層区分
 78. 地層区分
 79. 地層区分
 80. 地層区分
 81. 地層区分
 82. 地層区分
 83. 地層区分
 84. 地層区分
 85. 地層区分
 86. 地層区分
 87. 地層区分
 88. 地層区分
 89. 地層区分
 90. 地層区分
 91. 地層区分
 92. 地層区分
 93. 地層区分
 94. 地層区分
 95. 地層区分
 96. 地層区分
 97. 地層区分
 98. 地層区分
 99. 地層区分
 100. 地層区分

0 1 2km

図 1-1-120 所収地層図の地層区分



この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の万分五十分地形図を複製したものである。複製法に基づく国土地理院長承認(複製)は、JHF 1244。本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

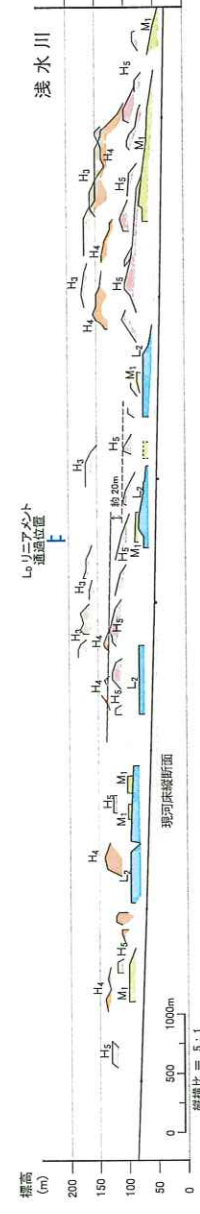
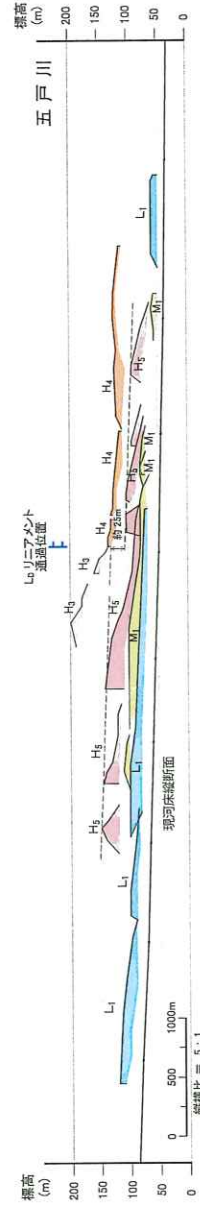
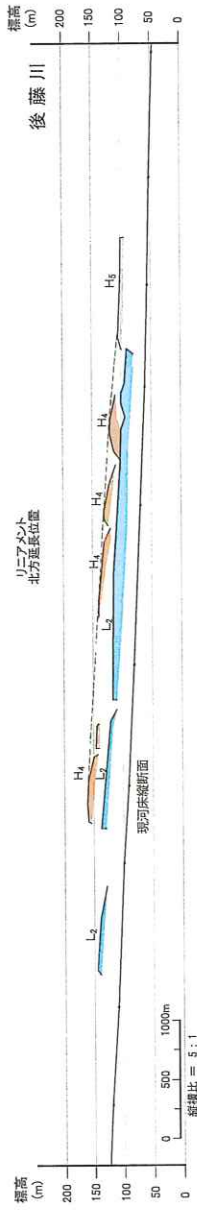
変動地形に基づいたリアメントの判読結果の凡例

- リアメントの判読結果の凡例
- L₁ 変動地形である可能性が高い
- L₂ 変動地形である可能性がある
- L₃ 変動地形である可能性が低い
- L₄ 変動地形である可能性が非常に低い
- M₁ 屈曲の方向は、低い地形の方向を示す。
- M₂ 屈曲の低いリアメントは、その屈曲で高度の不連続が認められないもの。
- H₁ 断崖面上の急傾斜部。矢印の方向は傾斜方向を示す。
- 本地域にリアメントは判読されない。

地形面区分凡例

| | |
|----------------|------------------|
| dt | 扇状地面 |
| L ₃ | L ₃ 面 |
| L ₂ | L ₂ 面 |
| L ₁ | L ₁ 面 |
| M ₂ | M ₂ 面 |
| M ₁ | M ₁ 面 |
| H ₅ | H ₅ 面 |
| H ₄ | H ₄ 面 |
| H ₃ | H ₃ 面 |
| H ₂ | H ₂ 面 |

断面位置

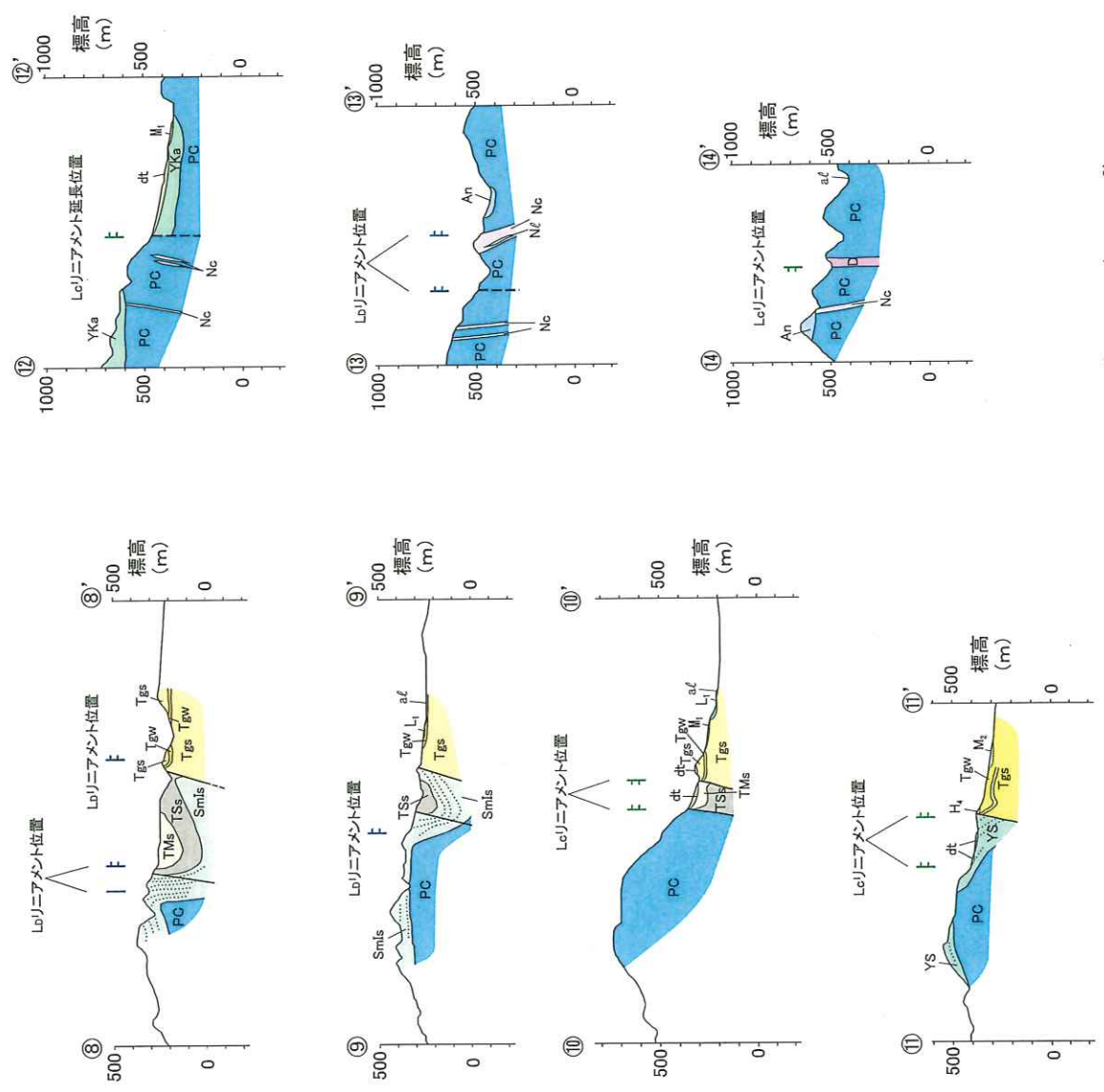


第4.2-113図 折爪断層北部の段丘面高度分布図 4-4-360

地質凡例

| 地質時代 | 地層名 | 記号 |
|------|---------|----------------|
| 第四紀 | 沖積低地堆積層 | a/c |
| | 崖錐堆積層 | dt |
| | 低位段丘堆積層 | L ₁ |
| 第三紀 | 中位段丘堆積層 | M ₂ |
| | 高位段丘堆積層 | M ₁ |
| 中生代 | 砂岩・泥岩 | [TGS] |
| | 凝灰岩 | [TGV] |
| | 斗川層 | [TMS] |
| 新第三紀 | 留崎層 | [TSS] |
| | 末ノ松山層 | Sms |
| | 四ツ役層 | [YKa] |
| | 四ツ役層 | [YS] |
| 中生代 | 中・古生層 | [Nc] |
| | チャート | [NZ] |
| 中生代 | 安山岩 | [An] |
| | 貫入岩 | [D] |

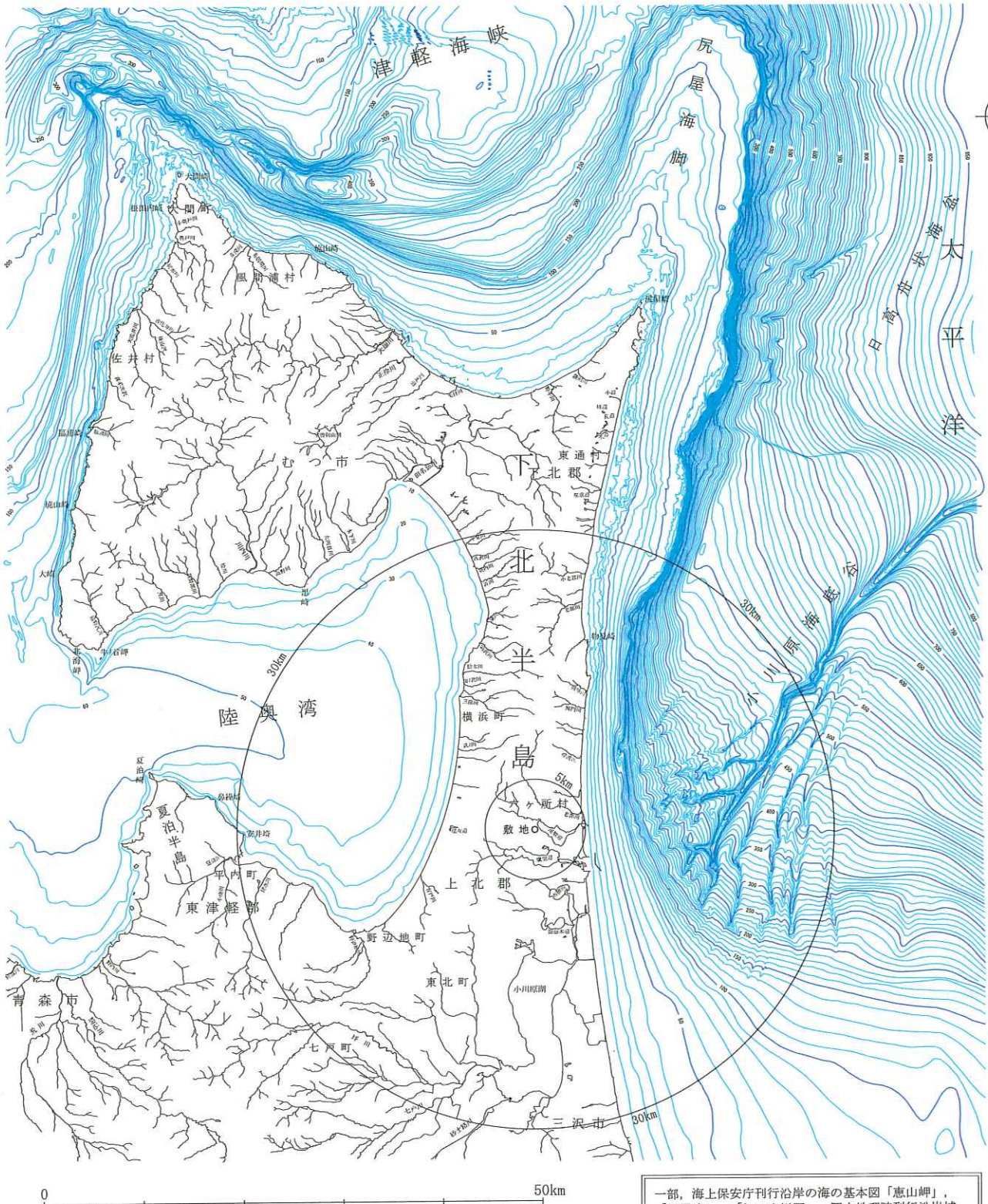
| 記号 | 説明 |
|-------|----------------|
| —— | 地層境界線 |
| —— | 断層線 (--- 部は推定) |
| | 層理 |



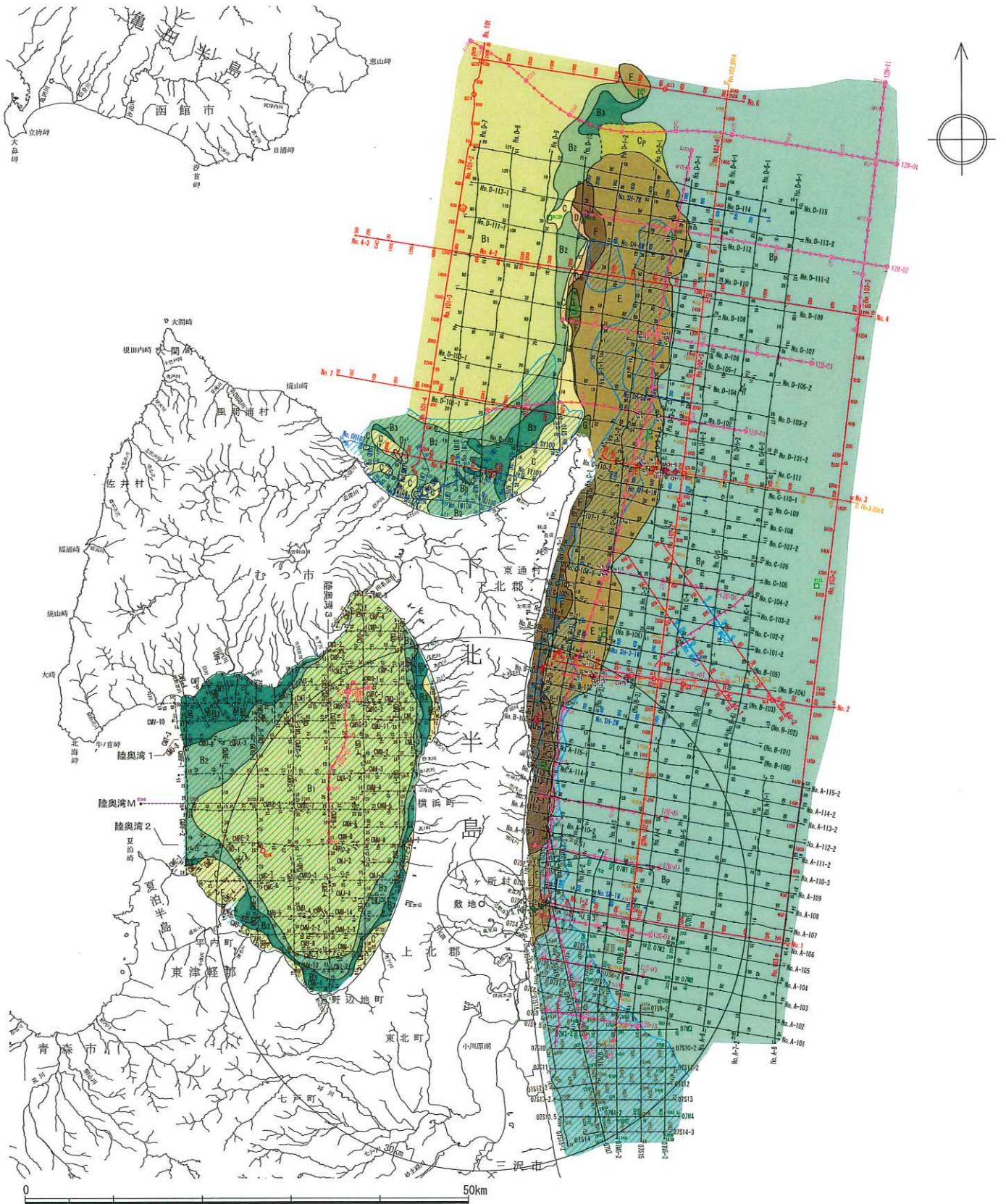
変動地形に基づいたリニアメントの判読結果の凡例

L_A 変動地形である可能性が高い
 L_B 変動地形である可能性がある
 L_C 変動地形である可能性が低い
 L_D 変動地形である可能性は非常に低い

○ 短線の方向は、低い地形の方向を示す。
 ○ 短線の無いリニアメントは、その高曲で高度の不連続性が認められないもの。
 ● 本地域に、L_A及びL_Bリニアメントは判読されない。



一部、海上保安庁刊行沿岸の海の基本図「恵山岬」，「尻屋崎」，「むつ小川原」，国土地理院刊行沿岸域広域土地条件図「陸奥湾」等から編集したものである。

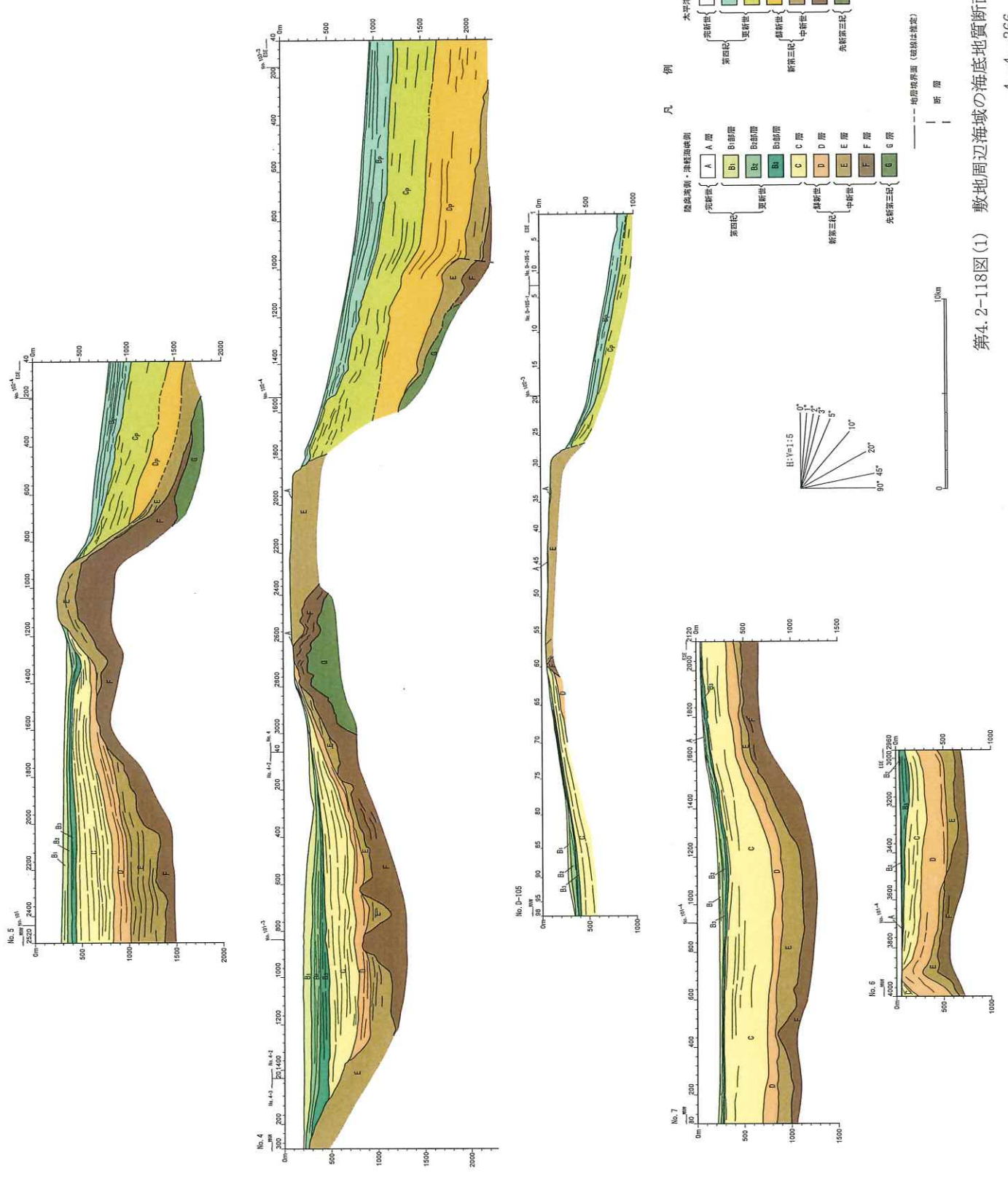


4-4-365

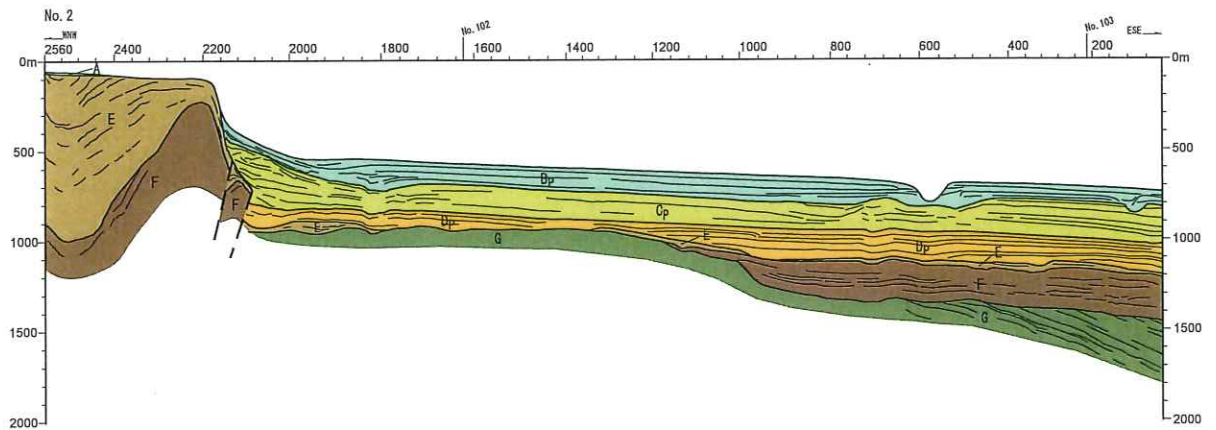
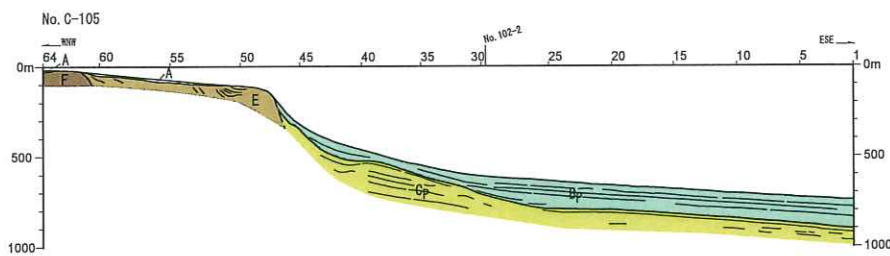
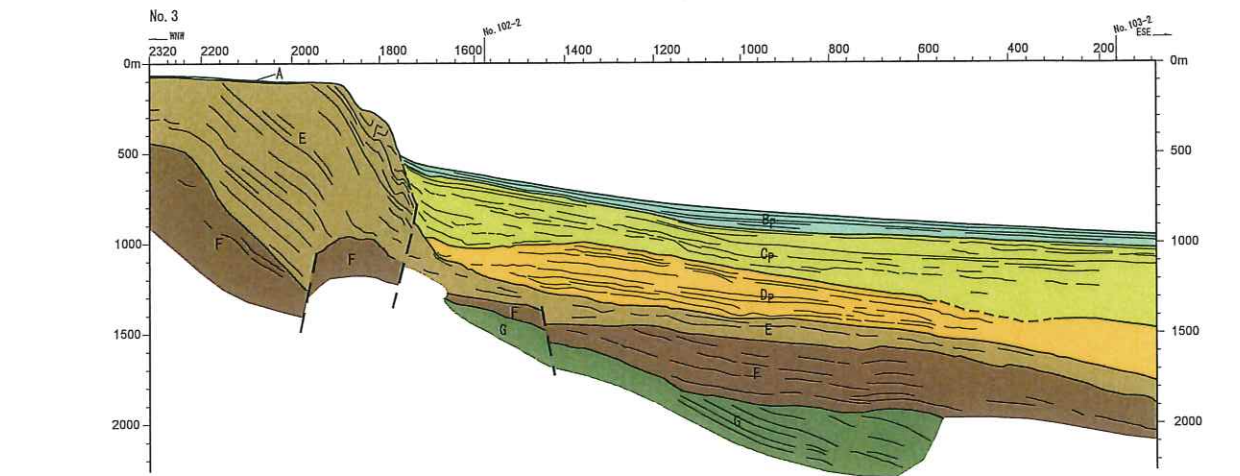
凡例

- | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|
| <p>第四紀</p> <ul style="list-style-type: none"> 完新世 <ul style="list-style-type: none"> A層分布域 B₁層 B₂層 B₃層 更新世 <ul style="list-style-type: none"> C層 D層 E層 F層 中新世 <ul style="list-style-type: none"> G層 | <p>太平洋側</p> <ul style="list-style-type: none"> 完新世 <ul style="list-style-type: none"> A層分布域 B_p層 C_p層 D_p層 更新世 <ul style="list-style-type: none"> E層 F層 G層 | <p>第四紀後期更新世以降の活動性を考慮する断層</p> <p>連続性の認められない断層</p> | <p>078</p> <p>075</p> <p>128</p> <p>394</p> <p>J&K</p> <p>No. 1-100</p> <p>No. 90-</p> <p>No. A-10, D-</p> <p>No. 50-</p> <p>No. 01-No. 57</p> <p>0A-080-</p> <p>陸奥湾M</p> | <p>日本原産によるマルチチャンネル音波探査 (48ch, ウォーターガン) 測線 (2007年)</p> <p>日本原産によるシングルチャンネル音波探査 (ウォーターガン) 測線 (2007年)</p> <p>日本原産・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵所によるマルチチャンネル音波探査 (156ch, エアガン/48ch, エアガン) 測線 (2012年, 2013年)</p> <p>日本原産・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵所によるマルチチャンネル音波探査 (48ch, ウォーターガン) 測線 (2014年)</p> <p>日本原産サービス網によるシングルチャンネル音波探査 (スパーカー) 測線 (1997年)</p> <p>東北電力・東京電力によるマルチチャンネル音波探査 (48ch, G1ガン(射エアガン)/24ch(=812ch), ウォーターガン) 測線 (1995年, 2008年)</p> <p>東北電力・東京電力によるショートマルチチャンネル音波探査 (12ch, ウォーターガン) 測線 (1997年, 1978年)</p> <p>東北電力・東京電力によるシングルチャンネル音波探査 (スパーカー) 測線 (1977年, 1978年)</p> <p>東京電力によるマルチチャンネル音波探査 (12ch, ウォーターガン) 測線 (1987年, 1988年)</p> <p>東京電力によるシングルチャンネル音波探査 (スパーカー) 測線 (2001年, 2003年)</p> <p>建設省国土院によるシングルチャンネル音波探査 (スパーカー) 測線 (1981年)</p> <p>(財)電力中央研究所によるマルチチャンネル音波探査 (24ch, エアガン) 測線 (2009年)</p> | <p>◆H1</p> <p>□H14</p> <p>◆D-1</p> <p>◆D-2</p> <p>◆D-3</p> <p>◆D-4</p> <p>◆D-5</p> <p>◆D-6</p> <p>◆D-7</p> <p>◆D-8</p> <p>◆D-9</p> <p>◆D-10</p> <p>◆D-11</p> <p>◆D-12</p> <p>◆D-13</p> <p>◆D-14</p> <p>◆D-15</p> <p>◆D-16</p> <p>◆D-17</p> <p>◆D-18</p> <p>◆D-19</p> <p>◆D-20</p> <p>◆D-21</p> <p>◆D-22</p> <p>◆D-23</p> <p>◆D-24</p> <p>◆D-25</p> <p>◆D-26</p> <p>◆D-27</p> <p>◆D-28</p> <p>◆D-29</p> <p>◆D-30</p> <p>◆D-31</p> <p>◆D-32</p> <p>◆D-33</p> <p>◆D-34</p> <p>◆D-35</p> <p>◆D-36</p> <p>◆D-37</p> <p>◆D-38</p> <p>◆D-39</p> <p>◆D-40</p> <p>◆D-41</p> <p>◆D-42</p> <p>◆D-43</p> <p>◆D-44</p> <p>◆D-45</p> <p>◆D-46</p> <p>◆D-47</p> <p>◆D-48</p> <p>◆D-49</p> <p>◆D-50</p> <p>◆D-51</p> <p>◆D-52</p> <p>◆D-53</p> <p>◆D-54</p> <p>◆D-55</p> <p>◆D-56</p> <p>◆D-57</p> <p>◆D-58</p> <p>◆D-59</p> <p>◆D-60</p> <p>◆D-61</p> <p>◆D-62</p> <p>◆D-63</p> <p>◆D-64</p> <p>◆D-65</p> <p>◆D-66</p> <p>◆D-67</p> <p>◆D-68</p> <p>◆D-69</p> <p>◆D-70</p> <p>◆D-71</p> <p>◆D-72</p> <p>◆D-73</p> <p>◆D-74</p> <p>◆D-75</p> <p>◆D-76</p> <p>◆D-77</p> <p>◆D-78</p> <p>◆D-79</p> <p>◆D-80</p> <p>◆D-81</p> <p>◆D-82</p> <p>◆D-83</p> <p>◆D-84</p> <p>◆D-85</p> <p>◆D-86</p> <p>◆D-87</p> <p>◆D-88</p> <p>◆D-89</p> <p>◆D-90</p> <p>◆D-91</p> <p>◆D-92</p> <p>◆D-93</p> <p>◆D-94</p> <p>◆D-95</p> <p>◆D-96</p> <p>◆D-97</p> <p>◆D-98</p> <p>◆D-99</p> <p>◆D-100</p> <p>◆D-101</p> <p>◆D-102</p> <p>◆D-103</p> <p>◆D-104</p> <p>◆D-105</p> <p>◆D-106</p> <p>◆D-107</p> <p>◆D-108</p> <p>◆D-109</p> <p>◆D-110</p> <p>◆D-111</p> <p>◆D-112</p> <p>◆D-113</p> <p>◆D-114</p> <p>◆D-115</p> <p>◆D-116</p> <p>◆D-117</p> <p>◆D-118</p> <p>◆D-119</p> <p>◆D-120</p> <p>◆D-121</p> <p>◆D-122</p> <p>◆D-123</p> <p>◆D-124</p> <p>◆D-125</p> <p>◆D-126</p> <p>◆D-127</p> <p>◆D-128</p> <p>◆D-129</p> <p>◆D-130</p> <p>◆D-131</p> <p>◆D-132</p> <p>◆D-133</p> <p>◆D-134</p> <p>◆D-135</p> <p>◆D-136</p> <p>◆D-137</p> <p>◆D-138</p> <p>◆D-139</p> <p>◆D-140</p> <p>◆D-141</p> <p>◆D-142</p> <p>◆D-143</p> <p>◆D-144</p> <p>◆D-145</p> <p>◆D-146</p> <p>◆D-147</p> <p>◆D-148</p> <p>◆D-149</p> <p>◆D-150</p> <p>◆D-151</p> <p>◆D-152</p> <p>◆D-153</p> <p>◆D-154</p> <p>◆D-155</p> <p>◆D-156</p> <p>◆D-157</p> <p>◆D-158</p> <p>◆D-159</p> <p>◆D-160</p> <p>◆D-161</p> <p>◆D-162</p> <p>◆D-163</p> <p>◆D-164</p> <p>◆D-165</p> <p>◆D-166</p> <p>◆D-167</p> <p>◆D-168</p> <p>◆D-169</p> <p>◆D-170</p> <p>◆D-171</p> <p>◆D-172</p> <p>◆D-173</p> <p>◆D-174</p> <p>◆D-175</p> <p>◆D-176</p> <p>◆D-177</p> <p>◆D-178</p> <p>◆D-179</p> <p>◆D-180</p> <p>◆D-181</p> <p>◆D-182</p> <p>◆D-183</p> <p>◆D-184</p> <p>◆D-185</p> <p>◆D-186</p> <p>◆D-187</p> <p>◆D-188</p> <p>◆D-189</p> <p>◆D-190</p> <p>◆D-191</p> <p>◆D-192</p> <p>◆D-193</p> <p>◆D-194</p> <p>◆D-195</p> <p>◆D-196</p> <p>◆D-197</p> <p>◆D-198</p> <p>◆D-199</p> <p>◆D-200</p> |
|---|---|--|---|--|--|

第4.2-117図 敷地周辺海域の海底地質図



第4.2-118図(1) 敷地周辺海域の海底地質断面図

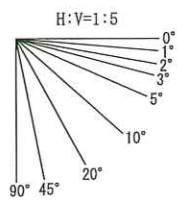


凡 例

- 第四紀
 - 完新世 { A 層
 - 更新世 { B_p 層
 - { C_p 層
 - { D_p 層
- 新第三紀
 - 鮮新世 { E 層
 - 中新世 { F 層
- 先新第三紀 { G 層

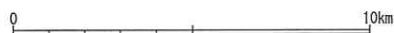
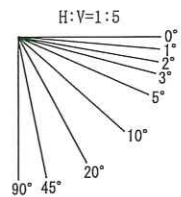
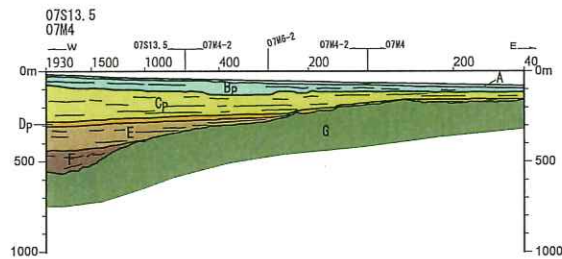
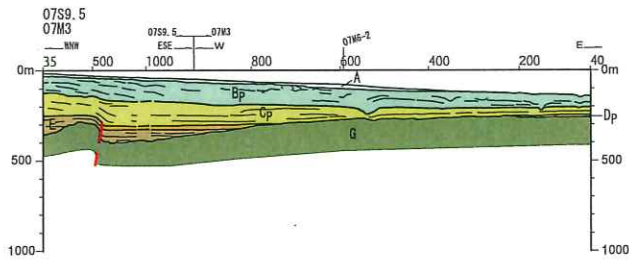
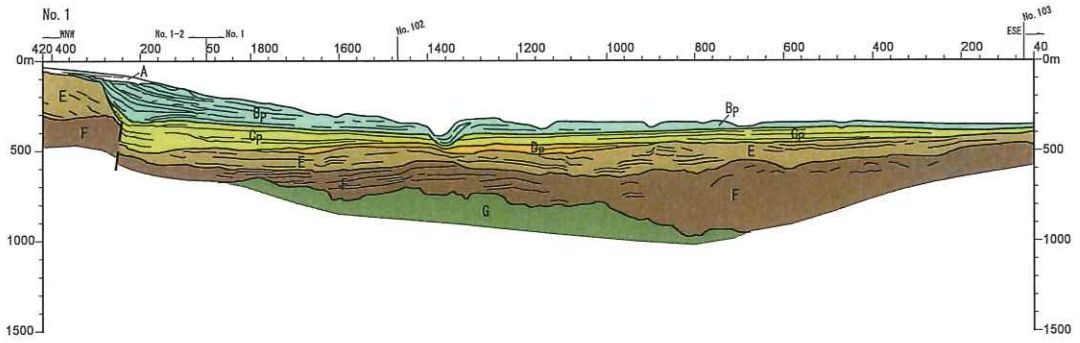
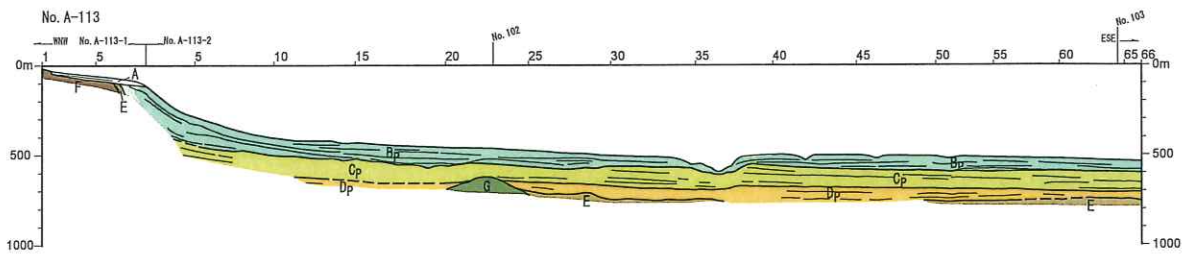
--- 地層境界面 (破線は推定)

| 断 層



0 10km

第4.2-118図(2) 敷地周辺海域の海底地質断面図



凡 例

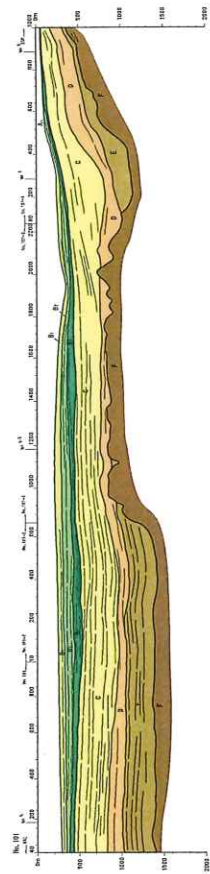
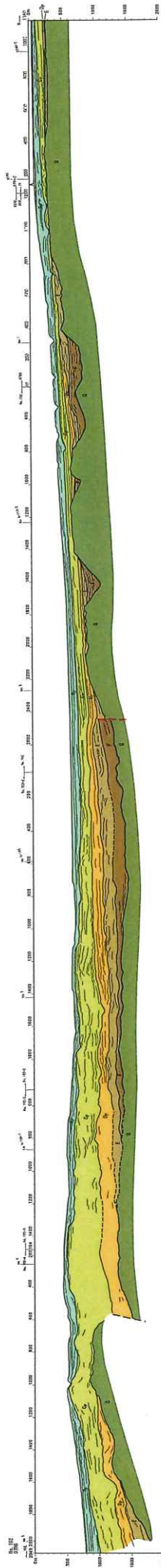
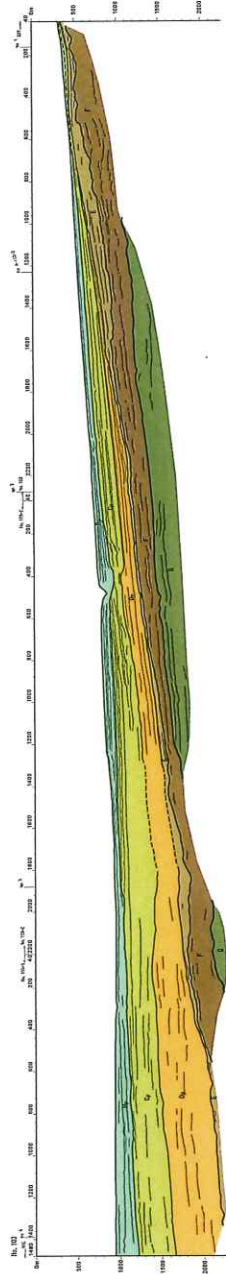
- 第四紀
 - 完新世 { A 層
 - 更新世 { Bp 層
 - { Cp 層
 - { Dp 層
- 新第三紀
 - 鮮新世 { E 層
 - 中新世 { F 層
- 先新第三紀 { G 層

--- 地層境界面 (破線は推定)

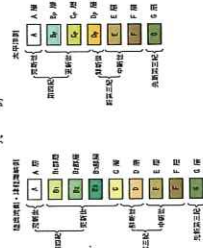
|| 断層

※赤線は第四紀後期更新世以降の地層に変位・変形が認められるもの

第4.2-118図(3) 敷地周辺海域の海底地質断面図

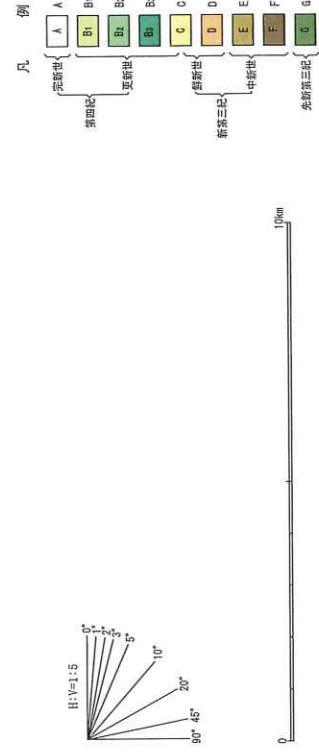
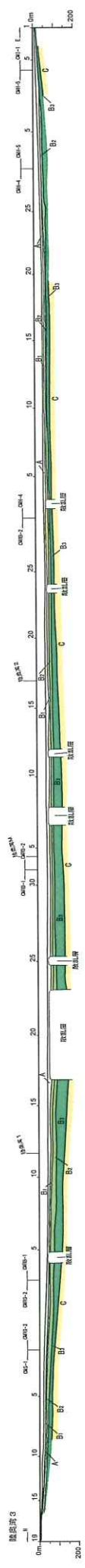
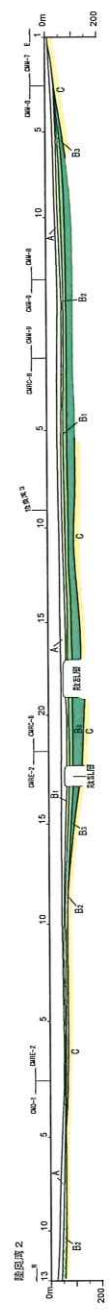
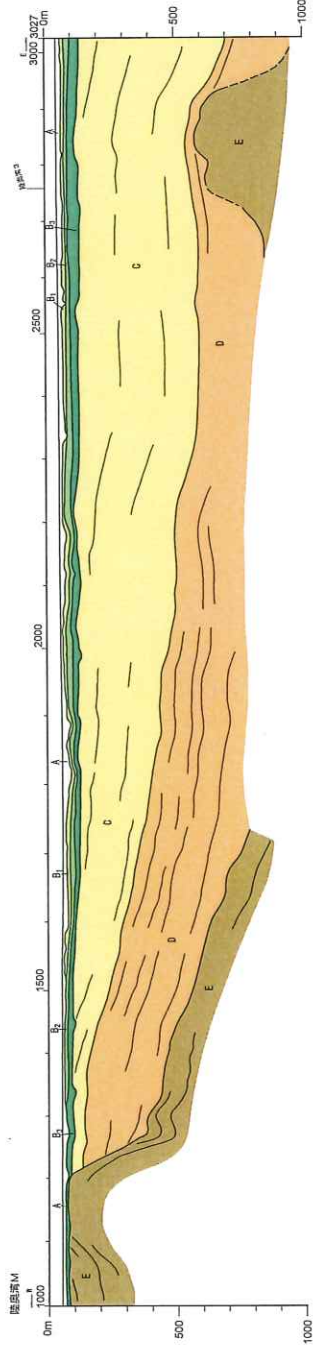
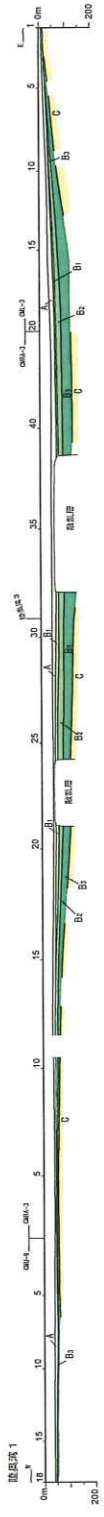


凡例



0 1000
1:100,000

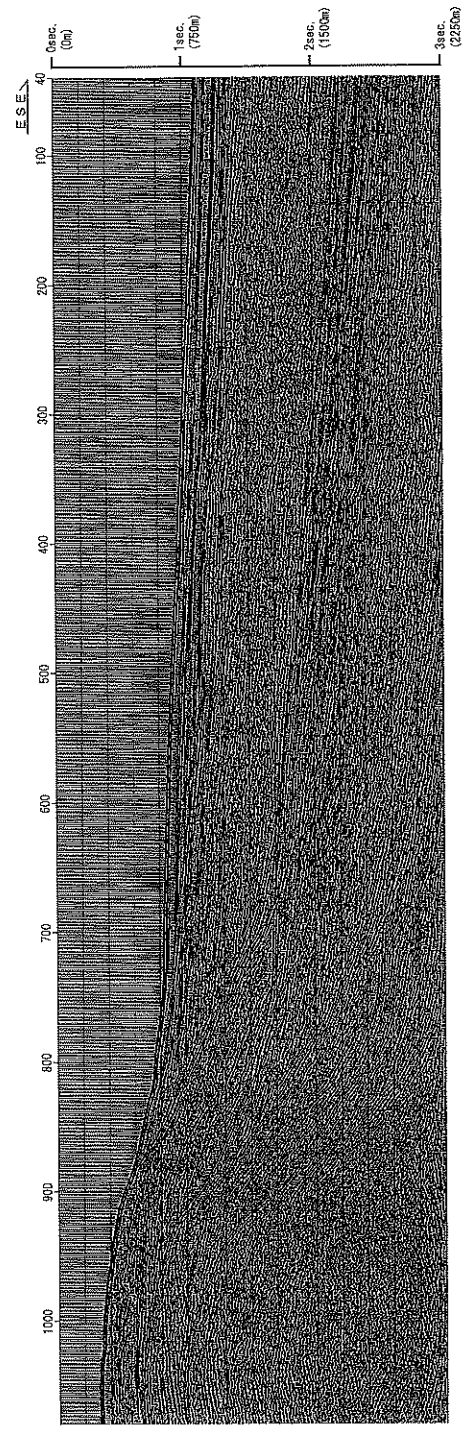
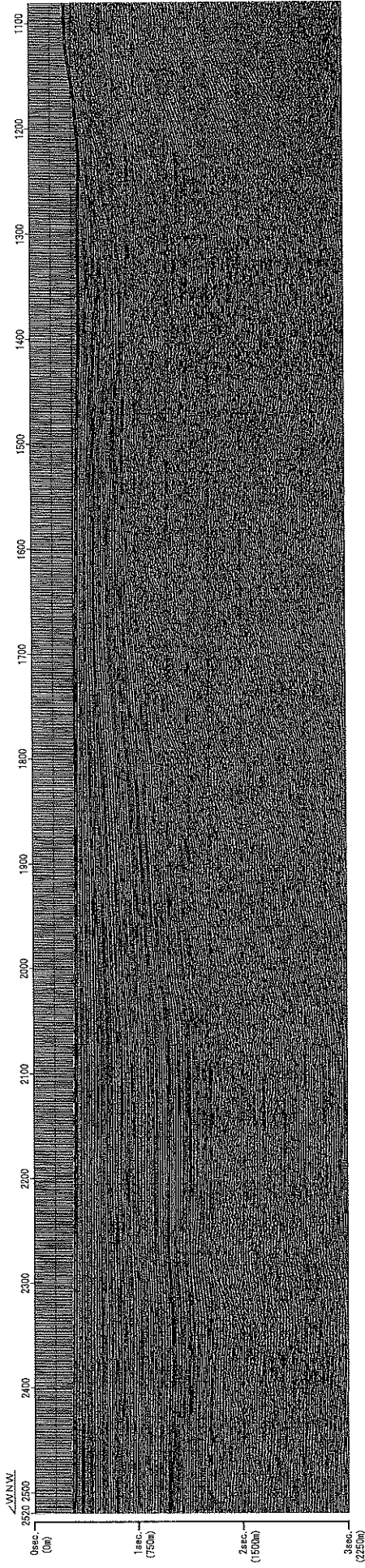
第4.2-118図(4) 巖地周辺海域の海底地質断面図
4-4-369



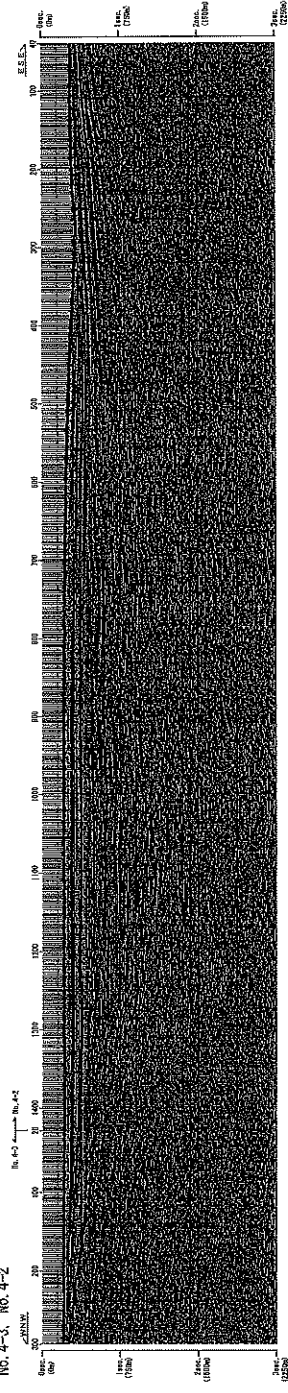
※この図面は、以下の機関が実施した海上音波探査の記録を、
 日本原産物が強自に断折・作成したものである。
 陸奥湾1：鹿島湾2・鹿島湾3：国土地理院
 鹿島湾M：(財)電力中央研究所

第4.2-118図(5) 敷地周辺海域の海底地質断面図
 4-4-370

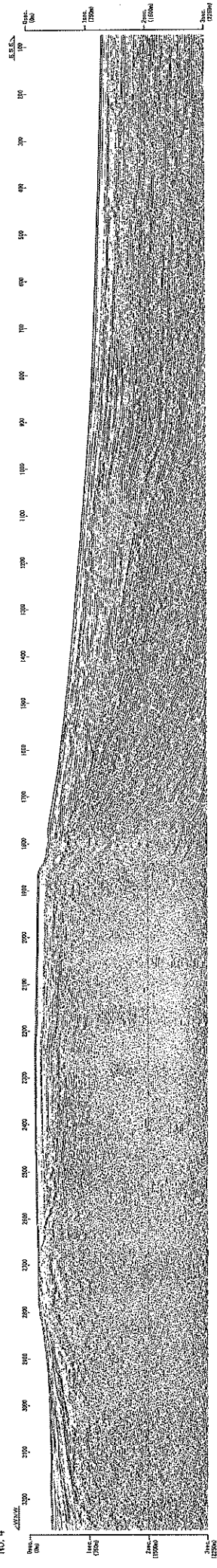
No. 5



No. 4-3, No. 4-2

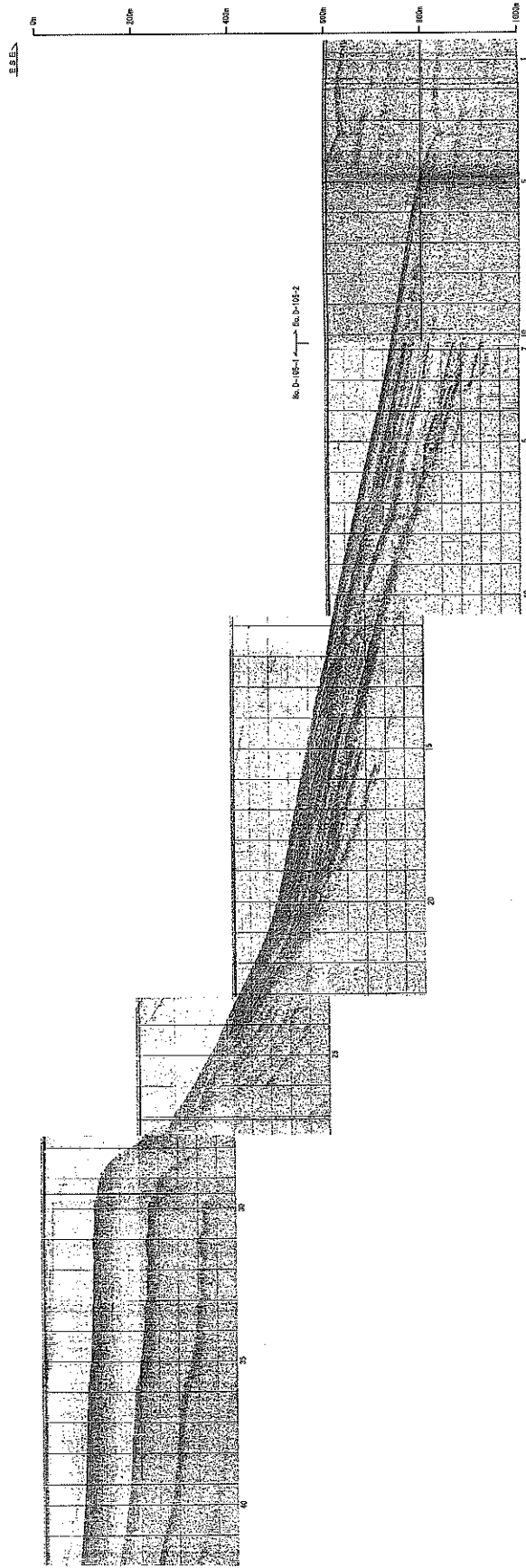
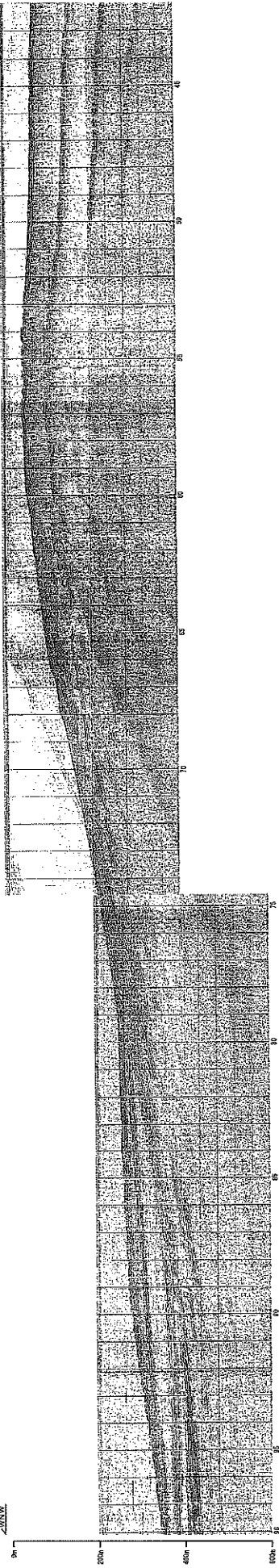


No. 4

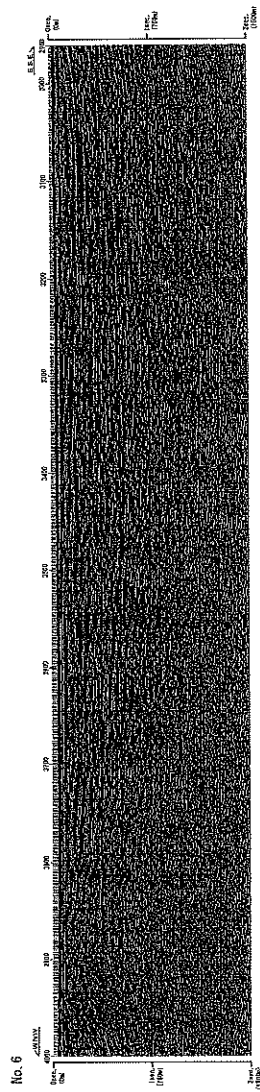
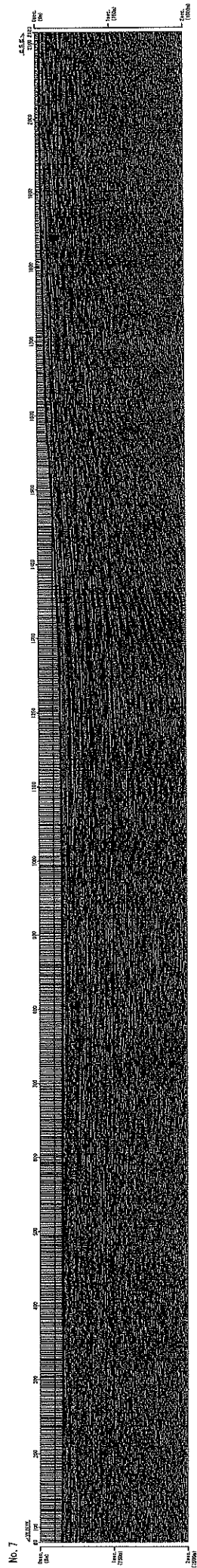


第4.2-116頁(2) 那珂川辺海域の音波探査記録
4-4-372

No. D-105

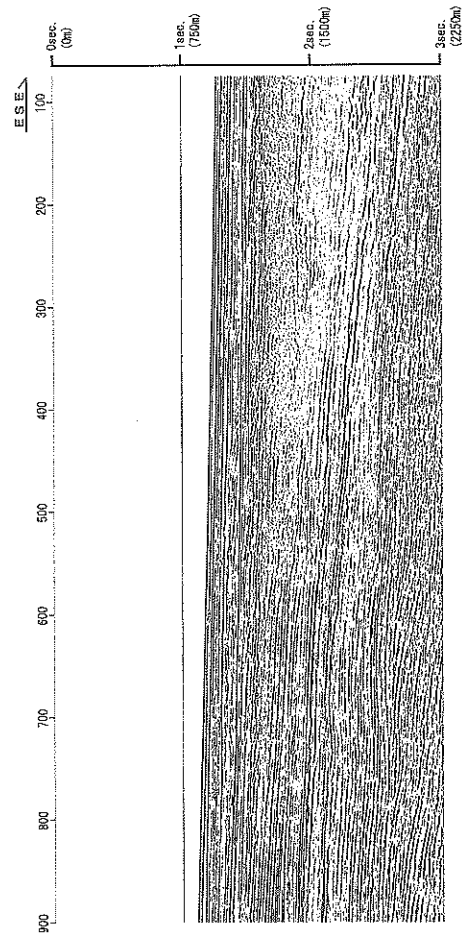
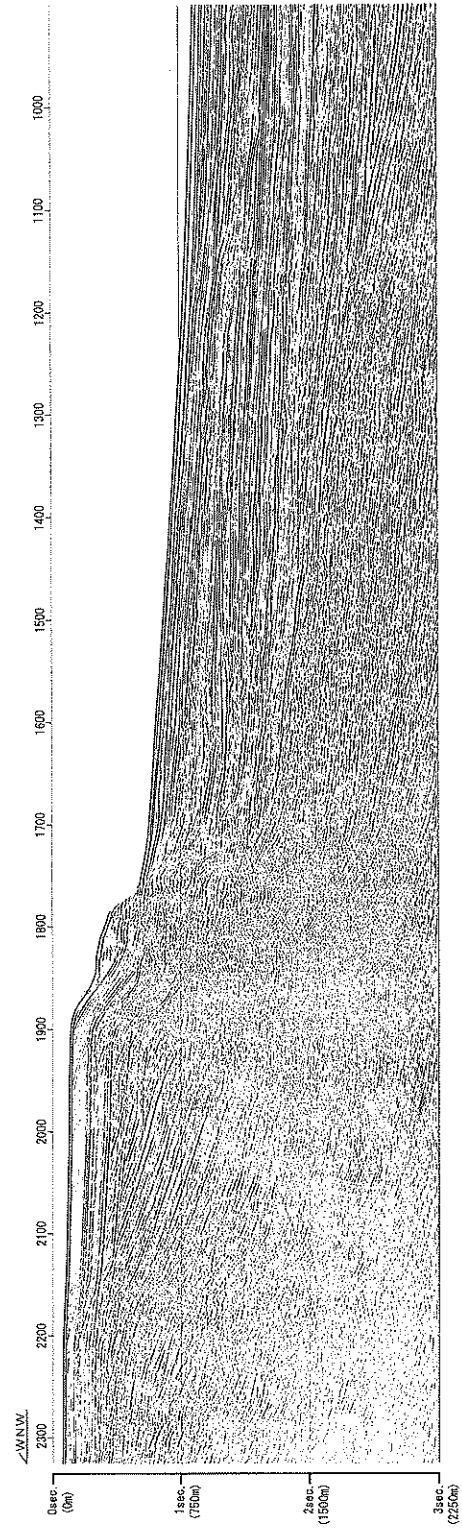


第4.2-119図(3) 敷地周辺海域の音波探査記録



第4, 2-19段(4) 敦田周辺海域の海底探査記録
4-4-37A

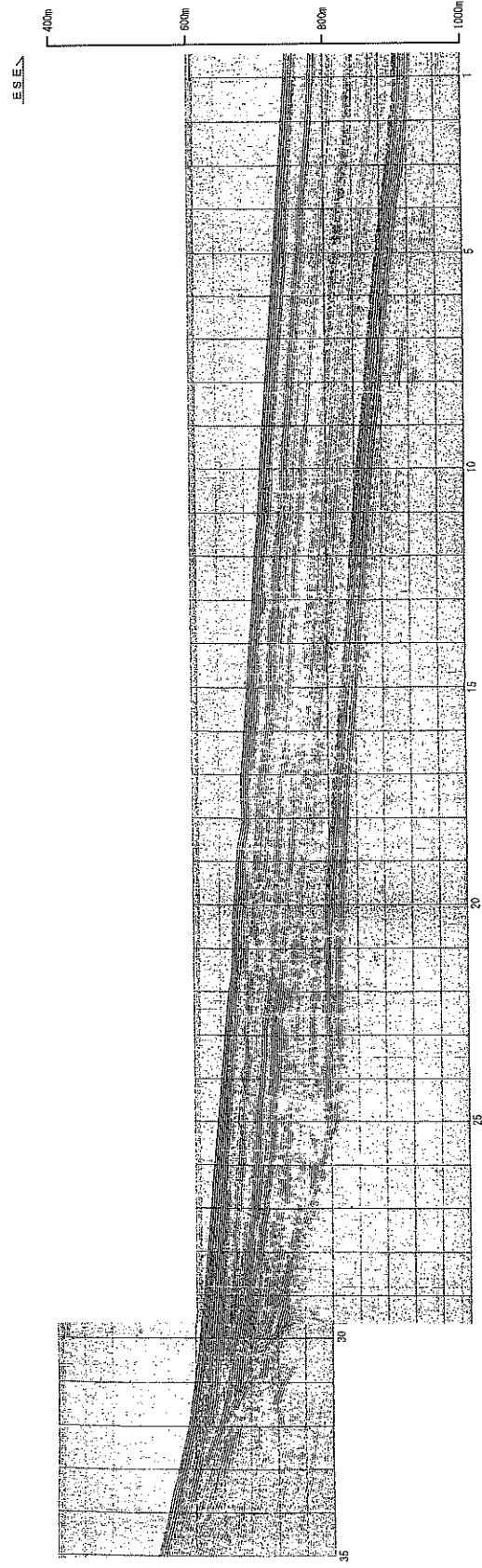
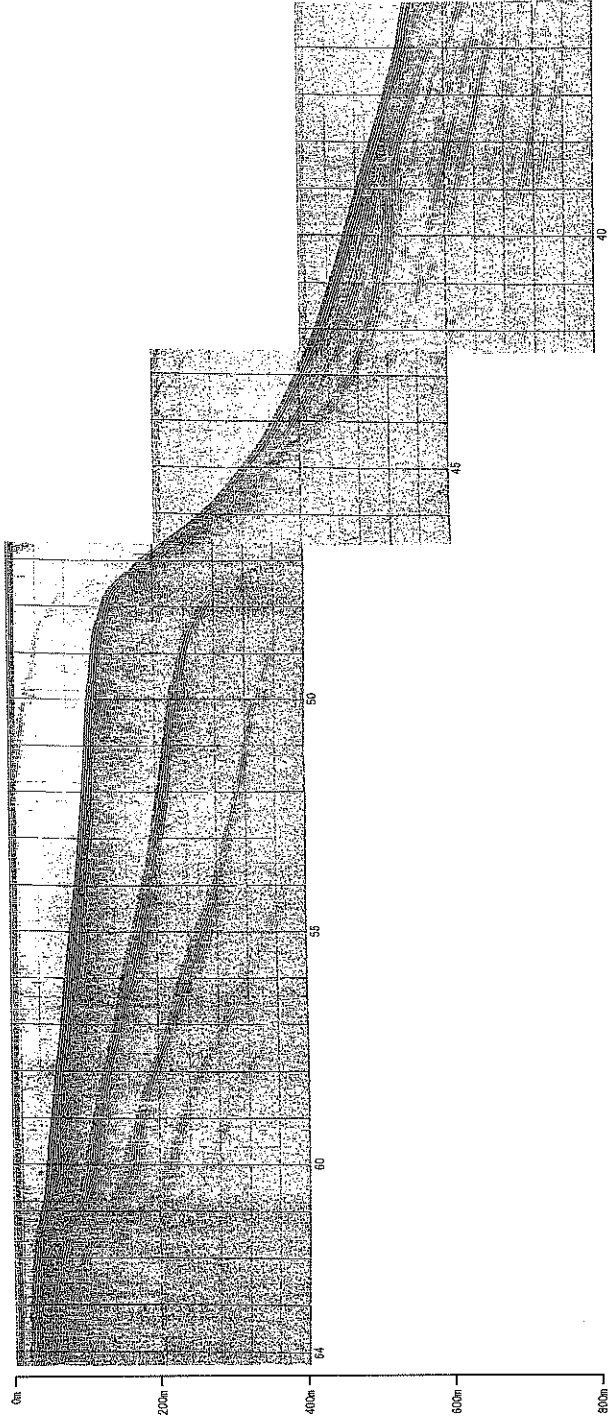
No. 3



第4.2-119図(5) 敷地周辺海域の音波探査記録

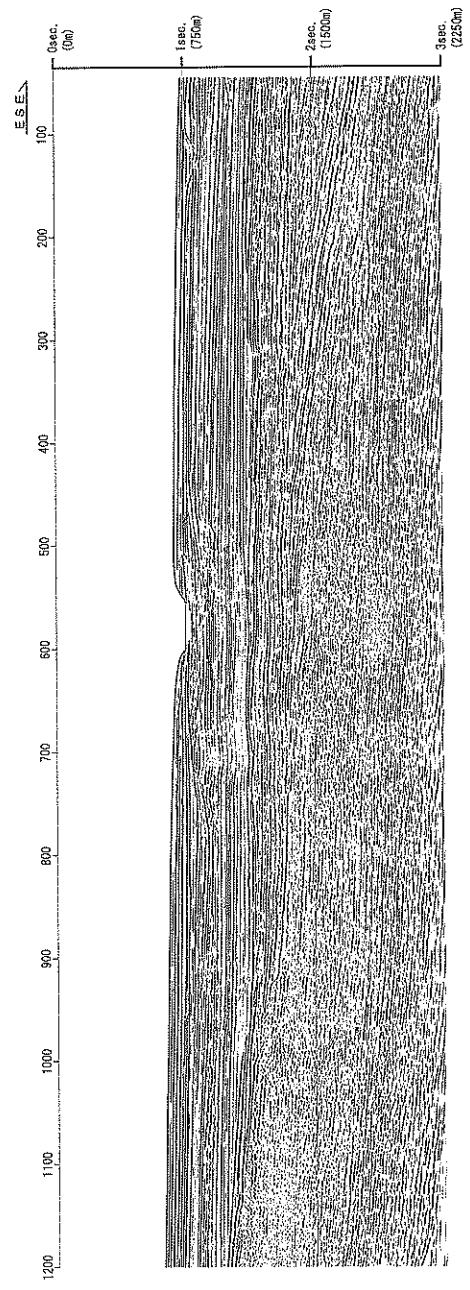
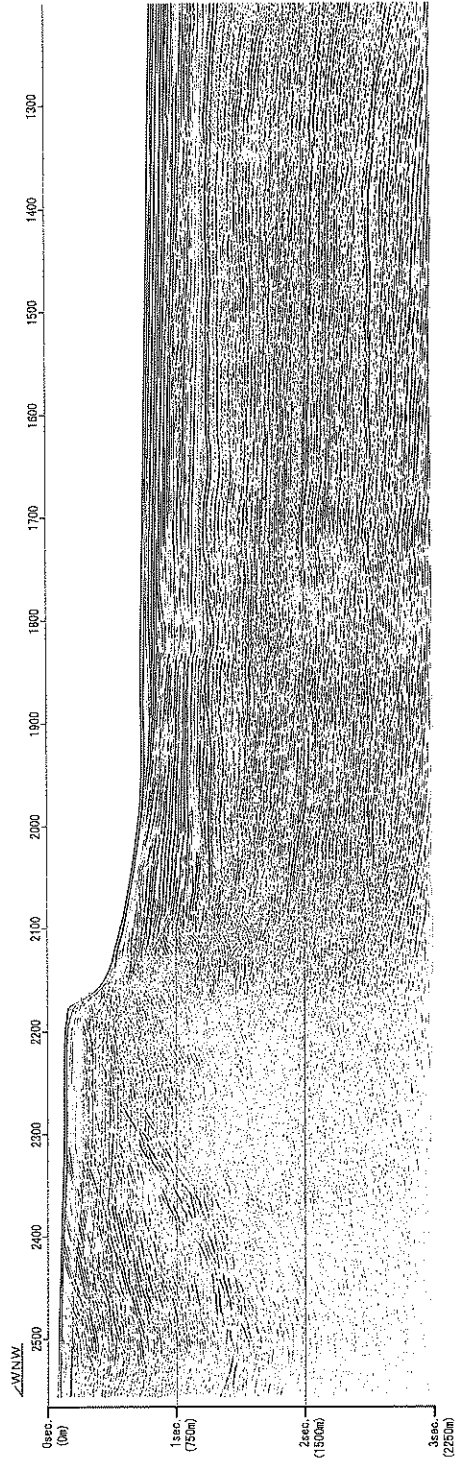
No. C-105

WNW



第4.2-119図(6) 敷地周辺海域の音波探査記録

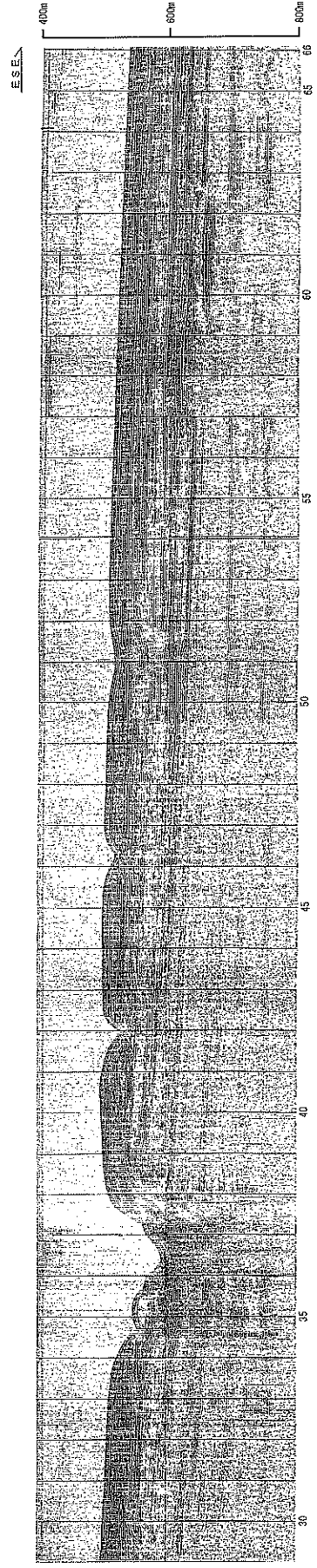
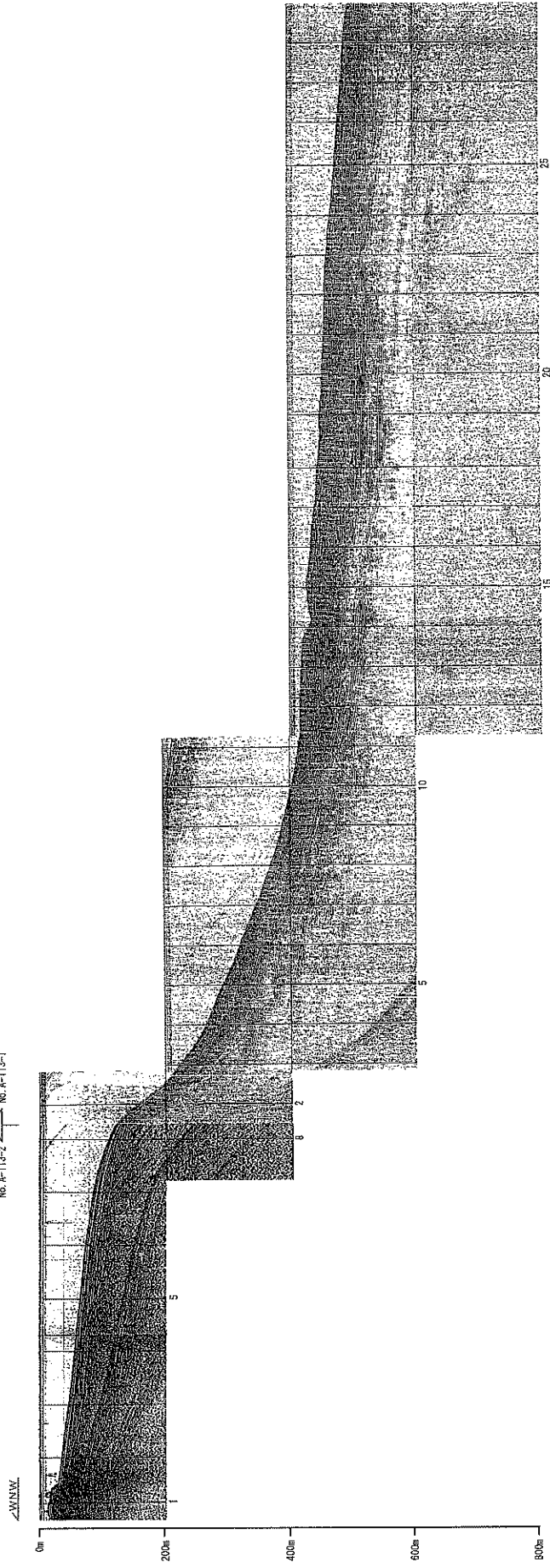
No. 2



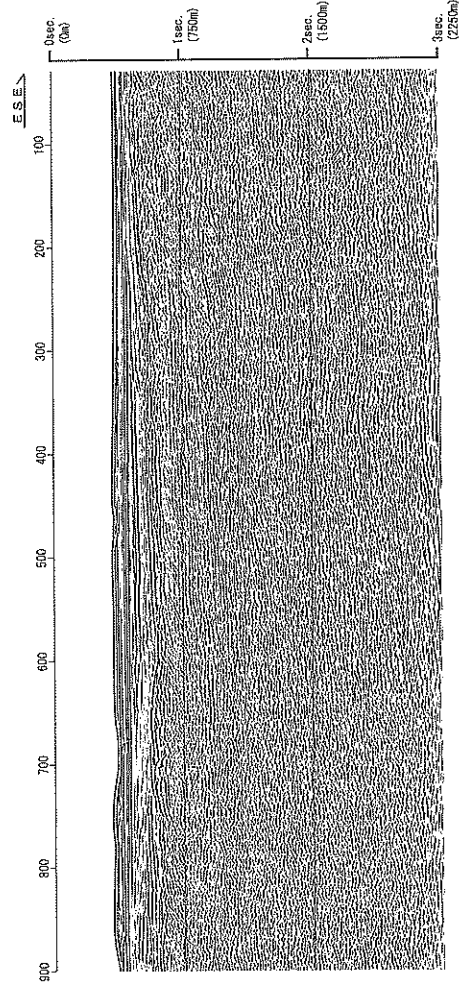
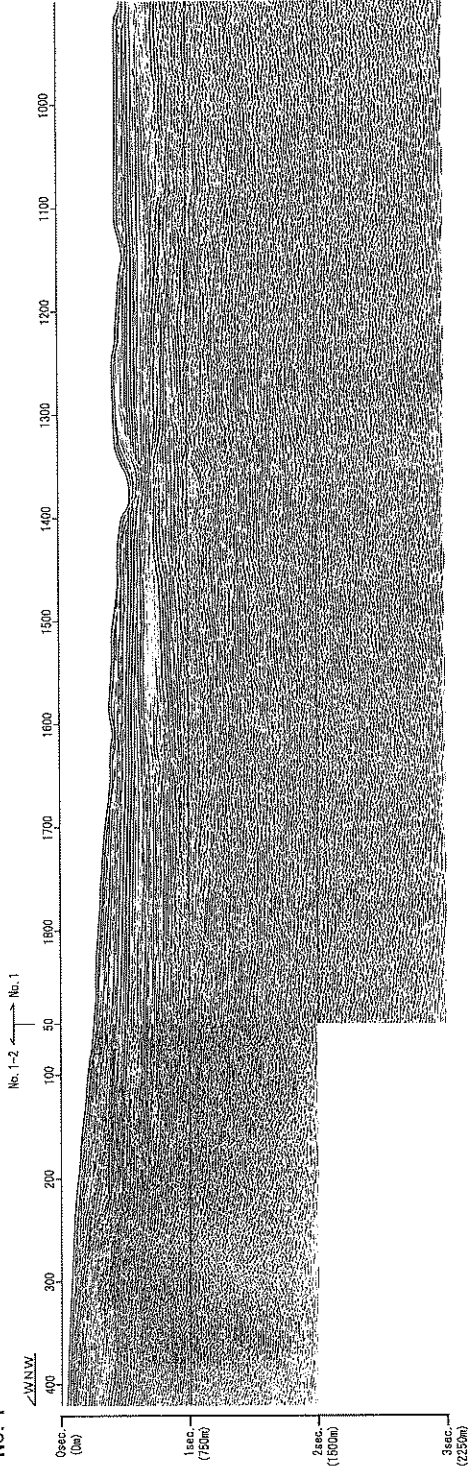
第4.2-119図(7) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. A-113

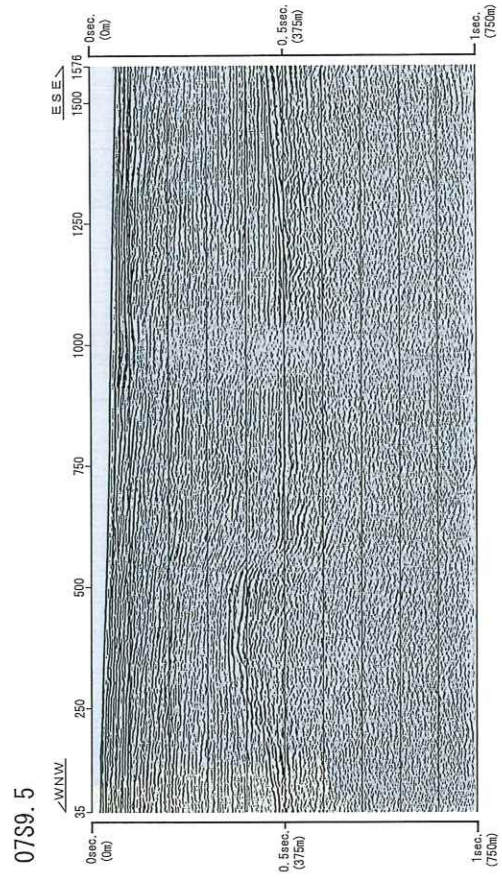
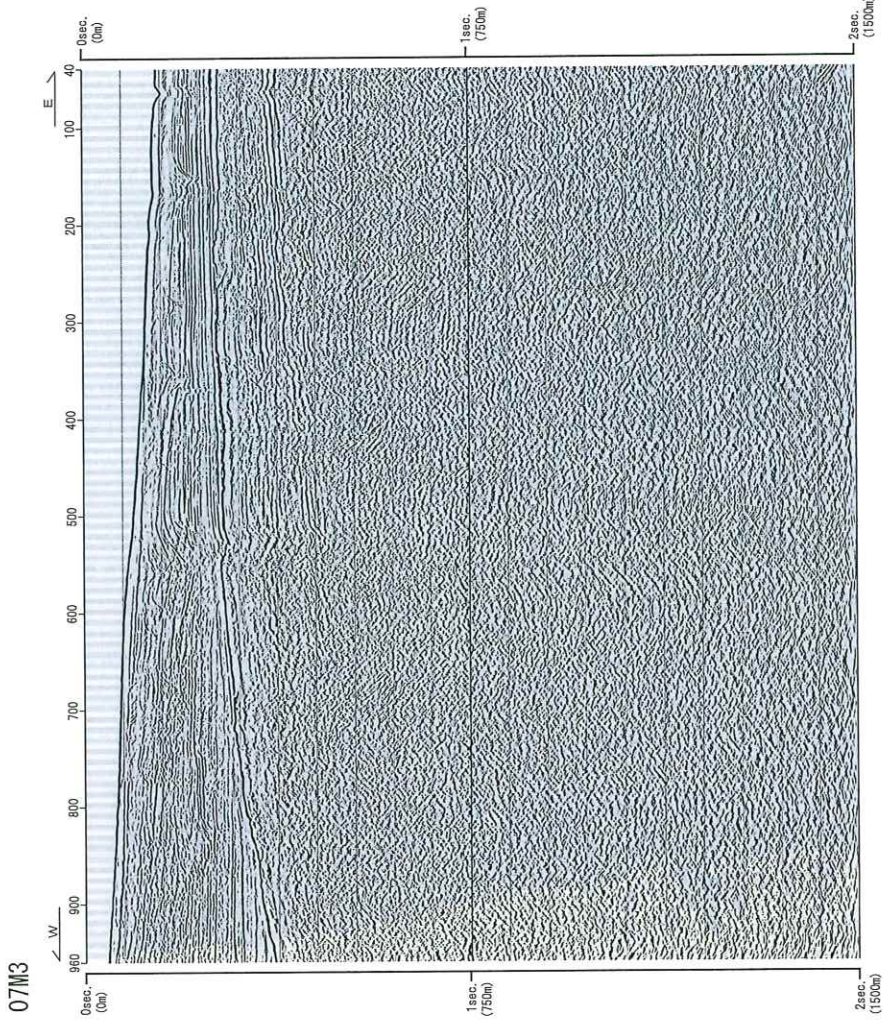
No. A-113-2 ← No. A-113-1



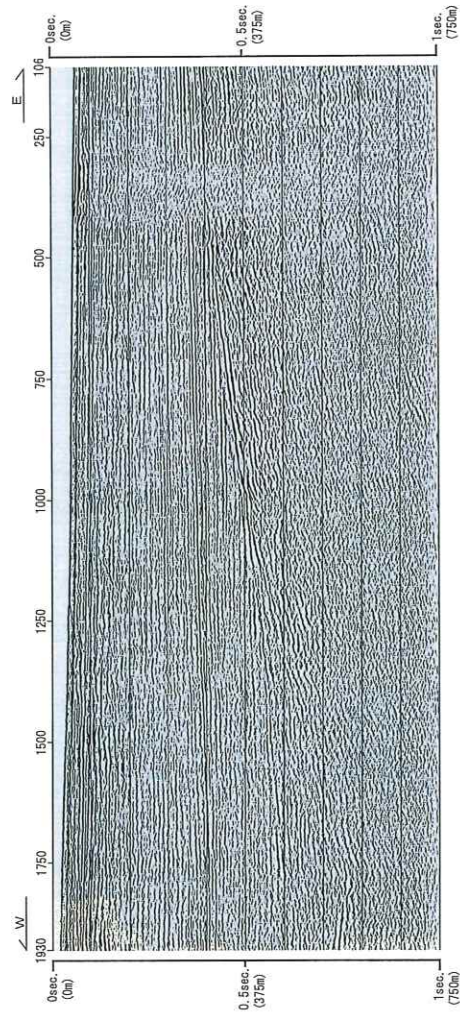
No. 1



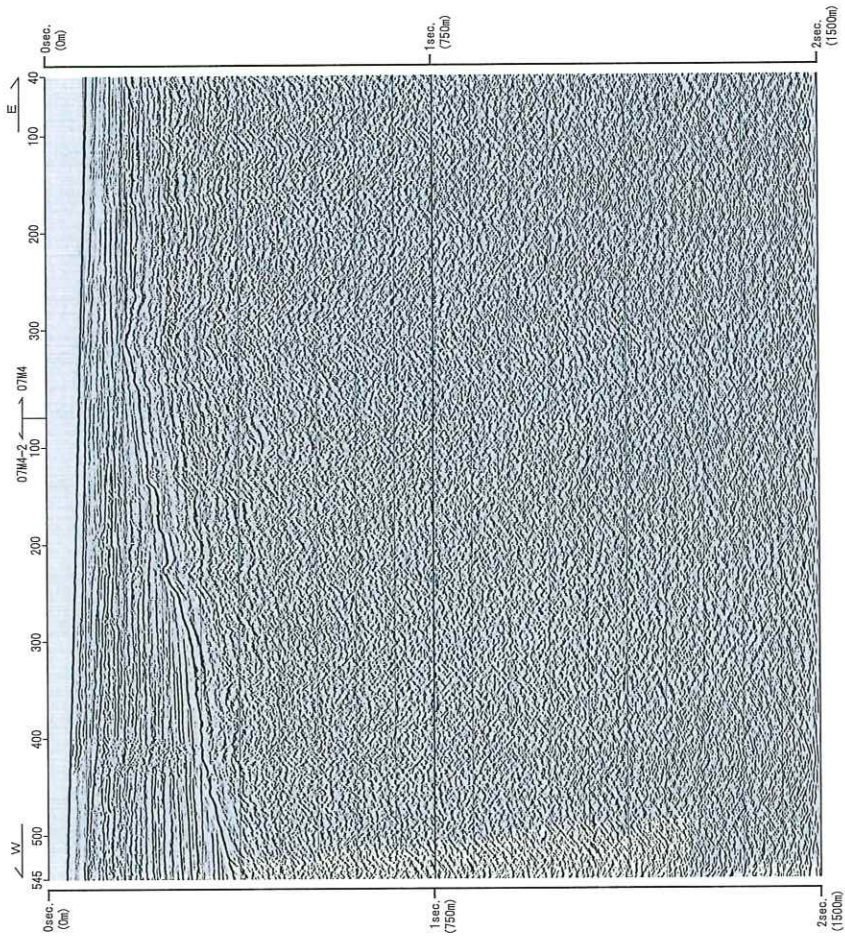
第4.2-119図(9) 敷地周辺海域の音波探査記録



07S13.5



07M4



No. 102

4. 11. 1952

1000

900

800

700

600

500

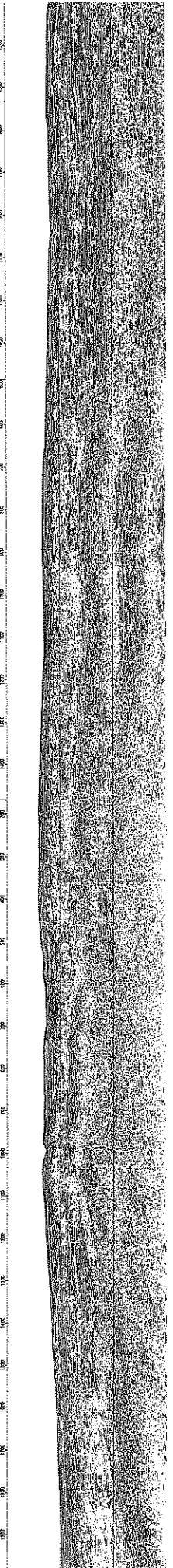
400

300

200

100

0



1000

900

800

700

600

500

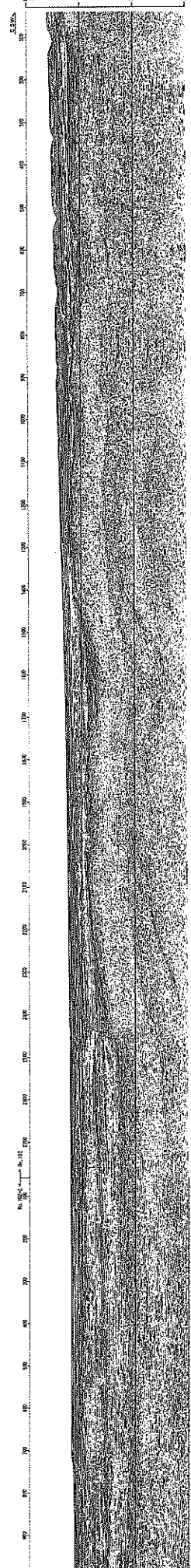
400

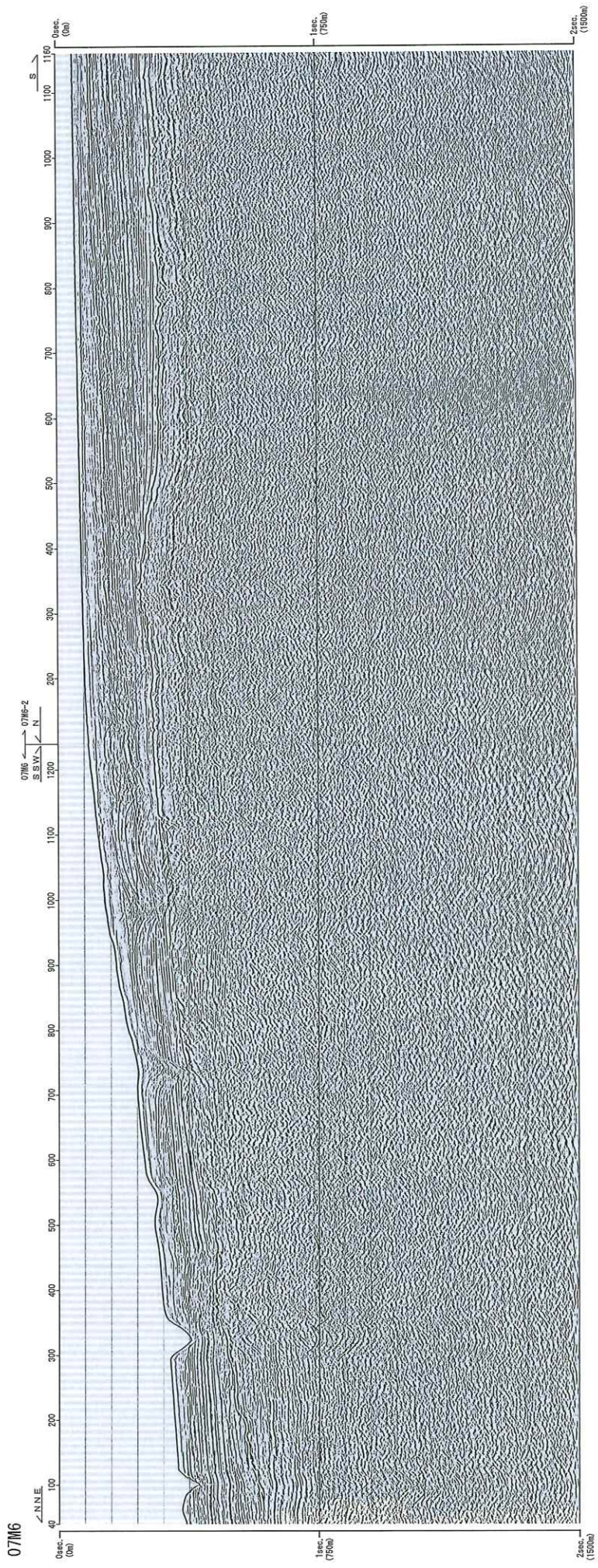
300

200

100

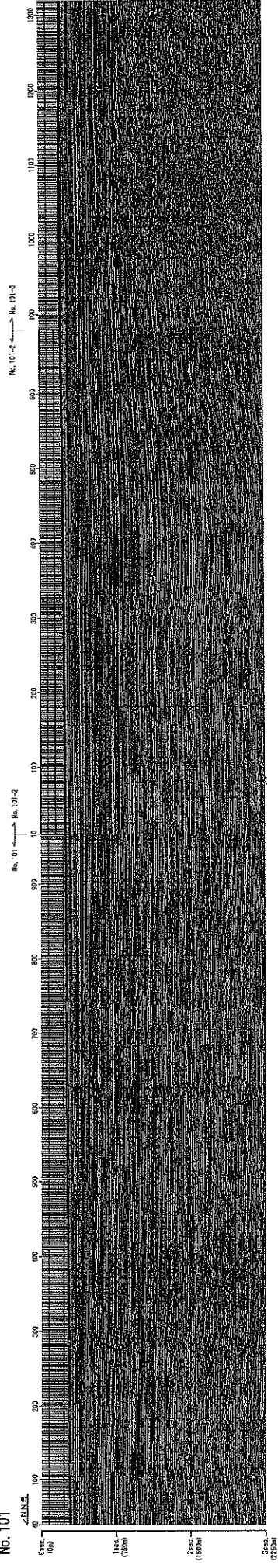
0



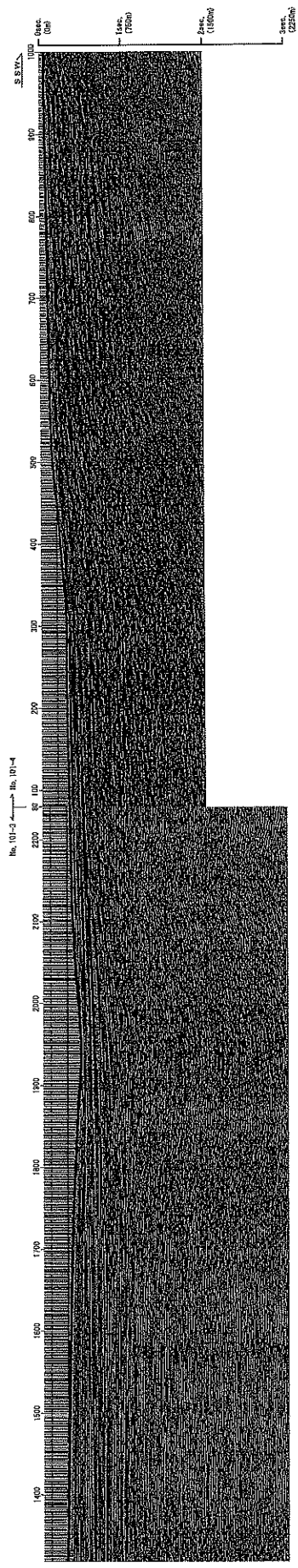


第4.2-119図(14) 敷地周辺海域の音波探査記録

No. 101



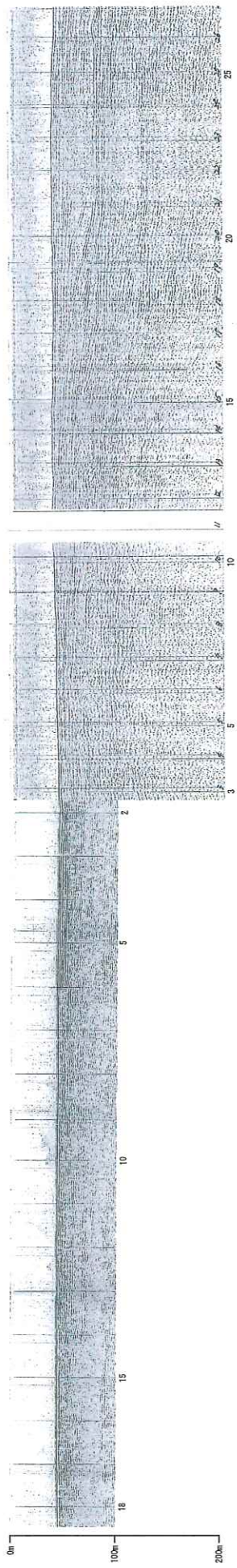
No. 101-3



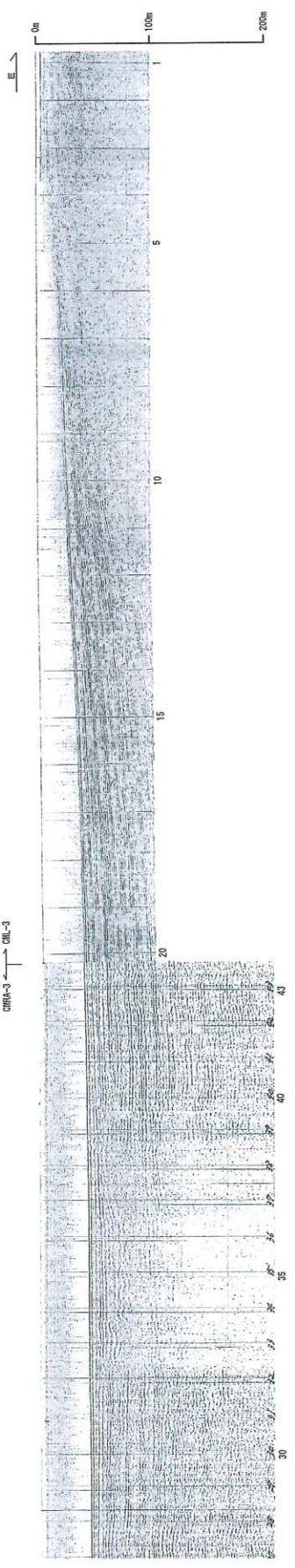
第4.2-119図(15) 敷地周辺海域の首波探査記録

陸奥湾1

CHU-9 ← CHU-3



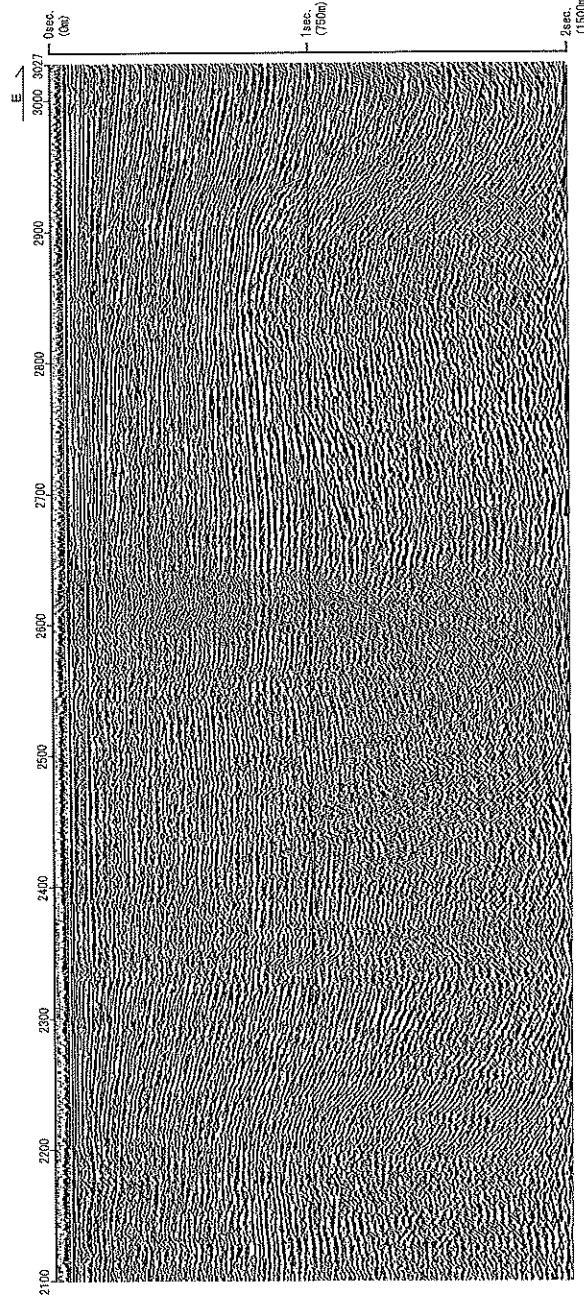
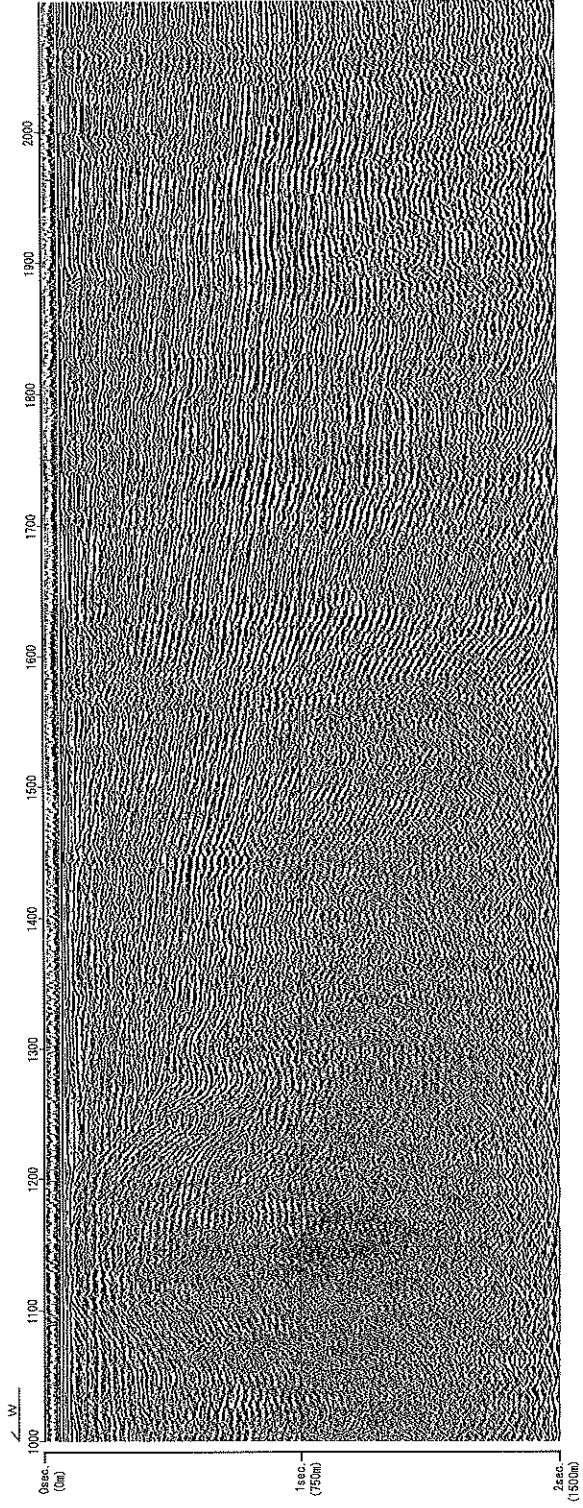
CHU-3 ← CHU-3



※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原産が独自に編集したものである。

第4.2-119区(16) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾M



※この記録は、(附)電力中央研究所が実施した海上音波探査の記録を、日本原産が独自に編集したものである。

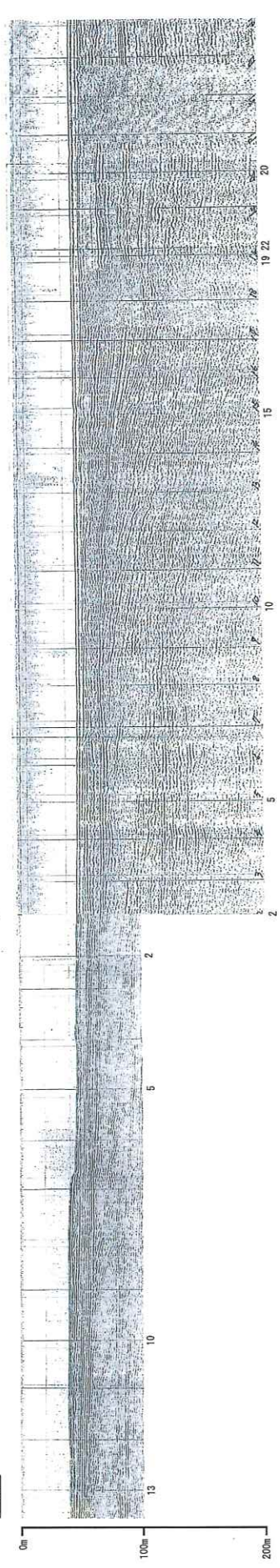
第4.2-119図(17) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾2

W ←

CMR-2 ← CMR-3

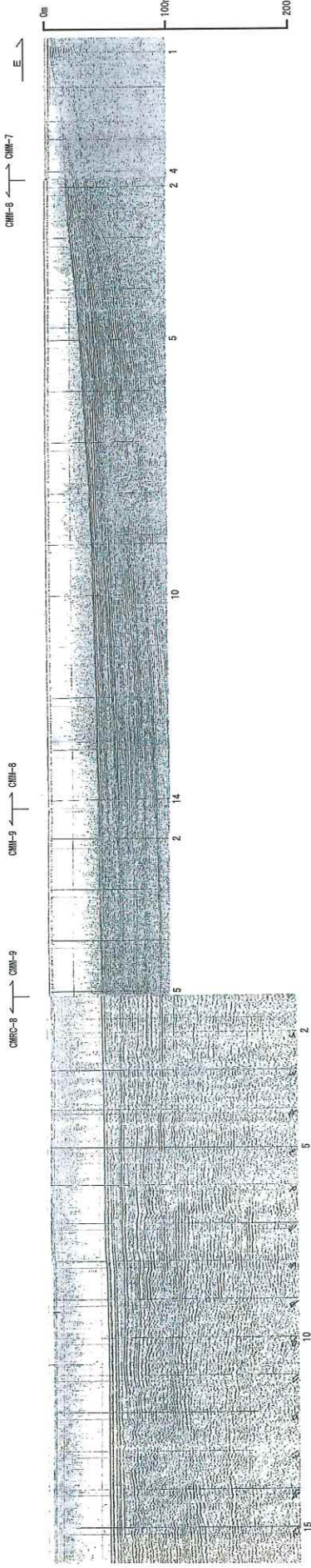
CMR-1 ← CMR-2



CMR-5 ← CMR-9

CMR-5 ← CMR-8

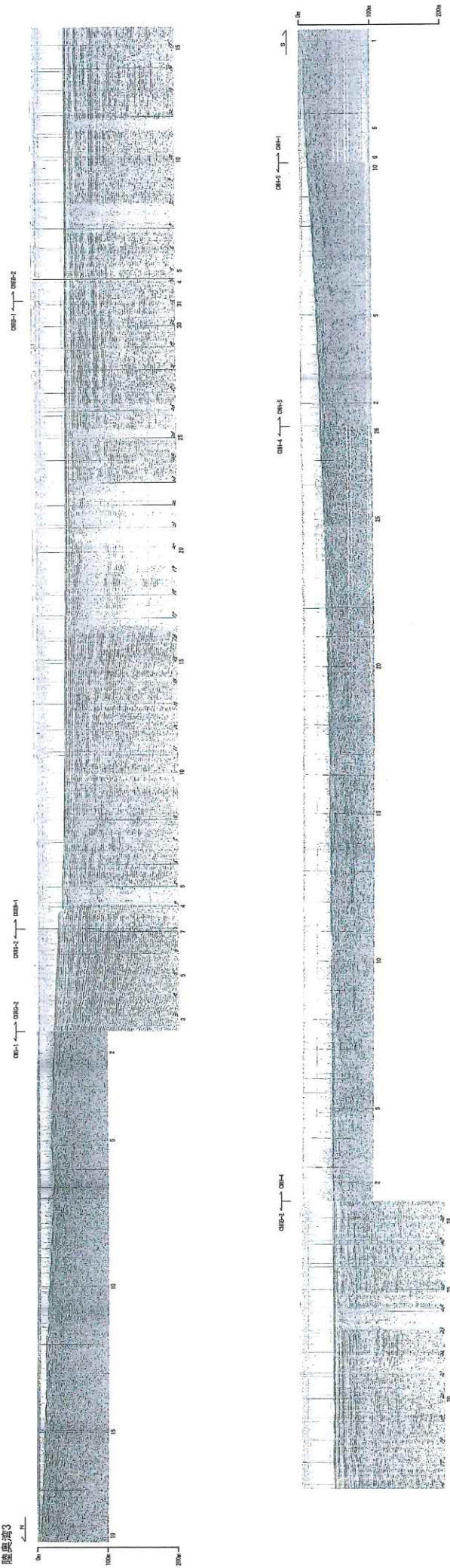
CMR-6 ← CMR-7



※この記録は、国土地理院が実施した海上音波探査の記録を、日本原燃㈱が独自に編集したものである。

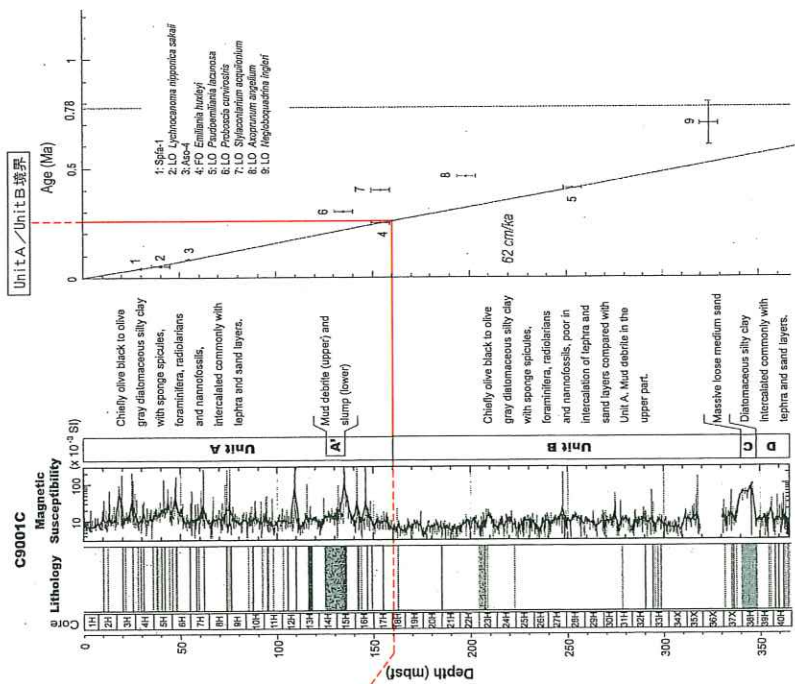
第4.2-119図(18) 敷地周辺海域の音波探査記録

陸奥湾3



※この記録は、国土院が承認した海上有線探査の記録を、日本国領海内には補正したものである。

第4.2-119図(19) 駿河湾近海域の自波探査記録



青池 (2008) より抜粋・一部加筆
年代モデル

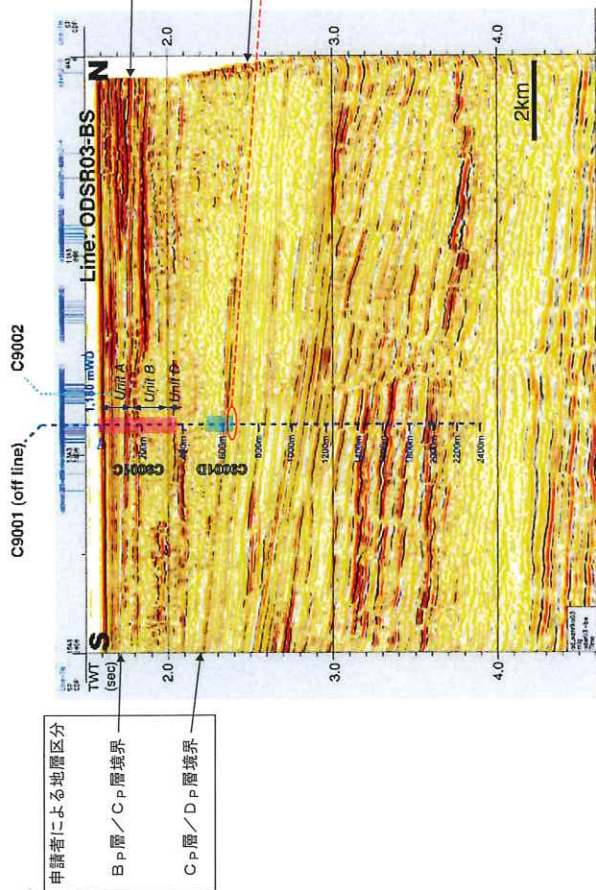
List of Stratigraphic events for C9001C and D, determined onboard.

| Event | Hole, Core, Section, Interval (cm) | Depth (mbsf) | Age (ka) | Remarks |
|--|---|---------------|---------------|---------|
| Sph-1 | C9001C-4H-4 Upper limit: C9001C-4H-4 57-68cm | 34.3 | 48 ± 1 | Tephra |
| T Lychinocanoma nipponica saikai | C9001C-4H-CC 34cm | 35.3 - 44.9 | 50 | |
| Aso-4 | C9001C-7H-4 40-42.5cm | 58.7 | 87.5 ± 2.5 | Tephra |
| T Sphaerulium aspidium | C9001C-16-CC 30cm | 148.3 - 156.8 | 400 | Rad |
| T Anocranium aspidium | C9001C-21H-CC 34cm | 193.9 - 203.3 | 460 ± 40 | Rad |
| T Megalobolus nigriti | C9001C-35X-CC 13cm | 319.2 - 337.6 | 600 ± 100 | Forum |
| B large Gephyrocapsa spp. - B medium Gephyrocapsa spp. | C9001D-25SMW | 642 - 647 | (1700 - 1480) | Nanno |

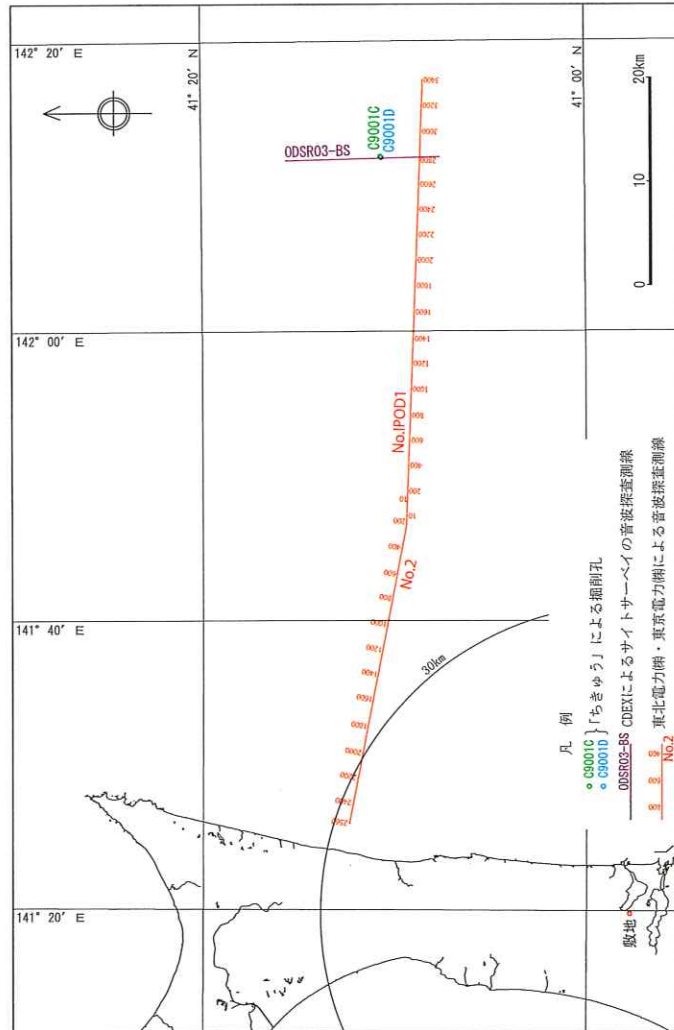
Note: T = top, B = bottom, Rad = radiolarians, Forum = planktonic foraminifera, and Nanno = calcareous nanofossils. Analyses for identification of two known tephras were done using samples from C9001A and C9002B. Sph-1 (Shikotsu-daiichi Tephra) is based on analyses at the Kyoto Fission Track Co. Ltd. (CDEX, unpublished) and by Masago (unpublished data). Aso-4 (Aso-dayton Tephra) was also identified by Masago (unpublished data). Brunhes-Matuyama boundary horizon (780 ka) was not found within Hole C9001C.

Kobayashi et al. (2009) より抜粋・一部加筆
年代指標

第4.2-120図(1) 「ちきゅう」 site C9001の概要図



Kobayashi et al. (2009) より抜粋・一部加筆
C9001C, Dと音波探査記録との対比

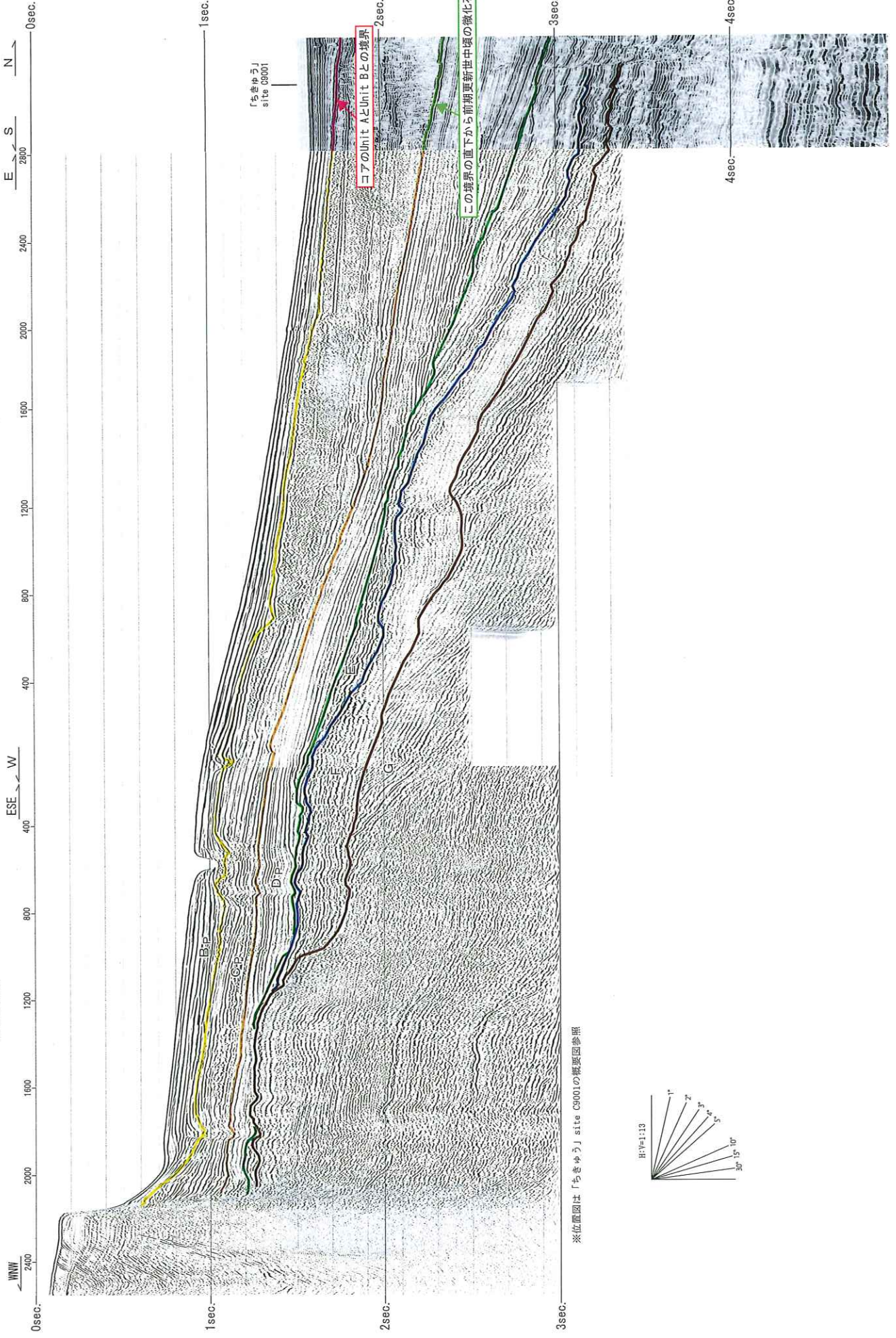


敷地
凡例
● C9001C } 「ちきゅう」 による掘削孔
● C9001D }
— ODSR03-BS CDEXによるサイトサーベイスの音波探査測線
— No. 2 東北電力㈱・東北電力㈱による音波探査測線

No. 2測線

No. 1POD1測線

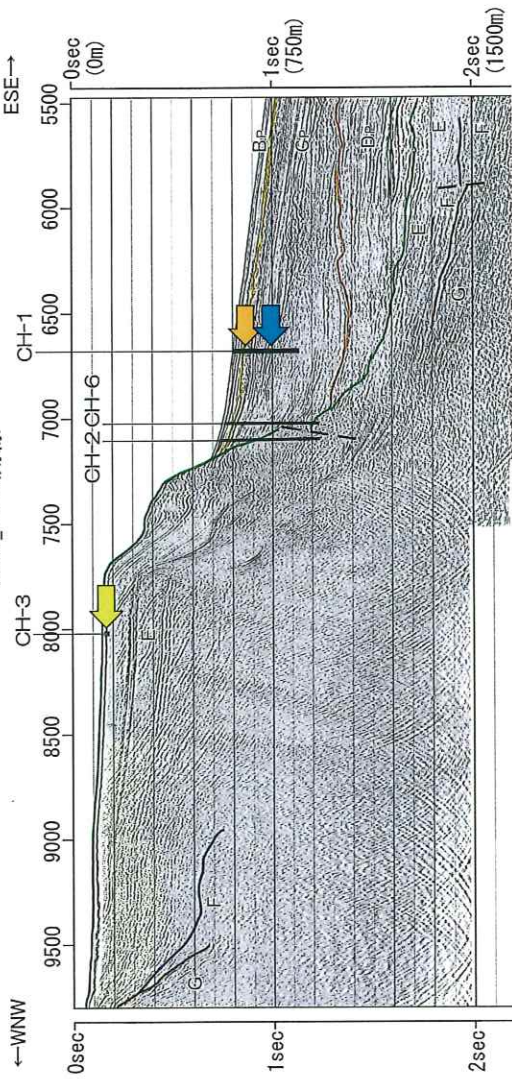
ODSR03-BS測線



※位置図は「ちきゅう」 site C9001の概要図参照

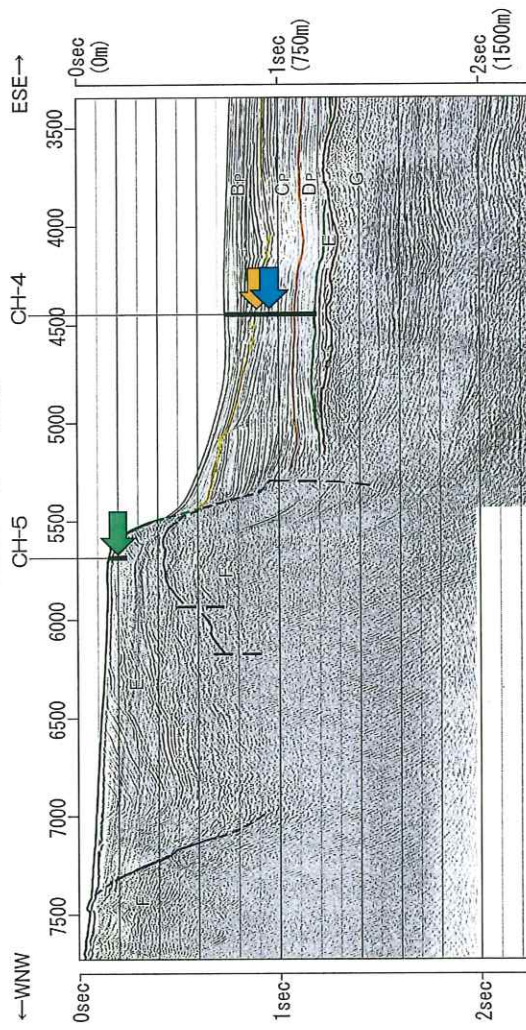
第4.2-120図(2) 敷地周辺海域の地層区分と「ちきゅう」 site C9001との対比

No.3_2014測線

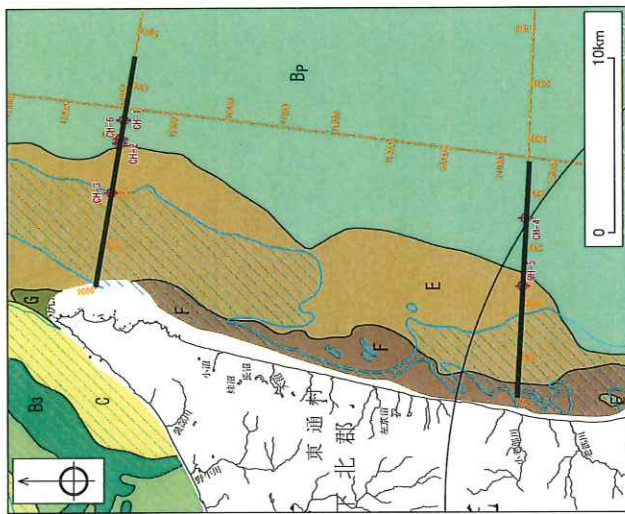


有孔虫化石 *Grikuchuensis* (約12.6~11.5Ma) を確認
 恐山火山起源の降下火砕物Os-2 (約0.27Ma) を確認
 放射虫化石 *L.sakaii* の初産出 (約1.03Ma)、
 放射虫化石 *E.matuyamai* の終産出 (約1.03Ma) を確認

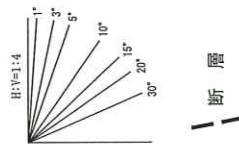
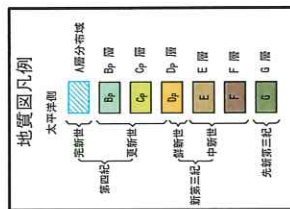
12ML-01_2014測線



D.laute 帯 (約16.0~14.6Ma) に対比される珪藻化石群集を確認
 恐山火山起源の降下火砕物Os-2 (約0.27Ma) を確認
 放射虫化石 *L.sakaii* の初産出 (約1.03Ma)、
 放射虫化石 *E.matuyamai* の終産出 (約1.03Ma) を確認

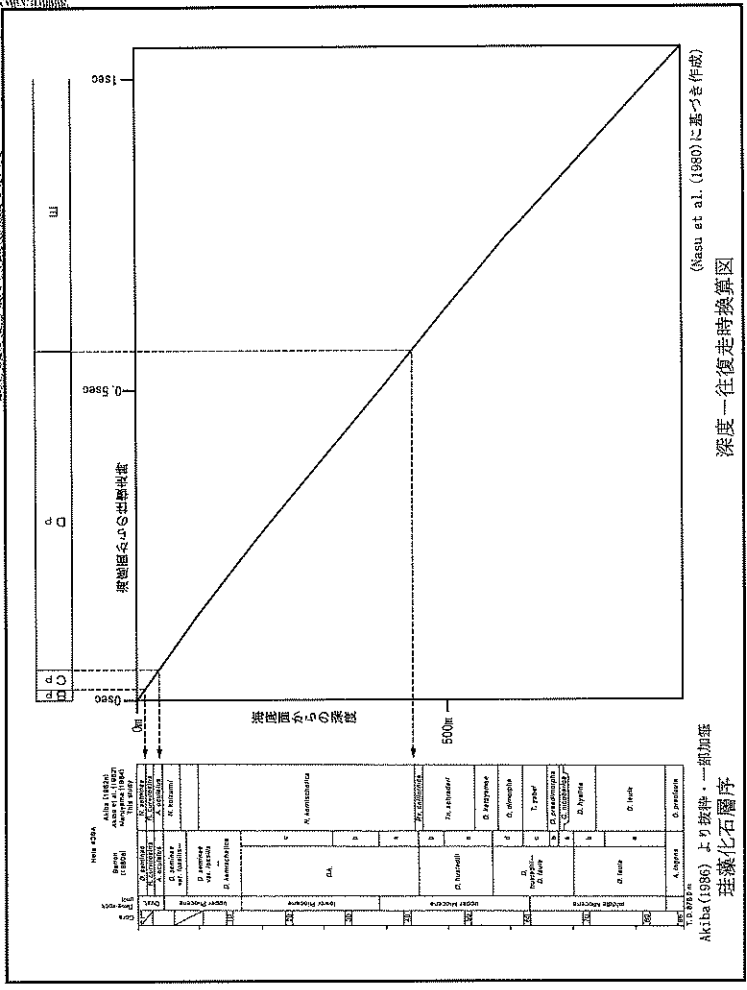
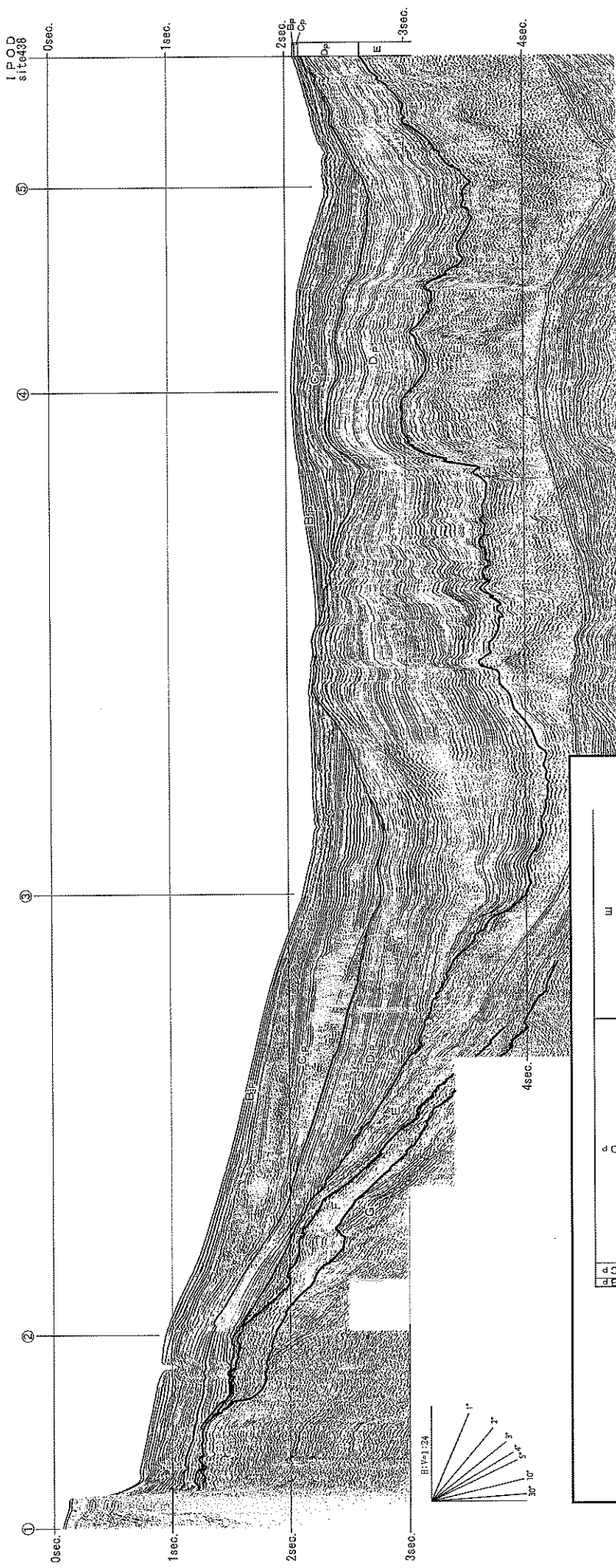


測線位置図



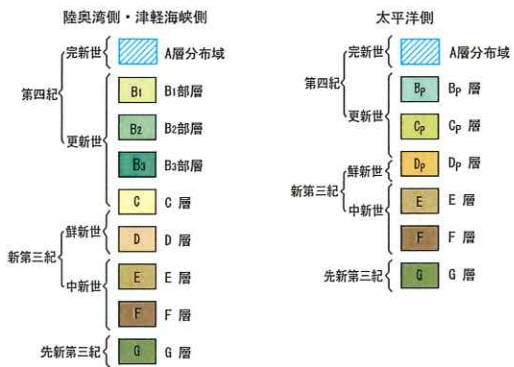


第4.2-122図 秋田県秋田県北部に於けるB層の状況
4-4-393

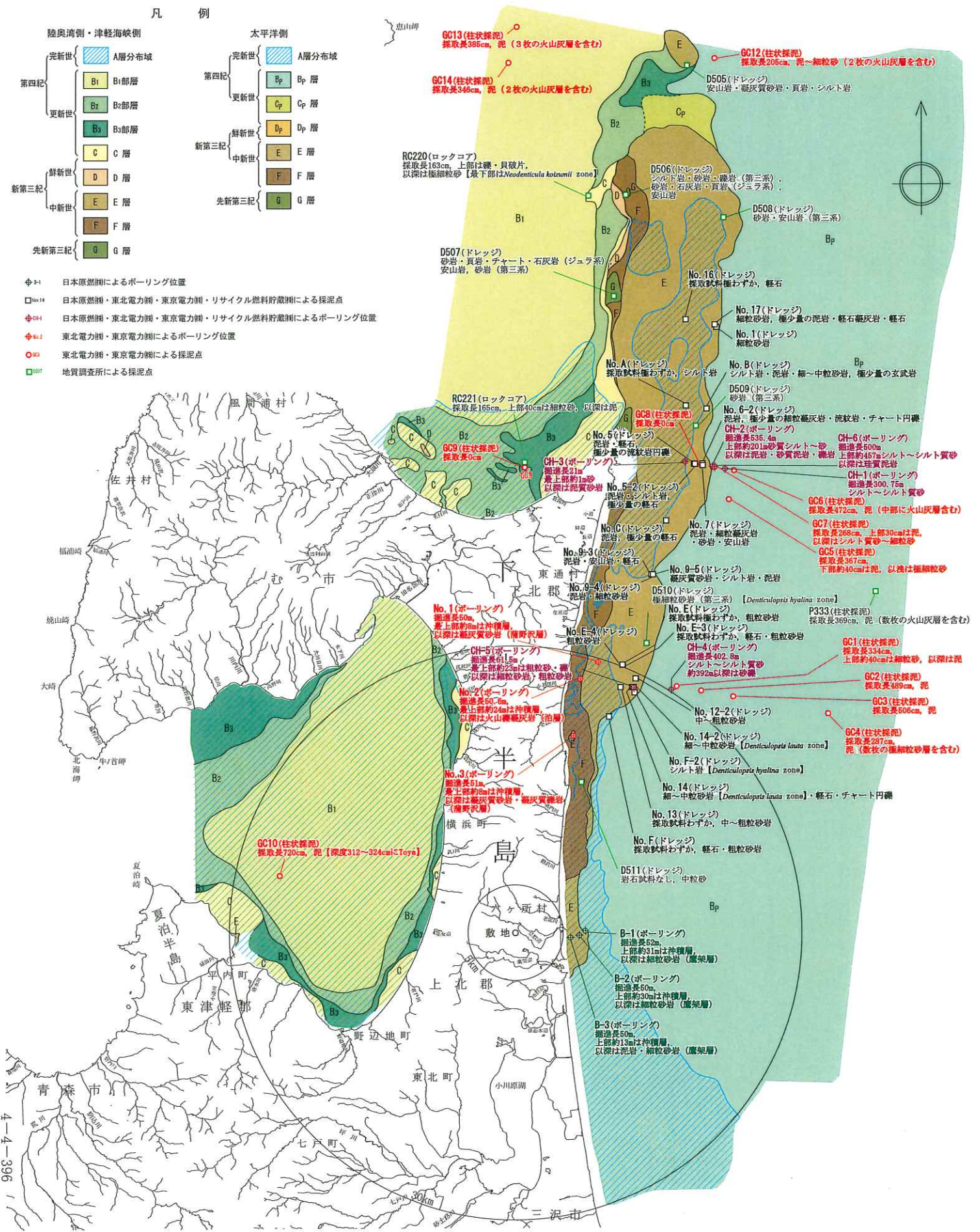


第4.2-123図 敷地周辺海域の地層区分とIPOD site 438との対比

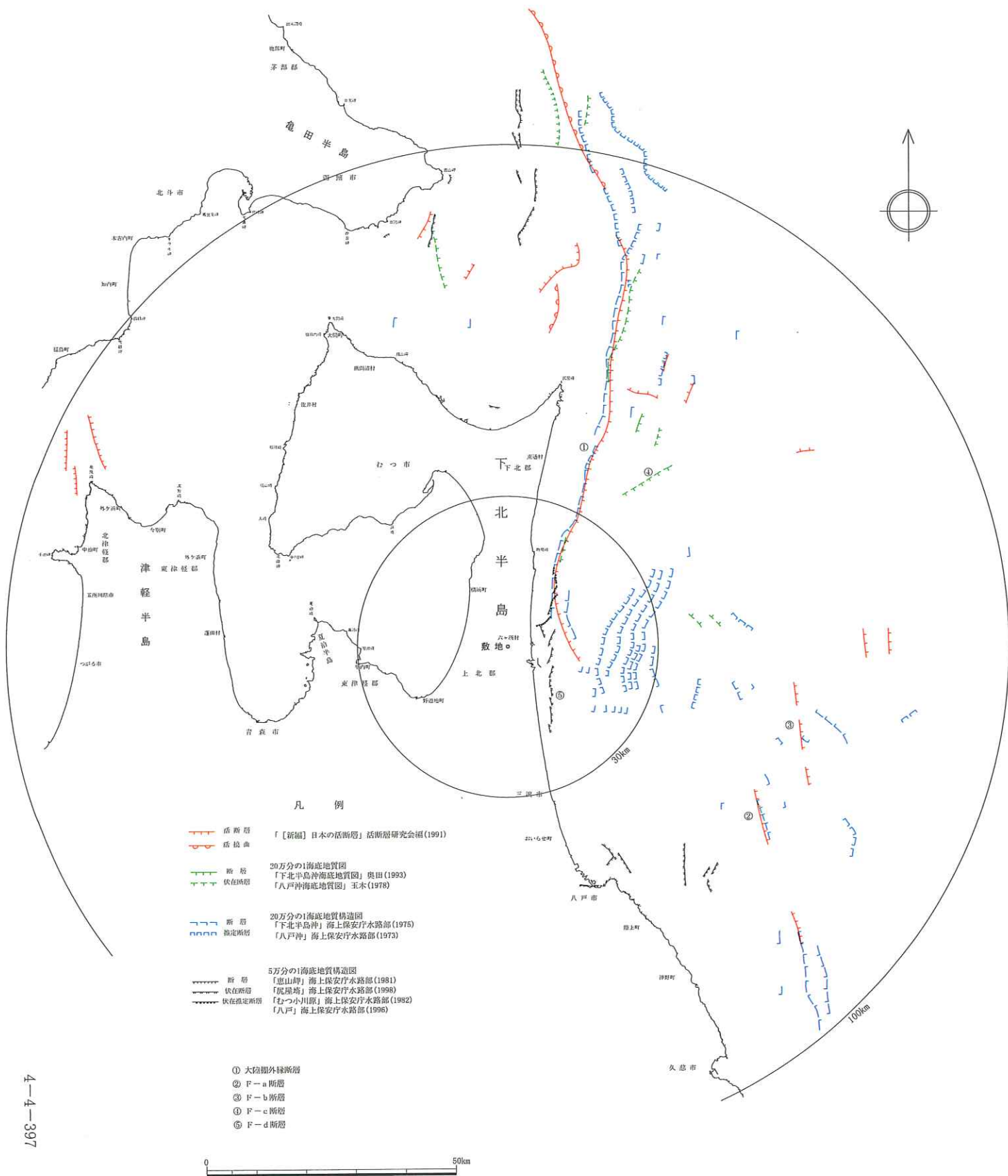
凡 例



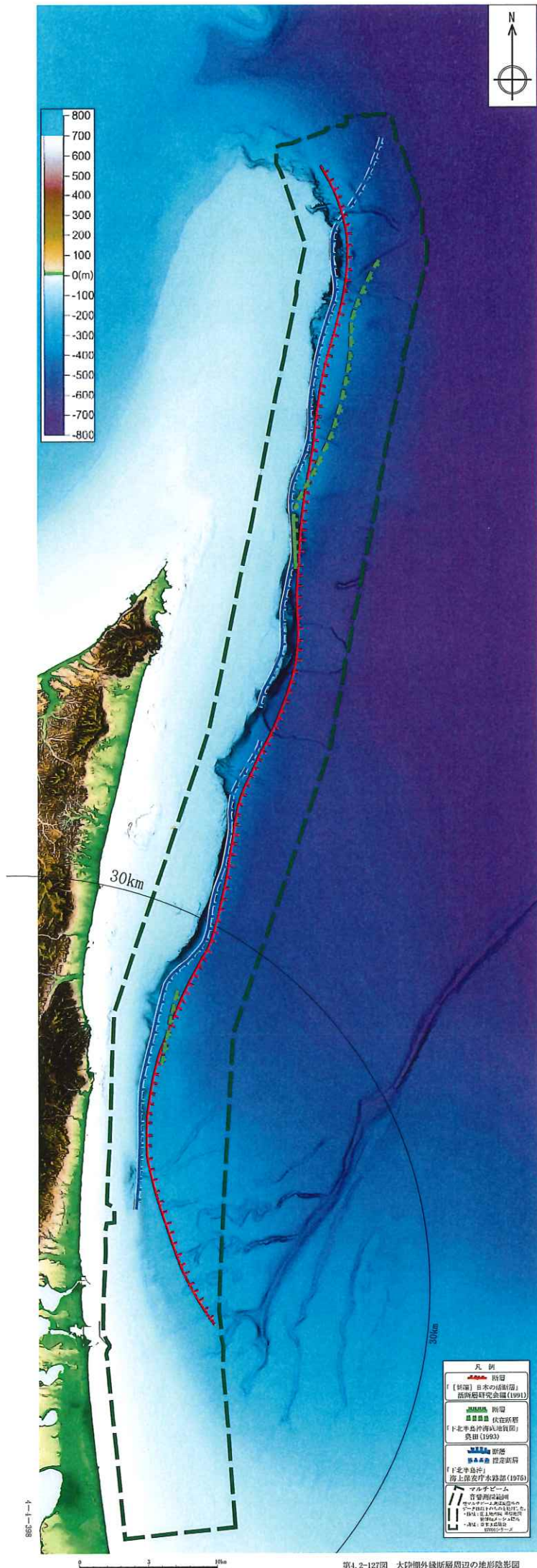
- ◆B-1 日本原燃館によるボーリング位置
- No.14 日本原燃館・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵館による採泥点
- ◆CH-1 日本原燃館・東北電力・東京電力・リサイクル燃料貯蔵館によるボーリング位置
- ◆No.1 東北電力・東京電力によるボーリング位置
- G1 東北電力・東京電力による採泥点
- G2 地質調査所による採泥点



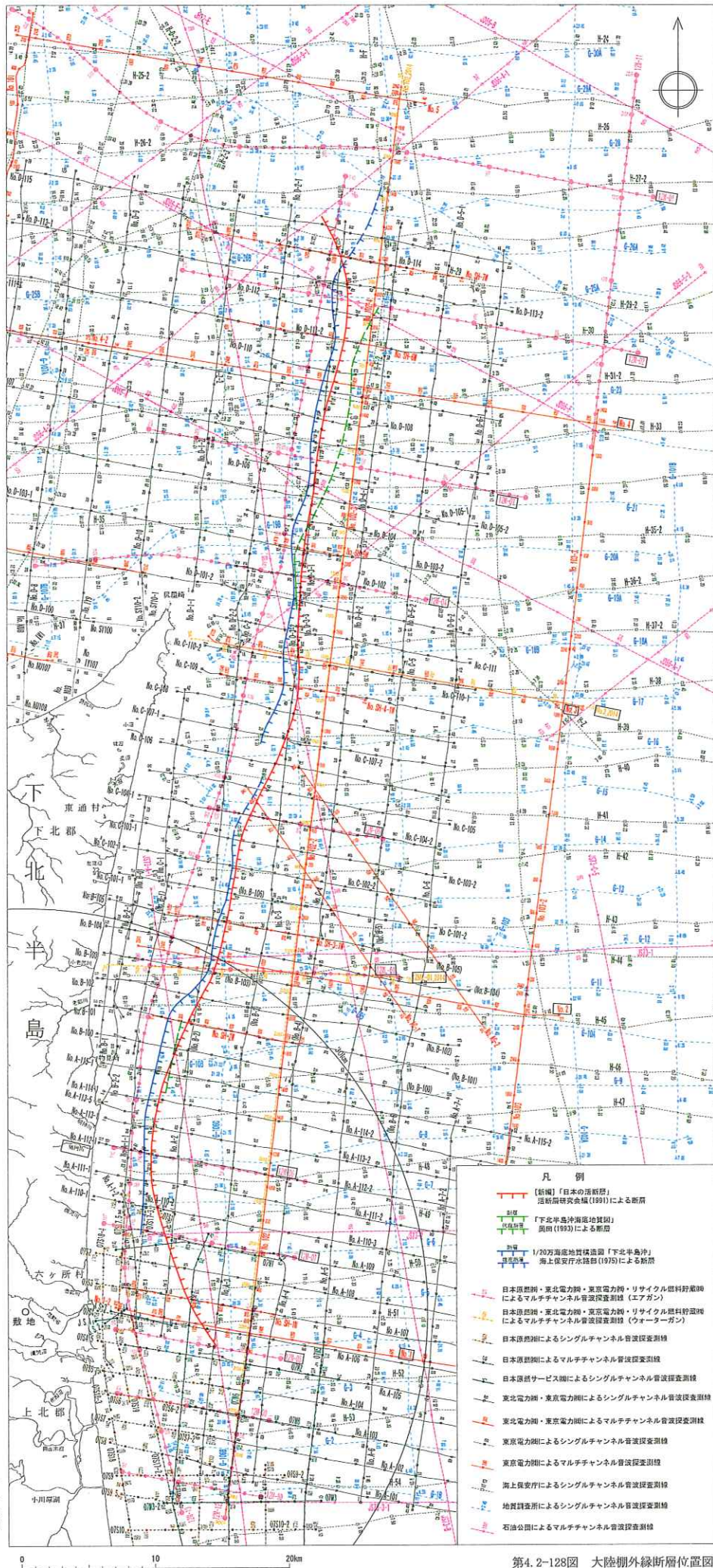
第4.2-125図 敷地周辺海域における試料採取結果



第4.2-126図 文献による敷地周辺海域の断層分布図

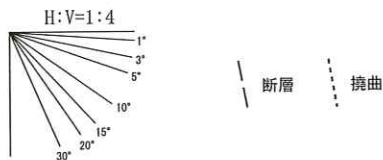
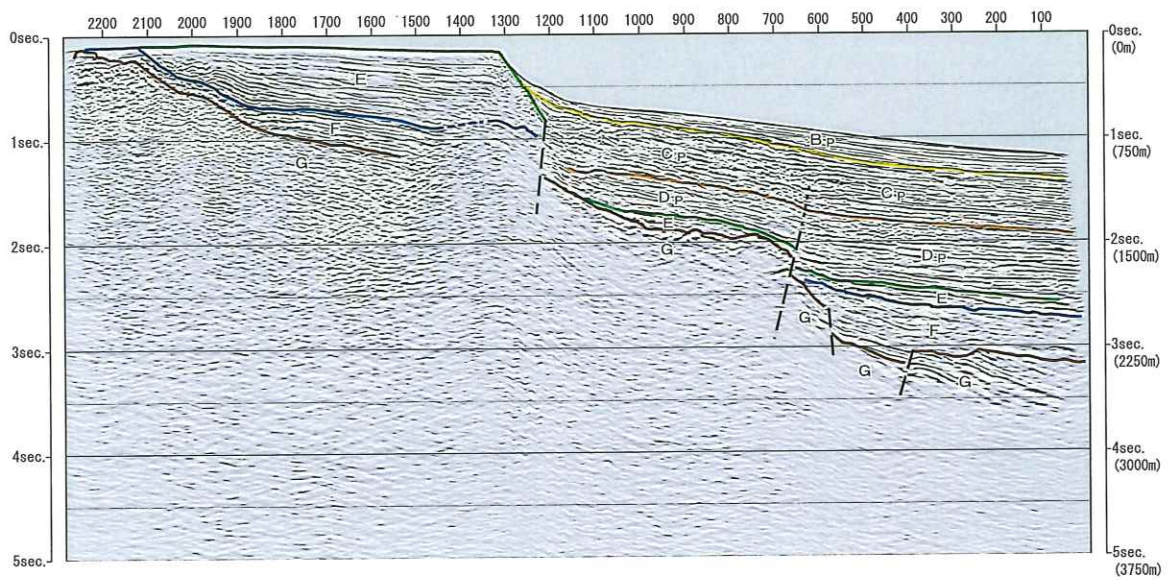
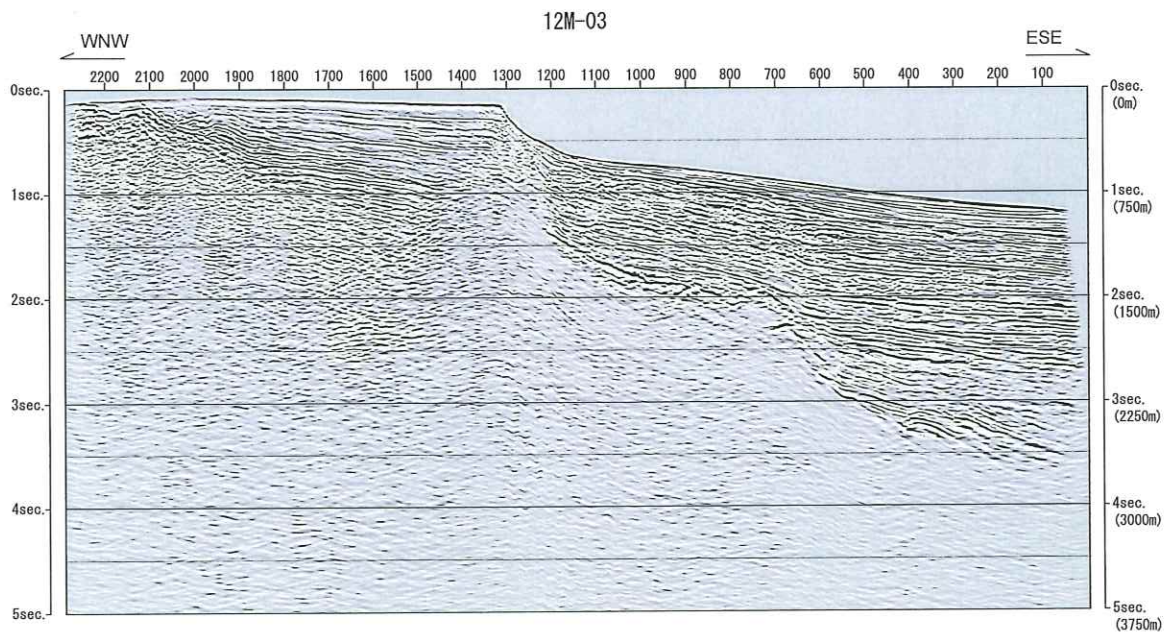


第4.2-127図 大砂湾外縁断層周辺の地形陰影図

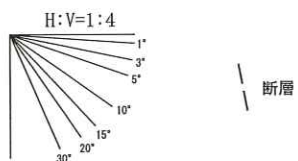
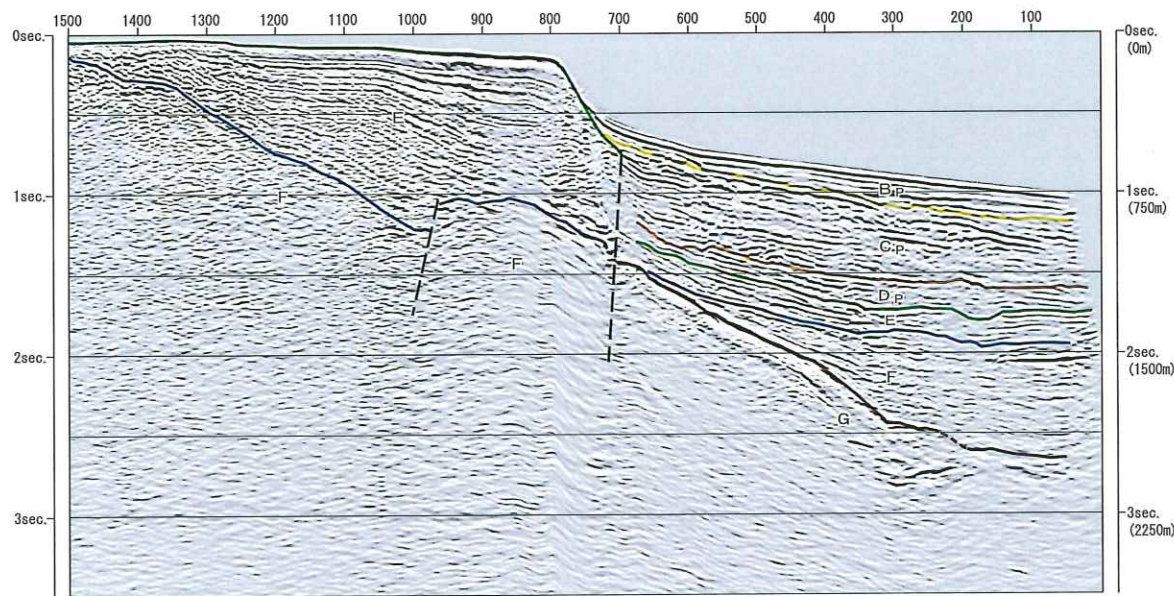
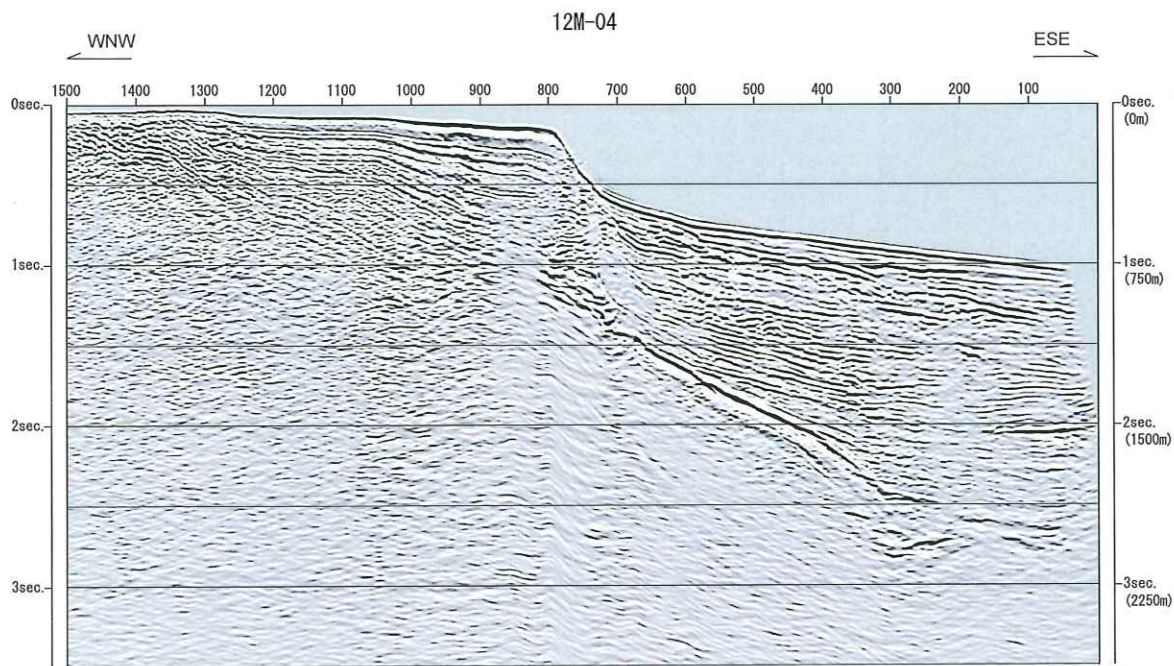


- 凡例**
- [新編]「日本の地質図」
地質院研究会編(1991)による断層
 - 「下北半島沖海陸地質図」
奥田(1993)による断層
 - 1/20万海陸地質図「下北半島沖」
海上保安庁水路部(1975)による断層
 - 日本原産網・東北電力網・東京電力網・リサイクル燃料貯蔵池
によるマルチチャンネル音波探査測線 (エアガン)
 - 日本原産網・東北電力網・東京電力網・リサイクル燃料貯蔵池
によるマルチチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン)
 - 日本原産網によるシングルチャンネル音波探査測線
 - 日本原産網によるマルチチャンネル音波探査測線
 - 日本原産サービス網によるシングルチャンネル音波探査測線
 - 東北電力網・東京電力網によるシングルチャンネル音波探査測線
 - 東北電力網・東京電力網によるマルチチャンネル音波探査測線
 - 東京電力網によるシングルチャンネル音波探査測線
 - 東京電力網によるマルチチャンネル音波探査測線
 - 海上保安庁によるシングルチャンネル音波探査測線
 - 地質調査所によるシングルチャンネル音波探査測線
 - 石油公団によるマルチチャンネル音波探査測線

第4.2-128図 大陸棚外縁断層位置図

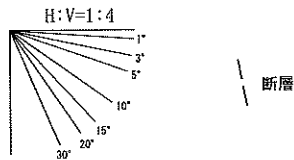
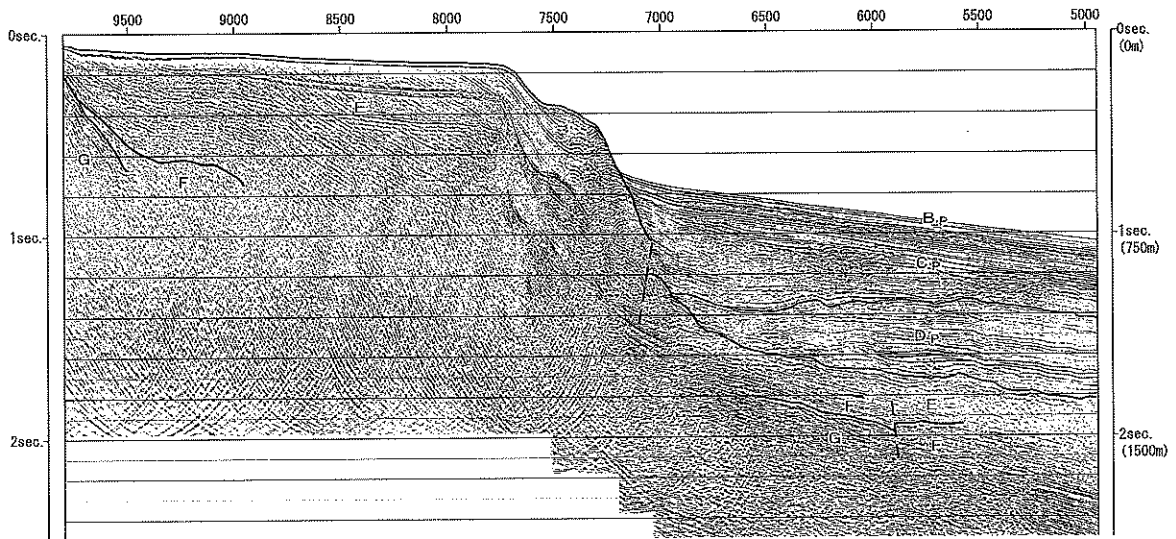
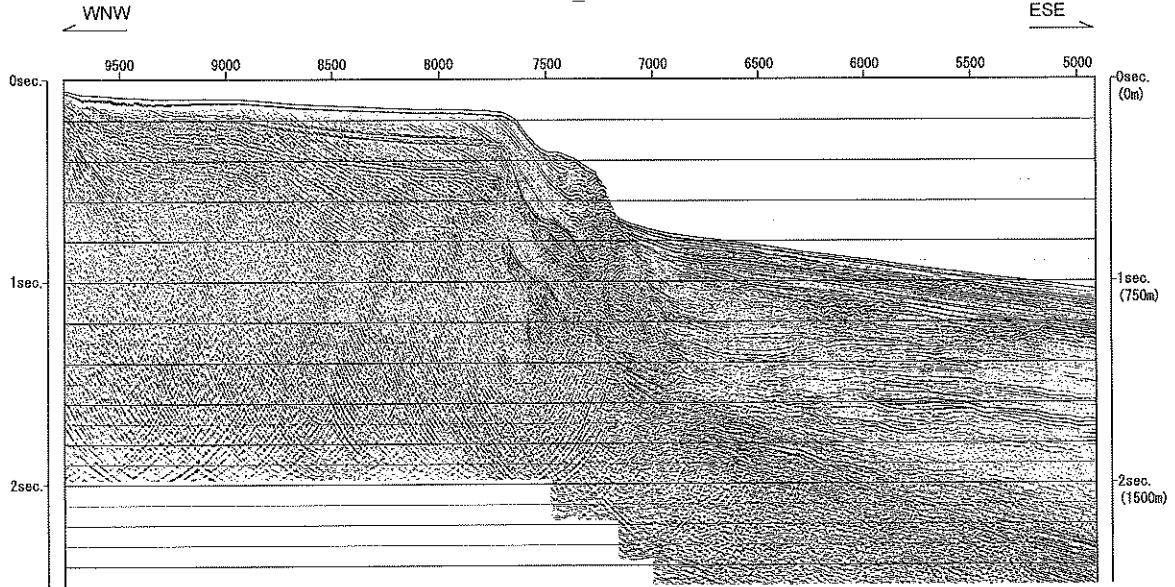


第4.2-129図(4) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-03測線)

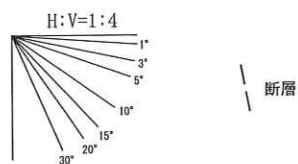
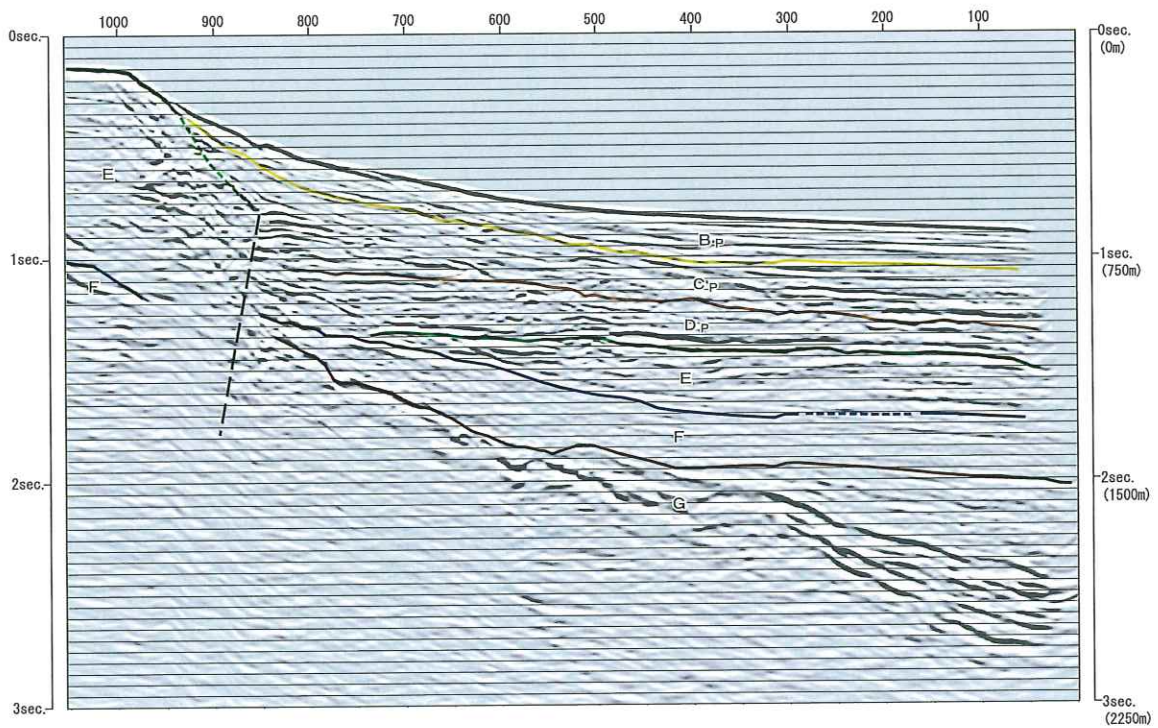
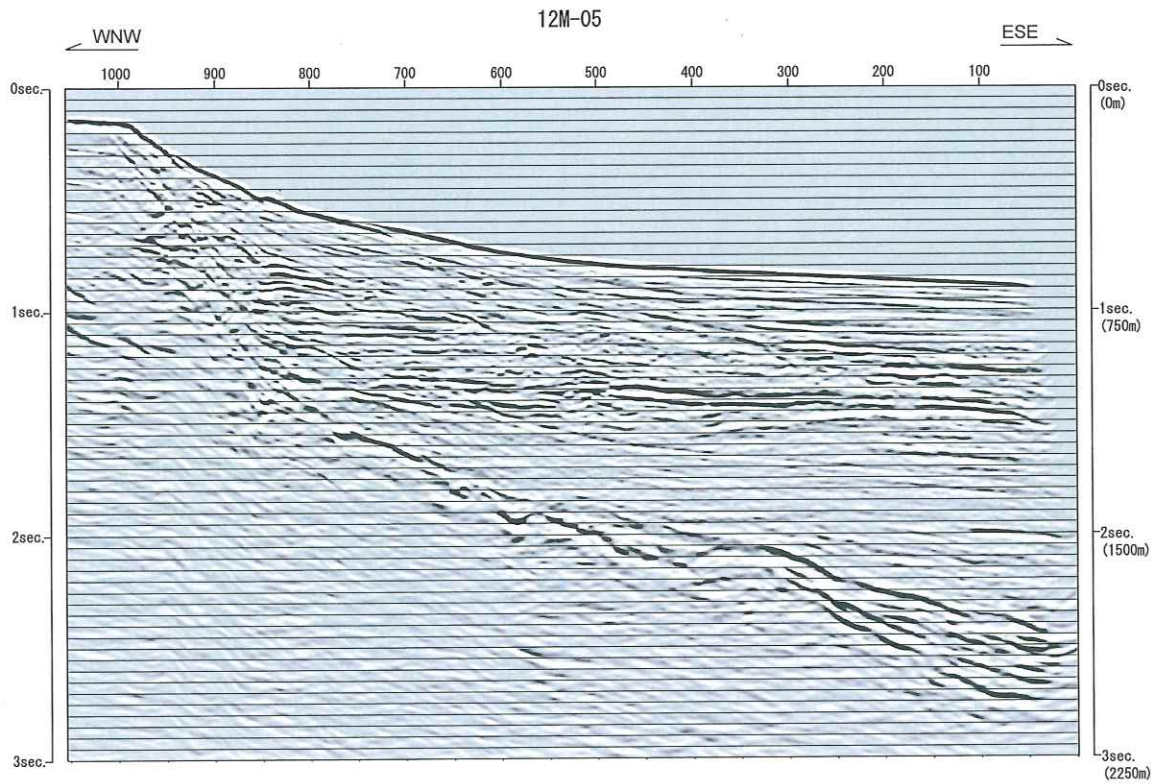


第4.2-129図(5) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-04測線)

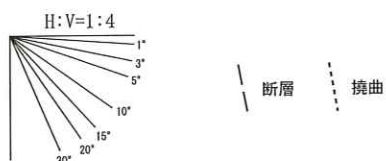
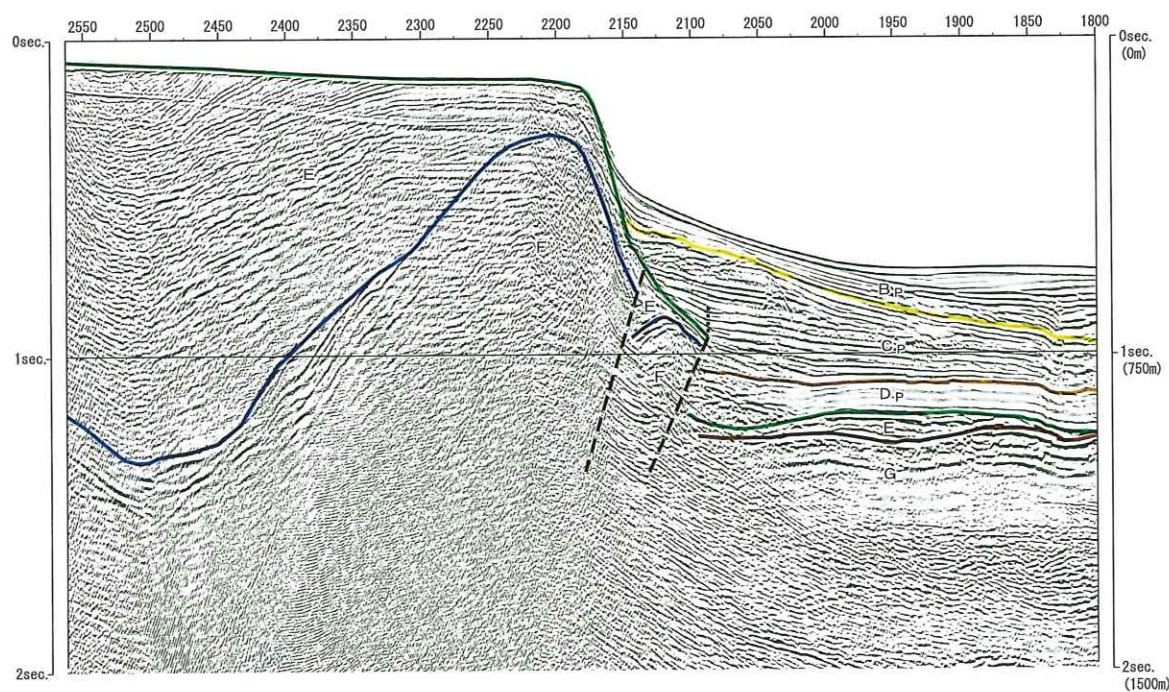
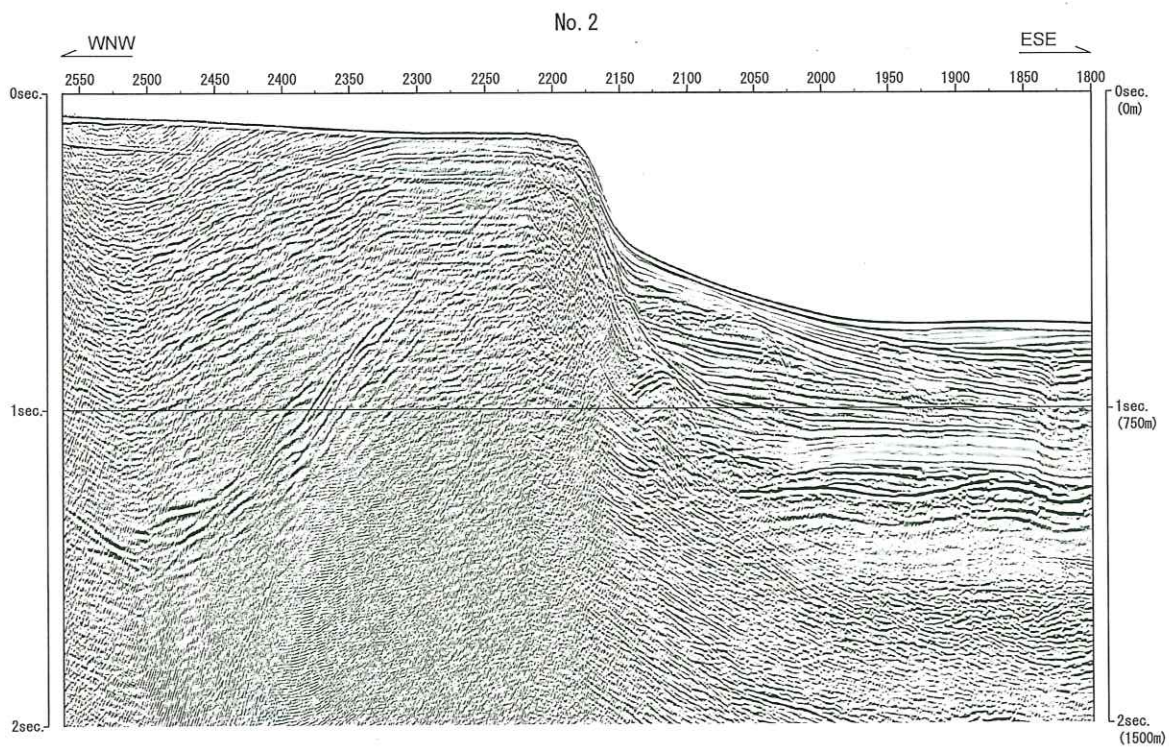
NO. 3_2014



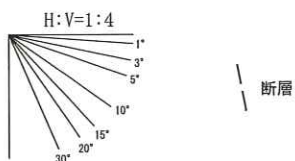
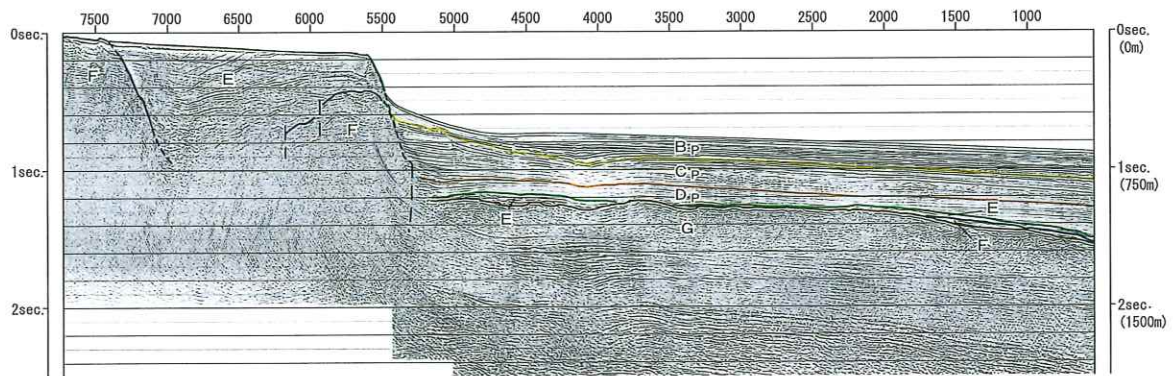
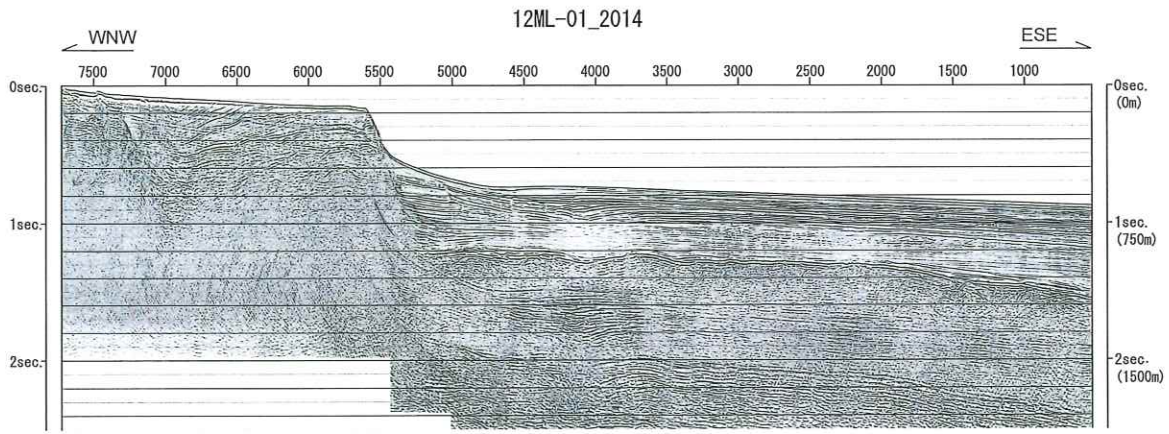
第4.2-129図(7) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 3_2014測線)



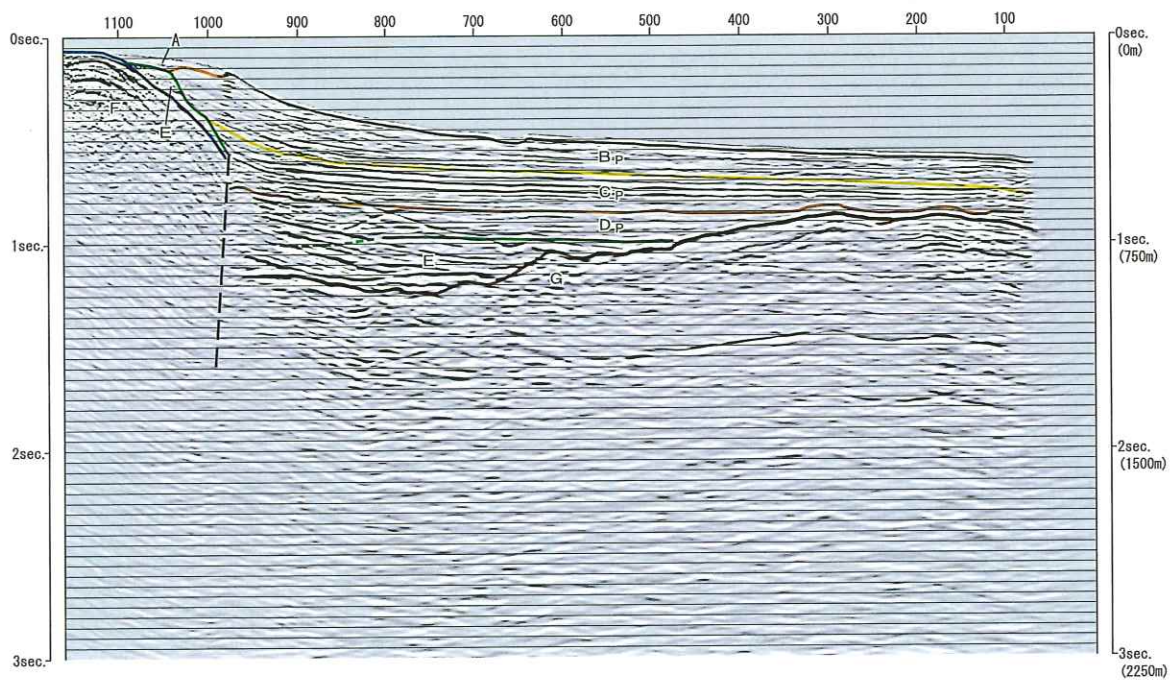
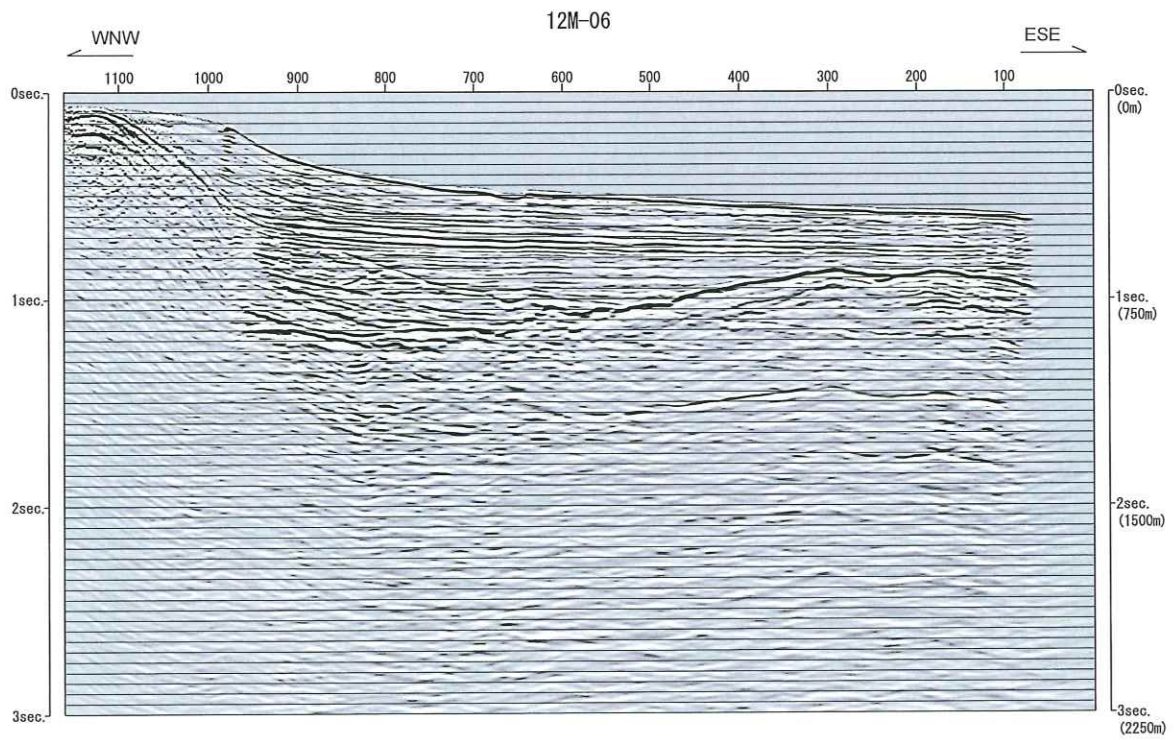
第4.2-129図(8) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12M-05測線)

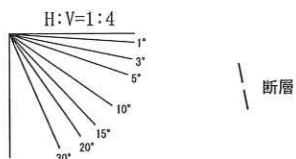
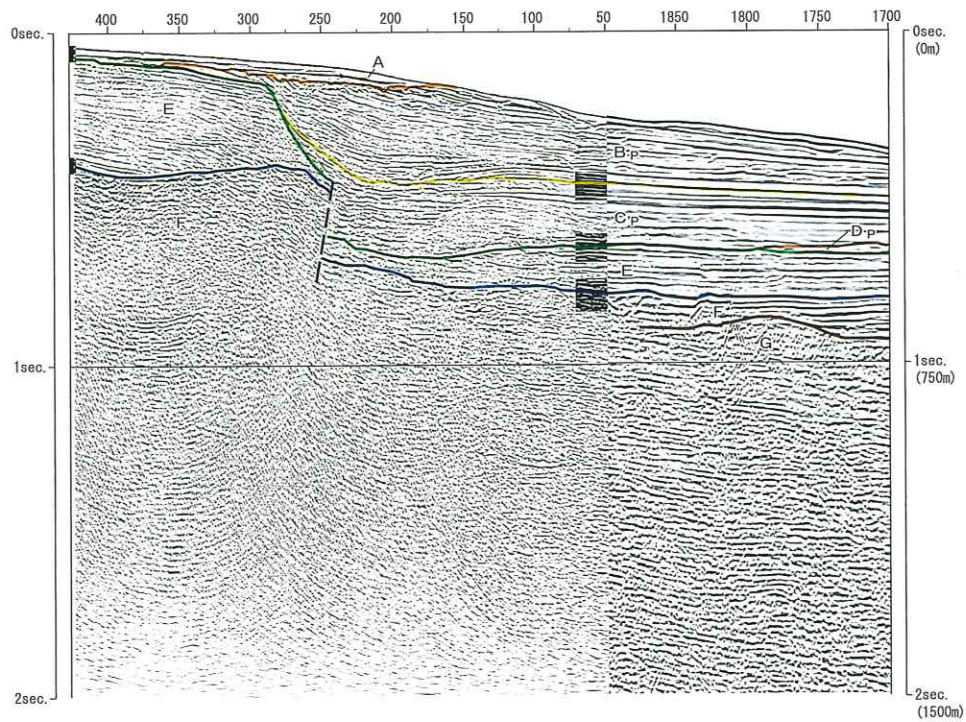
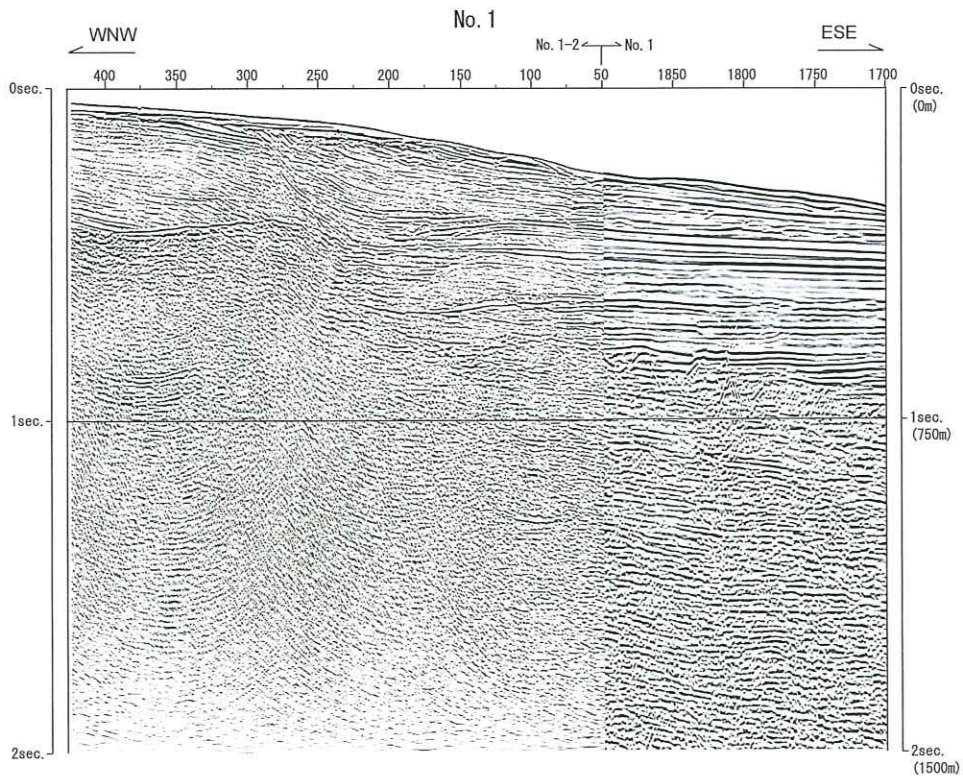


第4.2-129図(9) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No.2測線)



第4.2-129図(11) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (12ML-01_2014測線)





第4.2-129図(14) 大陸棚外縁断層周辺の音波探査記録及び解釈図 (No. 1測線)